

現 場 説 明 書

横浜市教育委員会事務局
教育環境整備部 教育施設課

- 1 件 名 篠原小学校仮設教室賃貸借
- 2 履 行 場 所 横浜市港北区篠原東三丁目27番1号
- 3 賃貸借概要 設計書、図面のとおり
※ 建物・設備の設置費
(1) 構造・規模 プレハブ造 2階建
(2) 教 室 数 多目的室（図工室、準備室）・相談室
(3) そ の 他 キッズルーム、トイレ、防災備蓄庫 等
- 4 配布図書 (1) 設 計 書
(2) 図 面
(3) 篠原小学校仮設教室賃貸借仕様書
(4) 室内空気中の化学物質の抑制に関する特記仕様書
(5) 現場説明書
- 5 設 置 工 期 契約締結後 令和8年3月19日 まで
- 6 予定賃貸借期間 令和8年4月1日から令和12年3月31日 まで
- 7 契約履行上の特別条件
 - (1) 支払いについて
別紙賃貸料の支払い割合のとおり。
 - (2) 設置、解体上の安全について
安全については特に注意し、その対策を完全に行う。
関連詳細については、8の各項目に留意すること。
 - (3) 各種下請け業者（専門業者）について
電気設備・衛生設備は、仮設教室賃貸借契約に含む。なお、市内業者の優先使用を配慮すること。
- 8 現場状況及び関連事項
 - (1) 工事の施工にあたって、設計書等に記載してある事項以外で特に必要な事項については、横浜市建築局建築工事特則仕様書、公共建築工事標準仕様書「建築工事編」「電気設備工事編」「機械設備工事編」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）及び建築基準法、建築事業関係法令、安全衛生公害関係法令、その他関係法令に準拠する。

- (2) 工事着手にあたり、搬入路・近隣道路・擁壁・周辺及び当該敷地内の構造物、埋設物等を十分調査のうえ、その状況を本市職員に報告するとともに、問題のある場合はそれらの保護または適切な措置をする。
- (3) グランドは、学校や地域の各種行事で使用するため、工事ヤード等の設置にあたっては、学校と十分調整を行うこと。
- (4) 工事に伴って発生が予想される騒音・振動等については、特に配慮し、学校と事前に調整する。
- (5) 仮設計画及び工程については、本市職員と十分打合せを行い、工事の安全と工程を遵守し作業を進める。
- (6) 工事中、道路など既設物に損傷を与えた場合は、直ちに応急処置を講ずるとともに、本市職員に報告し、工事完了までに賃貸人の負担で原状回復する。
- (7) 仮設搬入路の確保に際し、支障となる遊具等の移設及び撤去は本契約に含む。
- (8) 登下校時間は、資材搬出入を行わない。
- (9) クレーン作業時には必ず誘導員を立てるとともに、他作業時にも作業箇所の周囲は、児童生徒の立ち入りを遮断するよう安全対策を講じる。
- (10) 工事現場内は、常に整理整頓し、災害事故等の予防対策には万全を期すること。
- (11) 飲食・更衣・トイレ等については場所を指定するとともに、消火用水等を常備する。敷地内は禁煙とする。
- (12) 発生材（産業廃棄物）の処分については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し適正に処理し、マニフェストの提出を行う。
- (13) 工事中仮設電気・水道は、学校の了解を得たうえで使用すること。なお、学校敷地以外で新たに引き込む場合は、その手続きを含め実施すること。
- (14) 工事写真は、営繕工事写真撮影要領を参照し、工程段階毎に入念に撮ること。特に、隠れた部分の写真がない場合、破壊検査・復旧を命ずることがある。その費用は賃貸人の負担で行う。
- (15) 工事の施工に際し、関係者と十分な連絡をとり、また関係官庁への届け出を必要とする場合には遅滞なくこれを行う。ただし費用は賃貸人の負担とする。
- (16) 別添の方法により揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、賃借人に報告すること。
なお、測定結果が指針値を超える場合には、原因の究明に努めること。
- (17) その他、不明な点は事前に本市職員に連絡し、指示を受けること。

篠原小学校仮設教室賃貸借仕様書

横浜市教育委員会事務局
教育環境整備部 教育施設課

1 委託内容及び履行期限

仮設教室施工（法的手続きを含む）および仮設教室賃貸借業務
契約締結日から令和12年3月31日まで

2 履行場所

横浜市港北区篠原東三丁目27番1号

3 契約条件

仮設教室使用期間 令和8年4月1日から令和12年3月31日まで
契約期間を超えて、横浜市が引き続き仮設校舎の賃貸借が必要と判断した場合は、賃貸借機関の延長について、別途協議を行う。

4 適用範囲

当該工事にあたっては、本仕様書及び設計書、図面、現場説明書に記載してある事項による。
それらに記載されていない事項については、市と協議し決定します。

5 施工前協議

施工前に、施工計画書を市に提出し、市と協議を行うこと。

6 施工体制等

工事に際しては、関連法令等を遵守した上で施工管理体制を確立し、仮設計画、工事工程等について協議を行い、工程管理、安全対策、品質の確保等を適切に行わなければならない。

工事搬入経路を確保するために必要な工事、工事に伴う土木事務所、警察等への手続きは本契約に含む。

また、工事車両の通行は、事前に近隣住民に周知し、トラブルのないよう努め、周辺住民等への工事説明会開催時等には必要な書類を作成し同席すること。

7 疑義

工事内容に疑義が生じたときには、市と協議を行い決定すること。

8 安全対策

工事施工中の安全確保に関しては、関係法令を遵守し、「建設工事公衆災害防止対策要領」に従い、工事の施工に伴う災害の防止に努めなければならない。また、工事に際しては、児童及び近隣住民の安全を確保すること。

9 施工計画

(1) 一般共通事項

- | | | |
|--------------|---------------------------------------|---|
| ア 事前現場調査 | <input checked="" type="checkbox"/> 可 | <input type="checkbox"/> 不可 |
| イ 官公庁その他への届出 | <input type="checkbox"/> 市 | <input checked="" type="checkbox"/> 受注者 |

(2) 仮設工事

- | | | |
|------------|--|--------------------------------|
| ア 現場事務所 | <input checked="" type="checkbox"/> 要 | <input type="checkbox"/> 不要 |
| イ 工事用仮設トイレ | <input checked="" type="checkbox"/> 要 | <input type="checkbox"/> 不要 |
| ウ 工事用水 | <input checked="" type="checkbox"/> 支給 | <input type="checkbox"/> 受注者負担 |

エ 工事用電力

■支給

■受注者負担

※ コンセントからの使用程度であれば、支給となりますが、電気容量の大きい機器等を使用する場合は、別途、仮設電源を引く等、対応をお願いします。

オ 仮囲い

■要

□任意（受注者が安全を確保）

カ 交通整理員

■要

□任意（受注者が安全を確保）

10 引渡検査

- (1) 受注者は工事が完了したときは、必要な許認可手続を経たうえで、その旨を市に通知しなければならない。
- (2) 市は完了の通知を受けたときは、すみやかに確認の検査を行う。検査に合格しない場合、受注者はその責において直ちに手直しを行い、再検査を受けるものとする。
- (3) 検査に合格したときは、市はすみやかに引渡しを受けるものとする。
- (4) 受注者は引渡し前に建物の内外にわたり十分に清掃を行うものとする。
- (5) 引き渡しに際し受注者は、完成図、維持保全に関する資料、引渡し品（貸与品）、目録、諸官庁届出書、その他必要書類を市に提出する。

12 維持管理

受注者は、賃貸期間中、必要な修繕義務を負い、保守点検を行うものとする。市は物件を注意して維持管理する義務を負う。各々費用負担する事項については次のとおりとし、その以外の事項については、その都度協議により決定する。

- | | | |
|-------------|----|------|
| (1) 公租公課 | □市 | ■受注者 |
| (2) 火災保険 | □市 | ■受注者 |
| (3) 法定点検 | ■市 | ■受注者 |
| (4) 各種消耗品 | ■市 | □受注者 |
| (5) 電気料金 | ■市 | □受注者 |
| (6) ガス料金 | ■市 | □受注者 |
| (7) 上下水道使用料 | ■市 | □受注者 |
| (8) 清掃 | ■市 | □受注者 |
| (9) セキュリティ | ■市 | □受注者 |
| (10) 保守点検 | ■市 | ■受注者 |

室内空気中の化学物質の抑制に関する特記仕様書

1 建築材料等の使用制限の原則

建築材料等の使用制限の原則は、以下のとおりとする。ただし、該当する材料がない等の事由により、本原則によりがたい場合の措置は協議による。

(1) ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散する材料については、F☆☆☆☆とする。やむを得ず、F☆☆☆又はその同等品（旧JAS 又は旧JIS におけるFco、Eco を含む。）とする場合は、あらかじめ市担当者の承諾を得ること。

対策をとる建築材料等

- ・ 合板・木質系フローリング・構造用パネル・集成材・単板積層材・MDF
- ・ パーティクルボード・その他の木質建材
- ・ 家具・書架・その他の什器等(合板類、接着剤及び塗料を使用する場合)
- ・ ユリア樹脂板
- ・ 壁紙
- ・ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び巾木等に使用する接着剤
- ・ 保温材・緩衝材・断熱材
- ・ 塗料
- ・ 仕上塗材

(2) トルエン、キシレン及びエチルベンゼン（以下「トルエン等」という。）を含有する塗料及び接着剤についてはトルエン等の含有量が少ない規格品とする。

対策をとる建築材料等

- ・ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び巾木等に使用する接着剤
- ・ 塗料
- ・ 溶剤

(3) クロルピリホス、ダイアジノン及びフェノブカルブを含有しない非有機リン系の防腐・防蟻剤とし、加圧式防腐、防蟻処理等は工場で行い、十分に乾燥した後に現場に搬入する。

対策をとる建築材料等

- ・ 木材保存（木材の防腐・防蟻処理）剤

(4) フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない、難揮発性の可塑剤を使用している接着剤とする。

対策をとる建築材料等

- ・ 壁紙用接着剤（規格品とする）
- ・ 木工用接着剤

2 施工中の安全管理

接着剤及び塗料の塗布に当たっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質等を室外に放出させる。

3 測定 次により、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、市担当者に報告する。

・ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド

※ D N P H誘導体固層吸着／溶媒抽出－高速液体クロマトグラフ法

・ 検知管法

・ 定電位電解法

・トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン

※ 固層吸着／溶媒抽出法－ガスクロマトグラフ／質量分析法

・ 固層吸着／加熱脱着法－ガスクロマトグラフ／質量分析法

・ 容器採取－ガスクロマトグラフ／質量分析法

・測定対象室及び箇所数

室名	箇所数	回数／時期
多目的室（図工室、図工準備室）、相談室	各1か所（計2カ所）	1回／引渡前
キッズルーム	各1か所（計2カ所）	1回／引渡前

・空気資料の採取方法等

空気資料の採取方法等は、原則として厚生労働省から示されている「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」による。ただし、本工事に適用困難な部分については、市担当者との協議による。なお、簡易な測定方法による場合は、採取した測定機器の特性等を考慮して、市担当者との協議の上、計画書に定める。

4 測定後の措置等

測定の結果、厚生労働省の指針値を上回った場合の措置は、市担当者の指示による。

測定対象化学物質	厚生労働省の指針値（25℃の場合）
ホルムアルデヒド	0.08 ppm (100 μg/l)
アセトアルデヒド	0.03 ppm (48 μg/l)
トルエン	0.07 ppm (260 μg/l)
キシレン	0.20 ppm (870 μg/l)
エチルベンゼン	0.88 ppm (3,800 μg/l)
スチレン	0.05 ppm (220 μg/l)
パラジクロロベンゼン	0.04 ppm (240 μg/l)

令和7年度 一般会計算出				17款	8項	2目	13節
		期 間	工事完了年月日 令和8年3月19日				
令和7年 月 日提出			令和12年3月31日 まで				
<h1 style="margin: 0;">設 計 書</h1> <p style="margin: 0;">件 名 篠 原 小 学 校 仮 設 教 室 賃 貸 借</p>							
設 置 場 所 横浜市篠原東三丁目27番1号							
概 要							
<hr/> <hr/> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮設教室その他設置 ・ 仮設教室賃貸借期間 令和8年4月1日 から 令和12年3月31日まで ・ 解体撤去 <hr/>							
理 由 篠原小学校は、児童数増や個別支援学級の教室不足の状況から仮設校舎を建設し賃貸借する。							

No.	名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	篠原小学校仮設校舎設置その他工事						
	直接工事費		1.0	式			
	計						
	共通費						
	共通仮設費	積み上げ含む	1.0	式			
	現場管理費		1.0	式			
	一般管理費等		1.0	式			
	計						
	設計管理費						
	リース料		1.0	式			
	工事費等計						
	消費税等相当額						
	公租公課						
	総合計						

科目別内訳

No.	名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
1	建築工事						
1-1	直接仮設工事		1.0	式			
1-2	基礎・土間工事		1.0	式			
1-3	本体工事		1.0	式			
1-4	鉄骨・建方工事		1.0	式			
1-5	塗装工事		1.0	式			
1-6	金属製建具工事		1.0	式			
1-7	ガラス工事		1.0	式			
1-8	防水工事		1.0	式			
1-9	屋根・庇工事		1.0	式			
1-10	外壁工事		1.0	式			
1-11	仕上ユニット工事		1.0	式			
1-12	内装工事		1.0	式			
1-13	解体・移設工事		1.0	式			
	合 計						

科目別内訳

No.	名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
2	電気設備工事						
2-1	既設電気室内改修工事		1.0	式			
2-2	幹線設備工事		1.0	式			
2-3	動力設備工事		1.0	式			
2-4	電灯コンセント設備工事		1.0	式			
2-5	照明器具設備工事		1.0	式			
2-6	放送設備工事		1.0	式			
2-7	自動火災報知設備工事		1.0	式			
2-8	電話・LAN設備工事		1.0	式			
2-9	TV共聴設備工事		1.0	式			
2-10	インターホン設備工事		1.0	式			
2-11	既設電気配線切り回し工事		1.0	式			
	合 計						

科目別内訳

No.	名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
3	空調設備工事						
3-1	空調設備工事		1.0	式			
3-2	換気設備工事		1.0	式			
	合 計						

科目別内訳

No.	名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
4	給排水設備工事						
4-1	給水設備工事		1.0	式			
4-2	排水設備工事	雨水含む	1.0	式			
4-3	衛生器具設備工事		1.0	式			
4-4	ガス設備工事		1.0	式			
4-5	既設配管切回し工事	給水管、排水管	1.0	式			
4-6	給湯設備工事		1.0	式			
	合 計						

No.	名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	共通仮設（積み上げ）						
	仮囲い		1.0	式			
	床養生		1.0	式			
	現場事務所	リース料 運搬費 基本管理費 備品とも	1.0	式			
	仮設便所	汲取別、運搬共	1.0	式			
	仮設電気設備 仮設用水道	引込 使用料共	1.0	式			
	交通誘導員		1.0	式			
	機械器具費		1.0	式			
	産廃処分		1.0	式			
	合 計						

篠原小学校仮設校舎設置その他工事

■図面リスト

図 番	図 面 名 称	縮 尺		図 番	図 面 名 称	縮 尺		図 番	図 面 名 称	縮 尺	
		A1	A3			A1	A3			A1	A3
A-01	表紙・図面リスト	none	none	S-01	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	none	none	E-01	電気設備特記仕様書・図面リスト・案内図・配置図	1/500	1/1000
A-02	工事内容・設計概要・面積表・案内図	1/500	1/1000	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	none	none	E-02	盤図(電灯)	none	none
A-03	構造概要・仕上表	none	none	S-03	鉄骨構造標準図(1)	none	none	E-03	照明器具姿図	none	none
A-04	配置図	1/200	1/400	S-04	鉄骨構造標準図(2)	none	none	E-04	電気設備 配置図	1/200	1/400
A-05	求積図	1/200・300	1/400・600	S-05	構造設計特記仕様	none	none	E-05	電灯設備 1・2階平面図	1/100	1/200
A-06	平面図・屋根伏図	1/100	1/100	S-06	デッキ仕様書	none	none	E-06	コンセント・空調設備 1・2階平面図	1/100	1/200
A-07	立面図・断面図	1/100	1/200	S-07	地盤改良指示図	1/50	1/100	E-07	弱電設備 1・2階平面図	1/100	1/200
A-08	矩計図	1/20	1/40	S-08	基礎伏図	1/50	1/100	E-08	放送設備 1・2階平面図	1/100	1/200
A-09	内部階段詳細図	1/25	1/50	S-09	基礎リスト	1/15	1/30	E-09	防災設備 1・2階平面図	1/100	1/200
A-10	外部階段詳細図(1)	1/50	1/100	S-10	2階床梁伏図	1/50	1/100	E-10	自動火災報知設備 系統図	none	none
A-11	外部階段詳細図(2)	1/30	1/60	S-11	R階床梁伏図	1/50	1/100	E-11	自動火災報知設備 1・2階平面図	1/100	1/200
A-12	キッズルーム 平面詳細図	1/30	1/60	S-12	軸組図(1)	1/50	1/100				
A-13	トイレ 平面詳細図	1/30	1/60	S-13	軸組図(2)	1/50	1/100				
A-14	防災備蓄庫・階段 平面詳細図	1/30	1/60	S-14	軸組図(3)	1/50	1/100				
A-15	図工室 平面詳細図	1/30	1/60	S-15	部材リスト	none	none	M-01	機械設備工事特記仕様書	none	none
A-16	準備室・相談室 平面詳細図	1/30	1/60	S-16	部分詳細図(1)	1/5・15	1/10・30	M-02	仕様書・図面リスト・案内図・配置図	1/500	1/1000
A-17	展開図(1階廊下・キッズルーム)	1/50	1/100	S-17	部分詳細図(2)	1/5	1/10	M-03	給排水衛生設備 凡例・機器表・器具表	none	none
A-18	展開図(トイレ)	1/50	1/100	S-18	基礎伏図(渡り廊下)	1/50	1/100	M-04	給排水衛生設備 外構図	1/200	1/400
A-19	展開図(2階廊下・図工室)	1/50	1/100	S-19	梁伏図(渡り廊下)	1/50	1/100	M-05	給排水衛生設備 1・2階平面図	1/100	1/200
A-20	展開図(準備室・相談室)	1/50	1/200	S-20	軸組図(1)(渡り廊下)	1/50	1/100	M-06	給排水衛生設備 平面詳細図-1	1/30	1/60
A-21	天井伏図	1/100	1/100	S-21	軸組図(2)(渡り廊下)	1/50	1/100	M-07	給排水衛生設備 平面詳細図-2	1/30	1/60
A-22	建具キープラック・建具表	1/50	1/100	S-22	柱脚・部材リスト・詳細図(渡り廊下)	1/5・10	1/10・20	M-08	給排水衛生設備 平面詳細図-3	1/30	1/60
A-23	雑詳細図	1/30	1/60					M-09	給排水衛生設備 平面詳細図-4	1/30	1/60
A-24	外構図	1/200	1/400					M-10	空調設備 1・2階平面図 機器表	1/100	1/200
A-25	外構詳細図	図示	図示								
A-26	渡り廊下詳細図1	1/100	1/200								
A-27	渡り廊下詳細図2	1/50	1/100								
A-28	仮設計画図	1/200	1/400								
A-29	時間日影図	1/200	1/400								
A-30	等時間日影図	1/200	1/400								

■工事内容

1. 仮設校舎	建築工事一式・電気設備工事一式・機械設備工事一式 (既設校舎から及び最終樹までの接続共)
2. 渡り廊下	建築工事一式・電気設備工事一式・機械設備工事一式
3. 外構工事	フェンス工事、物置基礎工事
4. 解体工事	ジャングルジム撤去、複合遊具撤去、人孔管切廻し、スプリンクラー撤去・ブ'カ'止
5. 仮設工事	仮囲い他 (A-28図)
6. 家具移設工事	
7. その他工事	家具リース
8. 申請業務	計画通知

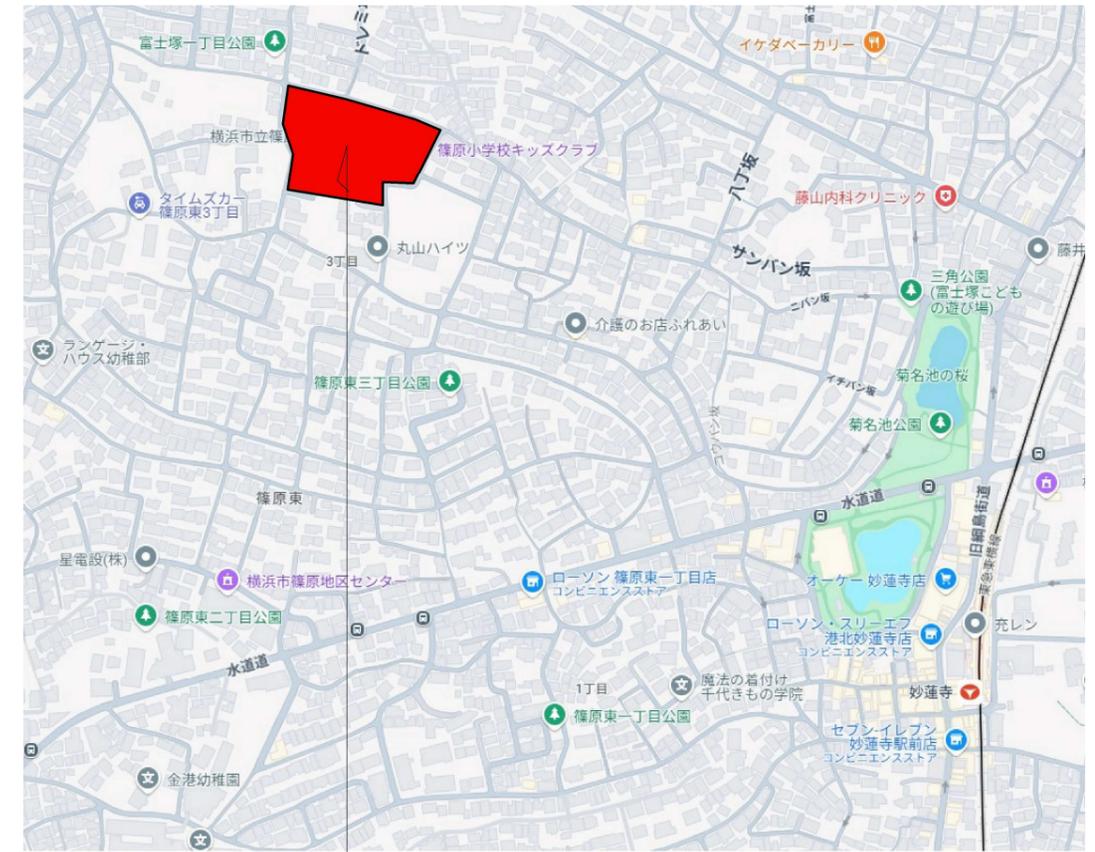
■設計概要

一般事項	工事名称	篠原小学校仮設校舎設置その他工事		建築種別	新築 (仮設校舎及び渡り廊下)		
	建築場所	地名地番	神奈川県横浜市港北区篠原東三丁目27番1号	仮設期間	令和7年度建設 令和8年4月~令和12年3月(4年間)		
	地域指定	住居表示		用途	小学校		
建物概要	規模	用途指定	第1種低層住居専用地域 建蔽率: 50% (40+10) 容積率: 80%	その他指定	第1種高度地区		
		防火指定	法第22条区域	日影規制	軒高が7mを超える又は地上の階数が3以上の建築物		
	耐火種別	準耐火建築物 (ロ-二)	1.5m・3h/2h	最高高さ	設計GL+8.070m	屋根勾配	3/90 (片流れ)
		階数	2階建て		軒高	設計GL+7.270m	
建築面積	既存面積	2,344.80㎡	床面積	既存面積	5,497.81㎡		
	増築面積	317.24㎡		増築面積	547.50㎡		延床面積 : 6,045.31㎡

■面積表

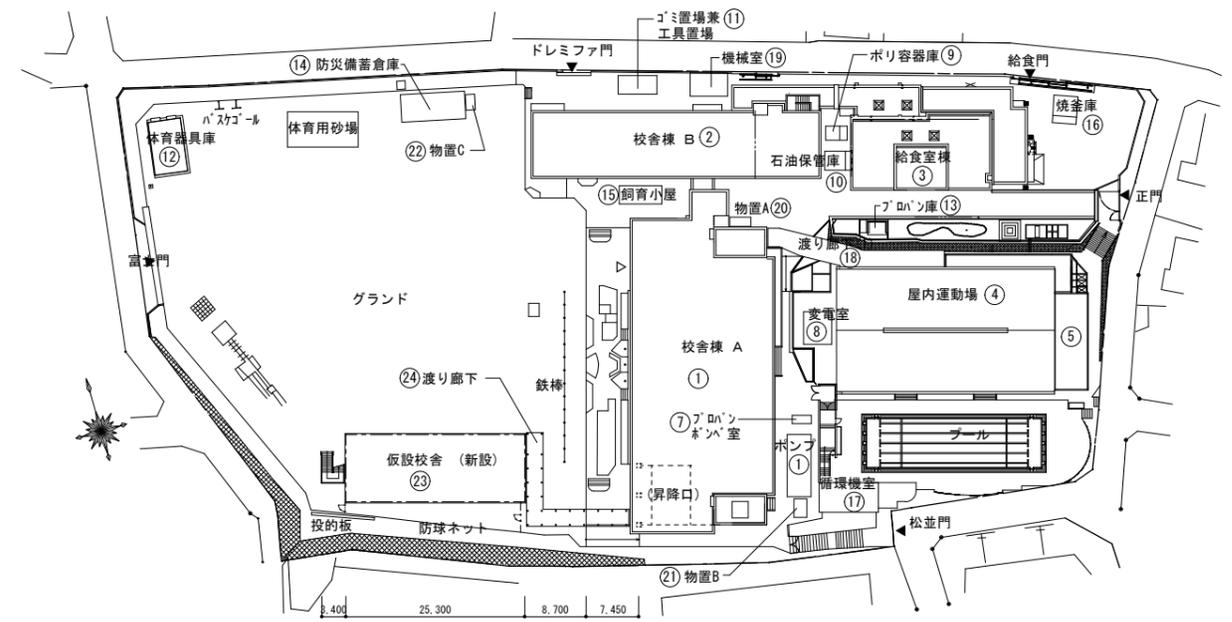
番号	用途	確認番号	1階	2階	3階	4階	PH階	計	建築面積
既存	① 校舎棟 A		725.04	794.04	794.04	787.96	62.16	3,163.24	820.50
	② 校舎棟 B		383.99	388.96	388.96			1,161.91	388.96
	③ 給食室棟		265.11	29.84				294.95	265.11
	④ 屋内運動場		480.00	7.48				487.48	480.00
	⑤ 附帯施設		119.53					119.53	119.53
	⑥ ポンプ室		28.05					28.05	28.05
	⑦ プ'ロ'ン'ポン'パ'室		2.67					2.67	2.67
	⑧ 変電室		18.00					18.00	18.00
	⑨ ポリ容器庫		3.70					3.70	3.70
	⑩ 石油保管庫		7.42					7.42	7.42
	⑪ ゴミ置場兼工具置場		13.50					13.50	13.50
	⑫ 体育器具庫		32.40					32.40	32.40
	⑬ プ'ロ'ン'庫		4.24					4.24	4.24
	⑭ 防災備蓄倉庫		21.87					21.87	21.87
	⑮ 飼育小屋		14.75					14.75	14.75
	⑯ 焼釜庫		10.08					10.08	10.08
	⑰ 循環機室		34.16					34.16	34.16
	⑱ 渡り廊下 (1)		58.96					58.96	58.96
	⑲ 機械室		9.46					9.46	9.46
	⑳ 物置 A		3.90					3.90	3.90
	㉑ 物置 B		4.68					4.68	4.68
	㉒ 物置 C	移設	2.86					2.86	2.86
既存計			2,244.37	1,220.32	1,183.00	787.96	62.16	5,497.81	2,344.80
増築	㉓ 仮設校舎		248.90	248.90				497.80	267.54
	㉔ 渡り廊下		49.70					49.70	49.70
増築計			298.60	248.90				547.50	317.24
合計			2,542.97	1,469.22	1,183.00	787.96	62.16	6,045.31	2,662.04

緑化協議 : (既存面積) 5,497.81 x 0.2 > (増築面積) 547.50 ∴ 緑化協議は不要



工事場所：横浜市港北区篠原東三丁目27番1号

案内図



建物キープラン S=1:500

横浜市教育委員会事務局	工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日 2025.04.24	縮尺	A1:1/500	図面名称	
設計者	工事内容・設計概要・面積表・案内図			
有限会社宮本建築設計事務所	図面番号	棟番号	室番号	図面枚数
				図面番号
				A-02

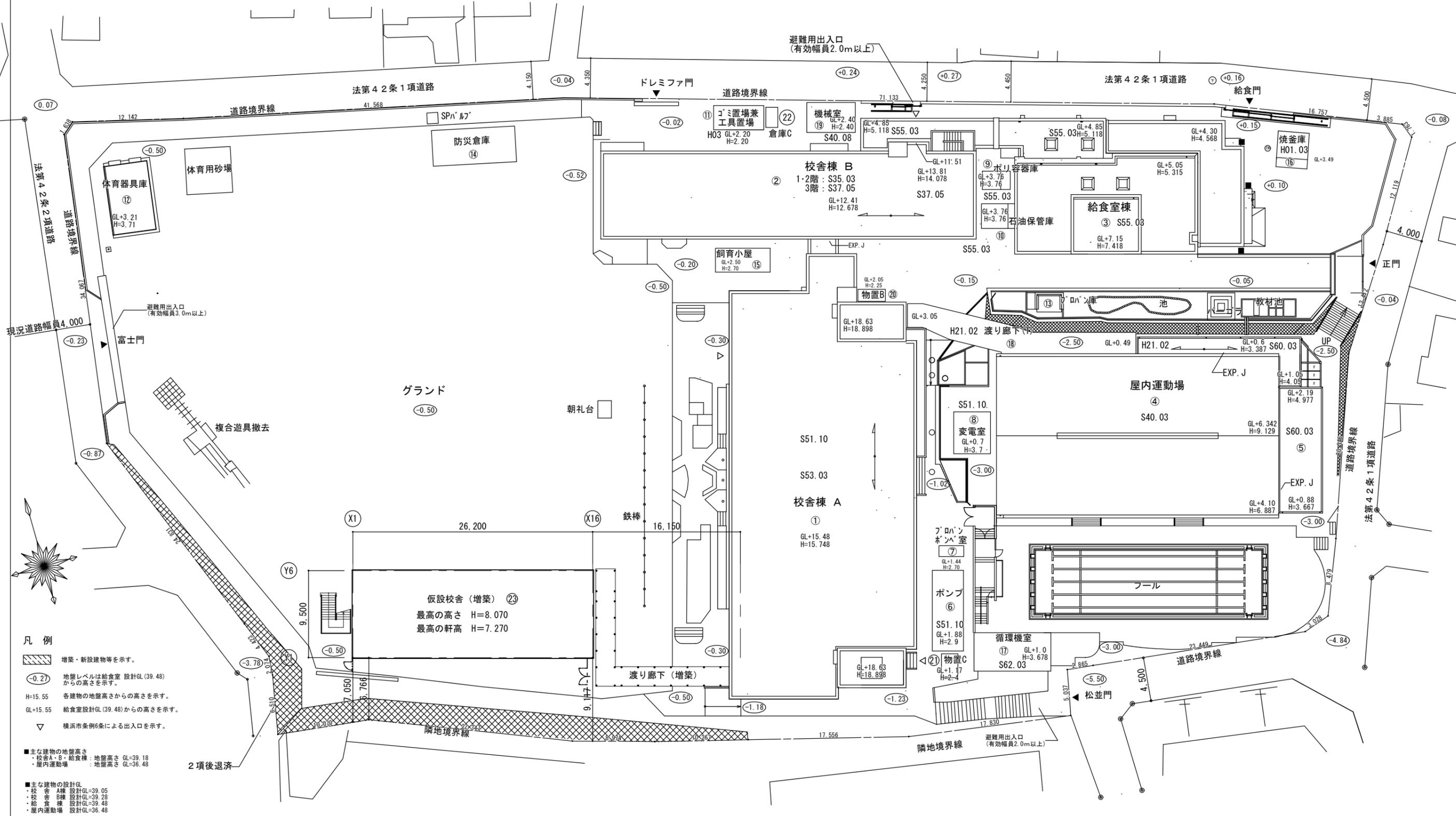
構造概要	基礎形式	鉄筋コンクリート造布基礎	地耐力	50kN/m ² (長期) 仮定値	
	軸組	軽量鉄骨造 両方向ブレース構造			
	内部軸組	1階床	土間コンクリート金ゴテ押え t=120	外周内壁	軽鉄軸組
			ワイヤーメッシュφ6×150×150		グラスウールt=50(24kg/*)充填
			押出法ポリスチレンフォーム保温板 t=30		
防湿ポリエチレンフィルム t=0.15			間仕切壁		軽鉄軸組
	2階床	合板 t=12+4	天井	軽鉄野縁	
	押出法ポリスチレンフォーム保温板 t=30	強化石膏ボード t=15		小屋裏のみ) グラスウール t=100(16kg/*)敷込	
	デッキプレート t=1.6 (EZ50)				
外部仕上	屋根	ガルバリウム鋼板 H=90 二重折板葺(逆式)音鳴り低減仕様	塗装	鉄部:一般錆止 JIS K 5674(1種) 2回塗り(工場塗装)	
		上葺き:カラーガルバリウム鋼板 t=0.6 下葺き:カラーガルバリウム鋼板素地 t=0.6		鉄骨見掛り部FE(工場塗装)	
		グラスウールt=100(16kg品)敷込			
		裏面)ポリエチレンフォーム貼り t=4			
	外壁	窯業系サイディングボード t=16(金具止め工法)	庇	窓上小庇:アルミ既製品 D=300	
		透湿防水シート			
		鋼製胴縁			
	板金金物	笠木:カラーガルバリウム鋼板 t=0.6	ポーチ	土間コンクリート金ゴテ押え t=120	
		三方立上裏水切:耐水石膏ボード t=12.5下地の上、カラーガルバリウム鋼板 t=0.6		ワイヤーメッシュφ6×150×150	
		基礎水切:カラーガルバリウム鋼板 t=0.35(腰壁天端プチルゴム)		再生砕石 t=100	
鼻隠し:カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 H=300					
樋	軒樋:塩ビ製120型	渡り廊下	屋根:カラーガルバリウム鋼板 t=0.6 H=90		
	縦樋:塩ビ製75φVP		腰壁:角波カラーガルバリウム鋼板		
			床:土間コンクリート金ゴテ押え		
階段	外部階段(26段)	鋼製階段 蹴上:158.95 踏面:260 有効巾:1.400	内部階段(26段)	鋼製階段 蹴上:158.47 踏面:260 有効巾:1400	
		踏板:C.PL-4.5 手摺:鋼製(両側)		手摺:樹脂製(両側) SUS製ノンスリップ	
		溶融亜鉛メッキ仕上げ			
		上屋:カラーガルバリウム鋼板 折板葺 t=0.6 (H=88・ボルト式)			
開口部	外部建具	建具表による			
雑工事	外巾木:無機系基礎保護材塗				

特記事項	1.居室及び居室と相互に通気が確保される部分の内装仕上材(塗料、接着材、造り付け家具・建具の面材を含む。)は、F☆☆☆☆認定材料を使用のこと。
	2.天井点検口は70mm製450角とする。
	3.ビニル床はAA700を基本とする。
記事	※居室及び居室と相互に通気が確保される部分には、令第20条の8に適合する機械換気設備(24時間換気システム)を設置すること。
	※天井裏、小屋裏、床裏、物入等に使用するグラスウール及び合板類は、F☆☆☆☆以上の認定材料とすること。
	※内装材は下地・仕上共F☆☆☆☆又は規制対象外とする。
	※行政協議により計画内容の変更が必要になる可能性があります。
	※外壁ブレースは内付ブレースとする。
	※防火上主要な間仕切壁(法114条2項)は両側石膏ボード t=12.5+9.5とし、小屋裏又は天井裏まで達せしめるものとする。

■室内仕上表

階	室名	床	巾木	壁	天井	廻縁	天井高	備考
1	玄関・廊下	長尺塩ビシート t=2.0	ビニル巾木 H=60	ビニルクロス	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ製	2700	
		一部:防滑性長尺塩ビシート t=2.0		下地)石膏ボード t=12.5				
		下地)土間コンクリート金ゴテ押え		防火上主要な間仕切壁: 下地)石膏ボード t=12.5+9.5				
	キッズルーム	長尺塩ビシート t=2.8	ビニル巾木 H=60	ビニルクロス	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ製	2700	カーテンレール(W)
		下地)土間コンクリート金ゴテ押え		下地)石膏ボード t=12.5				
				防火上主要な間仕切壁: 下地)石膏ボード t=12.5+9.5				
	男子トイレ	長尺塩ビシート t=2.0	ビニル巾木 H=60	ケイ酸カルシウム板 t=6 EP-G	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ製	2400	
		下地)土間コンクリート金ゴテ押え		下地)耐水石膏ボード t=12.5				
	女子トイレ	長尺塩ビシート t=2.0	ビニル巾木 H=60	ケイ酸カルシウム板 t=6 EP-G	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ製	2400	
下地)土間コンクリート金ゴテ押え		下地)耐水石膏ボード t=12.5						
		防火上主要な間仕切壁: 下地)石膏ボード t=12.5+9.5						
防災備蓄庫	土間コンクリート直押え			石膏ボード t=12.5		—		
2	廊下	長尺塩ビシート t=2.0	ビニル巾木 H=60	ビニルクロス	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ製	2700	
		一部:防滑性長尺塩ビシート t=2.0		下地)石膏ボード t=12.5				
		下地)合板 t=12+4		防火上主要な間仕切壁: 下地)石膏ボード t=12.5+9.5				
	多目的室(将来図書)	長尺塩ビシート t=2.0	ビニル巾木 H=60	ビニルクロス	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ製	2700	カーテンレール(W)
		一部:防滑性長尺塩ビシート t=2.0		下地)石膏ボード t=12.5				
		下地)合板 t=12+4		防火上主要な間仕切壁: 下地)石膏ボード t=12.5+9.5				
	準備室	長尺塩ビシート t=2.0	ビニル巾木 H=60	ビニルクロス	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ製	2700	カーテンレール(W)
		下地)合板 t=12+4		下地)石膏ボード t=12.5				
				防火上主要な間仕切壁: 下地)石膏ボード t=12.5+9.5				
	相談室	長尺塩ビシート t=2.0	ビニル巾木 H=60	ビニルクロス	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ製	2700	カーテンレール(W)
下地)合板 t=12+4		下地)石膏ボード t=12.5						
		防火上主要な間仕切壁: 下地)石膏ボード t=12.5+9.5						
共通	階段室	長尺塩ビシート t=2.0	ササラ現し SOP	ビニルクロス	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ製	—	
		一部:防滑性長尺塩ビシート t=2.0		下地)石膏ボード t=12.5				
		下地)モルタル t=30						
		下地)合板 t=12+4						

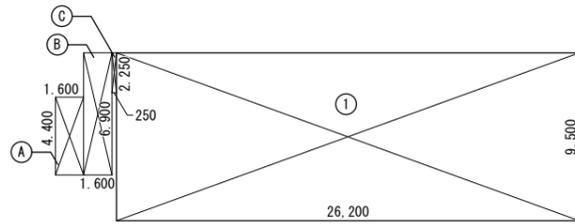
敷地全体の現況平均地盤面は設計GL-710、仮設校舎の地盤面は設計GL-500。
故に平均地盤面は上る。(最高高さは下る。)



- 凡例**
- 増築・新設建築物を示す。
 - (-0.27) 地盤レベルは給食室 設計GL(39.48) からの高さを示す。
 - H=15.55 各建物の地盤高さからの高さを示す。
 - GL+15.55 給食室設計GL(39.48)からの高さを示す。
 - ▽ 横浜市条例6条による出入口を示す。
- 主な建物の地盤高さ
- 校舎A・B・給食棟 : 地盤高さ GL=39.18
 - 屋内運動場 : 地盤高さ GL=36.48
- 主な建物の設計GL
- 校舎A棟 設計GL=39.05
 - 校舎B棟 設計GL=39.28
 - 給食棟 設計GL=39.48
 - 屋内運動場 設計GL=36.48

配置図 1/200

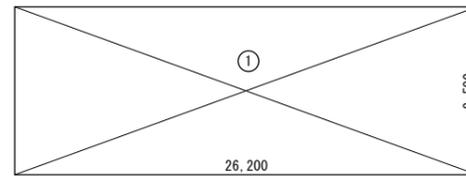
横浜市教育委員会事務局		工 事 名		篠原小学校仮設校舎設置その他工事	
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/200 A3:1/400	図面名称	配置図
設計者	有限会社宮本建築設計事務所		図面番号	A-04	
代表者	代表取締役	代表取締役	代表取締役	代表取締役	代表取締役
代表者	代表取締役	代表取締役	代表取締役	代表取締役	代表取締役



床面積
 ① 9,500 x 26,200
 248.90

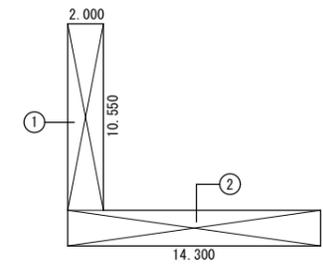
建築面積
 床面積より 248.90
 ① 4,400 x 1,600
 ② 6,900 x 1,600
 ③ 2,250 x 0,250
 267.5425㎡

1階求積図 S=1:200



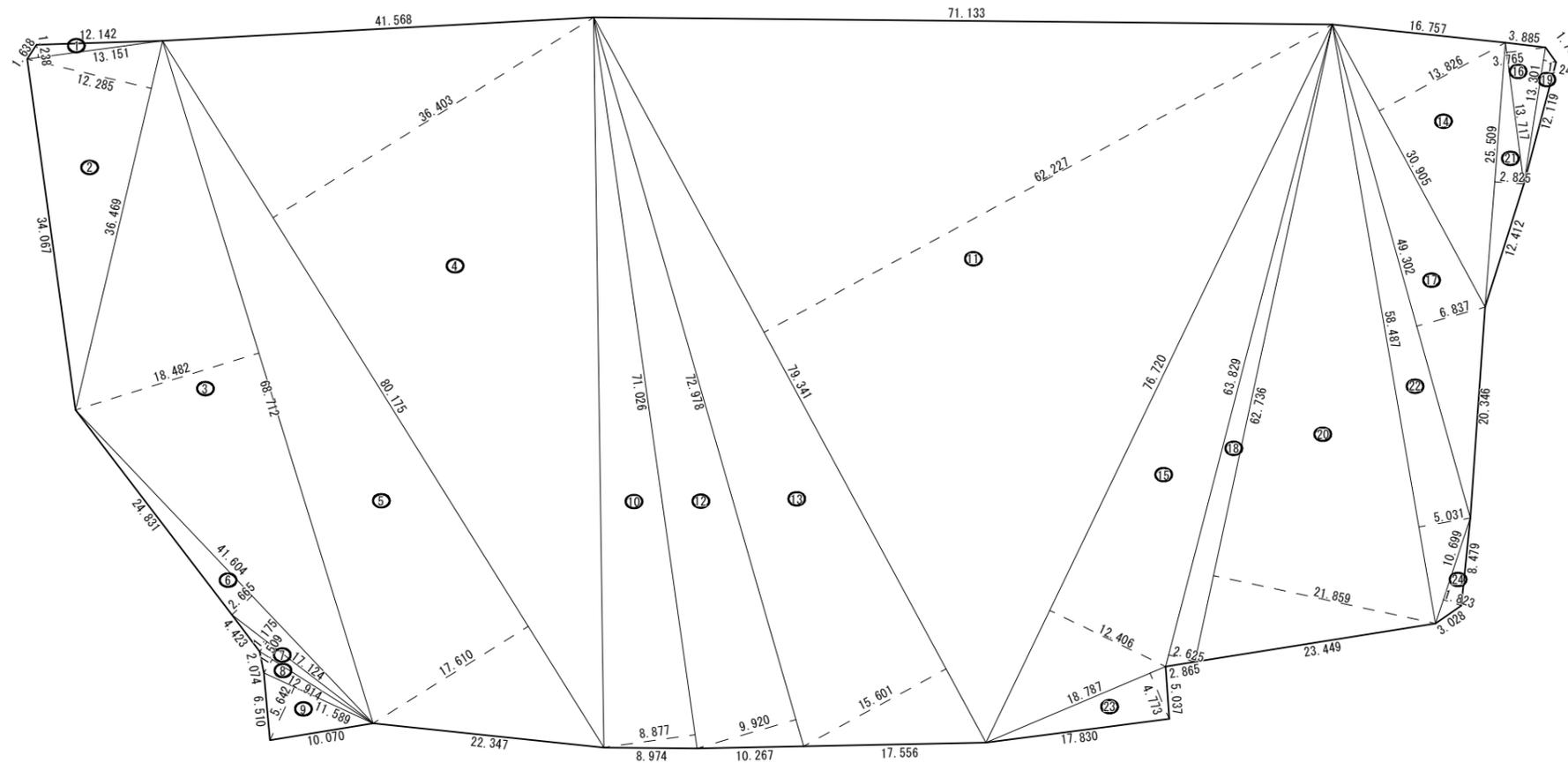
床面積
 ① 9,500 x 26,200
 248.90

2階求積図 S=1:200



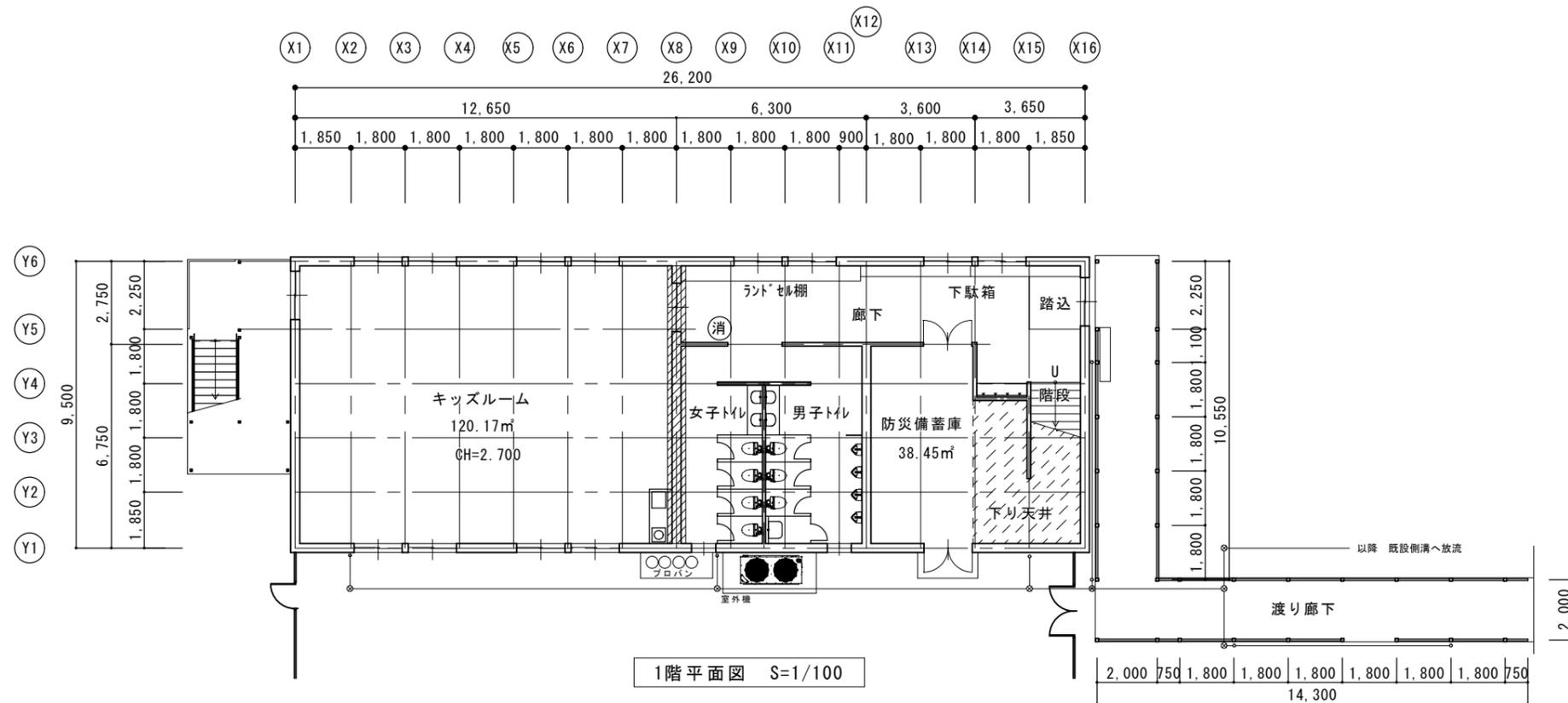
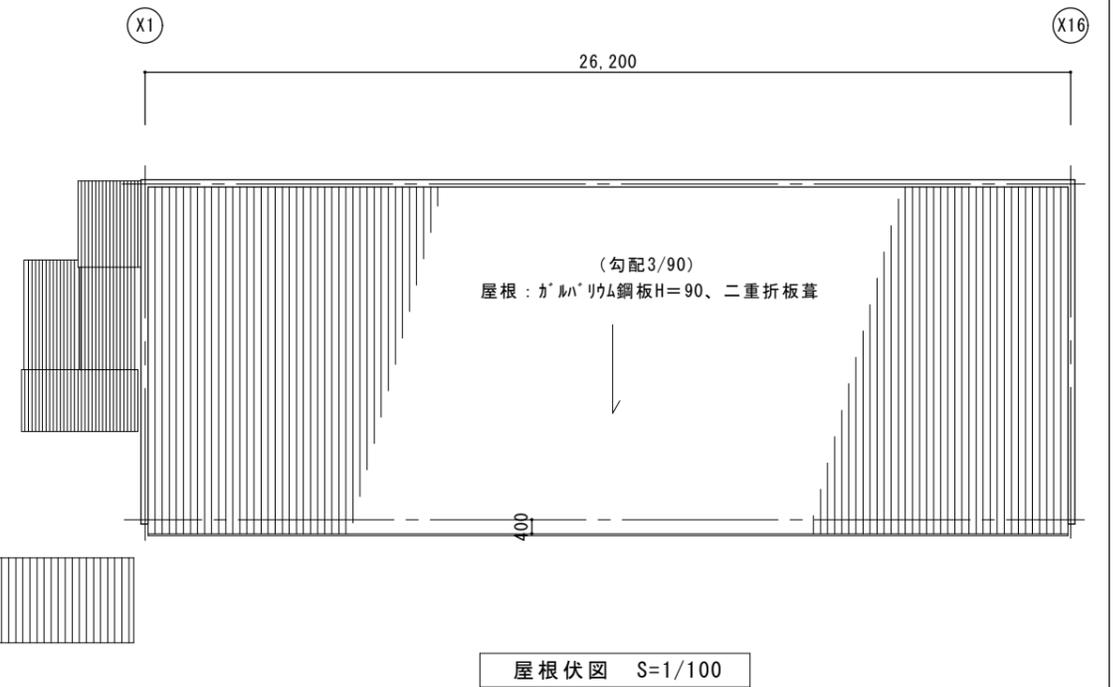
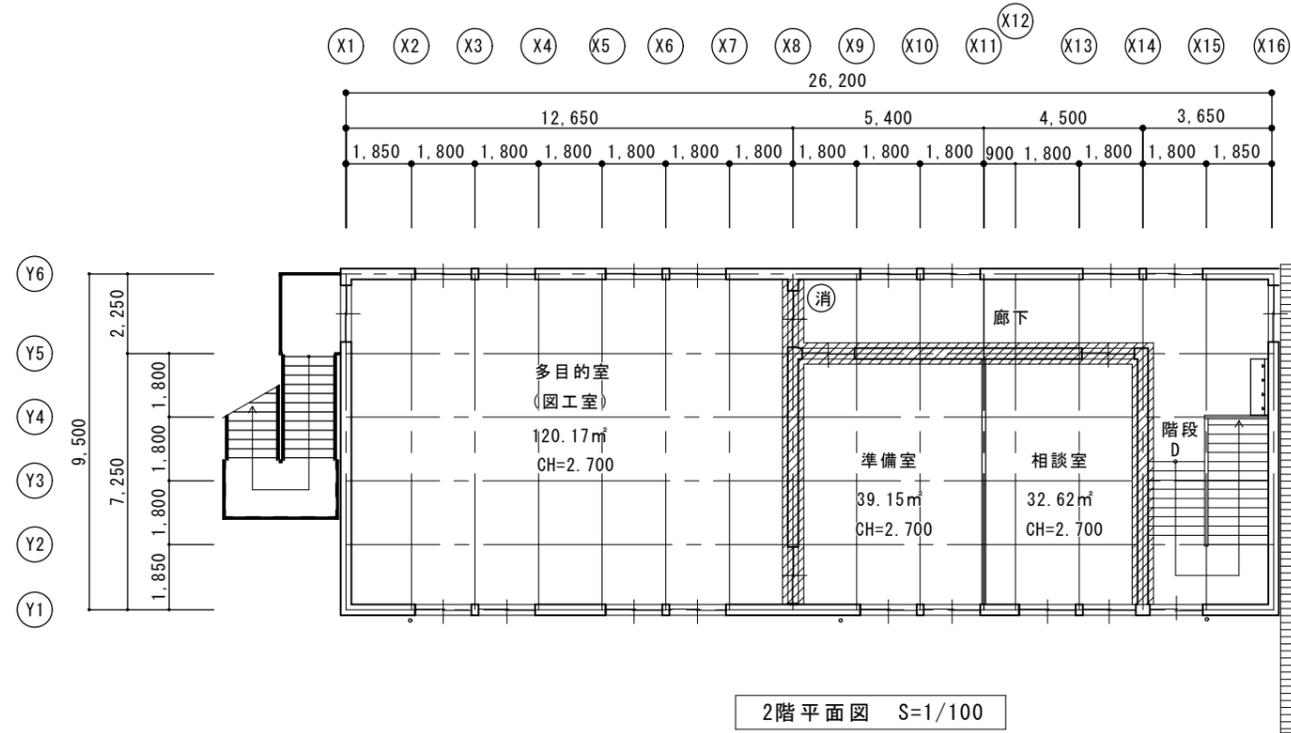
床面積 (建築面積共)
 ① 10,550 x 2,000
 ② 2,000 x 14,300
 49.70

渡り廊下求積図 S=1:200



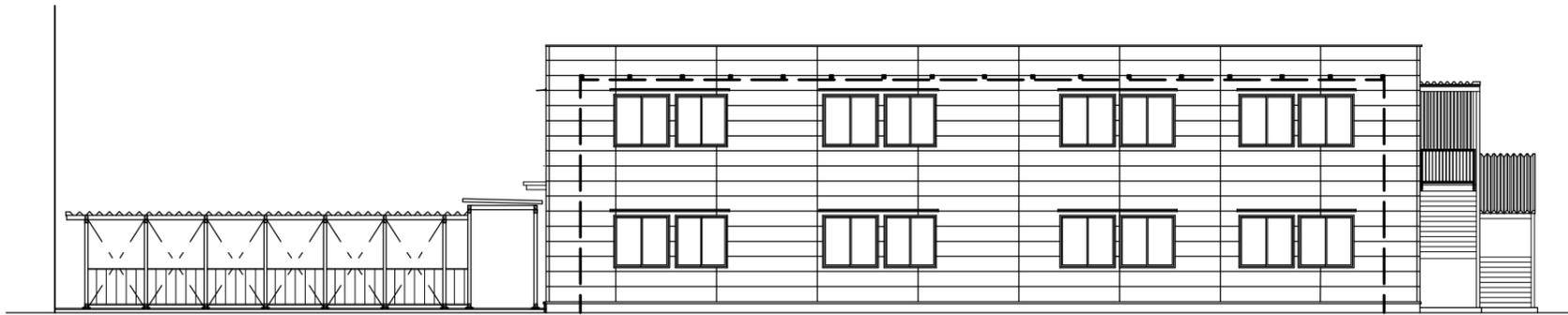
敷地求積図 S=1:300

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	13.151	1.238	16.280938	8.140469
2	36.469	12.285	448.021665	224.010832
3	68.712	18.482	1,269.935184	634.967592
4	80.175	36.403	2,918.610525	1,459.305263
5	80.175	17.610	1,411.881750	705.940875
6	41.604	2.665	110.874660	55.437330
7	17.124	1.175	20.120700	10.060350
8	12.914	1.509	19.487226	9.743613
9	11.589	5.642	65.385138	32.692569
10	71.026	8.877	630.497802	315.248901
11	79.341	62.227	4,937.152407	2,468.576204
12	72.978	9.920	723.941760	361.970880
13	79.341	15.601	1,237.798941	618.899471
14	30.905	13.826	427.292530	213.646265
15	76.720	12.406	951.788320	475.894160
16	13.717	3.765	51.644505	25.822253
17	49.302	6.837	337.077774	168.538887
18	63.829	2.625	167.551125	83.775563
19	13.301	1.247	16.586347	8.293173
20	62.736	21.859	1,371.346224	685.673112
21	25.509	2.825	72.062925	36.031463
22	58.487	5.031	294.248097	147.124048
23	18.787	4.773	89.670351	44.835175
24	10.699	1.823	19.504277	9.752139
合計				8,804.380587
敷地面積				8,804.38㎡

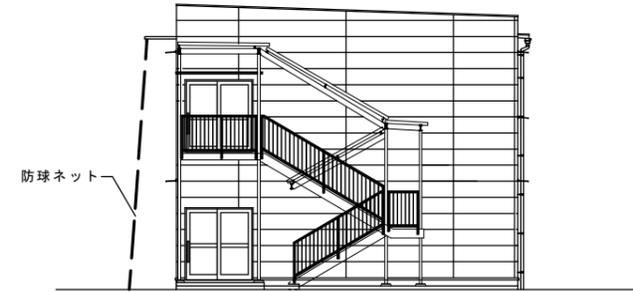


- 凡例
- 防火上主要な間仕切りを示す
 - 消火器
 - 増築建物に延焼線は発生しない

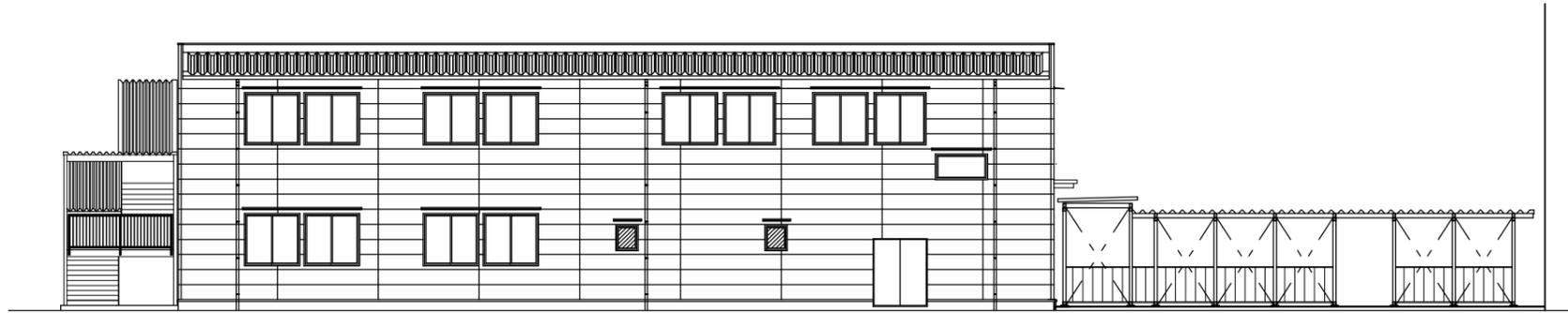
横浜市教育委員会事務局		工事名	藤原小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面名称	平面図・屋根伏図
設計者		図面番号	階層	図面枚数	図面番号
有限会社宮本建築設計事務所 一級建築士 建築大監登録第21054号 宮本真澄					A-06



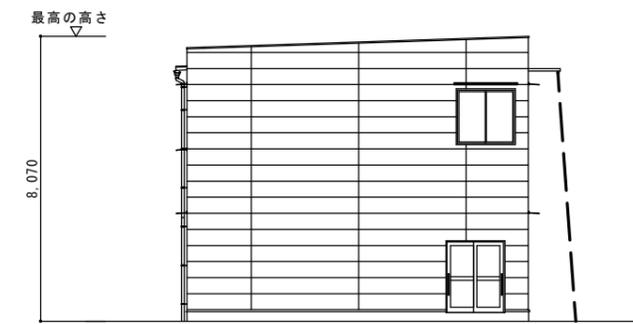
北側立面図 S=1:100



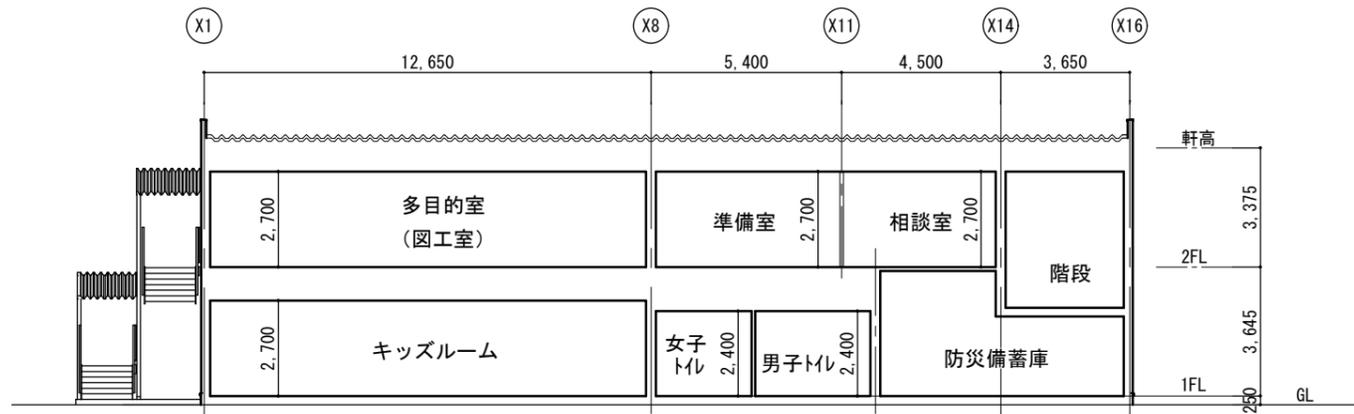
西側立面図 S=1:100



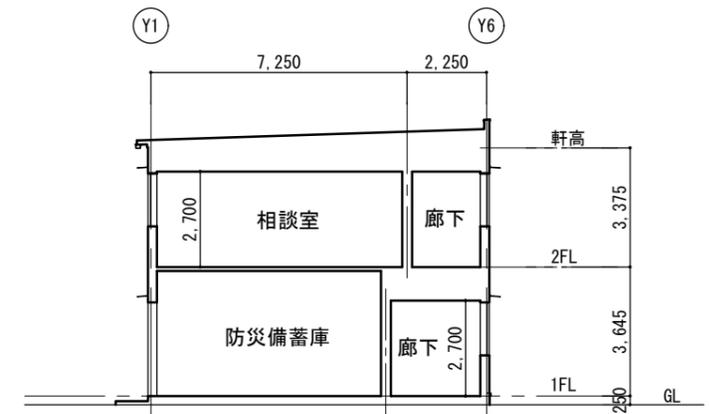
南側立面図 S=1:100



東側立面図 S=1:100

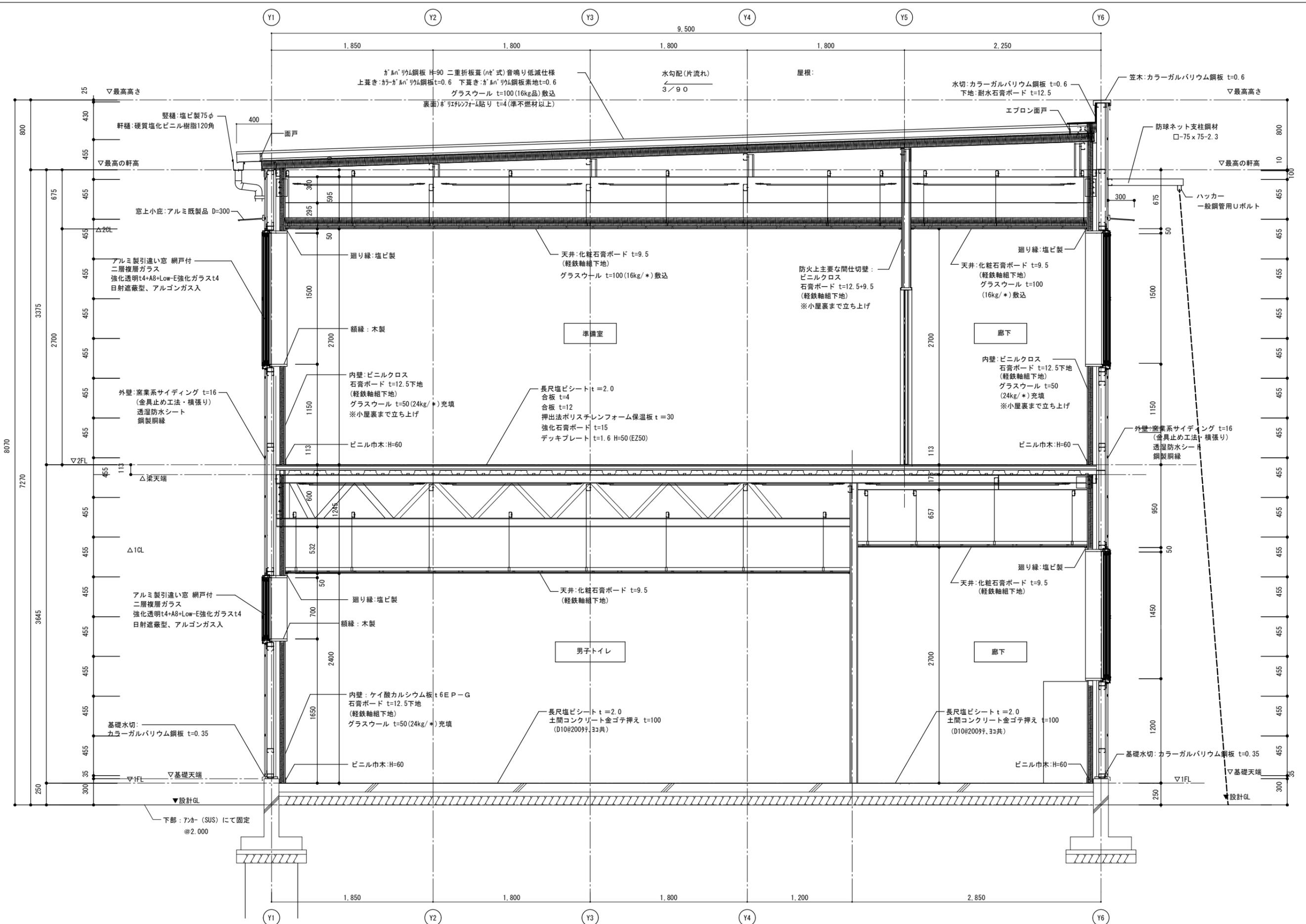


断面図 1 S=1:100



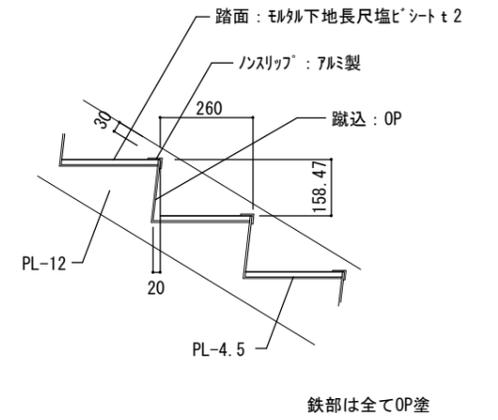
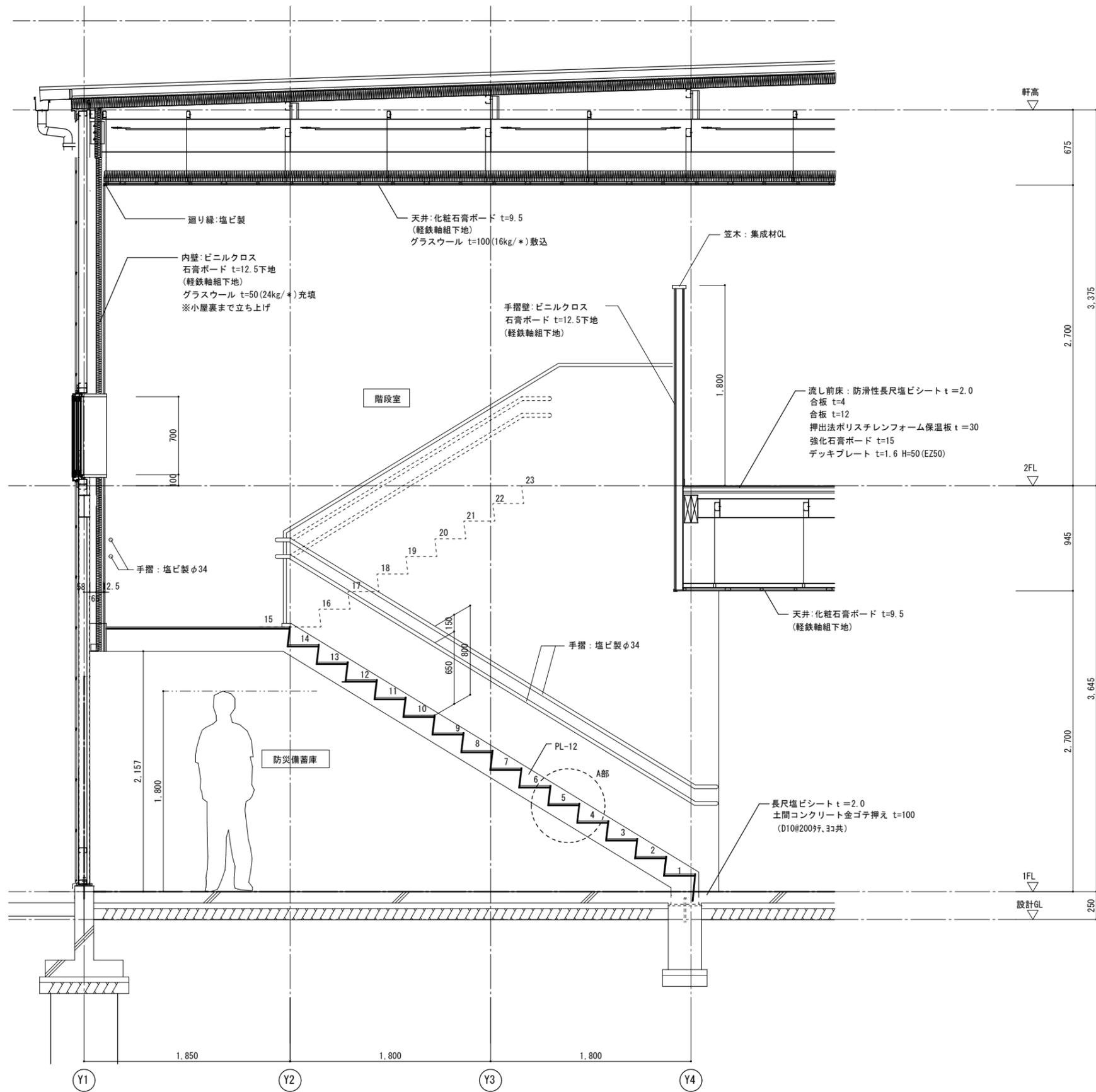
断面図 2 S=1:100

横浜市教育委員会事務局		工事名	横浜小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/100	図面名称	立面図・断面図
			A3:1/200	図面番号	
設計者		図面番号	棟番号	室番号	図面枚数
有限会社宮本建築設計事務所					
〒220-0801 横浜市中区新港1-10-10 宮本ビル					A-07



矩計図 S=1/20

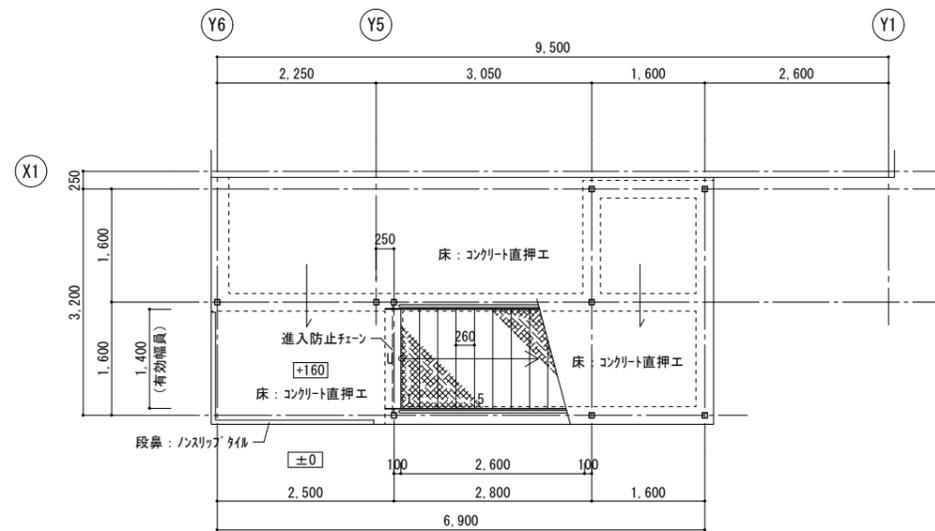
横浜市教育委員会事務局		工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事			
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/20	A3:1/40	図面名称	矩計図
設計者			図面番号	備考	変更	訂正
有限会社宮本建築設計事務所			図面番号			
一級建築士 建築大抵書登録第21045号 宮本昌隆			図面番号			A-08



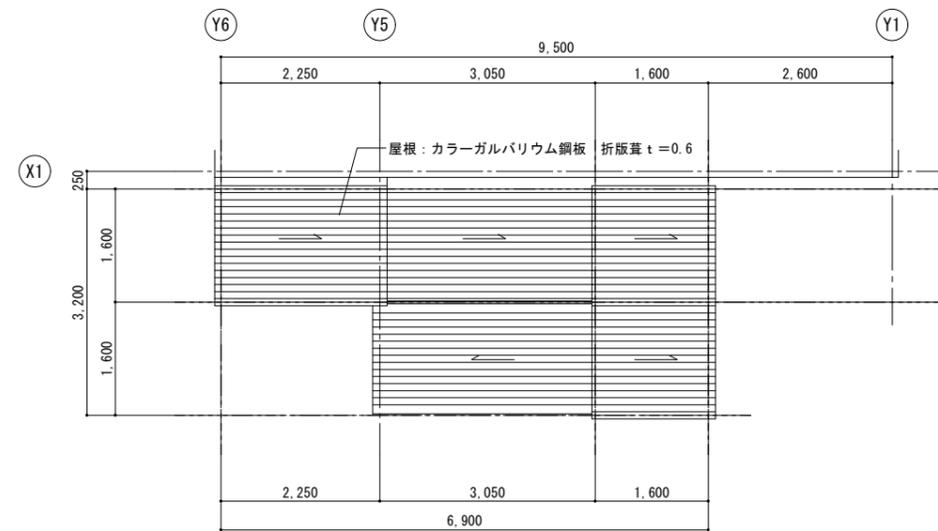
A部分詳細図 S=1/10

内部階段 断面詳細図 S=1/20

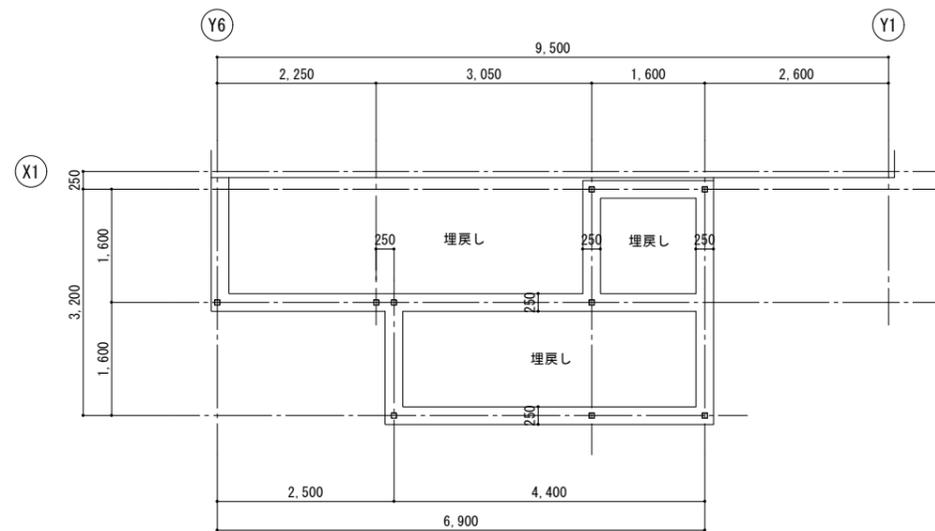
横浜市教育委員会事務局		工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/25 A3:1/50	図面名称	内部階段断面詳細図
設計者		図面番号	備考	変更	訂正
有限会社宮本建築設計事務所 一級建築士 建築大監登録第21045号 宮本真隆		図面番号			A-09



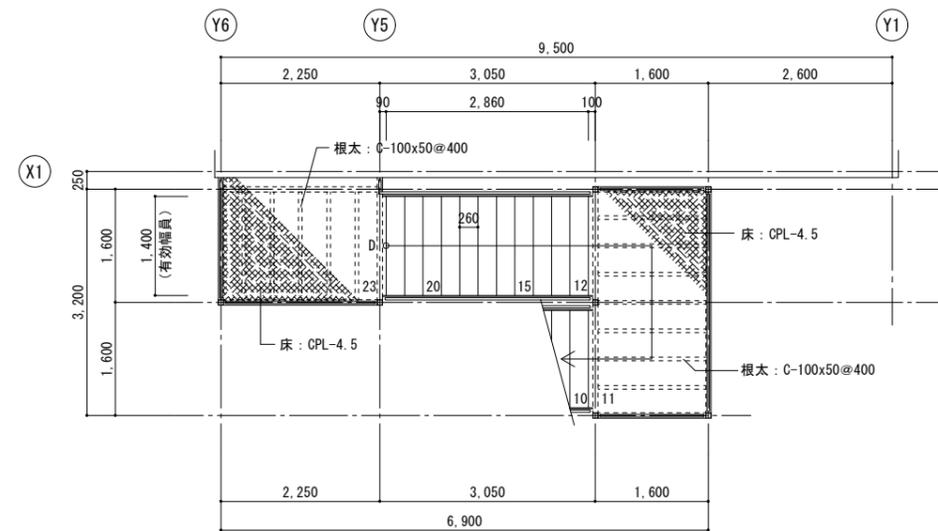
外部階段 1階平面図 S=1:50



外部階段 屋根伏図 S=1:50

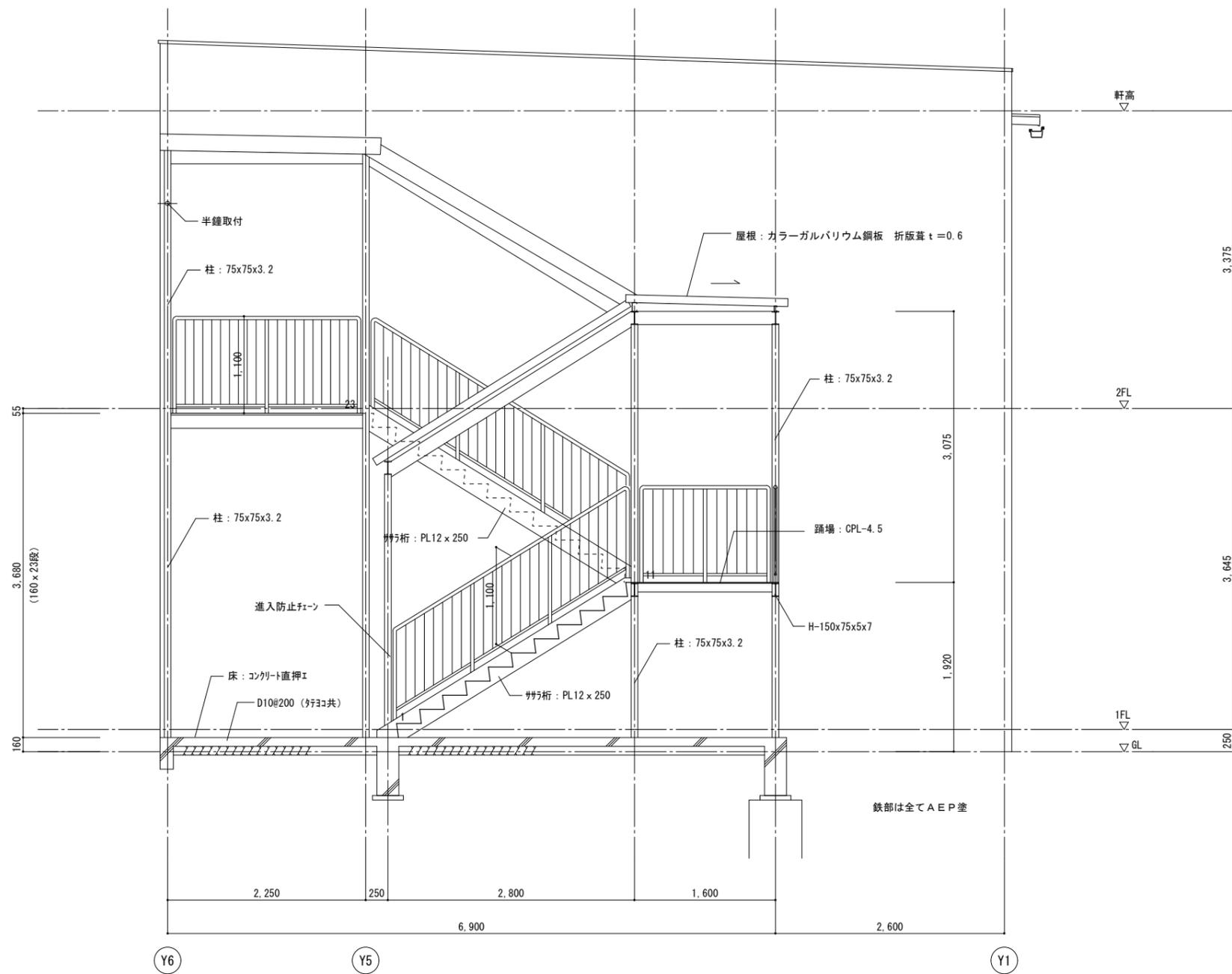


外部階段 基礎伏図 S=1:50

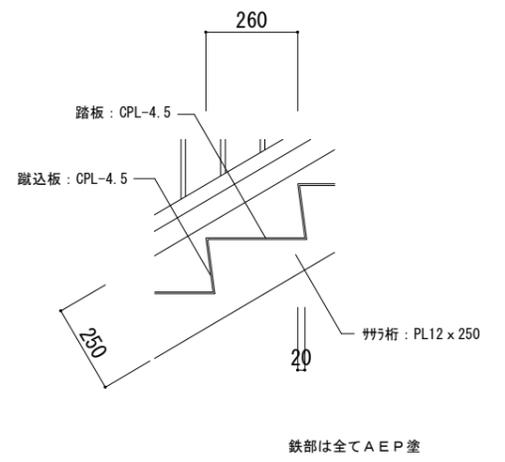


外部階段 2階平面図 S=1:50

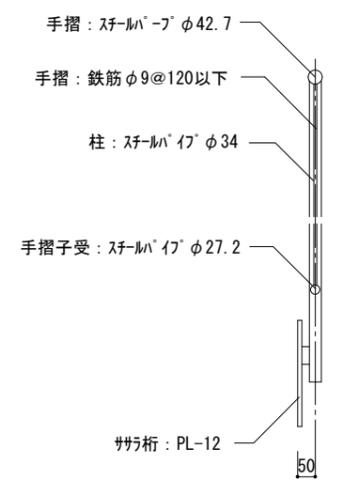
横浜市教育委員会事務局		工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面名称	外部階段詳細図(1)
設計者		図面番号	作成	確認	図面番号
有限会社宮本建築設計事務所 一級建築士 建築大監査員27045号 宮本真樹					A-10



階段断面詳細図 S=1:30

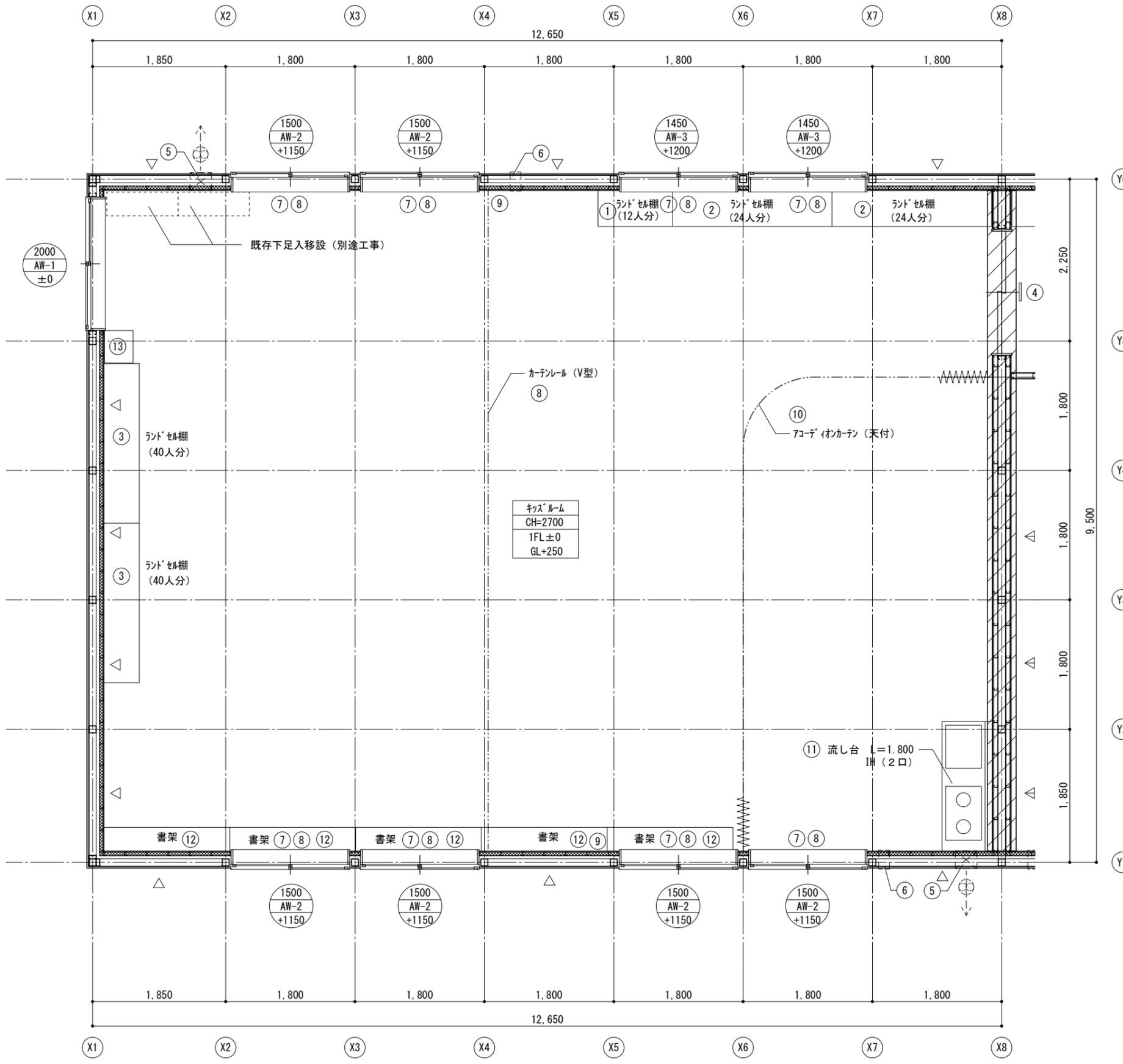


A部分詳細図 S=1:10



A部分詳細図 S=1:10

横浜市教育委員会事務局		工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事			
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/30 A3:1/60	図面名称	外部階段詳細図(2)	
設計者			図面番号	縮尺	作成	図面番号
有限会社宮本建築設計事務所 一級建築士 建築大監 藤原 27045号 宮本 真						A-11



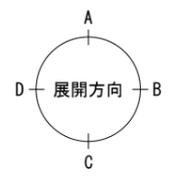
キッズルーム
CH=2700
1FL±0
GL+250

キッズルーム

備品リスト					工事区分			
No	備品	数	W	D	H	備考	工事	教育
①	木製ランドセルロッカー	1	1,040	500	1,162	1列×3段	○	
②	木製ランドセルロッカー	2	2,220	500	1,162	2列×3段	○	
③	木製ランドセルロッカー	2	2,220	500	2,670	2列×7段	○	
④	室名札	1					○	
⑤	換気扇枠	2					○	
⑥	換気口 (VOC用)	2					○	
⑦	カーテンレール		シングル				○	
⑧	カーテン						○	
⑨	扇風機 (壁付)	2					○	
⑩	フューデーションカーテン	1					○	
⑪	調理台	1					○	
⑫	書架	5	1,750	330	1,100	G-352	○	
⑬	掃除用具入	1	600	400	1,700		○	
	その他現況備品							

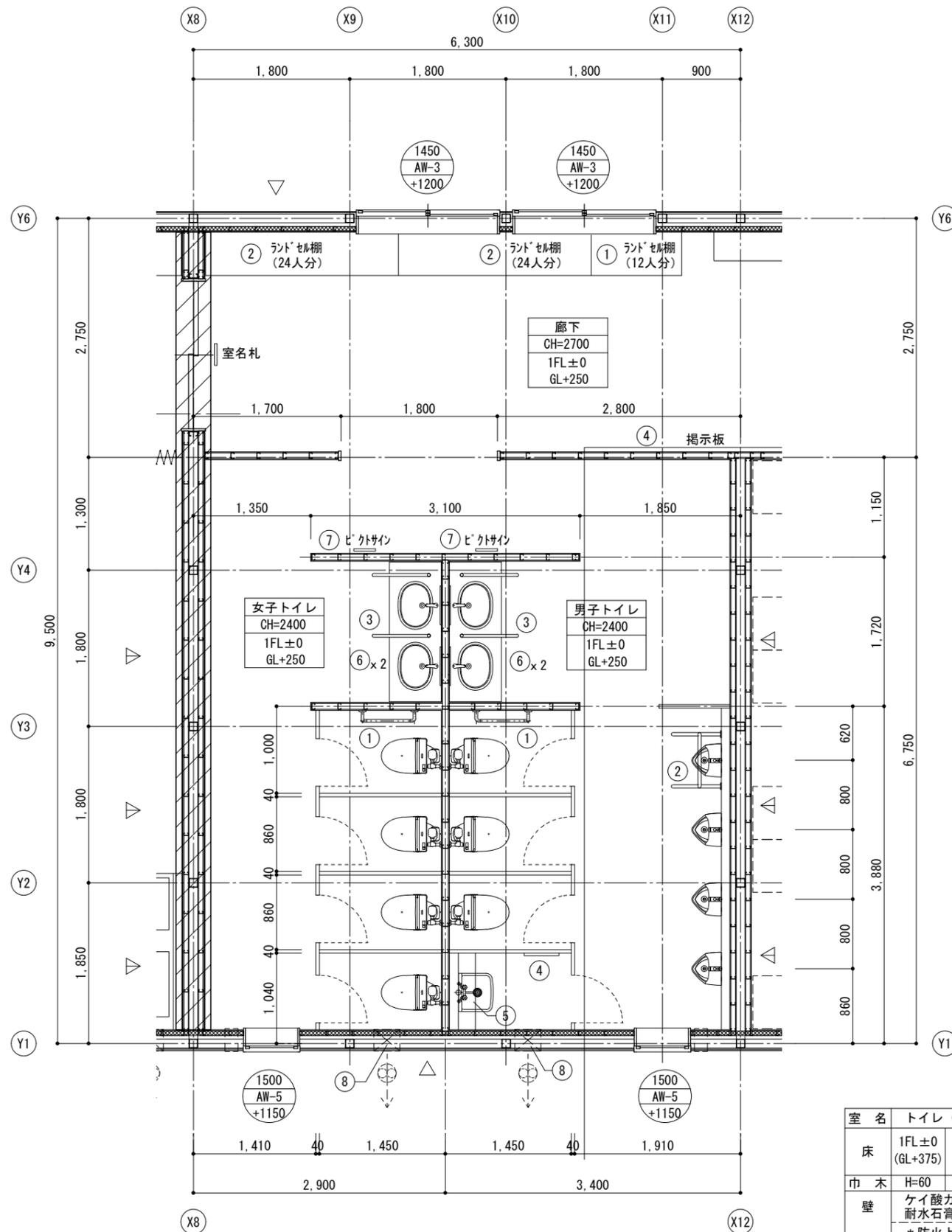
室名	キッズルーム
床	1FL±0 長尺塩ビシートt=2.8 (GL+250) 下地) 土間コンクリート金コテ
巾木	H=60 ビニル巾木
壁	ビニルクロス貼り+石膏ボードt=12.5 下地) LGS *防火上主要な間仕切壁 ビニルクロス貼り+石膏ボードt=12.5+9.5 下地) LGS
天井	3000 化粧石膏ボードt=9.5 下地) 鉄骨
廻り縁	塩ビ製
備考	外壁廻り: グラスウールt=50 備品別表参照

凡例	
イ 口 ハ	イ 開口H寸法 口 開口記号 ハ 1FLヨリノ開口下端高サ
▲	: 壁ブレース (M16) を示す
△	: 壁ブレース (M22) を示す
▲	: 壁ブレース (M24) を示す
GW	t=50 16kg/m3
LGS	□ 45x65 @ 303 (二重貼部分@450) □ 45x50 @ 303 (二重貼部分@450)



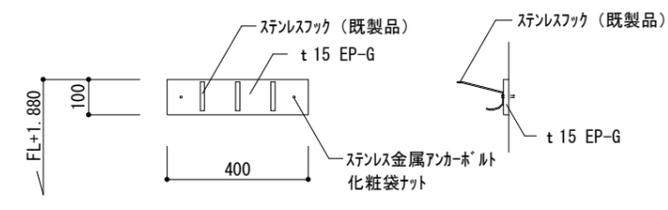
キッズルーム 平面詳細図 S=1/30

- * ▲ は、柱ブレース位置を示す。
- * 1FL = GL + 250
- * 法114条2項による防火上主要な間仕切り壁を示す。

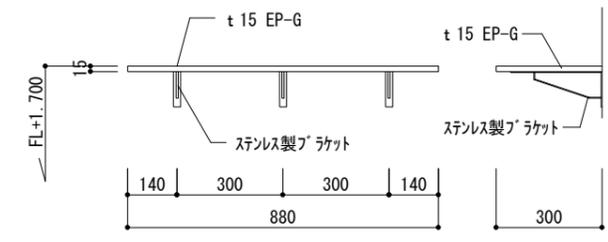


トイレ 平面詳細図 S=1/30

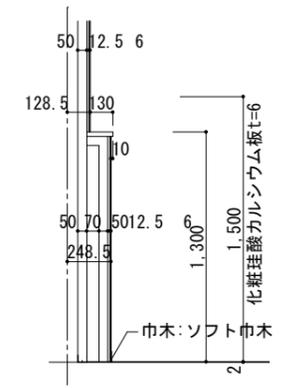
室名	トイレ (1F)	
床	1FL±0 (GL+375)	長尺塩ビシートt=2.0 下地) 土間コンクリート金コテ
巾木	H=60	ビニル巾木
壁	ケイ酸カルシウム板t=6EP-G 耐水石膏ボードt=12.5下地) LGS *防火上主要な間仕切壁 ビニルクロス貼り+石膏ボードt=12.5+9.5 下地) LGS	
天井	2400	化粧石膏ボードt=9.5 下地) 鉄骨
廻り縁	塩ビ製	
備考	外壁廻り: グラスウールt=50 備品別表参照	



モップ掛けフック詳細図 S=1/10



棚 詳細図 S=1/10



ライニング詳細図 S=1/20

廊下 (A-14図共通)

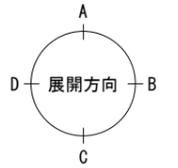
備品リスト						工事区分		
No	備品	数	W	D	H	備考	工事	教育
①	木製ランドセルロッカー	1	1,040	500	1,162	1列×3段	○	
②	木製ランドセルロッカー	2	2,220	500	1,162	2列×3段	○	
③	下足入れ	6	1,480	330	1,055	渡り廊下含む	○	
④	掲示板	1	4,500	1,000			○	

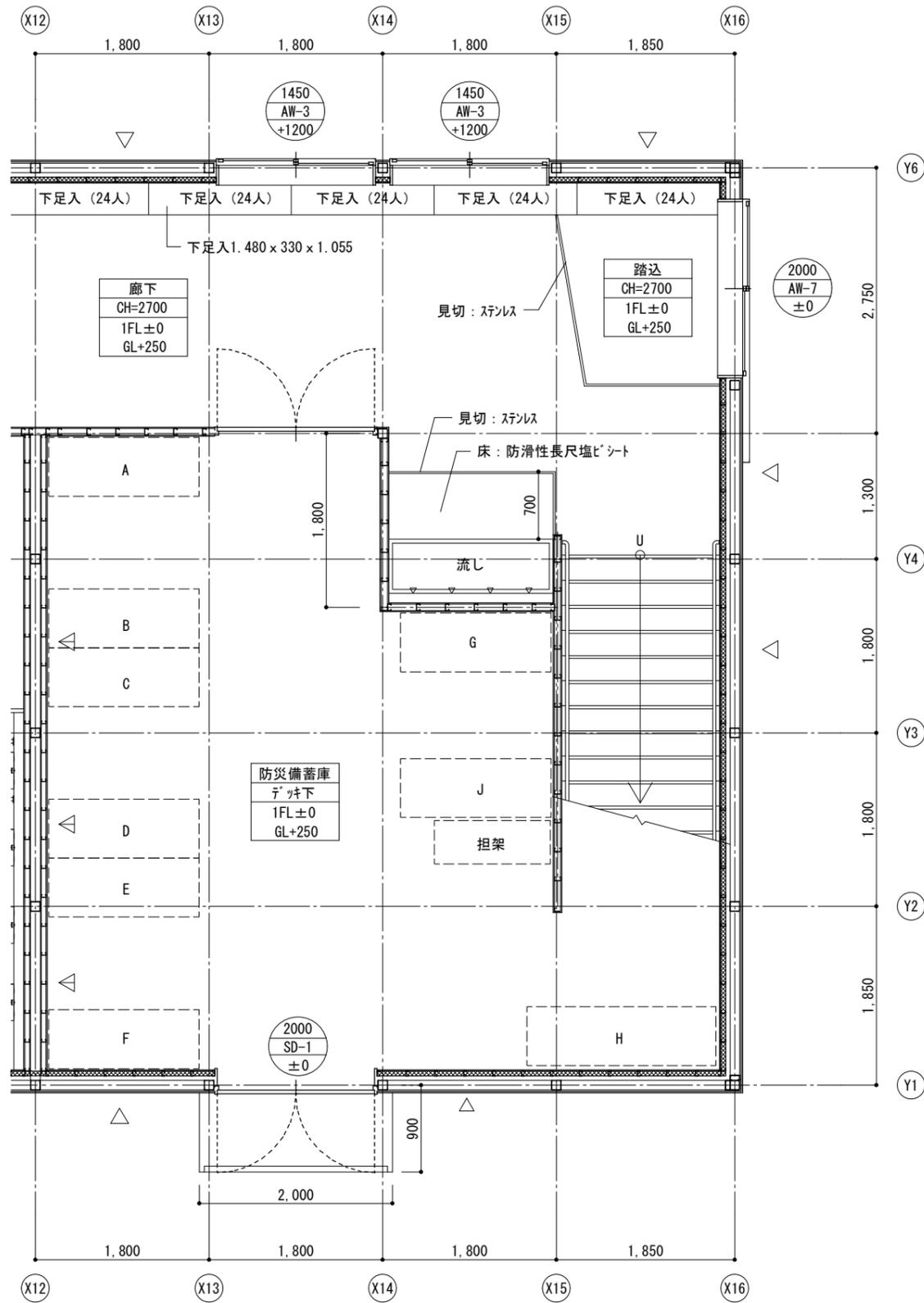
男子トイレ・女子トイレ

備品リスト						工事区分		
No	備品	数	W	D	H	備考	工事	教育
①	大便器用手すり	2	ステンレス製			I-212A	○	
②	小便器用手すり	1	ステンレス製			I-212B	○	
③	洗面カウンター用手すり	2	ステンレス製			I-213C	○	
④	モップ掛けフック	1				図示による	○	
⑤	棚	1	450×800			図示による	○	
⑥	鏡	4				既製品	○	
⑦	ピクトサイン	2	平付けタイプ				○	
⑧	換気扇枠	1					○	

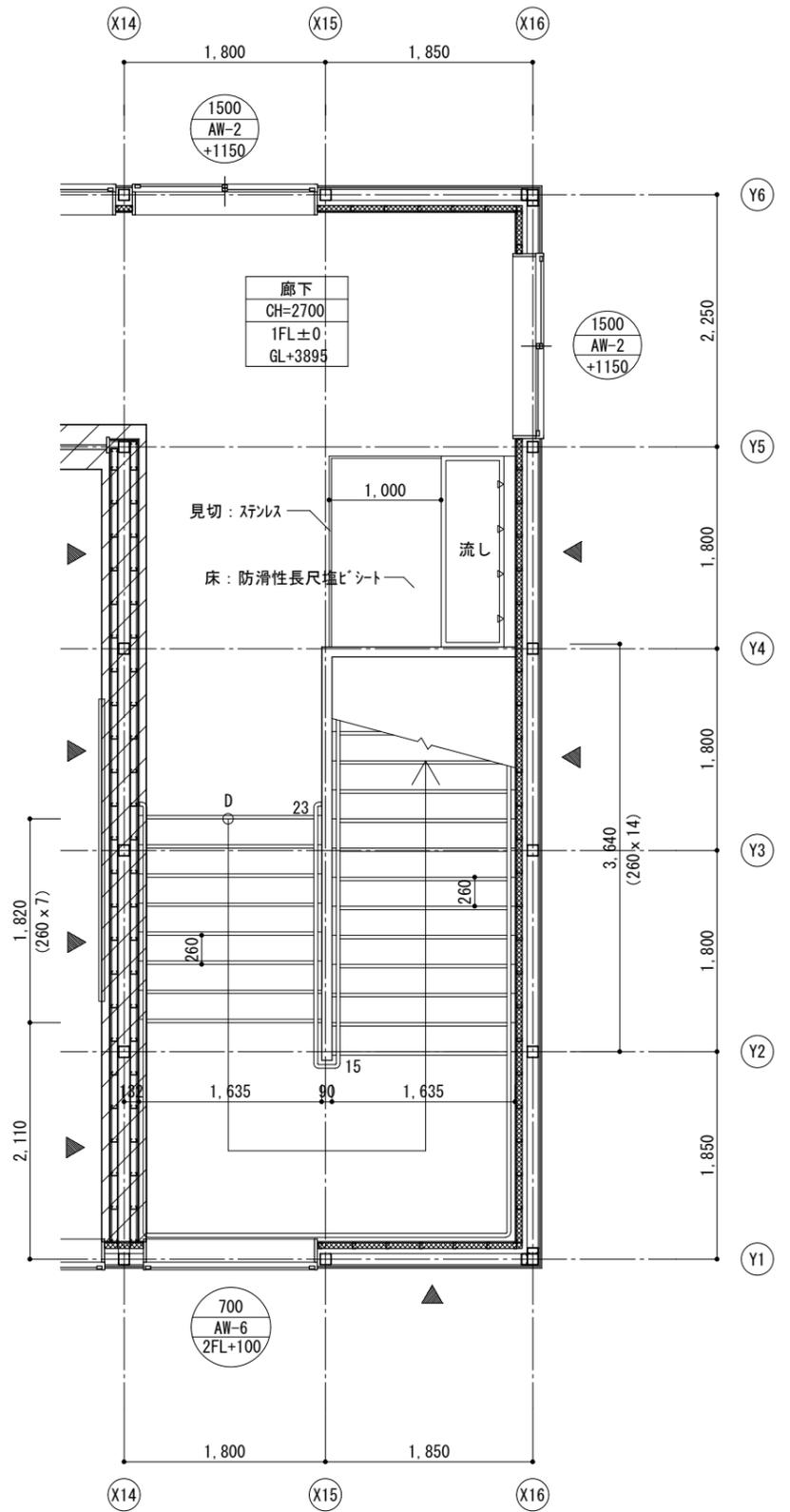
凡例

イ	開口H寸法
ロ	開口記号
ハ	1FLヨリノ開口下端高さ
▲	: 壁ブレース (M16) を示す
△	: 壁ブレース (M22) を示す
▲	: 壁ブレース (M24) を示す
GW	t=50 16kg/m3
LGS	□ 45x65 @303 (二重貼部分@450) □ 45x50 @303 (二重貼部分@450)





防災備蓄庫・1階階段 平面詳細図 S=1/30



2階階段 平面詳細図 S=1/30

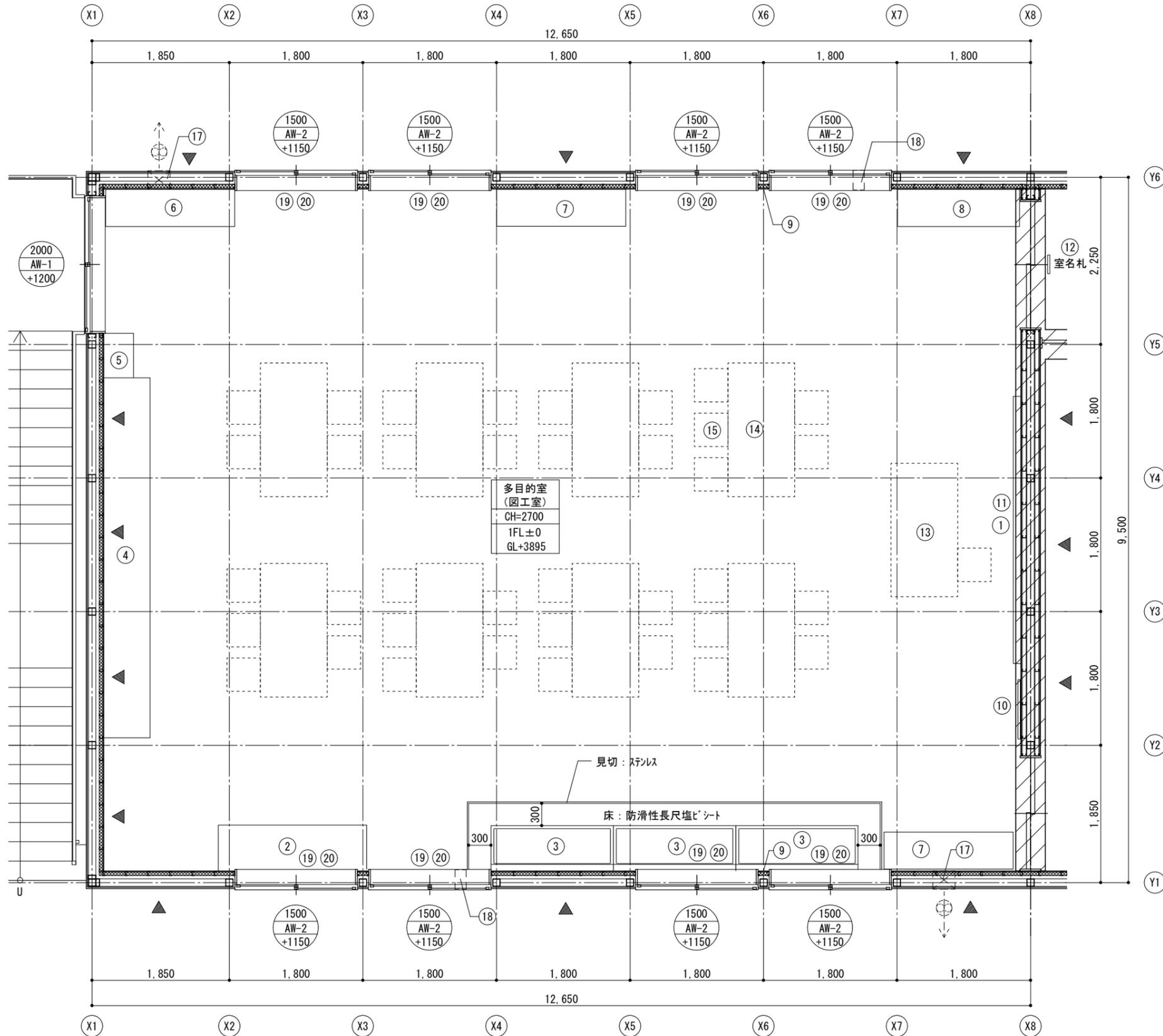
室名	階段 (1, 2F)
床	長尺塩ビシートt=2.0 一部: 防滑性長尺塩ビシート t 2.0 下地) モルタルt=30
巾木	サワ現わし SOP
壁	ビニールクロス貼り+石膏ボードt=12.5 下地) LGS * 防火上主要な間仕切壁 ビニールクロス貼り+石膏ボードt=12.5+9.5 下地) LGS
天井	化粧石膏ボードt=9.5 下地) 鉄骨
廻り縁	塩ビ製
備考	外壁廻り: グラスウールt=50 備品別表参照

室名	防災備蓄庫
床	コンクリート直押工
巾木	
壁	石膏ボードt=12.5 下地) LGS
天井	
廻り縁	
備考	

凡例	
イ	イ 開口H寸法
口	口 開口記号
ハ	ハ 1FLよりノ開口下端高サ
▲	: 壁ブレース (M16) を示す
△	: 壁ブレース (M22) を示す
▲	: 壁ブレース (M24) を示す
GW	GW t=50 16kg/m ³
LGS	□ 45x65 @303 (二重貼部分@450) □ 45x50 @303 (二重貼部分@450)

防災備蓄庫

備品リスト					工事区分		備品リスト					工事区分						
No	備品	数	W	D	H	備考	工事	教育	No	備品	数	W	D	H	備考	工事	教育	
A	防災用棚	1	1.560	×	610	×	2.100		F	防災用棚	1	1.560	×	610	×	2.100		○
B	防災用棚	1	1.560	×	610	×	2.100		G	防災用棚	1	1.560	×	610	×	2.100		○
C	防災用棚	1	1.560	×	610	×	2.100		H	防災用棚	1	1.820	×	610	×	2.100		○
D	防災用棚	1	1.560	×	610	×	2.100		J	防災用棚	1	1.560	×	610	×	2.100		○
E	防災用棚	1	1.560	×	610	×	2.100			担架保管庫	1	1.200	×	450	×	1.830		○



多目的室 (図工室) 平面詳細図 S=1/30

- * ▲ は、柱ブレース位置を示す。
- * 1FL=GL+250
- * 法114条2項による防火上主要な間仕切り壁を示す。

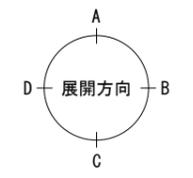
図工室

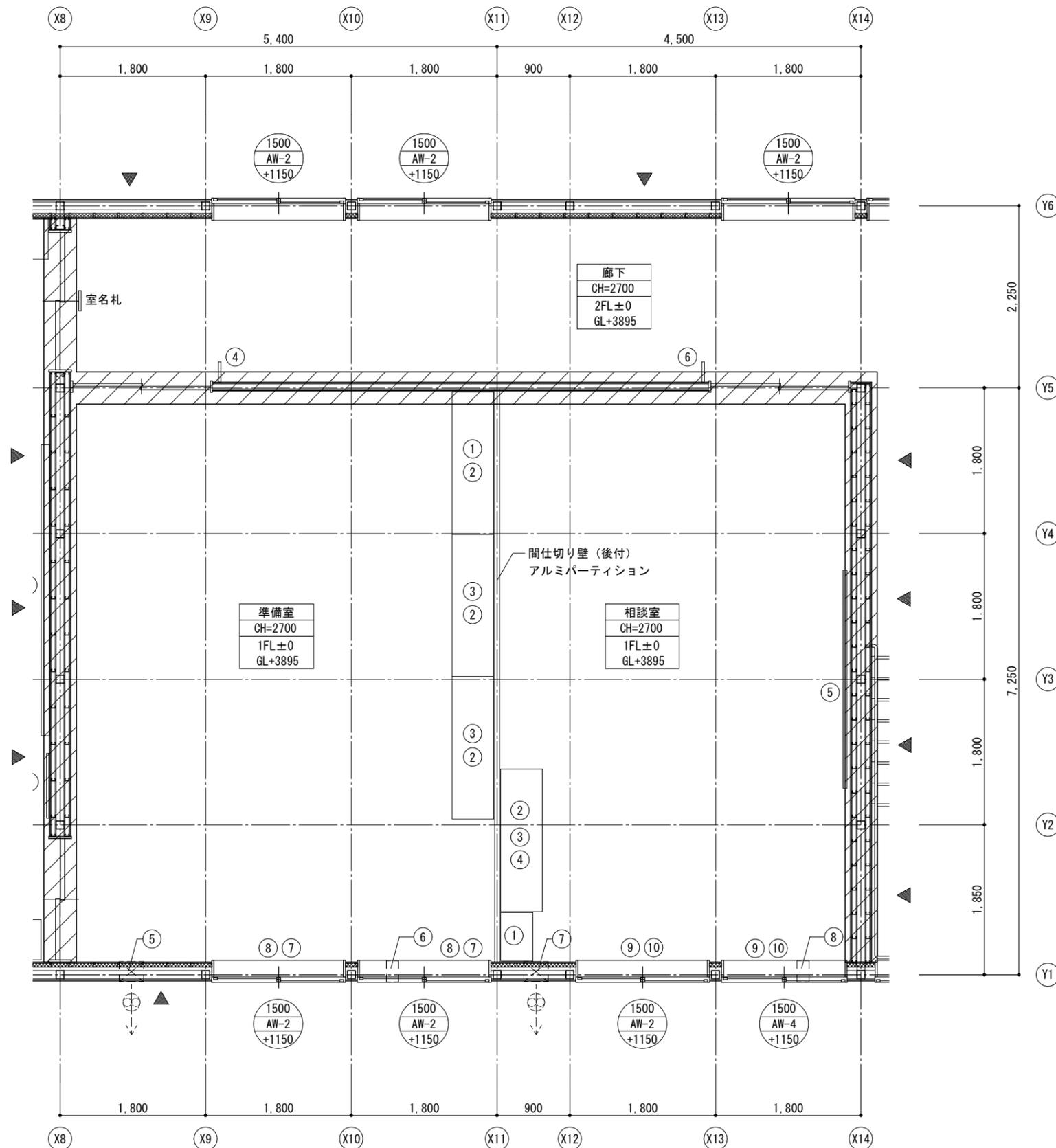
		備品リスト				工事区分			
No	備品	数	W	D	H	備考	工事	教育	
1	黒板	1	3,600	×	1,200	G-610	○		
2	窓下作業台	1	2,000	×	625	×	670	G-483A	○
3	一槽流し	3	1,650	×	610	×	570	G-132A 水×3	○
4	作業台	1	4,850	×	625	×	670	G-482	○
5	掃除用具入	1	600	×	400	×	1,700	G-280	○
6	ショーケース	1	1,740	×	500	×	2,040	G-331	○
7	展示棚	2	1,740	×	500	×	2,040	G-320B	○
8	収納戸棚	1	1,645	×	500	×	2,040	G-315A	○
9	ステンスフック	2	9φ				I-208C	○	
10	姿見	1	800	×	1,525		G-830A	○	
11	ビッチャーレール	1					I-209A	○	
12	室名札	1						○	
13	教師用木工台						別途		
14	児童用木工台						別途		
15	木製角椅子						別途		
16	チリ箱	2	図示表記なし			K-104		○	
17	換気扇枠	2						○	
18	換気口 (VOC用)	2						○	
19	カーテンレール		シングル					○	
20	カーテン							○	

室名	図工室	
床	2FL±0 (GL+3895)	長尺塩ビシートt=2.0 一部: 防滑性長尺塩ビシートt=2.0 下地) 合板 t4
巾木	H=60	ビニル巾木
壁	ビニルクロス貼り+石膏ボードt=12.5 下地) LGS * 防火上主要な間仕切り壁 ビニルクロス貼り+石膏ボードt=12.5+9.5 下地) LGS	
天井	3000	化粧石膏ボードt=9.5 下地) 鉄骨
廻り縁	塩ビ製	
備考	外壁廻り: グラスウールt=50 備品別表参照	

凡例

	イ 開口H寸法 ロ 開口記号 ハ 1FLヨリノ開口下端高サ
▲	: 壁ブレース (M16) を示す
△	: 壁ブレース (M22) を示す
▲	: 壁ブレース (M24) を示す
	GW t=50 16kg/m3
LGS	□ 45x65 @303 (二重貼部分@450) □ 45x50 @303 (二重貼部分@450)





準備室・相談室 平面詳細図 S=1/30

- * ▲ は、柱ブレース位置を示す。
- * 1FL=GL+250
- * 法114条2項による防火上主要な間仕切り壁を示す。

準備室

備品リスト						工事区分		
No	備品	数	W	D	H	備考	工事	教育
①	整理引出キャビネット	1	1,760	× 515	× 980	G-231	○	
②	整理戸棚(上段)	5	1,760	× 515	× 880	G-215B	○	
③	引出付整理戸棚	2	1,760	× 515	× 980	G-230B	○	
④	室名札		持出しタイプ			I-204A	○	
⑤	換気扇枠	2					○	
⑥	換気口(VOC用)	2					○	
⑦	カーテンレール		シングル				○	
⑧	カーテン						○	

相談室

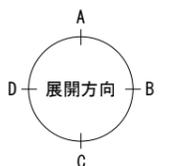
備品リスト						工事区分		
No	備品	数	W	D	H	備考	工事	教育
①	掃除用具入	1	600	× 400	× 1,700	G-280	○	
②	整理戸棚(下段)	1	1,760	× 515	× 1,120	G-213C	○	
③	整理戸棚(上段)	1	1,760	× 400	× 880	G-215A	○	
④	化粧天板	1				G-201B	○	
⑤	ホワイトボード	1	2,700	×	900	G-611D	○	
⑥	室名札	1	持出しタイプ			I-204A	○	
⑦	換気扇枠	2				I-205	○	
⑧	換気口(VOC用)	2					○	
⑨	カーテンレール		シングル				○	
⑩	カーテン						○	

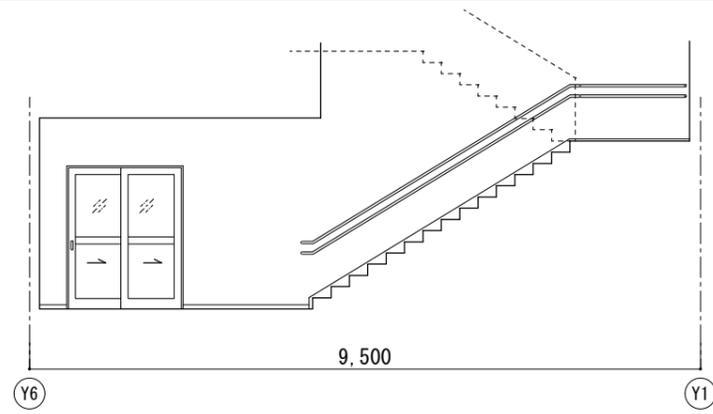
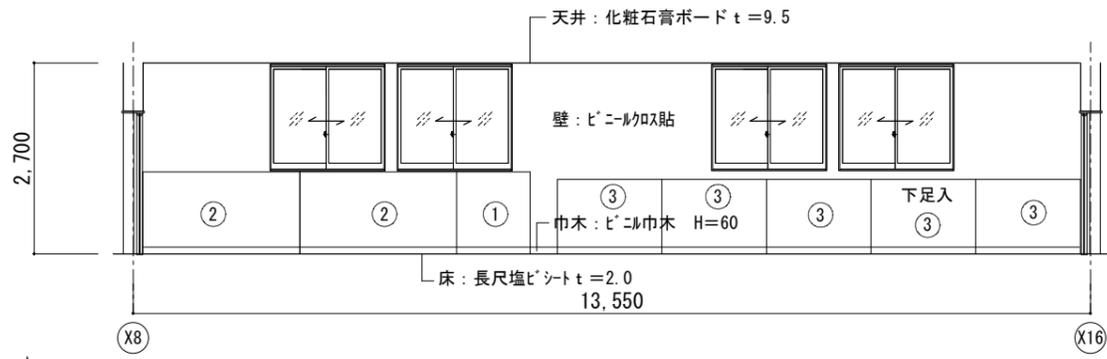
室名	準備室・相談室
床	1FL±0 (GL+375) 長尺塩ビシートt=2.0 下地) 合板 t4
巾木	H=60 ビニル巾木
壁	ビニルクロス貼り+石膏ボードt=12.5 下地) LGS *防火上主要な間仕切り壁 ビニルクロス貼り+石膏ボードt=12.5+9.5 下地) LGS
天井	3000 化粧石膏ボードt=9.5 下地) 鉄骨
廻り縁	塩ビ製
備考	外壁廻り: グラスウールt=50 備品別表参照

凡例

	イ 開口H寸法 ハ 開口記号 ハ 1FLヨリノ開口下端高さ
▲	: 壁ブレース (M16) を示す
△	: 壁ブレース (M22) を示す
▲	: 壁ブレース (M24) を示す
	GW t=50 16kg/m3
LGS	□ 45x65 @303 (二重貼部分@450) □ 45x50 @303 (二重貼部分@450)

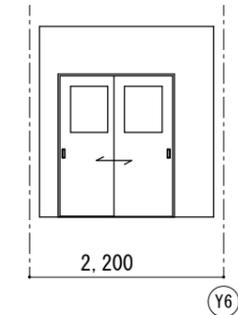
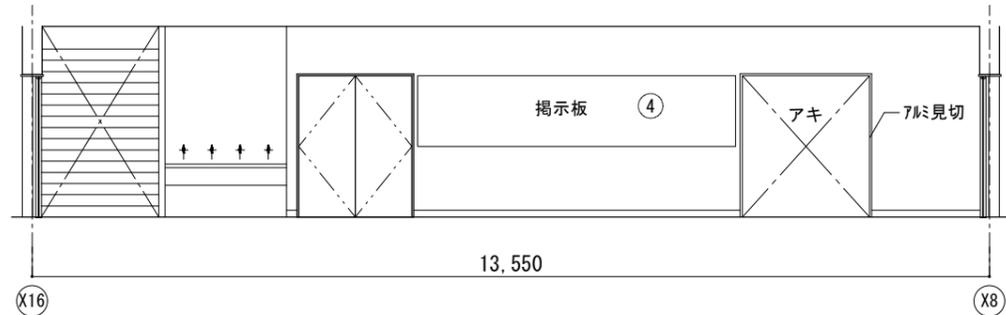
※準備室・相談室間の間仕切りは、将来普通教室とした場合に対応できるように、後付けタイプとする





1階廊下 A

B

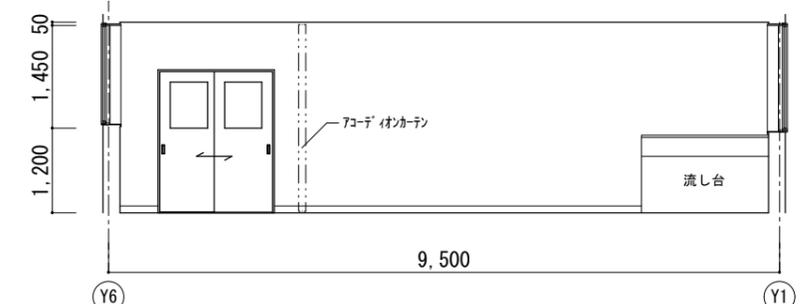
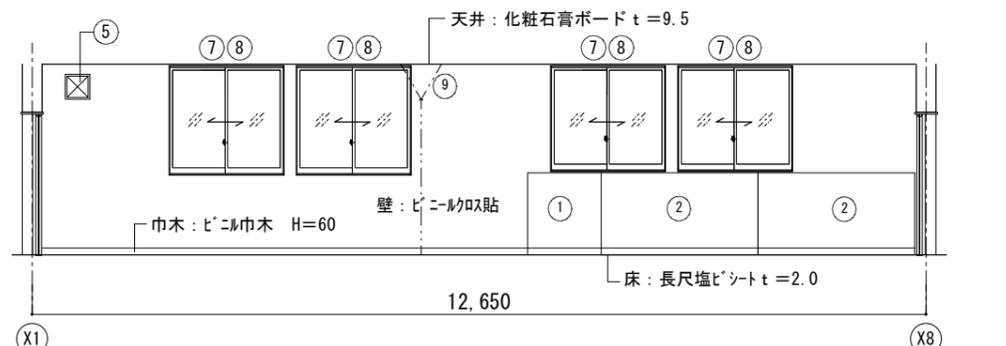


C

D

廊下

No	備品	数	W	D	H	備考	工事区分	
							工事	教育
①	木製ランドセルロッカー	1	1,040	500	1,162	1列×3段	○	
②	木製ランドセルロッカー	2	2,220	500	1,162	2列×3段	○	
③	下足入れ	6	1,480	330	1,055	渡り廊下含む	○	
④	掲示板	1	4,500	1,000			○	

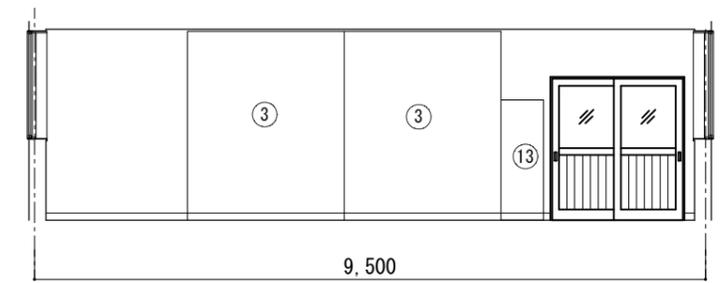
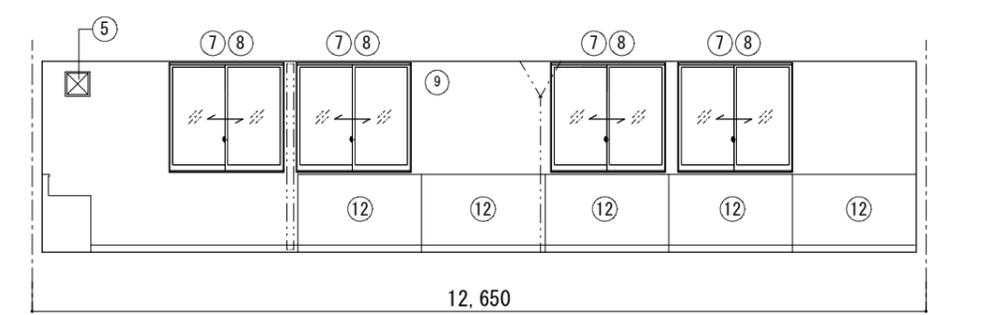


キッズルーム A

B

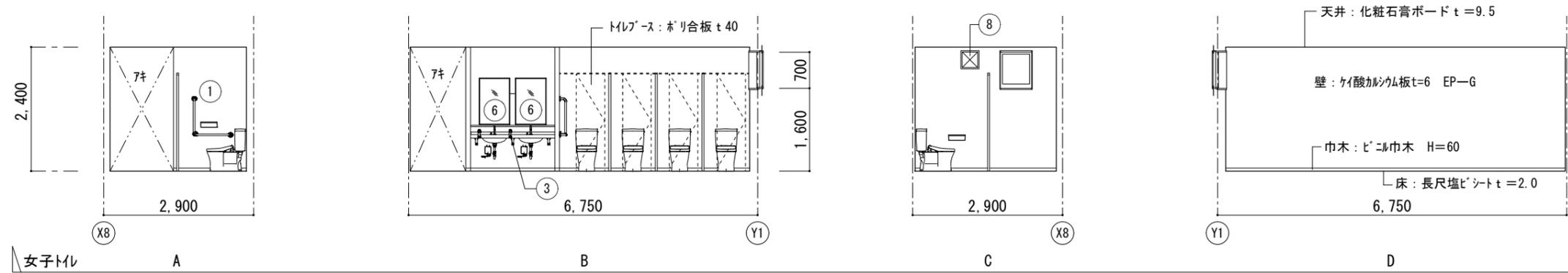
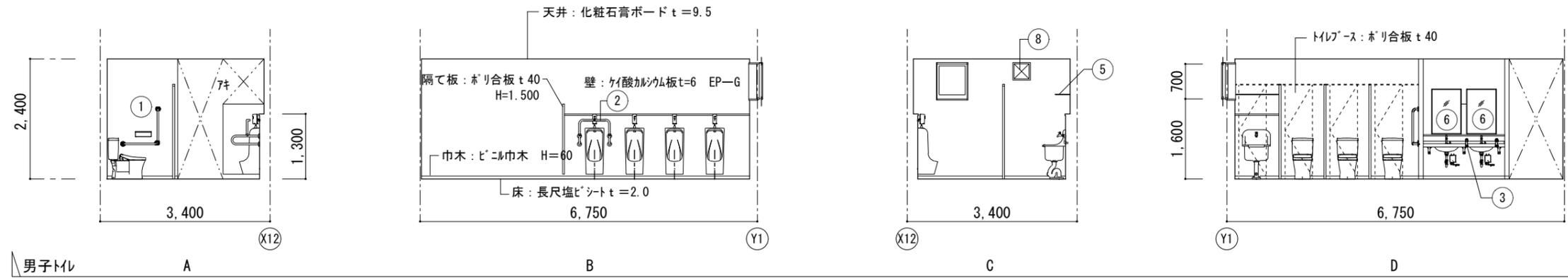
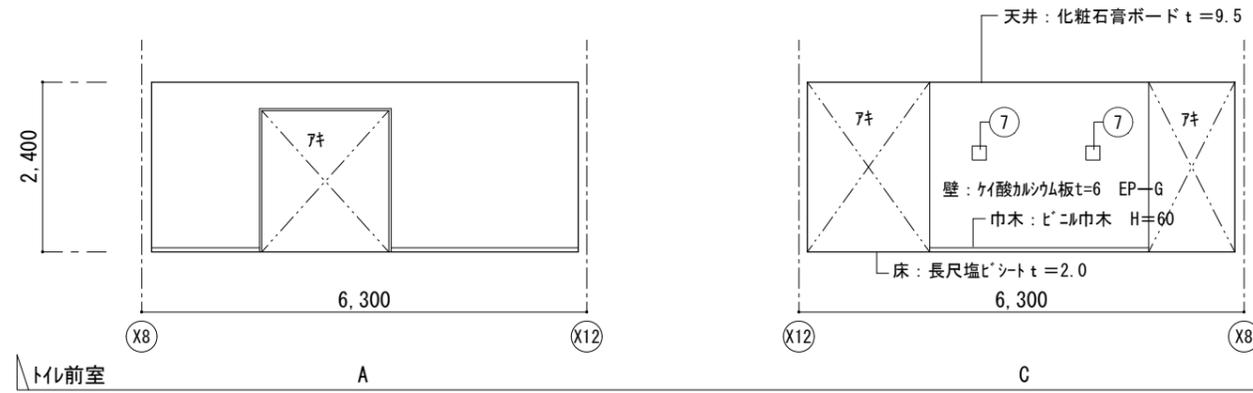
キッズルーム

No	備品	数	W	D	H	備考	工事区分	
							工事	教育
①	木製ランドセルロッカー	1	1,040	500	1,162	1列×3段	○	
②	木製ランドセルロッカー	2	2,220	500	1,162	2列×3段	○	
③	木製ランドセルロッカー	2	2,220	500	2,670	2列×7段	○	
④	室名札	1					○	
⑤	換気扇枠	2					○	
⑥	換気口 (VOC用)	2					○	
⑦	カーテンレール						○	
⑧	カーテン						○	
⑨	扇風機 (壁付)	2					○	
⑩	アコーデイオンカーテン	1					○	
⑪	調理台	1					○	
⑫	書架	5	1,750	330	1,100	G-352	○	
⑬	掃除用具入	1	600	400	1,700		○	
	その他現況備品							



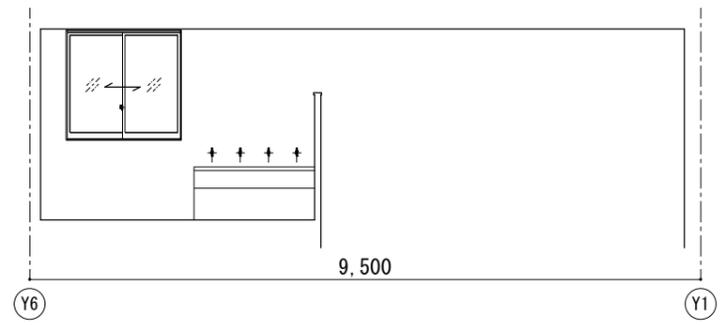
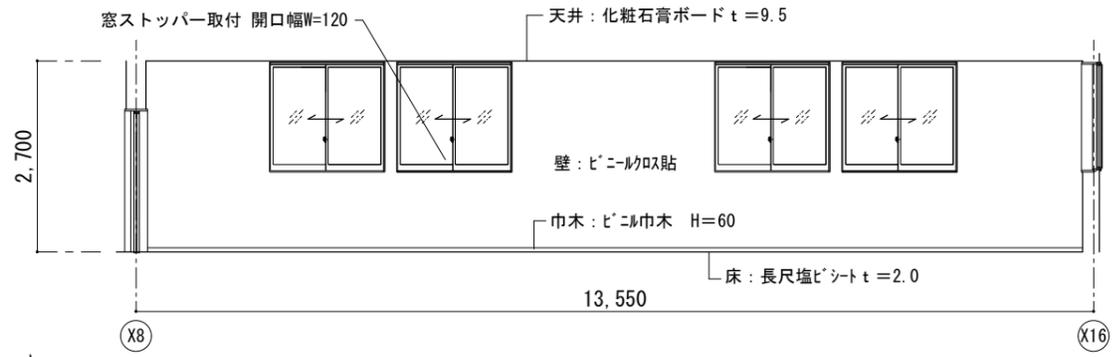
C

D



男子トイレ・女子トイレ

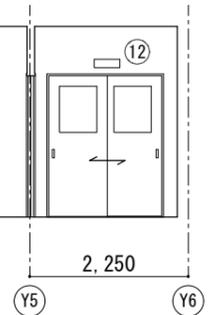
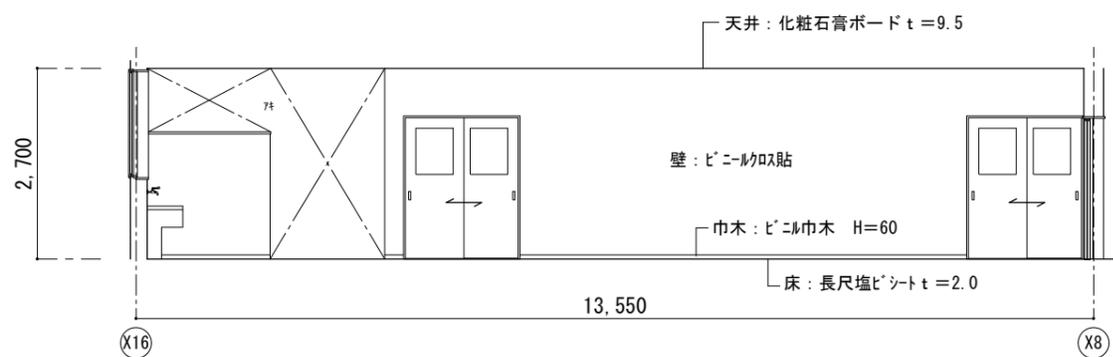
備品リスト					工事区分	
No	備品	数	W D H	備考	工事	教育
①	大便器用手すり	2	ステンレス製	I-212A	○	
②	小便器用手すり	1	ステンレス製	I-212B	○	
③	洗面カウンター用手すり	2	ステンレス製	I-213C	○	
④	モップ掛けフック	1		図示による	○	
⑤	棚	1	450 x 800	図示による	○	
⑥	鏡	4		既製品	○	
⑦	ピクトサイン	2	平付けタイプ		○	
⑧	換気扇枠	1			○	



2階廊下

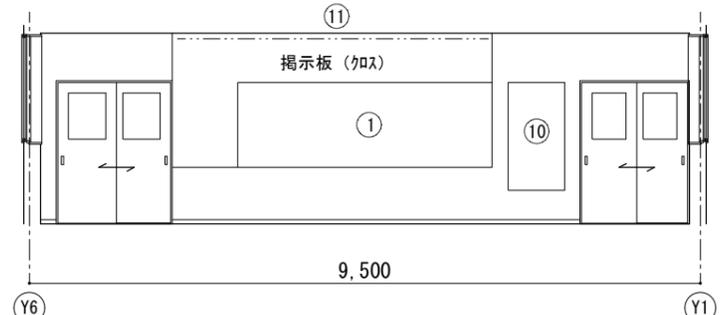
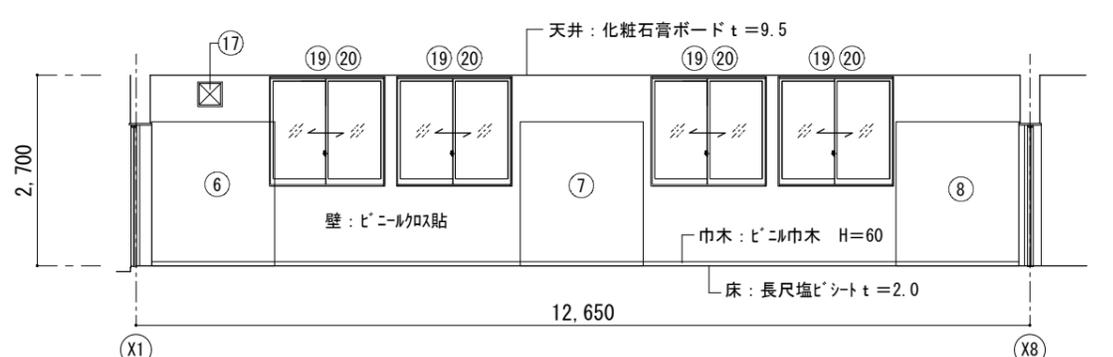
A

B



C

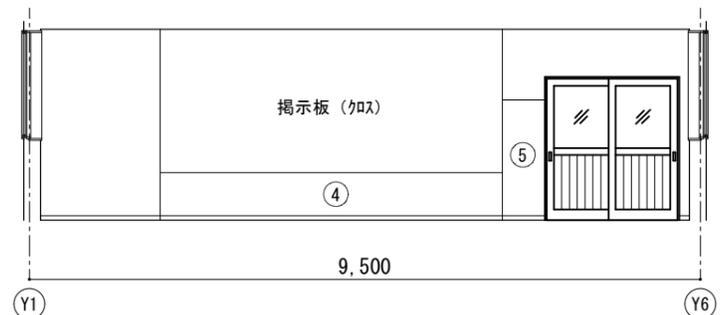
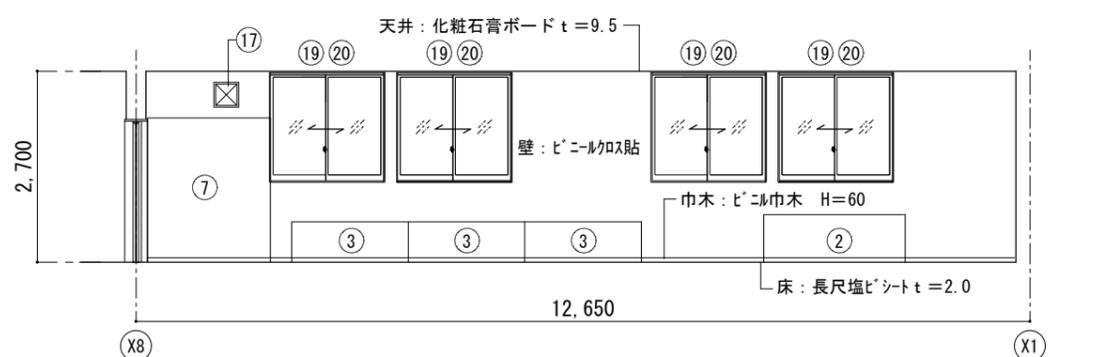
D



多目的室 (図工室)

A

B

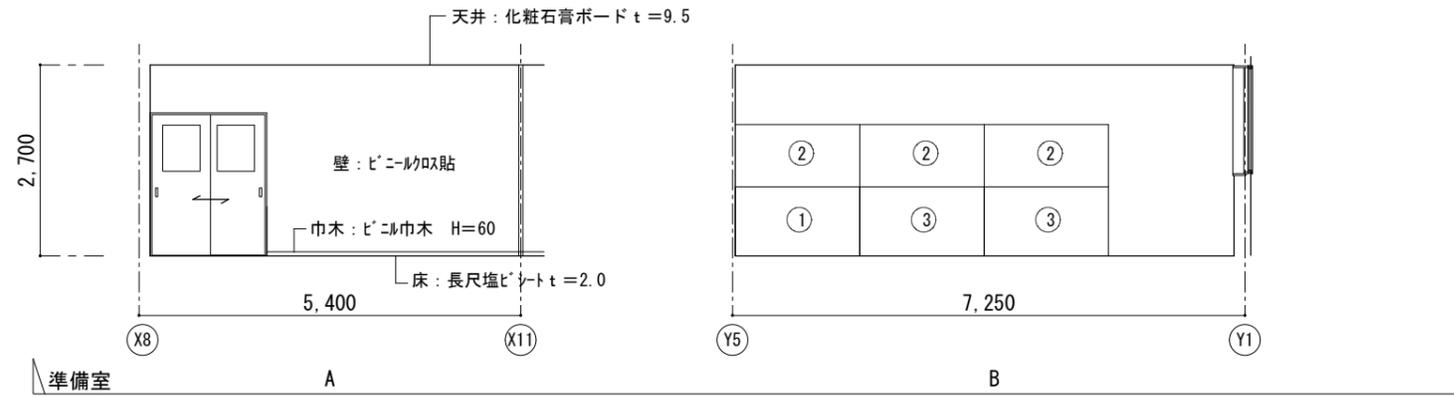


C

D

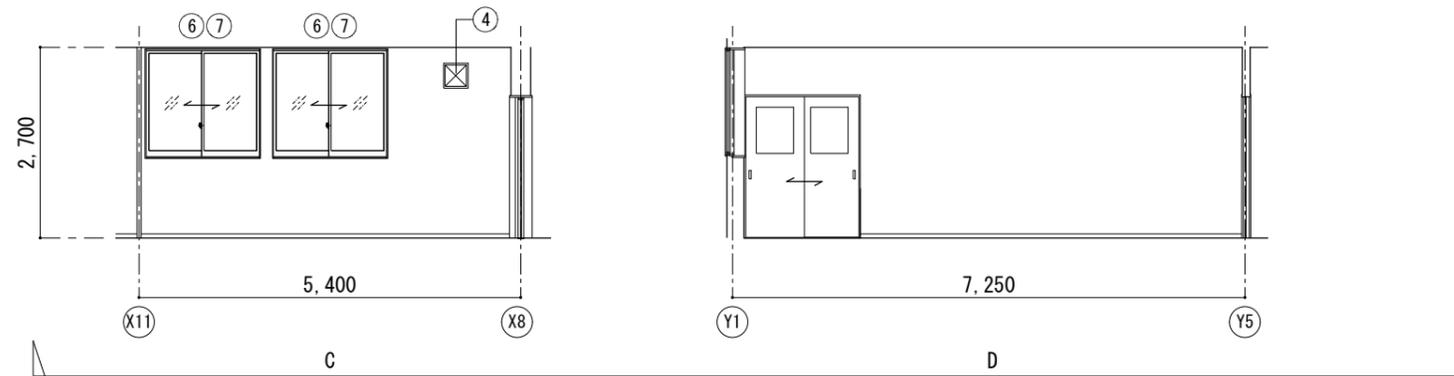
図工室

No	備品	数	備品リスト			備考	工事区分	
			W	D	H		工事	教育
①	黒板	1	3,600	×	1,200	G-610	○	
②	窓下作業台	1	2,000	×	625	G-483A	○	
③	一槽流し	3	1,650	×	610	G-132A水	×	3
④	作業台	1	4,850	×	625	G-482	○	
⑤	掃除用具入	1	600	×	400	G-280	○	
⑥	ショーケース	1	1,740	×	500	G-331	○	
⑦	展示棚	2	1,740	×	500	G-320B	○	
⑧	収納戸棚	1	1,645	×	500	G-315A	○	
⑨	ステンレスフック	2	9φ			I-208C	○	
⑩	姿見	1	800	×	1,525	G-830A	○	
⑪	ビクチャーレール	1				I-209A	○	
⑫	室名札	1					○	
⑬	教師用木工台							別途工事
⑭	児童用木工台							別途工事
⑮	木製角椅子							別途工事
⑯	チリ箱	2	図示表記なし			K-104	○	
⑰	換気扇枠	2						
⑱	換気口 (VOC用)	2						
⑲	カーテンレール							
⑳	カーテン							



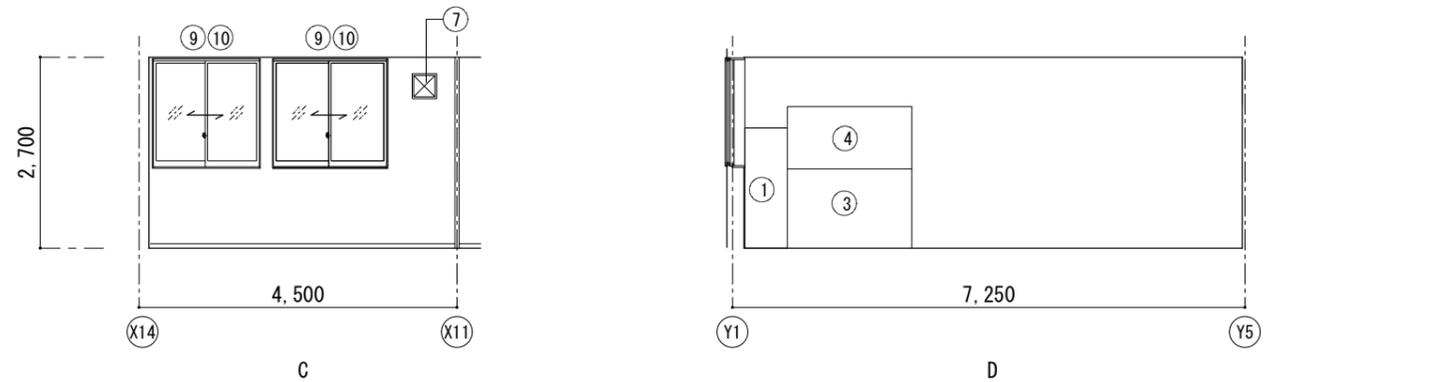
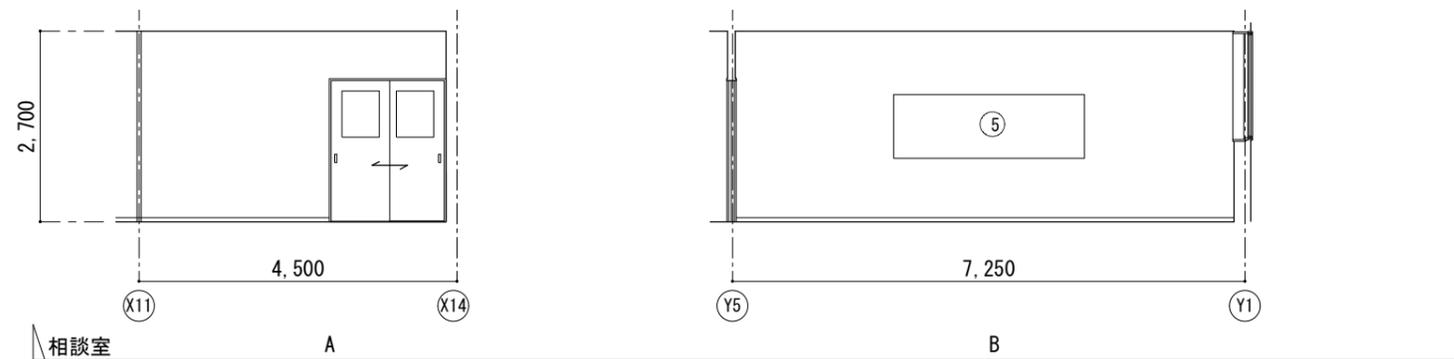
準備室

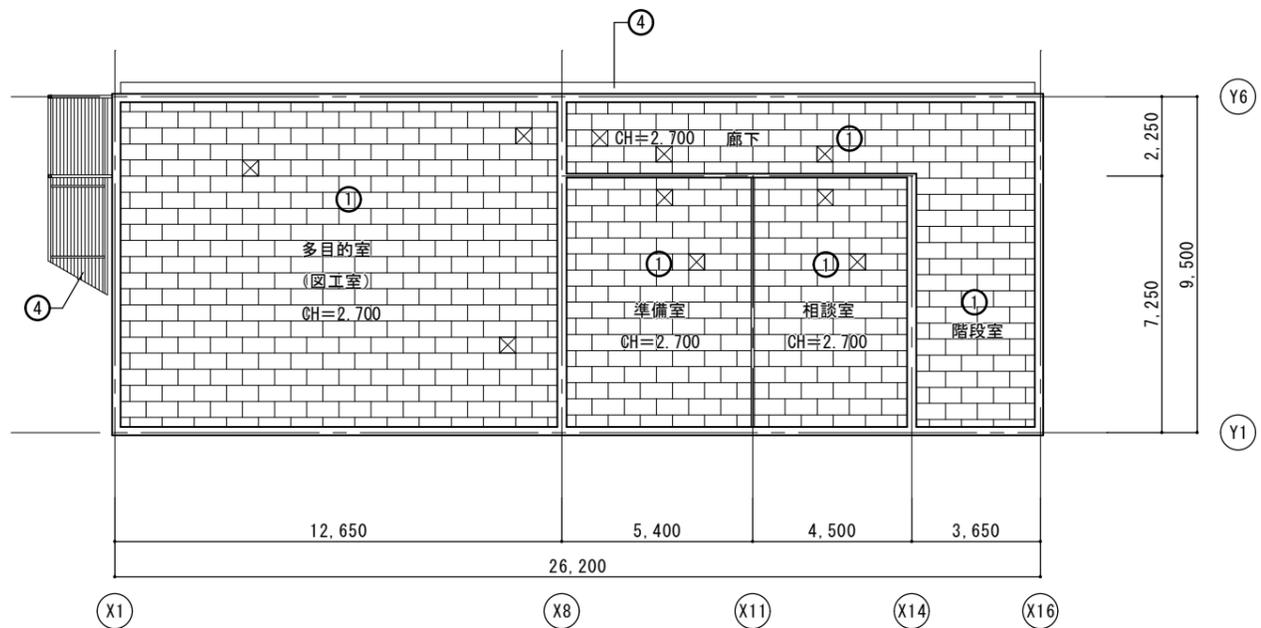
		備品リスト				工事区分			
No	備品	数	W	D	H	備考	工事教育		
①	整理引出キビシート	1	1,760	×	515	×	980	G-231	○
②	整理戸棚 (上段)	5	1,760	×	515	×	880	G-215B	○
③	引出付整理戸棚	2	1,760	×	515	×	980	G-230B	○
④	換気扇枠	2							○
⑤	換気口 (VOC用)	2							○
⑥	カーテンレール								○
⑦	カーテン								○



相談室

		備品リスト				工事区分			
No	備品	数	W	D	H	備考	工事教育		
①	掃除用具入	1	600	×	400	×	1,700	G-280	○
②	整理戸棚 (下段)	1	1,760	×	515	×	1,120	G-213C	○
③	整理戸棚 (上段)	1	1,760	×	400	×	880	G-215A	○
④	化粧天板	1						G-201B	○
⑤	ホワイトボード	1	2,700	×	900			G-611D	○
⑥	室名札	1	持出しタイプ					I-204A	○
⑦	換気扇枠	2						I-205	○
⑧	換気口 (VOC用)	2							○
⑨	カーテンレール								○
⑩	カーテン								○



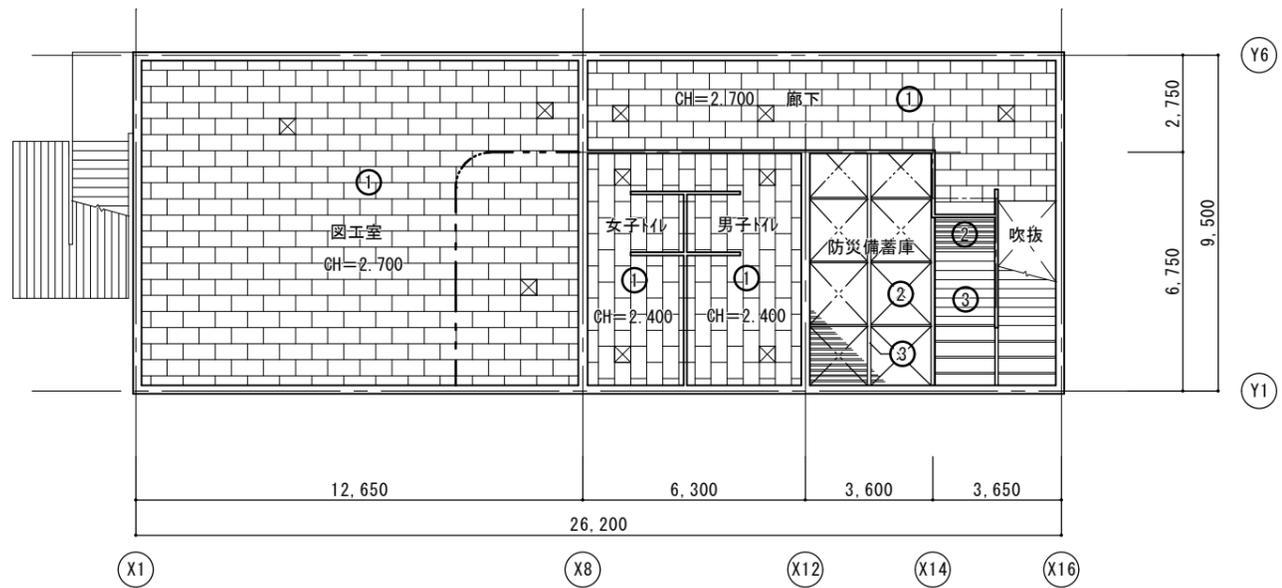


2階天井伏図 S=1:100

No	仕上
①	化粧石膏ボード t9.5
②	デッキプレートあらわし
③	鉄骨AEP
④	屋根材あらわし

☒ 天井点検口 (7R製450角) 1階 10カ所

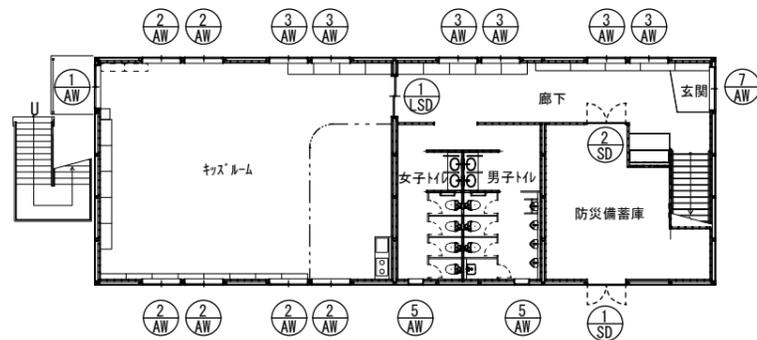
☒ 天井点検口 (7R製450角) 2階 10カ所



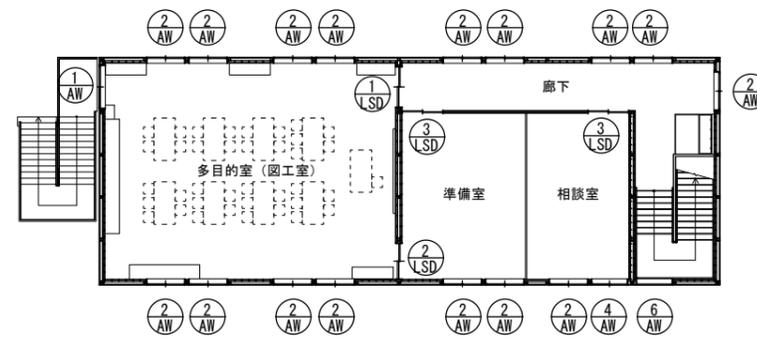
1階天井伏図 S=1:100

横浜市教育委員会事務局		工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事			
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/100	図面名称		
設計者		図面名称	天井伏図			
有限会社宮本建築設計事務所		図面番号	A-21			
〒220-0292 横浜市磯子区磯子2-10-15		図面枚数				

記号・種類・数量	①SD 両開き戸 1	②SD 両開き戸 1	①AW アルミ製引き違い戸 3	②AW アルミ製引き違い窓 22	③AW アルミ製引き違い窓 6	④AW アルミ製引き違い窓 1	⑤AW アルミ製引き出し窓 2
寸法・姿図							
位置	防災備蓄庫	防災備蓄庫	玄関、キッズルーム	キプランによる	1階廊下	キプランによる	男子トイレ、女子トイレ
仕上・見込	スチール焼付塗装 40	スチール焼付塗装 40	電着塗装 70	電着塗装 70	電着塗装 70	電着塗装 70	電着塗装 70
硝子			二層複層ガラス	二層複層ガラス	二層複層ガラス	二層複層ガラス	二層複層ガラス
金物	シリンダー錠、レバーハンドル、DC、フラス落とし	シリンダー錠、レバーハンドル、DC、フラス落とし	強化透明t4 + A8 + 強化透明t4 日射遮蔽型、アルゴンガス入 引手、レール、戸車、シリンダー錠 (サムターン) 外れ止め	強化透明t4 + A8 + Low-E強化ガラス t4 日射遮蔽型、アルゴンガス入 ロック付きクレセント、戸車、サブロック 外れ止め、2Fは開口制限ストッパー付	強化透明t4 + A8 + Low-E強化ガラス t4 日射遮蔽型、アルゴンガス入 ロック付きクレセント、戸車、サブロック 外れ止め	強化透明t4 + A8 + Low-E強化ガラス t4 日射遮蔽型、アルゴンガス入 ロック付きクレセント、戸車、サブロック 外れ止め、2Fは開口制限ストッパー付	強化透明t4 + A8 + Low-E強化ガラス t4 日射遮蔽型、アルゴンガス入 カムラッチハンドル
備考	鍵は8本用意する			網戸	網戸	網戸	付属金物一式
記号・種類・数量	⑥AW アルミ製F1X窓 1	⑦AW アルミ製片引き戸 (2連) 1		①LSD 鋼製軽量引違い戸 2	②LSD 鋼製軽量引違い戸 1	③LSD 鋼製軽量引違い戸 2	
寸法・姿図							
位置	階段室	玄関		キッズルーム、多目的室 (図工室)	多目的室 (図工室)	準備室、相談室	
仕上・見込	電着塗装 70	電着塗装 70		化粧鋼板 90	化粧鋼板 90	化粧鋼板 90	
硝子	二層複層ガラス	二層複層ガラス		強化透明t4 (600 x 650程度)	強化透明t4 (500 x 650程度)	強化透明t4 (600 x 650程度)	
金物	強化透明t4 + A8 + Low-E強化ガラス t4 日射遮蔽型、アルゴンガス入	強化透明t4 + A8 + Low-E強化ガラス t4 日射遮蔽型、アルゴンガス入	引手、レール、戸車、シリンダー錠 (サムターン)	引手、レール、戸車、シリンダー錠 サムターン	引手、レール、戸車、シリンダー錠 サムターン	引手、レール、戸車、シリンダー錠	
備考	付属金物一式	付属金物一式					

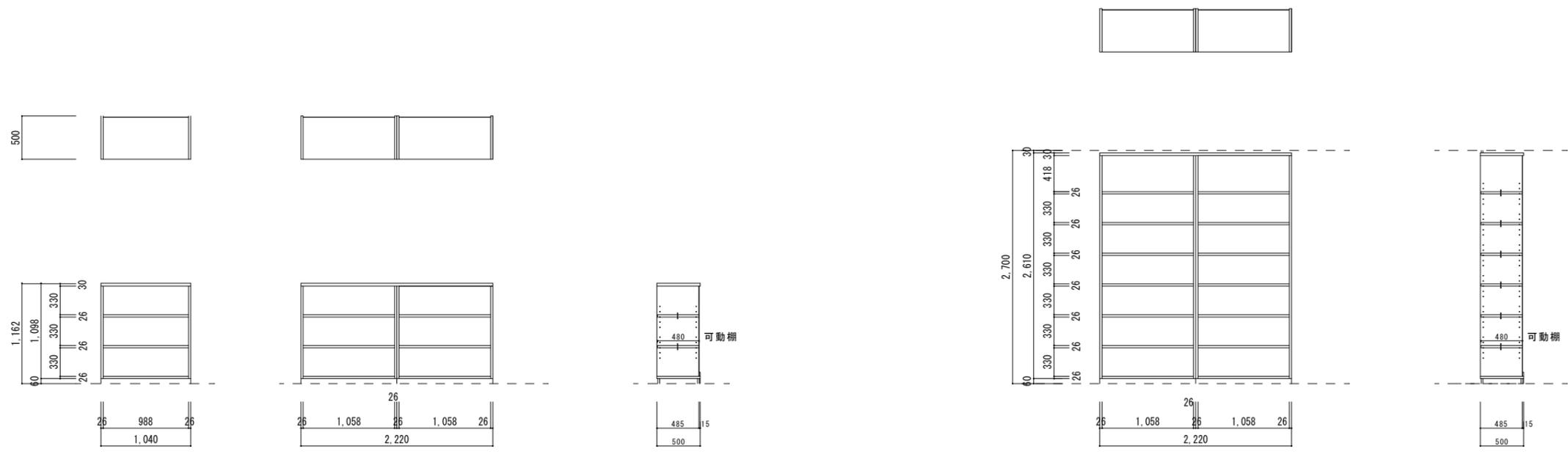


1階建具キープラン S=1/150



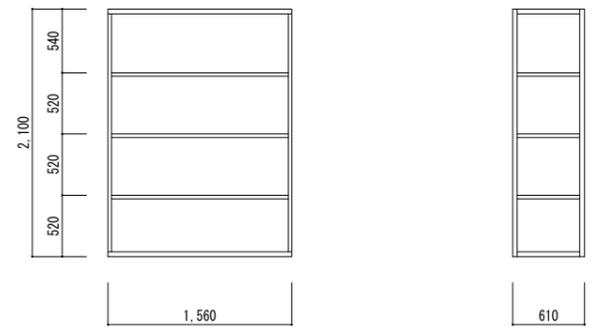
2階建具キープラン S=1/150

部品名	材質	備考
本体(内)	白ポリ塩【5414】	
(外)	白ポリ塩【5414】	
本体木口	メラミン【K-6000KG】	
巾木	白ポリ塩【5414】	
フィラー	白ポリ塩【5414】	

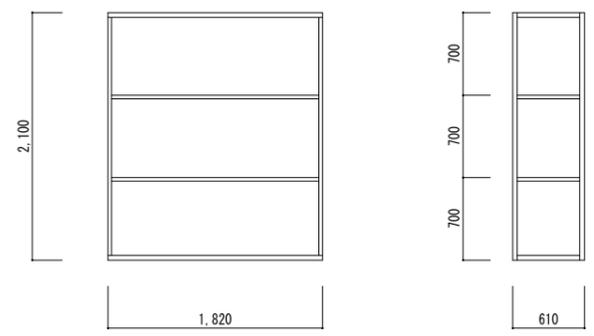


※詳細納まりは施工図作成の上、承認を得ること

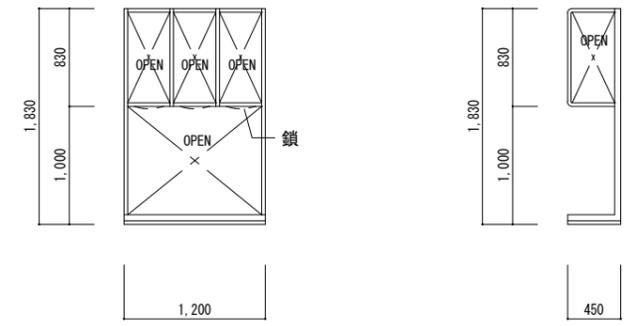
※各メーカー仕様による(担架 10機収納)



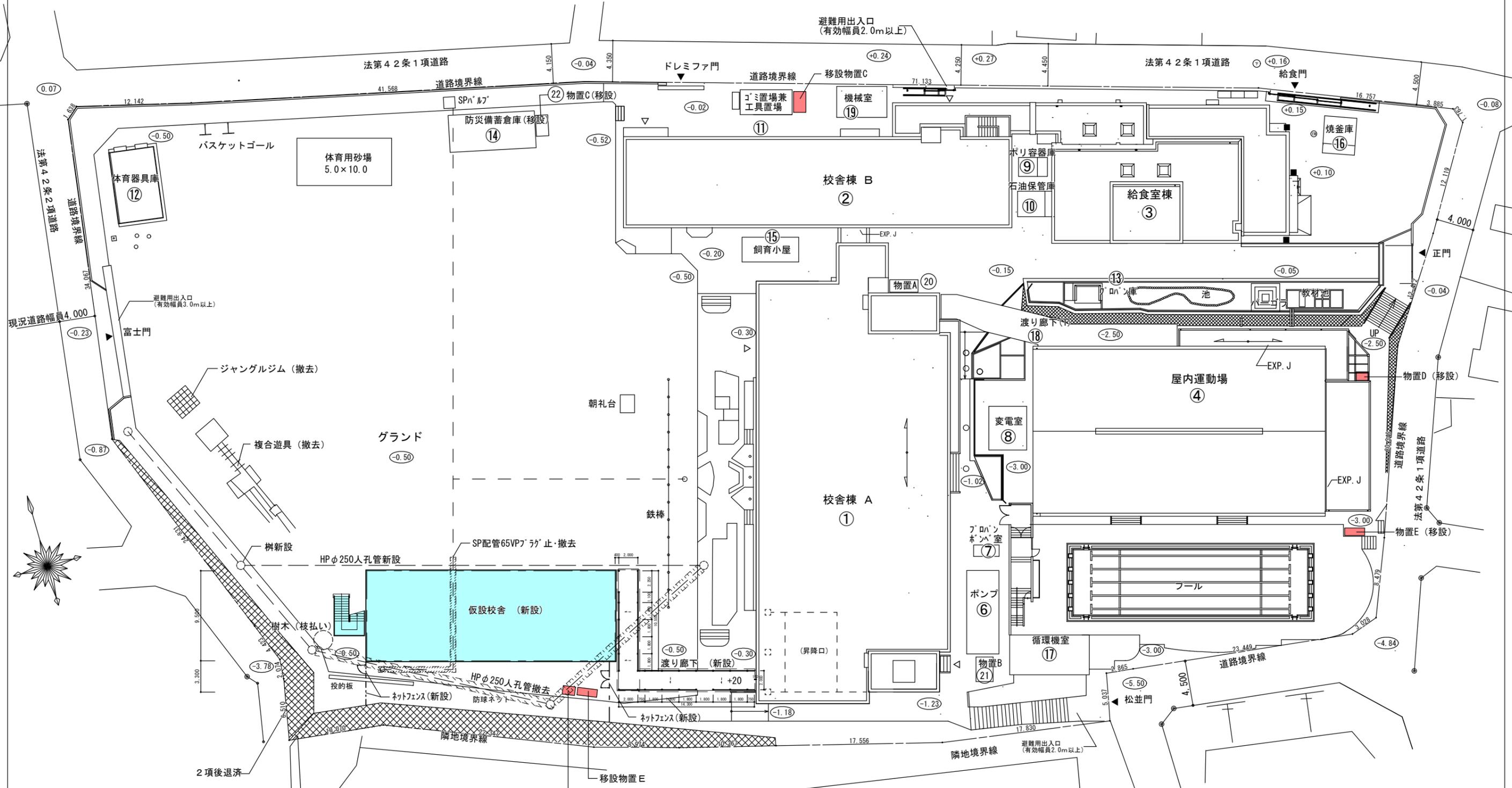
A, B, C, D, E, F, G, J 詳細図



H 詳細図



<p>工事概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 仮設校舎新設 渡り廊下新設 防災備蓄倉庫撤去（検査後、荷物移設） 物置C移設（基礎新設） 物置D、E移設（基礎新設） 半鐘の取り付け（取付のみ本工事） 	<p>外構工事概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ジャングルジム・複合遊具撤去 ネットフェンス新設 S/P配管撤去・フック止め 人孔管切り直し 	<p>凡例</p> <p>■ 移設場所を示す</p> <p>○ 数字は、既存建物番号を示す</p> <p>○(0.27) 地盤レベルは給食室 設計GL(39.48)からの高さを示す</p>
---	--	---

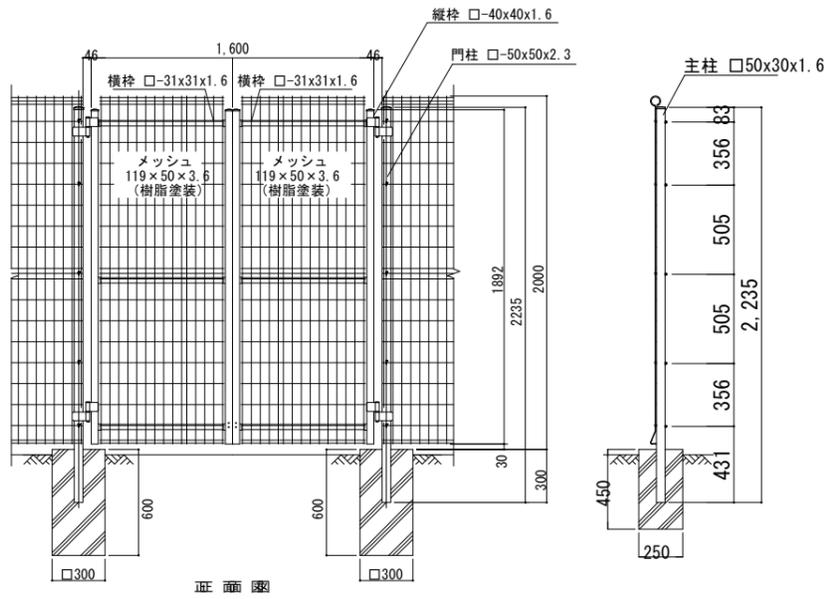


外構図 1/200

横浜市教育委員会事務局		工事名 篠原小学校仮設校舎設置その他工事	
年月日 2025.04.24	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図面名称 外構図	図面番号
設計者 有限会社宮本建築設計事務所		図面枚数	図面枚数
〒220-0201 横浜市磯子区宮本2-1-1		図面枚数	図面枚数
A-24			

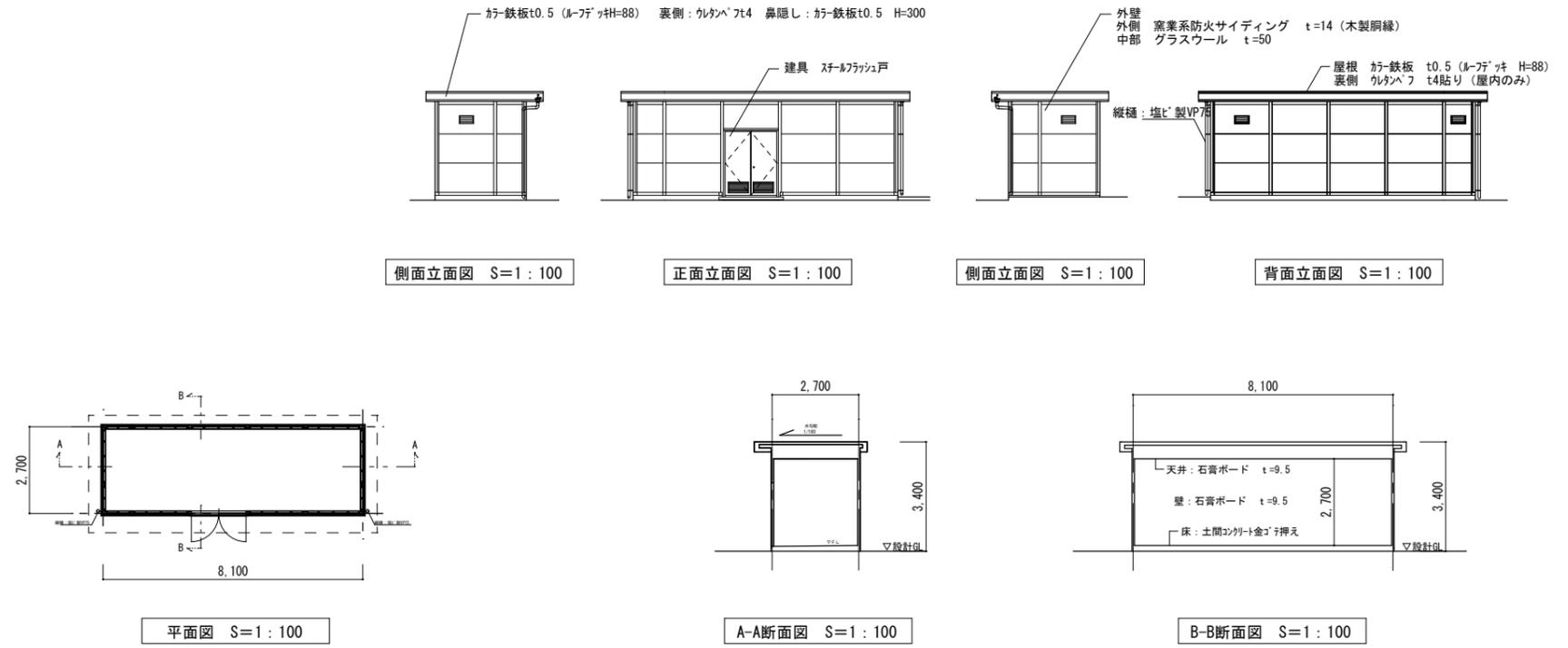
ネットフェンス詳細図

S=1:20



防災備蓄庫 (撤去)

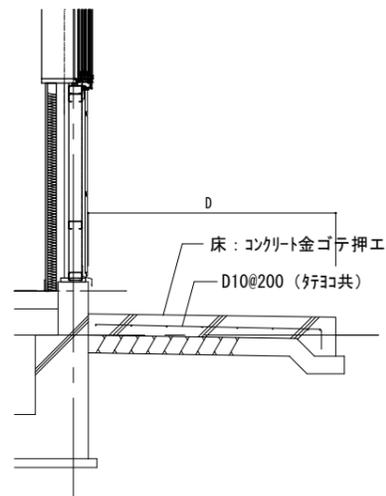
S=1:100



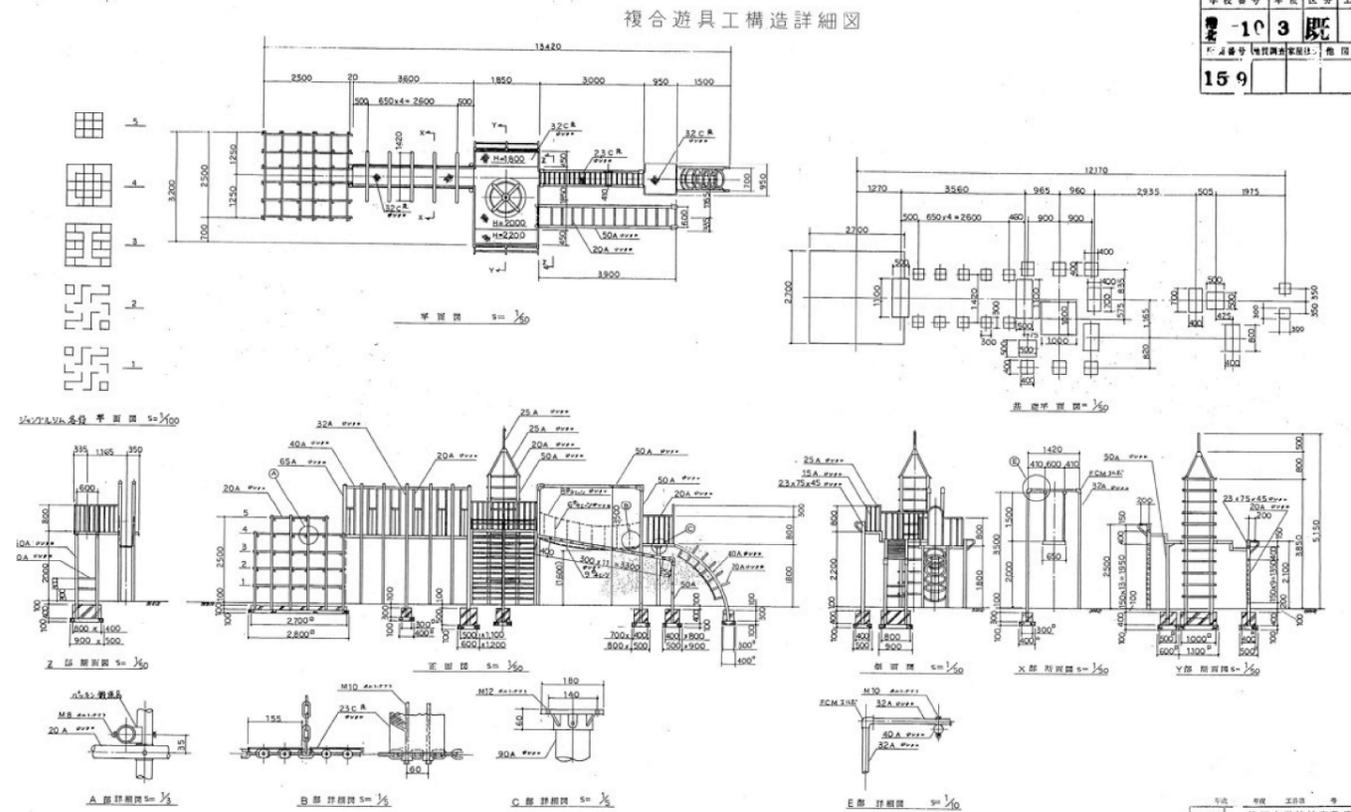
プロパン置場、室外機置場詳細図

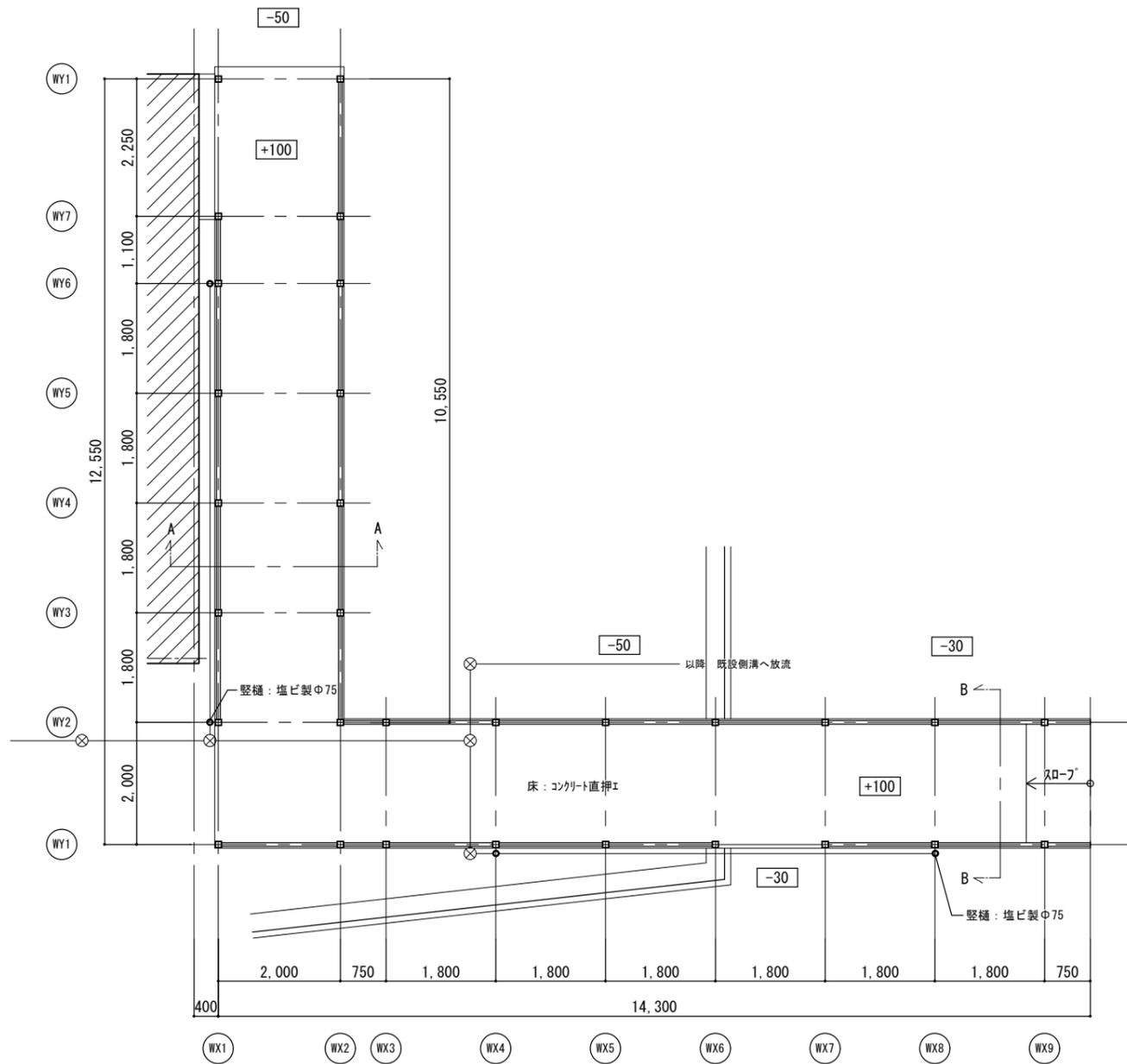
S=1:20

プロパン置場: W2.400 x D800
(転倒防止チェーン付)
室外機置場: W2.900 x D1.400

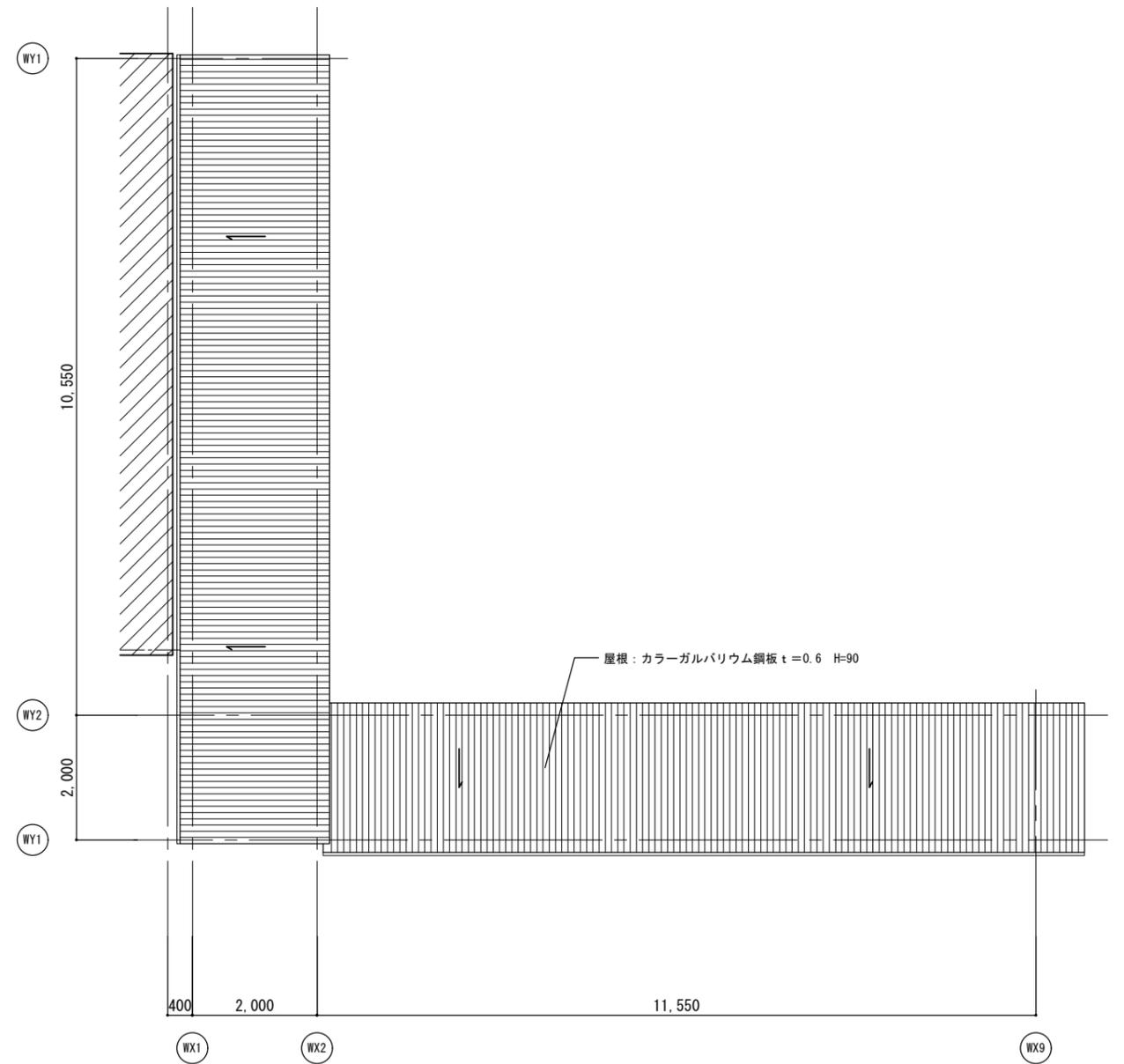


複合遊具参考図 (撤去)



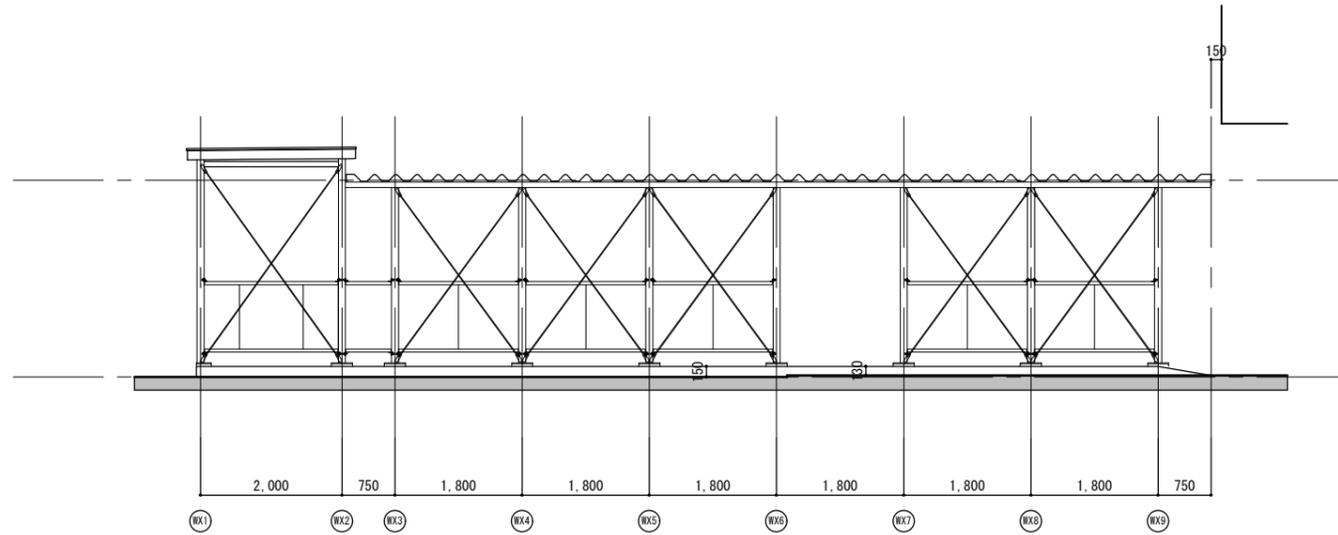


渡り廊下平面図 S=1:50

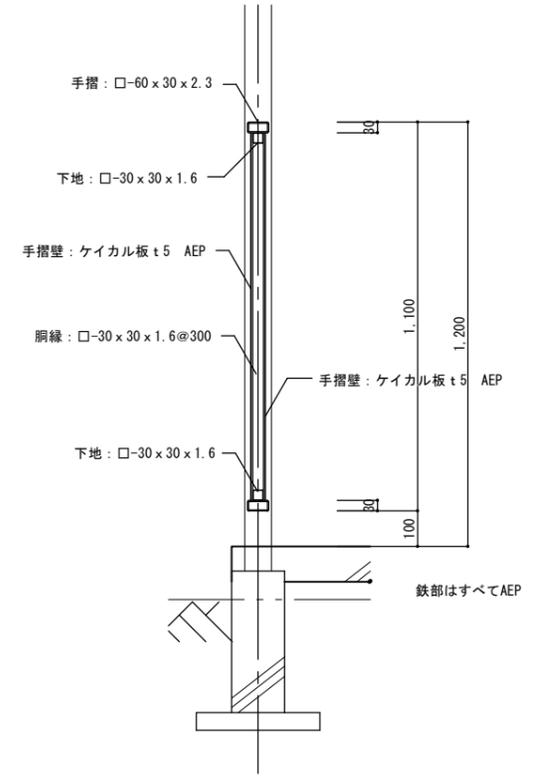


渡り廊下屋根伏図 S=1:50

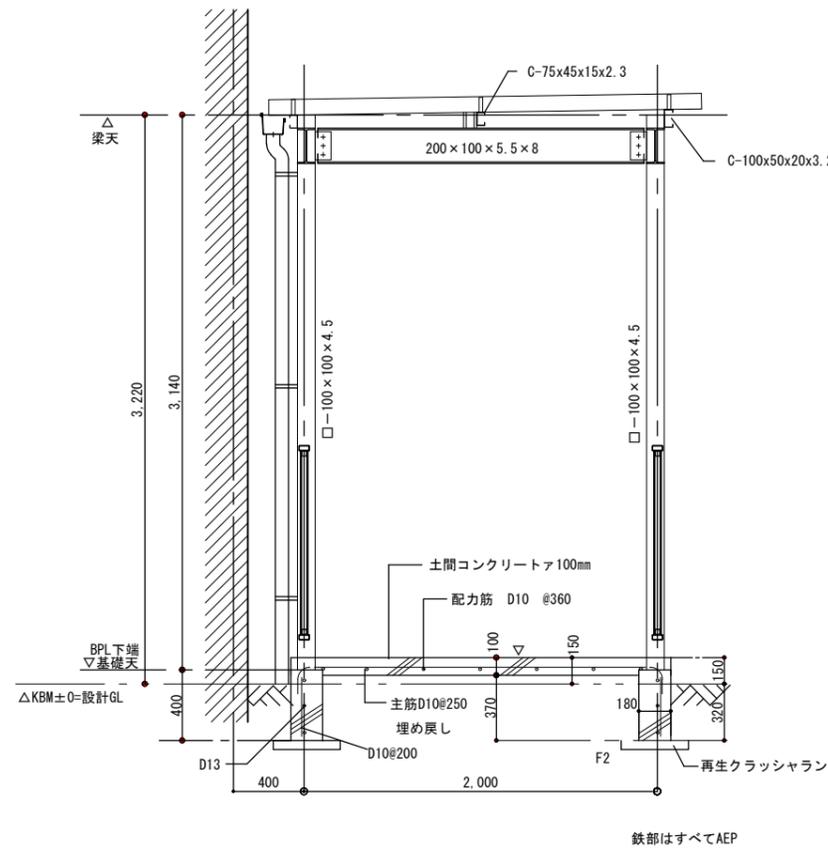
横浜市教育委員会事務局		工事名	横浜小学校仮設校舎設置その他工事			
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面名称	渡り廊下詳細図 1	
監 計 者			施設番号	棟番号	階層	図面枚数
有限会社宮本建築設計事務所 一級建築士 建設大臣登録第7154号 宮本典雄						図面番号 A-26



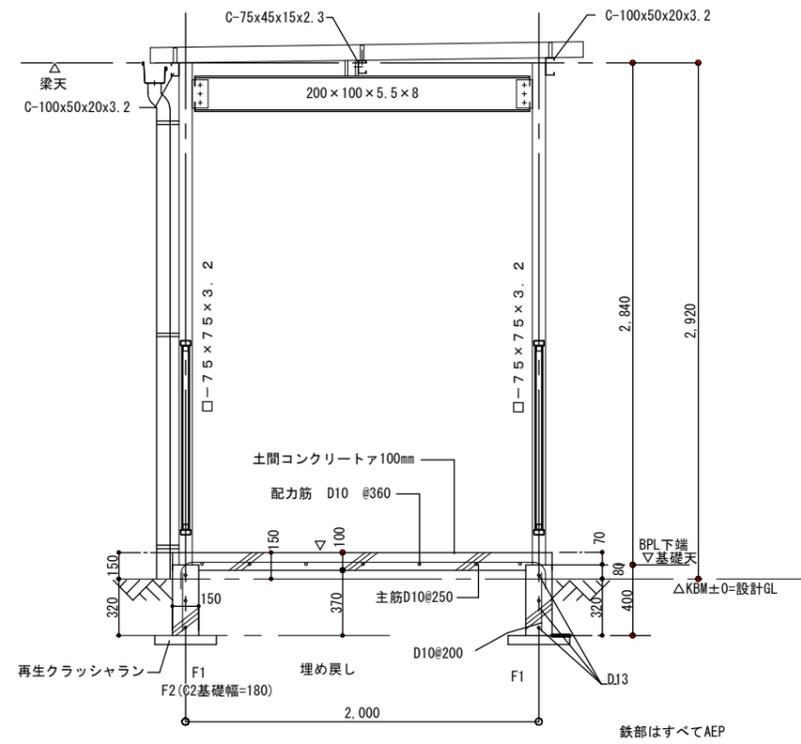
南側立面図 S=1:50



手摺詳細図 S=1:10



A-A断面図 S=1:20



B-B断面図 S=1:20

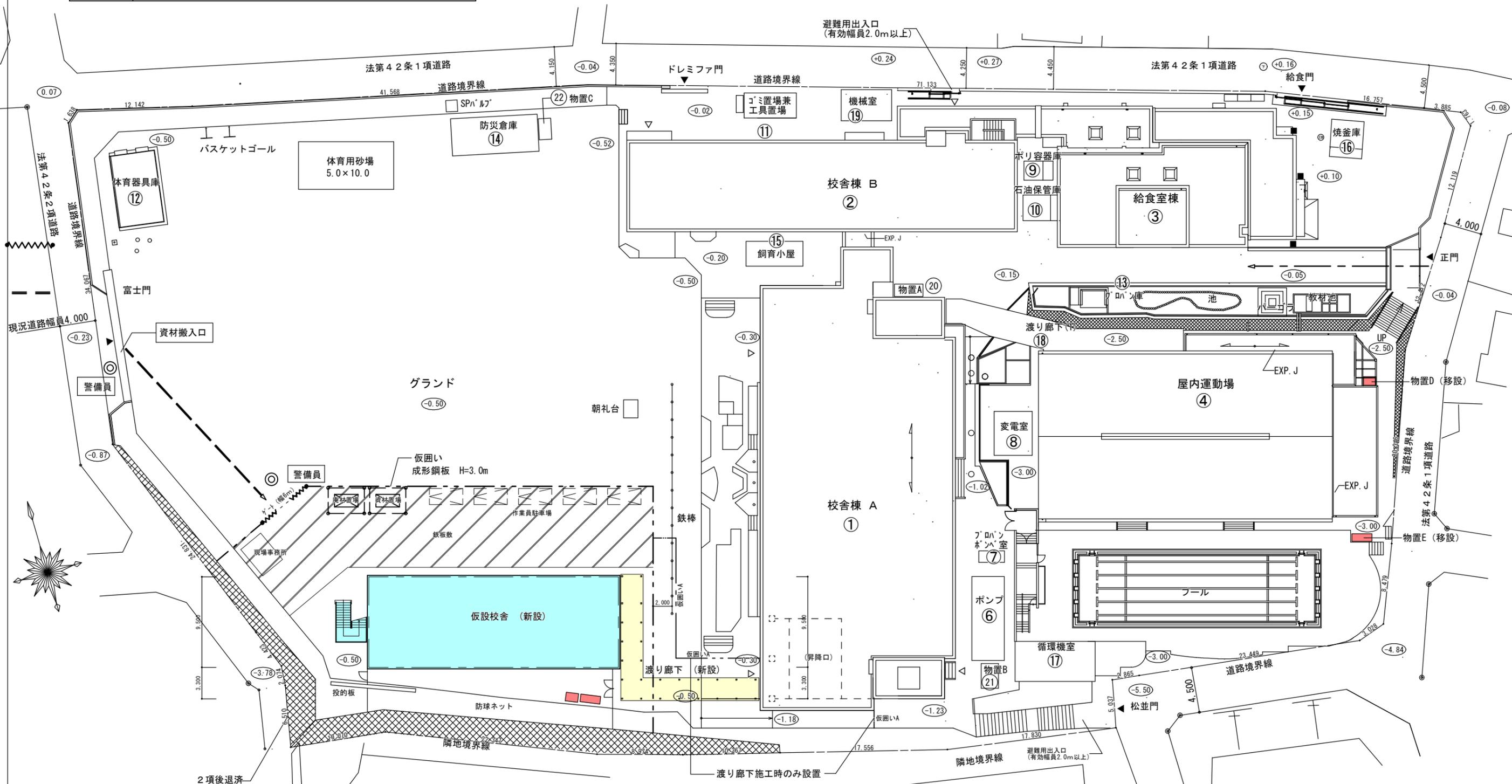
横浜市教育委員会事務局		工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面名称	渡り廊下詳細図 2
設計者		図面番号	種別	用途	図面枚数
有限会社宮本建築設計事務所 一級建築士 建築大監修 藤原 寛典 高橋 寛典					
					図面番号
					A-27

仮設計画凡例

	仮設敷鉄板(厚さ22) 不陸調整共 400㎡
	外部仮囲い 75m(成形鋼板 H=3.0m) 出入口2箇所共
	シートゲート w6000 x h4500
	仮囲いA ガードフェンス 30m (H=1.8m W=1.8m 出入口1箇所共)
	工事車両・資材搬・作業員 入口
	学校関係者通路
	交通整理員
	工事車両駐車位置
	廃材置場 W3.6m・D2.7m・H1.8m ガードフェンス:H=1800、L=18000
	資材置場 W3.6m・D2.7m・H1.8m ガードフェンス:H=1800、L=18000

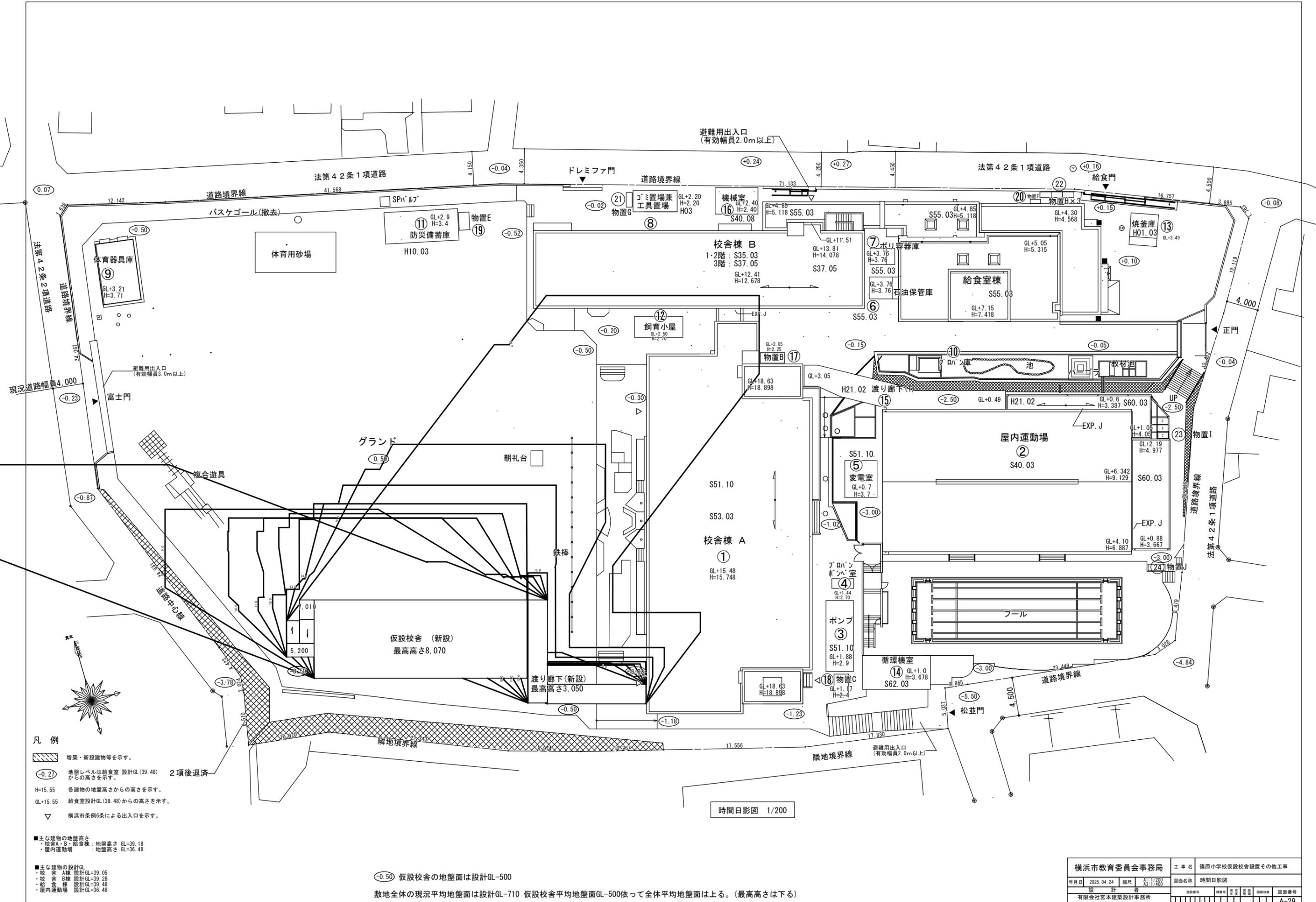
※注意事項

- 各門から昇降口、昇降口からグランドへの児童通路を確保した仮設計画書を提出し、学校・監督員の同意を得る事。
- 工事進捗や状況に応じて、学校・監督員の同意を得て仮囲い位置の変更を行う事。
- 資材及び工事車両の搬入搬出は児童の登下校時間を避ける事。



外構図 1/200

横浜市教育委員会事務局		工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	2025.04.25	縮尺	A1:1/200	図面名称	仮設計画図
設計者	有限会社宮本建築設計事務所		図面番号	A-28	



- 凡例**
- 増築・新設建物等を示す。
 - 0.27 地盤レベルは給食室設計GL(39.48)からの高さを示す。2項後退済
 - H=15.55 各建物の地盤高さからの高さを示す。
 - GL+15.55 給食室設計GL(39.48)からの高さを示す。
 - ▽ 横浜市条例6条による出入口を示す。

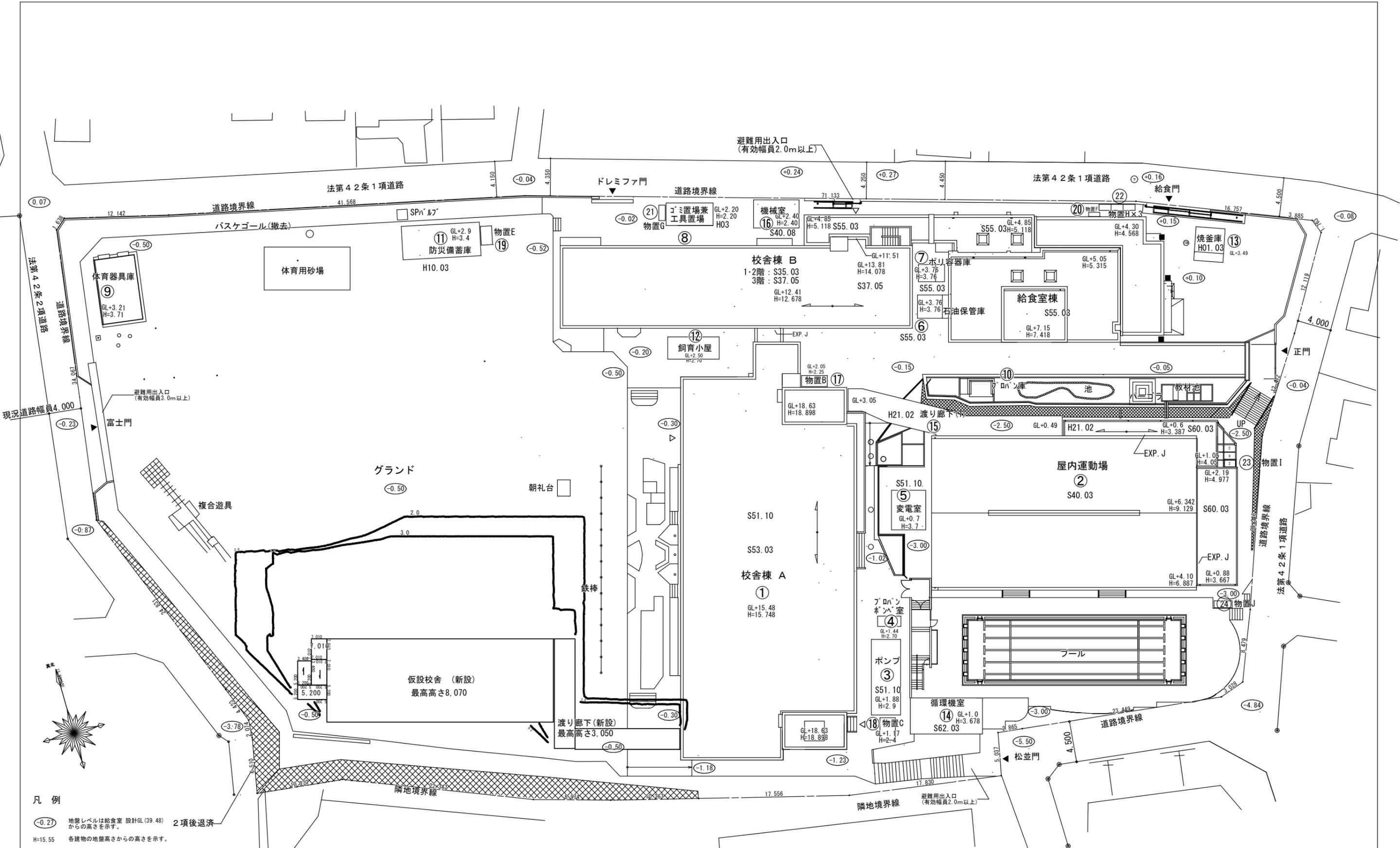
- 主な建物の地盤高さ
- ・校舎A・B・給食棟：地盤高さ GL=39.18
 - ・屋内運動場：地盤高さ GL=36.48
- 主な建物の設計GL
- ・校舎A棟設計GL=39.05
 - ・校舎B棟設計GL=39.28
 - ・給食棟設計GL=39.48
 - ・屋内運動場設計GL=36.48

0.50 仮設校舎の地盤面は設計GL-500

敷地全体の現況平均地盤面は設計GL-710 仮設校舎平均地盤面GL-500によって全体平均地盤面は上る。(最高高さは下る)

時間日影図 1/200

横浜市教育委員会事務局		工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/200 A3:1/400	図面名称	時間日影図
設計者		図面番号	A-29		
有限会社宮本建築設計事務所		図面名称	時間日影図		
一級建築士 建設大臣登録第75045号 宮本 隆		図面番号	A-29		



凡例

(-0.27) 地盤レベルは給食室設計GL (39.48) からの高さを示す。2項後退済

H=15.55 各建物の地盤高さからの高さを示す。

GL+15.55 給食室設計GL (39.48) からの高さを示す。

▽ 横浜市条例6条による出入口を示す。

■主な建物の地盤高さ

- 校舎A棟 設計GL=39.18
- 校舎B棟 設計GL=39.28
- 給食棟 設計GL=39.48
- 屋内運動場 設計GL=36.48

■主な建物の設計GL

- 校舎A棟 設計GL=39.05
- 校舎B棟 設計GL=39.28
- 給食棟 設計GL=39.48
- 屋内運動場 設計GL=36.48

(-0.50) 仮設校舎の地盤面は設計GL-500

敷地全体の現況平均地盤面は設計GL-710 仮設校舎平均地盤面GL-500依って全体平均地盤面は上る。(最高高さは下る)

時間日影図 1/200

横浜市教育委員会事務局		工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/200 A3:1/400	図面名称	等時間日影図
設計者		図面番号	A-30		
有限会社宮本建築設計事務所		図面番号	A-30		

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
 (2) 記号
 d...異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸線では径 D...部材の成 R...直径
 @...間隔 r...半径 CL...中心線 Lo...部材間の内法距離 ho...部材間の内法高さ
 ST...あばら筋 HOOP...帯筋 S.HOOP...補強帯筋 φ...直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折まげ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込む形およびU形鋼のキャップタイにのみ用いる。 *片持スラブ上端部の先端
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(x4d以上)	8d以上(x4d以上)	
折曲げ内法寸法Rは、SR235~SD345の径16およびD16以下は3d以上、SD295~SD345のD19~D38は4d以上、D41およびSD390は5d以上、スラブ筋・壁筋には丸鋼は仕様しない。				

(2) 鉄筋中間部の折曲げ形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内のり寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SR295 SD295A・B SD345	16φ以下 D16 19φ D19以上	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SR295A・B SD345 SD390	16φ以下 D19~D25 D29~D41	4d以上 6d以上 8d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

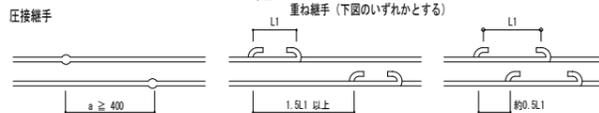
鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着の長さ			特別の定着及び重ね継手の長さ(L1)
		一般(L2)	下端筋(L3)		
SR235	21、24 18以下	35d フックつき	25d フックつき	150mm フックつき	35d フックつき
		45d フックつき	45d フックつき		45d フックつき
SD295A SD295B SD345	27~36 18以下	30d または20d フックつき	25d または15d フックつき	10d かつ150mm以上	35d または25d フックつき 40d または30d フックつき 45d または35d フックつき
		35d または25d フックつき	40d または30d フックつき		40d または30d フックつき 45d または35d フックつき
SD390	21、24	40d または30d フックつき			45d または35d フックつき

[注] 許容応力度計算、許容応力度等計算、その他構造計算を要さない小規模建築物の場合は、梁主筋の柱への定着は40dとする

継手

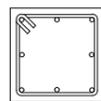
1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧形状



(4) かぶり厚さ

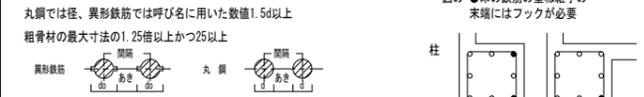
ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり、WU-WF2厚さが部分的に減少する箇所についてもWU-WF2最小かぶり厚さを確保する。



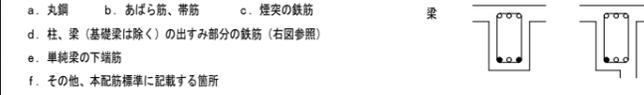
部 位	設計かぶり厚さ(mm)		最少かぶり厚さ(mm)
	屋 内	屋 外	
埋設スラブ 底スラブ 非耐力壁	30	20	20
	40 ⁽¹⁾	30(20)	30(20)
柱 はり 耐力壁	40	30	30
	50 ⁽²⁾	40 ⁽¹⁾ (30)	40
梁 壁	50 ⁽³⁾	40	40
	50	40 ⁽⁴⁾	40 ⁽⁴⁾
土に接する部分	50	40 ⁽⁴⁾	40 ⁽⁴⁾
	70	60 ⁽⁴⁾	60 ⁽⁴⁾

- [注] (1) 耐火性上有効な仕上げのある場合、工事管理者の承認を受けて30mmとすることができる。
 (2) 耐火性上有効な仕上げのある場合、工事管理者の承認を受けて40mmとすることができる。
 (3) コンクリートの品質および施工方法に拘り、工事管理者の承認を受けて40mmとすることができる。
 (4) 軽量コンクリートのある場合は、10mm増しの値とする。
 (5) ()内は仕上げがある場合。
 (6) 土に接する部分のかぶりは増加する厚さ打ち増しとする。

(5) 鉄筋のあき

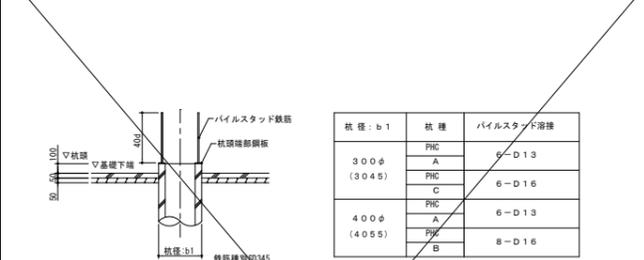


(6) 鉄筋のフック

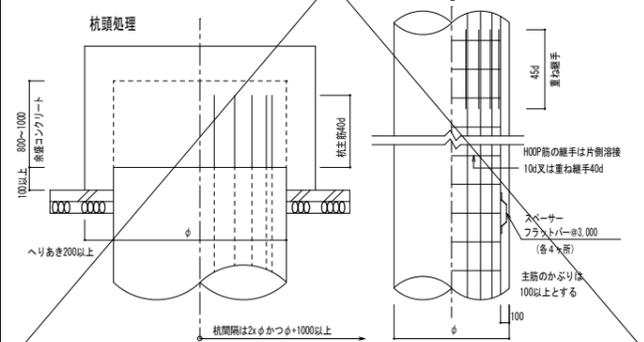


3. 杭

(1) PRC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

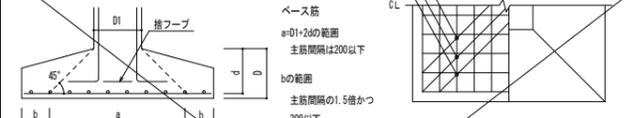


(2) 現場打ちコンクリート杭

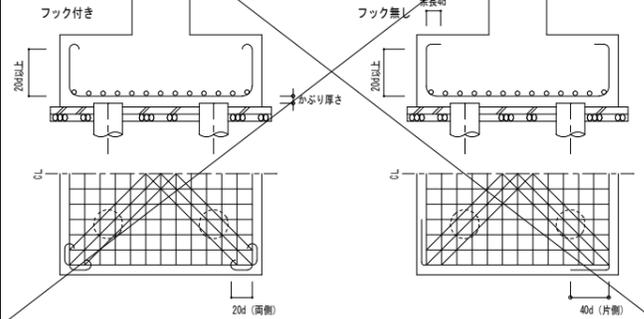


4. 基礎

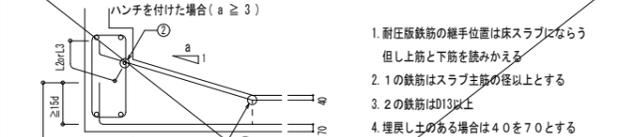
(1) 直接基礎



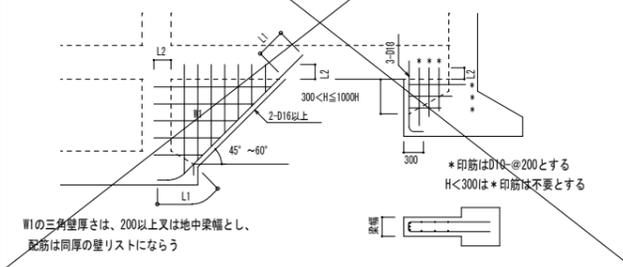
(2) 杭基礎



(3) べた基礎

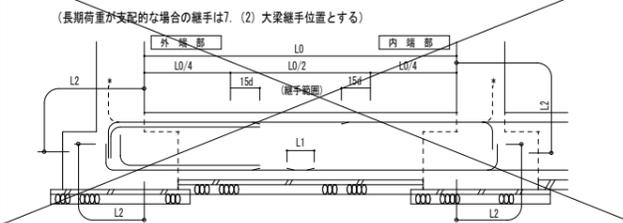


(4) 基礎接合部の補強

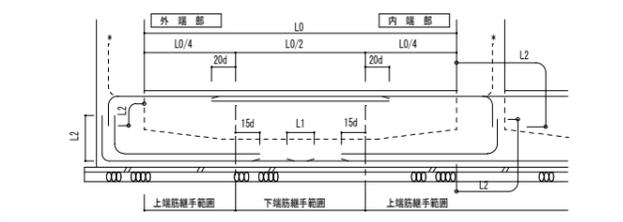


5. 地中梁

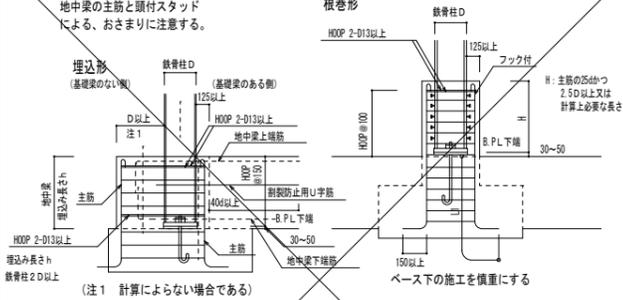
(1) 独立基礎、杭基礎の場合



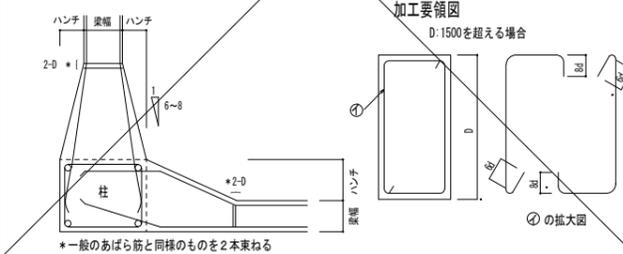
(2) 布基礎、べた基礎の場合



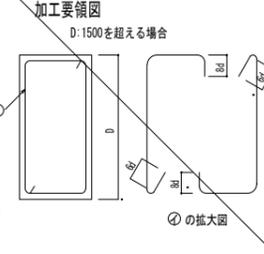
(3) 小規模鉄骨造柱脚固定の配筋



(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

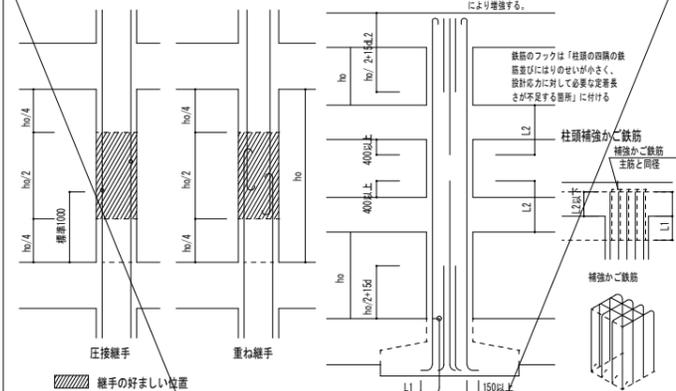


(5) せいの高い梁のあばら筋加工要領

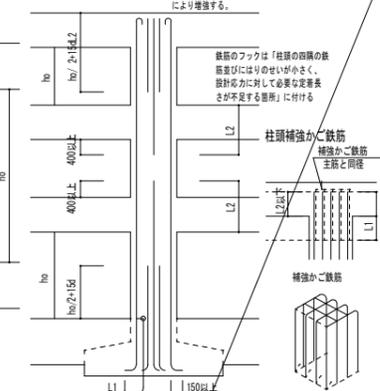


6. 柱

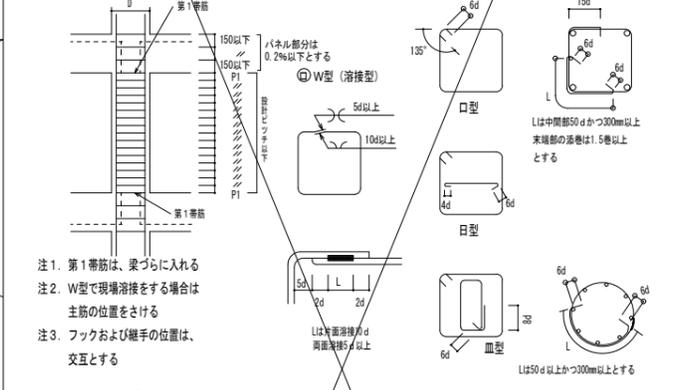
(1) 柱主筋の継手



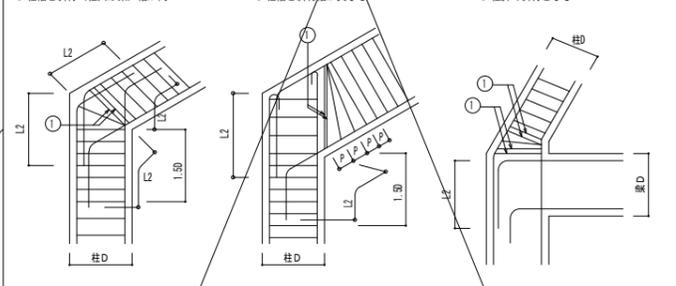
(2) 柱主筋の定着



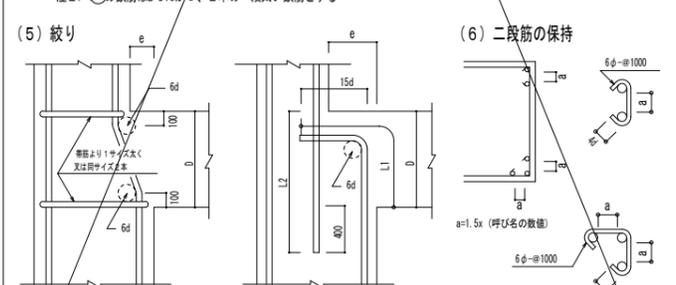
(3) 帯筋



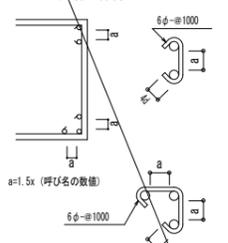
(4) 斜め柱・斜め梁



(5) 絞り



(6) 二段筋の保持



鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

※修正箇所は下線を引くこと
L=本構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

7. 大梁、小梁、片持梁

(1) 大梁の定着

(2) 小梁の定着

(3) 片持梁の定着

(4) 大梁主筋の継手

(5) あばら筋、腹筋、幅止めの配置

(6) あばら筋の型

(7) 幅止め筋の本数、加工

腹筋	D<600 不要	
	600 ≤ D<900	900 ≤ D<1200
幅止め筋	2-D10 (9φ) 1段	4-D10 (9φ) 2段
	1200 ≤ D	D10 (9φ) @300以内

幅止め筋 D10 (9φ) @1000以内で割り付ける

8. 床板

(1) 定着および継手

片持床スラブ

標準継手位置

上部部	短辺方向	標準継手位置
	短辺方向	B
	長辺方向	B
下部部	短辺・長辺方向	A C

(2) 屋根スラブの補強

(3) 片持ちスラブ出隅部補強

(4) 床板開口部の補強

床板厚さD	用筋	斜め
D ≤ 150	各2-D13	各1-D12
150 < D ≤ 200	各2-D13	各2-D13
200 < D ≤ 300	各2-D19	各2-D16

(5) 床板段差

(6) 土間コンクリート

(7) 釜場

(8) 打継ぎ補強

9. 壁

(1) 定着

① 梁に

② 床に

(2) スリット部の補強

(3) 手摺、バラベツ

(4) コンクリートブロック壁

10. 柱、梁増打コンクリート補強

(1) 柱

(2) 梁

(2) 梁

補強筋は、梁主筋の1段差以上(D16以上)とする。
あばら補強筋は、梁と同様、同じピッチとする。
腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合せる。
D≧400の場合は補強筋を3本とする。
は1000~2000程度。
床下層等コンクリートの場合も上層増打コンクリート補強と同様とする。
ハッチ部分は増打コンクリートとする。

11. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲

梁端部 (スパンLo/10以内かつ2D以内) は避ける

(2) 鉄筋標準配筋

80 ≤ φ ≤ 100	100 < φ ≤ 150	150 < φ ≤ 250
折筋 2-(2-D13)	折筋 2-(2-D13)	斜筋 4-(2-D13)
縦筋 ST 2-D13	縦筋 ST 2-D13@50	縦筋 ST 2-D13@50
	横筋 2-(2-D13)	横筋 2-(2-D13)
	上縦筋 2-D13@50	上縦筋 ST 2-D13@50
	下縦筋 2-D13@50	下縦筋 ST 2-D13@50

(3) 既製品

（使用する際には、設計者又は工事管理者と打合せのこと）

ウェブ型、ダイヤレン 等 日本建築センター評価取得品とする。
施工前に計算書を提出し、承認を得ること。
設計書に使用する評価取得品については計算書を提出すること。

リング型 バイ型 金網型 プレート型

12. 増築予定

(1) 柱、梁 (2) 地中梁 (3) 床板、壁

鉄骨構造標準図 (1)

※修正箇所は下線を引くこと

1. 一般事項

(1) 材料及び検査

- (a) 構造設計特記仕様による
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする。但し、ベースプレートの厚さは除く
- (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法・精度及びその他の結果を添付する

(2) 工作一般

- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監督者の承認を得る
- (b) 鋼骨部材の分岐継手部の粗肉切断は、鋼骨自動切断機による
- (c) 高強度鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする

(3) 高力ボルト接合

- (a) 本編に使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (b) 高力ボルトの摩擦面の処理は黒皮などを産外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。但し、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面荒さが、50 μ m以上である場合は、赤さびは発生しないまでよい。
- (c) 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材十分に密着するよう注意して行う。

(4) 溶接接合

- (a) 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。
- (a) 溶接技能者
 - 溶接技能者は施工に適合するJIS Z3801(手溶接)又はJIS Z3841(半自動溶接)の溶接所検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする

- (b) 溶接機器
 - (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
 - (ロ) アークエアークラッピング機(直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
 - (ハ) サブマージングアーク溶接機一式 (ヘ) 溶接乾燥機
- (c) 溶接方法
 - アーク手溶接(MC) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
 - アークエアークラッピング(AAG) セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC)

- (d) 溶接姿勢
 - 下向 F
 - 立向 V
 - 横向 H
 - 上向 O

- (e) 組立溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
- (イ) 仮付位置
 - 組立溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題とならぬ箇所は避ける

- (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側にて施工する

- (イ) エンドタブ
 - I 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同形状のエンドタブを取り付ける
 - II エンドタブの材質は母材と同質とする
 - III エンドタブの長さは、MC: 35mm以上
NGC、GC: 40mm以上とし、特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
 - IV プレス鋼板タブ、図形タブ使用については、資料を提出し設計者または工事監督者の承認を得る

- (ロ) 裏当て金
 - 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、市は25mm以上を原則とする。但し、溶接性能が確認できれば監督者の承認を得て変更することができる。

- (ハ) スカラップ半径は30~35mmと、10mmのダブルールとする。但し梁成り150mm未満の場合のスカラップはr=20mmとする
- (ニ) ノンスカラップ工法

- (ホ) 裏はつり
 - 基準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監督者の確認を動かし、部材に確認マークをつける

- (ヘ) 現場溶接の閉断面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、閉断面をいためない様に養生を行う

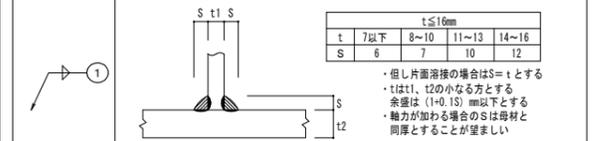
(5) 塗装

- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

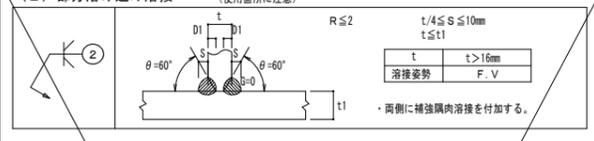
2. 溶接基準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位mm)

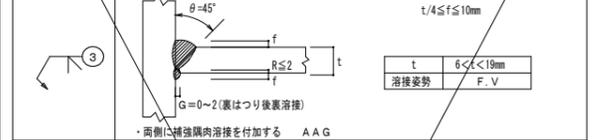
(1) 隅肉溶接



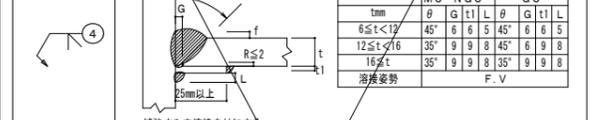
(2) 部分溶け込み溶接



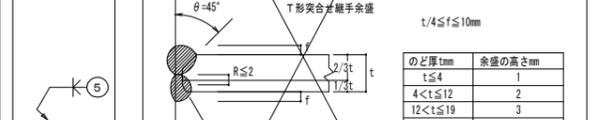
(3) 完全溶込み溶接



(4) 完全溶込み溶接



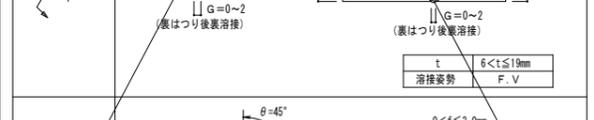
(5) 完全溶込み溶接



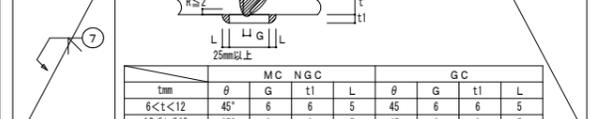
(6) 完全溶込み溶接



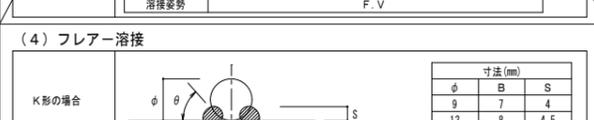
(7) 完全溶込み溶接



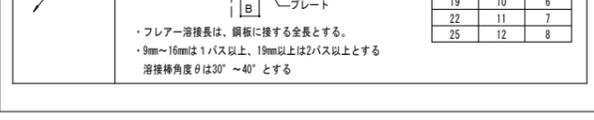
(8) フレア溶接



(9) フレア溶接

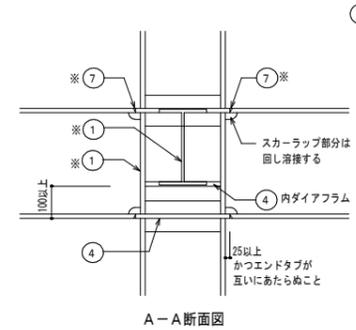
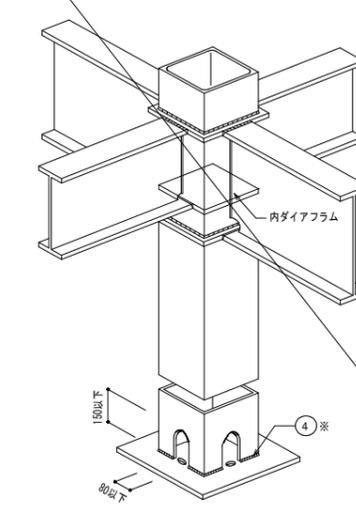


(10) フレア溶接



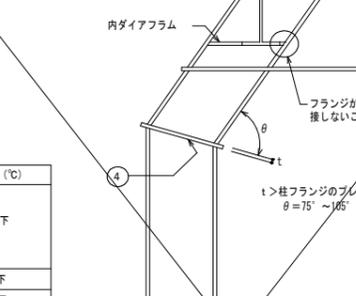
○溶接記号番号を○中に記入のこと

●BOX型 (通しダイアフラムの場合)



- ※1 ※t > 16mmの場合の溶接は、
- ※2 ※又は
- ※3 ~
- ※5 とする。

●柱が途中で折れる場合及び梁成り異なる場合

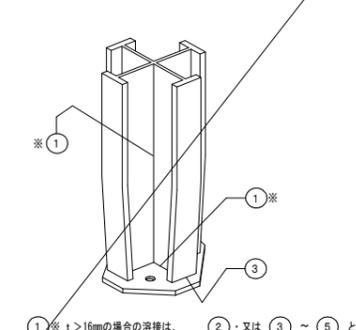
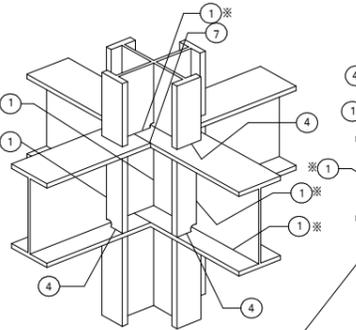


●鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	パス間温度 (°C)	
			400N級鋼	490N級鋼
400N級鋼	JIS Z 3211, 3212, 3214	40 以下	350 以下	
	JIS Z 3312		YGW-11, 15	30 以下
	JIS Z 3315		YGA-50W, 50P	
490N級鋼	JIS Z 3212, 3214	40 以下	350 以下	
	JIS Z 3312		YGW-11, 15	250 以下
	JIS Z 3315		YGA-50W, 50P	

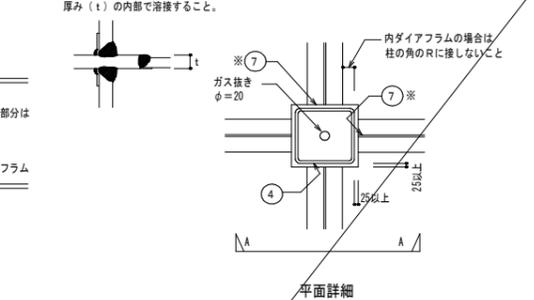
注) STKR, BCR, BOP材はJIS Z 3312, のみ使用可
「構造設計特記仕様 6. 鉄骨工事(2)口認定または登録工場」のグレード別に定められた適用範囲と溶接条件制限事項による

●I型

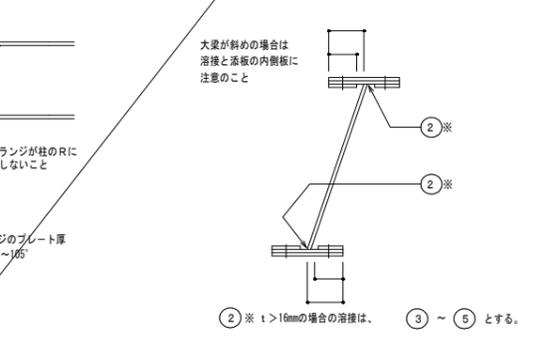


- ※1 ※t > 16mmの場合の溶接は、
- ※2 ※又は
- ※3 ~
- ※5 とする。

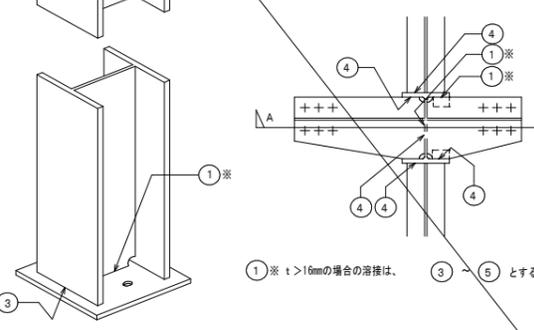
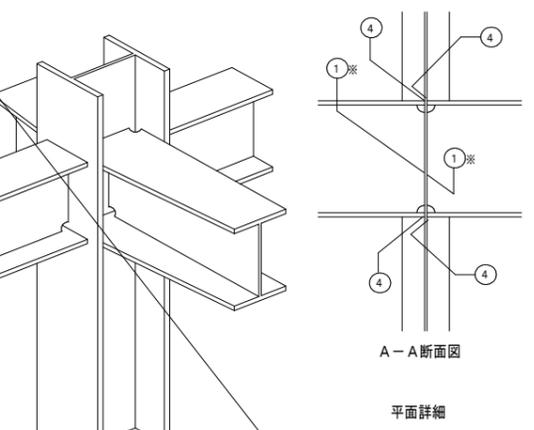
●B.H方式



- ※1 ※t > 16mmの場合の溶接は、
- ※2 ※又は
- ※3 ~
- ※5 とする。



●B.H方式



鉄骨構造標準図(2)

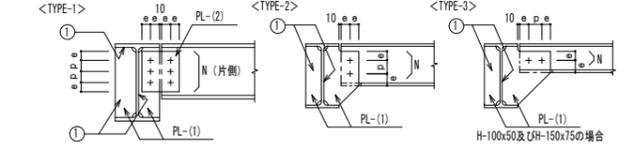
3. 継手規準図、その他

(1) 高力ボルト、ボルト、アンカーボルトのピッチ (P)

呼び径 d	ボルト穴径	最小縁端距離 (e)			ピッチ (P)	
		(1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	最小
M16	18	40	28	22	40	60
M20	22	50	34	26	40	60
M22	24	55	38	28	40	60
M24	26	60	44	32	45	70
M16	21 (16.5)		28	22	(40)	(60)
M20	25 (20.5)		34	26	(40)	(60)
M22	27 (22.5)		38	28	(40)	(60)
M24	29 (24.5)		44	32	(45)	(70)
M27	32		49	36		
M30	35		54	40		
M34 以上	呼び径+5		9d/5	4d/3		

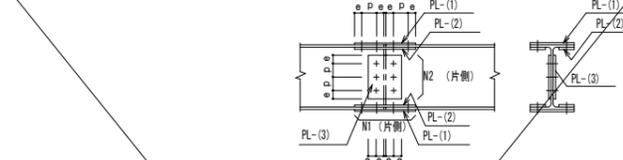
【注】 (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
 (2) せん断線・手動ガス切断線の場合の縁端距離
 (3) 圧延線・自動ガス切断線のご引き線・機械仕上線の縁端距離

(2) ピン接合梁継手リスト



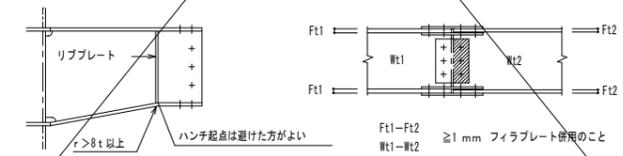
符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N-径
		別紙リスト表による			

(3) 剛接合継手リスト



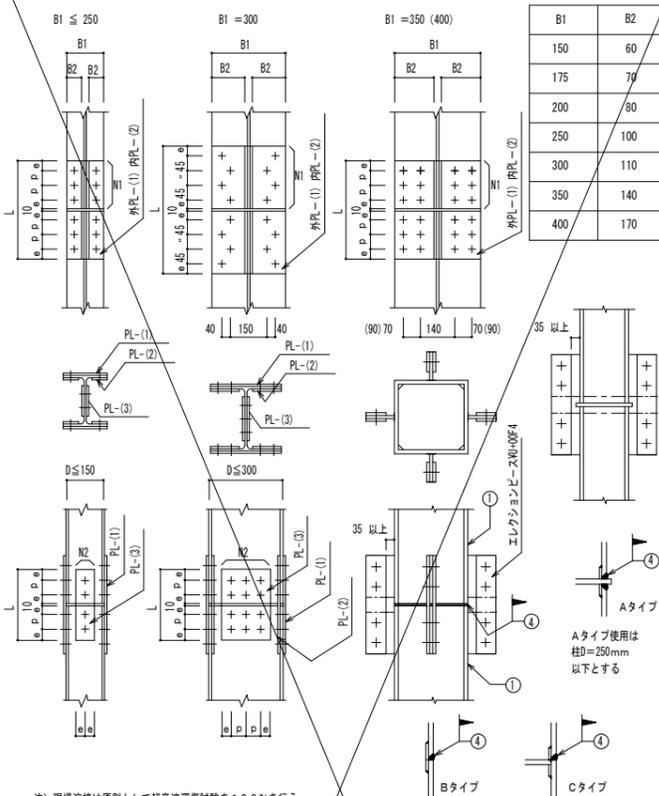
符号	部材	フランジ		ウェブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	N2-径

(4) ハンチ部の継手



ハンチ勾配は普通1:4程度であるが構造図による
 r: 半径 t: 板厚

(5) 柱継手リスト



【注】現場溶接は原則として超音波深層試験を100%を行う

(6) 鉄筋ブレス

符号	部材	フランジ		ウェブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	N2-径

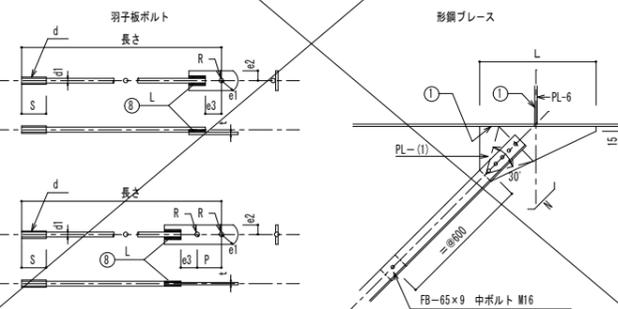
ねじの呼び (d)	軸径 d1	調整ねじの長さ						
		S	R	(2) e1	(1) e2	(1) e2	e3	L
M12	10.81	100	13	35	22	19	47	40
M14	12.65	115	17	40	28	25	52	50
M16	14.65	125	17	45	28	25	59	55
M18	16.33	140	21.5	50	34	32.5	66	60
M20	18.33	150	21.5	50	34	32.5	66	60
M22	20.33	165	23.5	55	38	37.5	73	75
M24	21.99	175	21.5	50	38	37.5	70	85

取付ボルト	種類	JIS B 1186 2種高力ボルト (F10T)						
		M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
		1	1	1	1	1	1	2

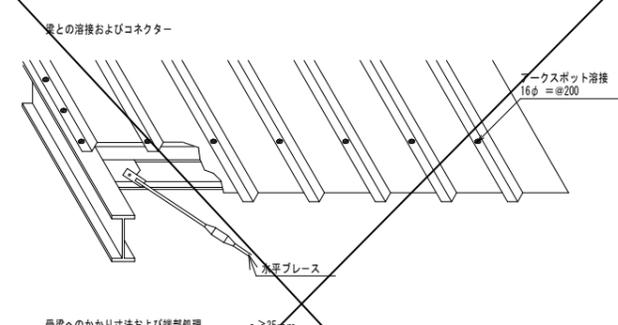
【注】 (1) e1, e2が確保されていれば形状は自由
 (2) 羽子板とセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断 (支圧) 接合とする

(b) 形鋼ブレス

符号	部材	PL-(1)	N-径	L

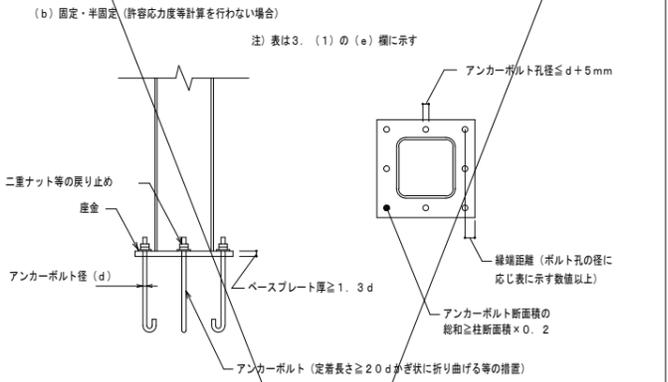


(7) デッキプレート



(8) 露出柱脚

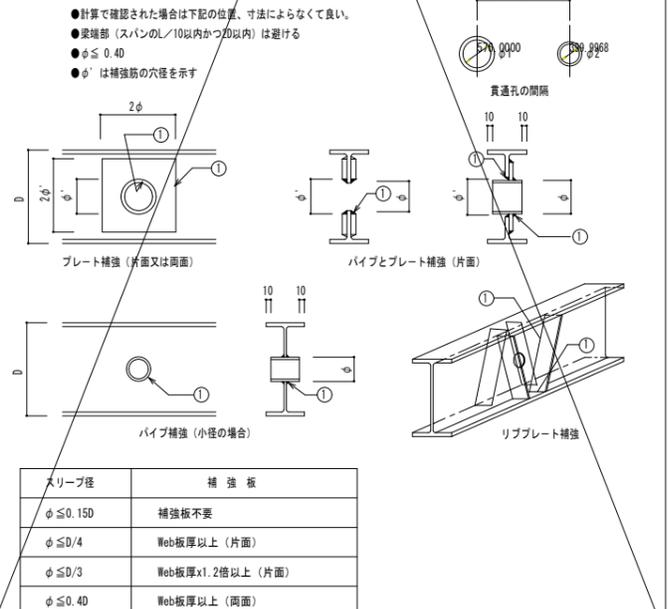
符号	部材	アンカーボルト		ベースプレート			備考		
		径 L	本数	厚	A	B		d	
	H-250・125・6・9	16	620	2	16	310	180	100	



(9) 頭付きスタッド

形状	スタッド材				
	呼び名	軸径 d mm	頭径 D mm	頭高さ T mm	溶接後の長さ L mm
φ13 mm	13.0	22.0	10.0	7.9	50, 80, 100, 130
	12.7	25.4	10.0	7.9	80, 100, 130
φ16 mm	16.0	29.0	10.0	9.5	80, 100, 130
	15.6	31.7	10.0	9.5	80, 100, 130, 150
φ19 mm	19.0	32.0	10.0	9.5	80, 100, 130, 150
	19.0	31.7	10.0	9.5	80, 100, 130, 150
φ22 mm	22.0	35.0	10.0	9.5	100, 130, 150
	22.2	34.9	10.0	9.5	100, 130, 150

(10) 梁貫通補強



スリーブ径	補強板
φ ≤ 0.15D	補強板不要
φ ≤ D/4	Web板厚以上 (片面)
φ ≤ D/3	Web板厚x1.2倍以上 (片面)
φ ≤ 0.4D	Web板厚以上 (両面)

構造設計特記仕様

※修正箇所は下線で示すこと
適用は ■ 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 建築名称・場所 深川消防団第7分団本部 (2) 新築工事 東京都江東区木場二丁目47番 (地名地番)
(2) 工事種別 ■ 新築 ■ 増築 □ 改築
(3) 構造設計一般建築士の関与 □ 必要 ■ 必要としない
(4) 構造種別 □ 木造 (W) □ 補強コンクリートブロック造 (CB)
■ 鉄骨造 (S) □ 鉄筋コンクリート造 (RC)
□ 壁式鉄筋コンクリート造 (WRC) □ 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC)
□ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WPRC) □ 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC)
□ プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC)
(5) 階数 1 棟 地下 1 階 地上 2 階 塔屋 1 階
(6) 主要用途 消防団分団本部
(7) 屋上付属物 □ 高架水槽 -N □ キュービクル -N
□ 広告塔 □ 煙突
(8) 特別な荷重 □ エレベータ 人乗 (マンリウムレス ロープ式・油圧式) □ リフト -N
□ ホイスト -N □ 倉庫積載床用 -N/m □ 受水槽 -N
(9) 付帯工事 □ 門扉 □ 換気 □ 駐輪場 □ 機械式駐車場
(10) 増築計画 □ 有 () ■ 無
(11) 構造計算ルート X方向ルート - (1-2) Y方向ルート - (1-2)

2. 使用建築材料表・使用構造材料一覧表

Table with columns for material type (e.g., concrete, steel), design strength, and specifications. Includes sub-sections for concrete (コンクリート) and steel (鉄骨).

Table for reinforcement steel (鉄筋) detailing bar types (SD295, SD345, etc.), diameters, and usage locations.

Table for bolts (ボルト) listing types (SS400, SM400, etc.), diameters, and usage locations.

Table for reinforcement bars (鉄骨) detailing bar types (SS400, SM400, etc.), diameters, and usage locations.

Table for floor slabs and beams (床、梁、壁) detailing material types (ALC, etc.) and specifications.

3. 地盤

Table for ground conditions (地盤調査資料と調査計画) with columns for investigation items and results.

4. 地業工事

- (1) 直接基礎 ■ ベタ基礎 □ 布基礎 □ 独立基礎
(2) 地盤改良 □ 法層混合処理工 □ 深層混合処理工
(3) 杭基礎 支持層 -

Table for foundation work (地業工事) detailing materials (RC, PHC, etc.) and construction methods.

Table for pile foundation (杭基礎) detailing pile diameter, design strength, and construction methods.

5. 鉄筋コンクリート工事 (施工方法等計画書)

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度 (F_c) が 36 N/mm2 以下に適用し、鉄筋の材質は SD390 以下に適用する。

- (1) コンクリート
(2) 鉄筋
(3) 鉄骨

Table for reinforcement work (鉄筋) detailing construction methods and bar types.

- D19未満は、すべて重ね継手とする。
(1) 9月未満は、すべて重ね継手とする。
(2) 鉄骨の検査方法は、外観検査 □ 有 □ 無 ・引張試験 □ 有 □ 無 ・超音波探傷試験 □ 有 □ 無
(3) 型枠
(4) 鉄骨工事 (施工方法等計画書)

Table for reinforcement work (鉄骨) detailing construction methods and materials.

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
(2) 工事管理者の承認を必要とするもの
(3) 社内検査
(4) 接合部の溶接は下記によること

6. 鉄骨工事 (施工方法等計画書)

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
(2) 工事管理者の承認を必要とするもの
(3) 社内検査
(4) 接合部の溶接は下記によること

7. 設備関係

Table for equipment (設備関係) detailing inspection methods and results.

8. その他

- 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
■ 建築設備の支持構造および緊結金物には、錆止め等、防食のための有効な措置を講じること。
■ 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
■ エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
■ 特記以外の受買選定は原則として設けない。
■ 床スラブ内に設備配管等を埋込ん場合は、スラブ厚さの1/3以下とし管間の管壁を3倍以上かつ5cm以上を原則とする。
■ 満水時の質量が15kgを超える、石油、ガス、電気給湯設備を使用する場合はその旨の資料を添付する。

規格番号 規格名称 種別記号

Table mapping specifications (規格番号) to names (規格名称) and codes (種別記号) for various materials like steel and concrete.

5.2.2 ボルトの種類・強度 認定番号MBLT-0090

- a. 高力ボルト
使用する高力ボルトは、 JIS形高力ボルトとする。
1) JIS形高力ボルトは JIS B 1186「摩擦接合用高力六角ボルト・六角ナット・平座金」のセットとし、セット種別は 2種 (SF10T) とする。
2) 溶融亜鉛めっき高力ボルトは、建築基準法により認定された製品で、ボルトとナットのセット種別は 1種 (F8T相当) とする。
b. 普通ボルト
使用の普通ボルトによる鉄骨の接合は、告示第2464号に定めるボルトで 強度区分 4、8及び6、8及び JIS B 1051に規定する 強度区分各 4、8及び6、8以上のボルトとする。

- 1) 普通ボルトによる場合は、特記のない限り5.2.2 b.の六角ボルト・ナット・座金による。
2) ボルト穴の径は、ボルト呼び径より 0.5mm以上大きい穴を標準とする。
3) 一重ナット締めか二重ナット締めかは特記による。
4) 締付けは、母材が密着し、緩まめよう適切なトルクで締め付ける。
5) 振動を受ける場合は、滑り止め機能のある座金を用いるか、二重ナット締めとする。

アンカー工事

鉄骨を固定するための先付けのアンカーボルトは 建築構造用一般アンカーボルトとする。

- 1) アンカーは所定の形状及び寸法を有し、所要の性能を満足するものであること。
2) アンカーは正しい位置に保持され、作用力を有効に伝達できるものであること。

7. 設備関係

- 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
■ 建築設備の支持構造および緊結金物には、錆止め等、防食のための有効な措置を講じること。
■ 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
■ エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
■ 特記以外の受買選定は原則として設けない。
■ 床スラブ内に設備配管等を埋込ん場合は、スラブ厚さの1/3以下とし管間の管壁を3倍以上かつ5cm以上を原則とする。
■ 満水時の質量が15kgを超える、石油、ガス、電気給湯設備を使用する場合はその旨の資料を添付する。

8. その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
■ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事管理者に報告すること。
■ 必要に応じて記録写真を併し提出すること。

Table with 2 main sections: 1. 設計 (Design) and 2. 耐火設計 (Fire Design). Section 1 includes specifications for deck plate, concrete, and reinforcement. Section 2 includes fire resistance requirements and conditions.

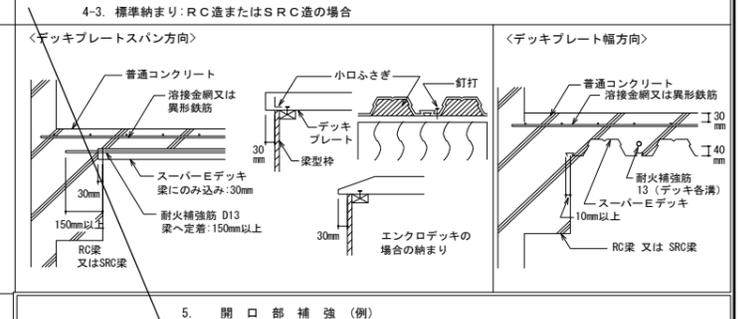
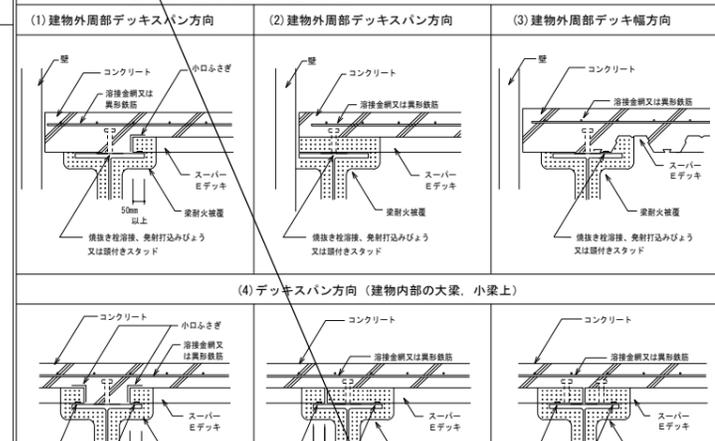
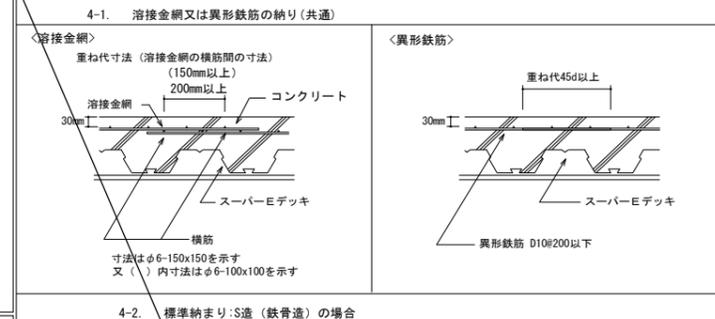
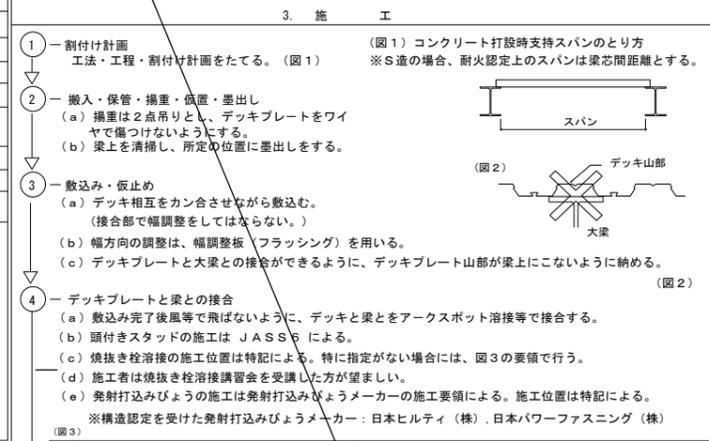
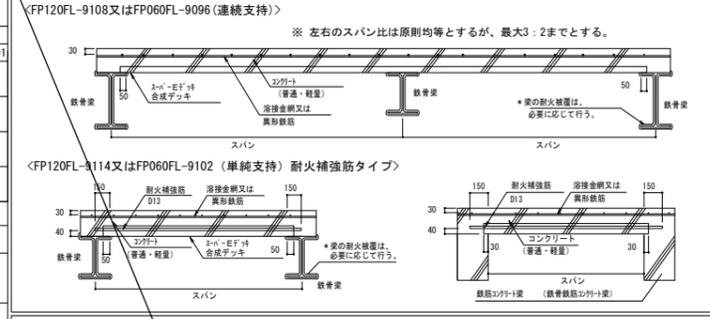
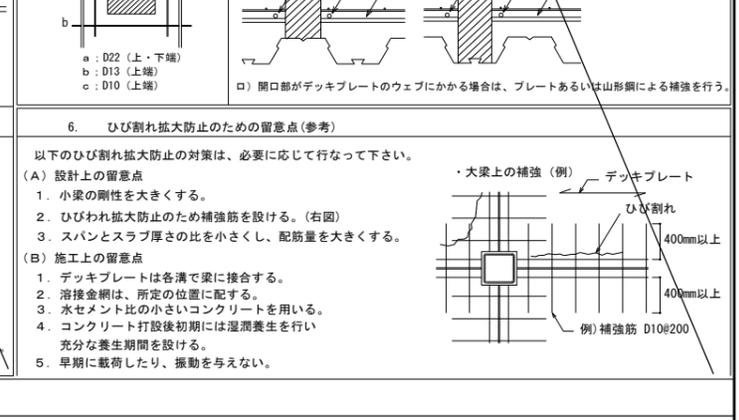
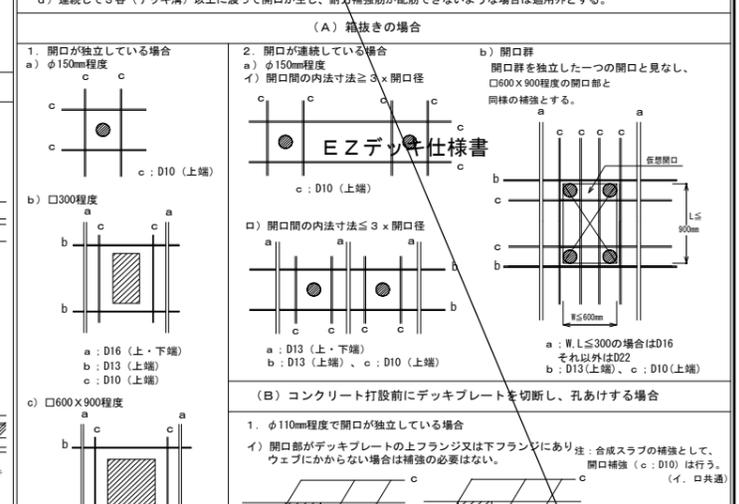
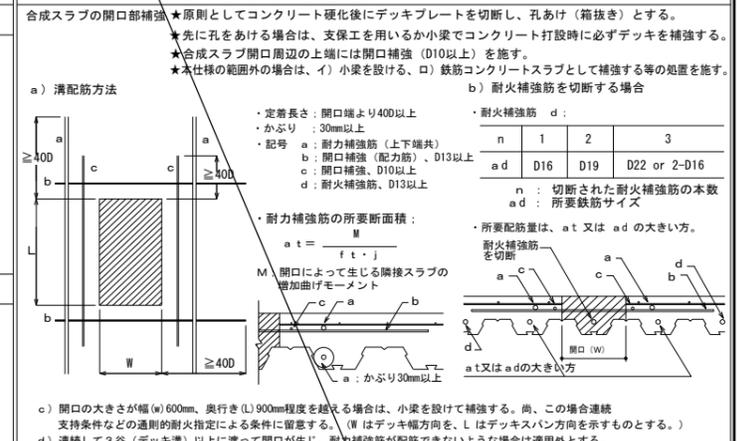
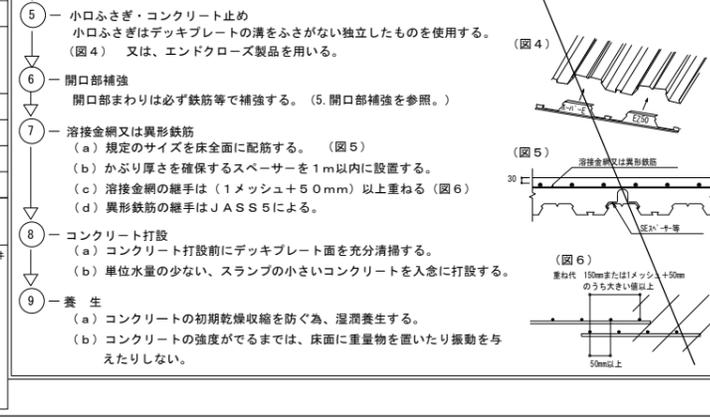


Table for fire design details, including deck plate width and span direction specifications, and a table for welding methods (溶接方法).

Table for fire design details, including deck plate width and span direction specifications, and a table for welding methods (溶接方法).



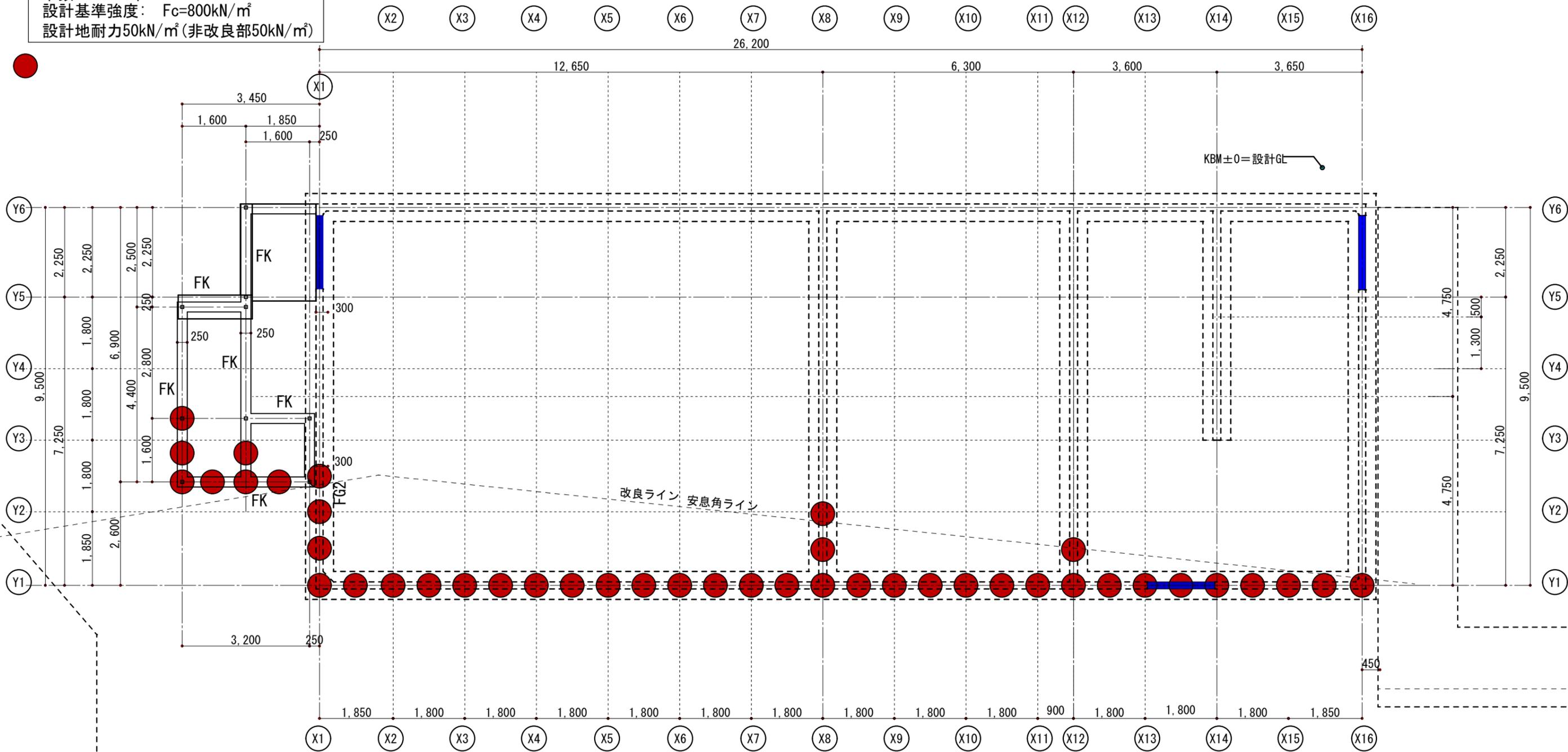
Notes and additional specifications for the deck plate and fire design, including references to standards and manufacturer instructions.

Notes and additional specifications for the deck plate and fire design, including references to standards and manufacturer instructions.

Notes and additional specifications for the deck plate and fire design, including references to standards and manufacturer instructions.

参考

深層混合処理工法
 改良径: $\phi 600\text{mm}$
 改良深度: 設計GL-0.665m-2.415m
 本数: n n=43本
 設計基準強度: $F_c=800\text{kN/m}^2$
 設計地耐力 50kN/m^2 (非改良部 50kN/m^2)



地盤改良指示図 S=1/100

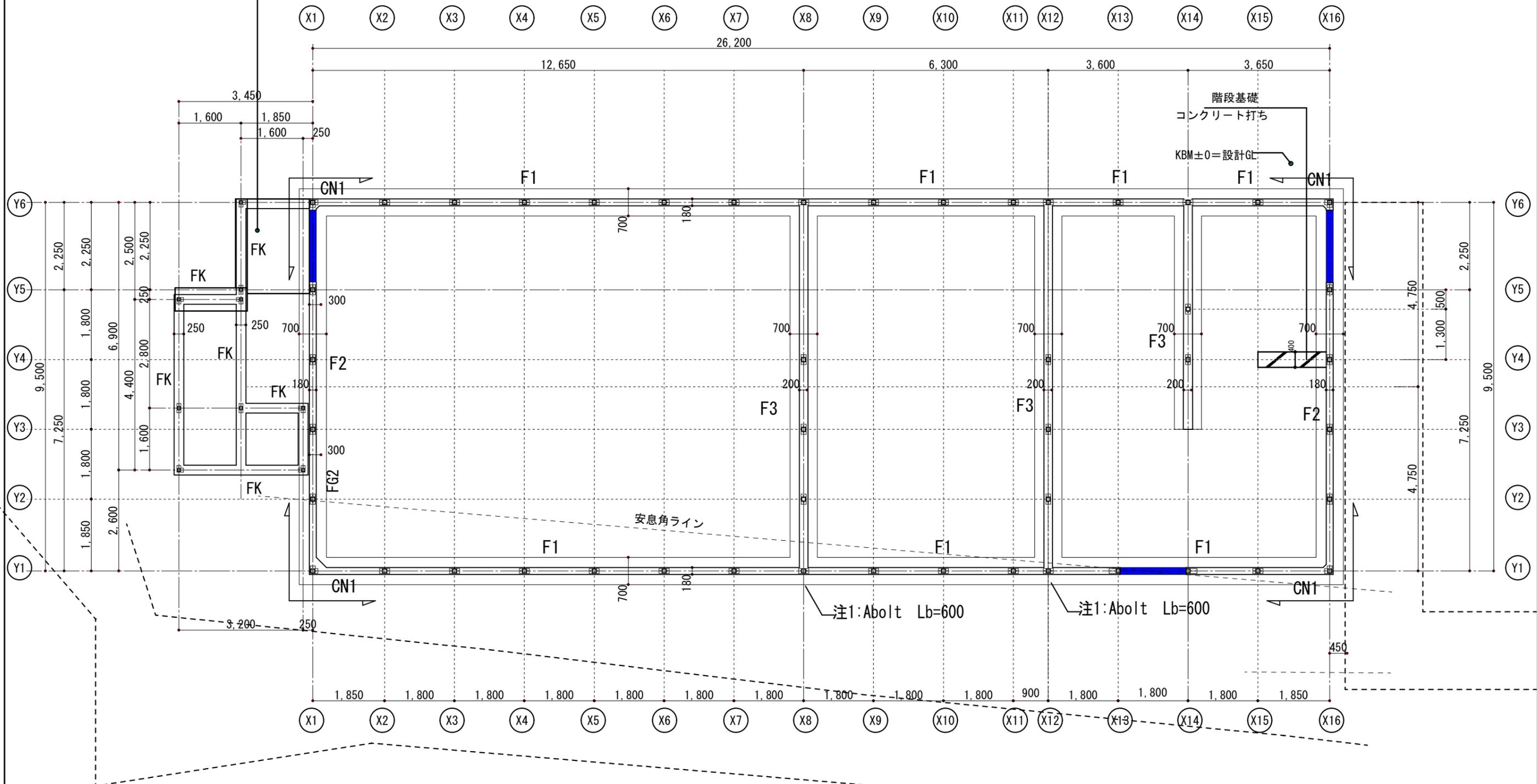
擁壁影響線下まで柱状改良を行い安全を確保するものとする。
 現地地盤調査の上 深度 範囲は決定するものとする。
 渡り廊下は 影響線下へ基礎を定着するものとする。

横浜市教育委員会事務局		工事名	横浜小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/50	図面名称	地盤改良指示図
設計者	有限会社宮本建築設計事務所	図面番号		図面枚数	図面番号
〒225-0292 横浜市中区新港2-10-60 宮本建築		図面番号	S-07		

基礎形式：布基礎

載荷資料により
地盤の許容支持力を長期地耐力は50kN/m²・短期地耐力は100kN/m²とする。

ポーチ. 階段はBC及びモルタル



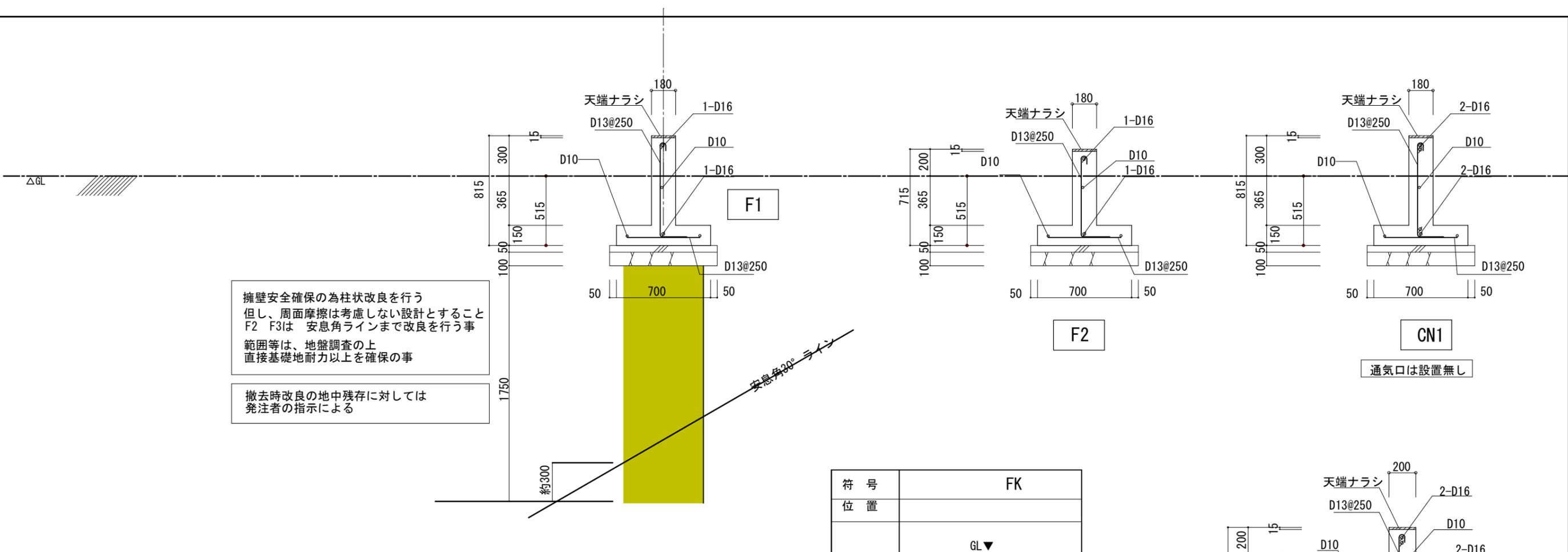
±0 GLより 土間コンクリート の高さを示す

基礎伏図 S=1/100

隣地境界線

隣地境界線

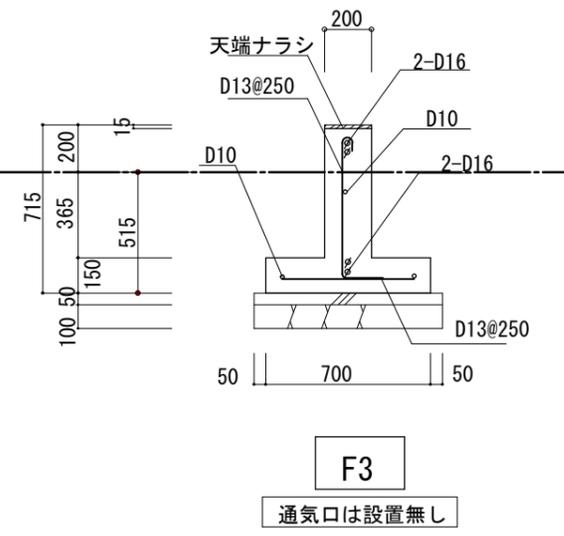
横浜市教育委員会事務局		工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事			
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面名称	基礎伏図	
設計者	有限会社宮本建築設計事務所		図面番号			
一級建築士 建設大臣登録第21045号 宮本真実			図面枚数			図面番号 S-08



擁壁安全確保の為柱状改良を行う
 但し、周面摩擦は考慮しない設計とすること
 F2 F3は 安息角ラインまで改良を行う事
 範囲等は、地盤調査の上
 直接基礎地耐力以上を確保の事

撤去時改良の地中残存に対しては
 発注者の指示による

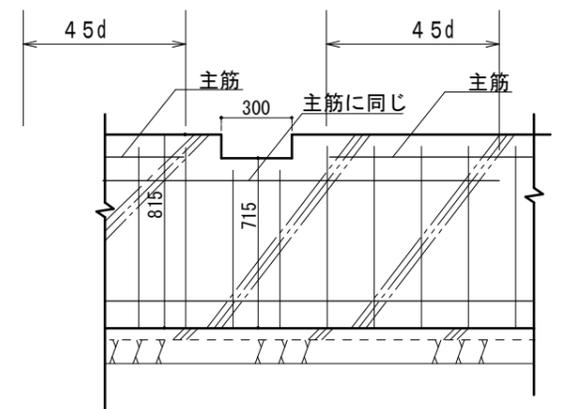
符号	FK
位置	
断面	
B x D	250 x 500
上端筋	2 - D13
下端筋	2 - D13
スターラップ	2-D10 @250
腹筋	2 - D10



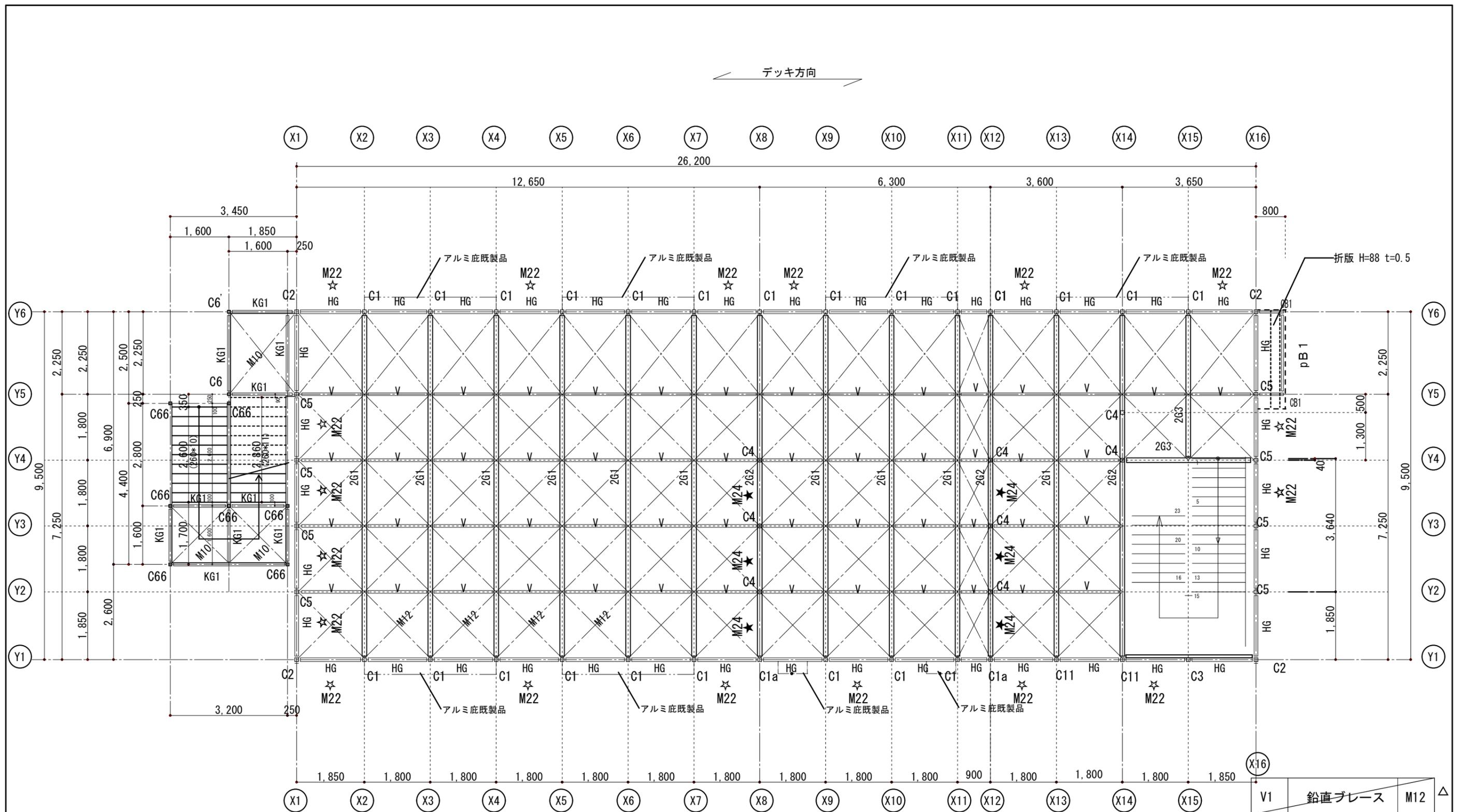
Lb は、コンクリート埋め込みの長さを示す

材料リスト	
コンクリート	普通コンクリート 設計強度 $F_c=21N/mm^2$
鉄筋	SD295A (D19以上使用の場合はSD345) 鉄筋の継手及び定着は、 施行令73条による。
アンカーボルト SNR490B	アンカーボルト 2-M12 Lb=240
	アンカーボルト 2-M16 Lb=300
	座金 PL-6×45×45 アンカーボルト 2-M20 Lb=500
	※注1 C1aは Lb=600 座金 PL-6×45×45
	アンカーボルト 2-M22 Lb=500 座金 PL-6×45×45
	アンカーボルト 2-M24 Lb=600 座金 PL-6×45×45
※ 折り曲げ定着とする	
座金は、ボルト芯ずれの場合の 補強用とする。	

基礎詳細図 S = 1 / 3 0



開口部補強詳細 S = 1 / 3 0

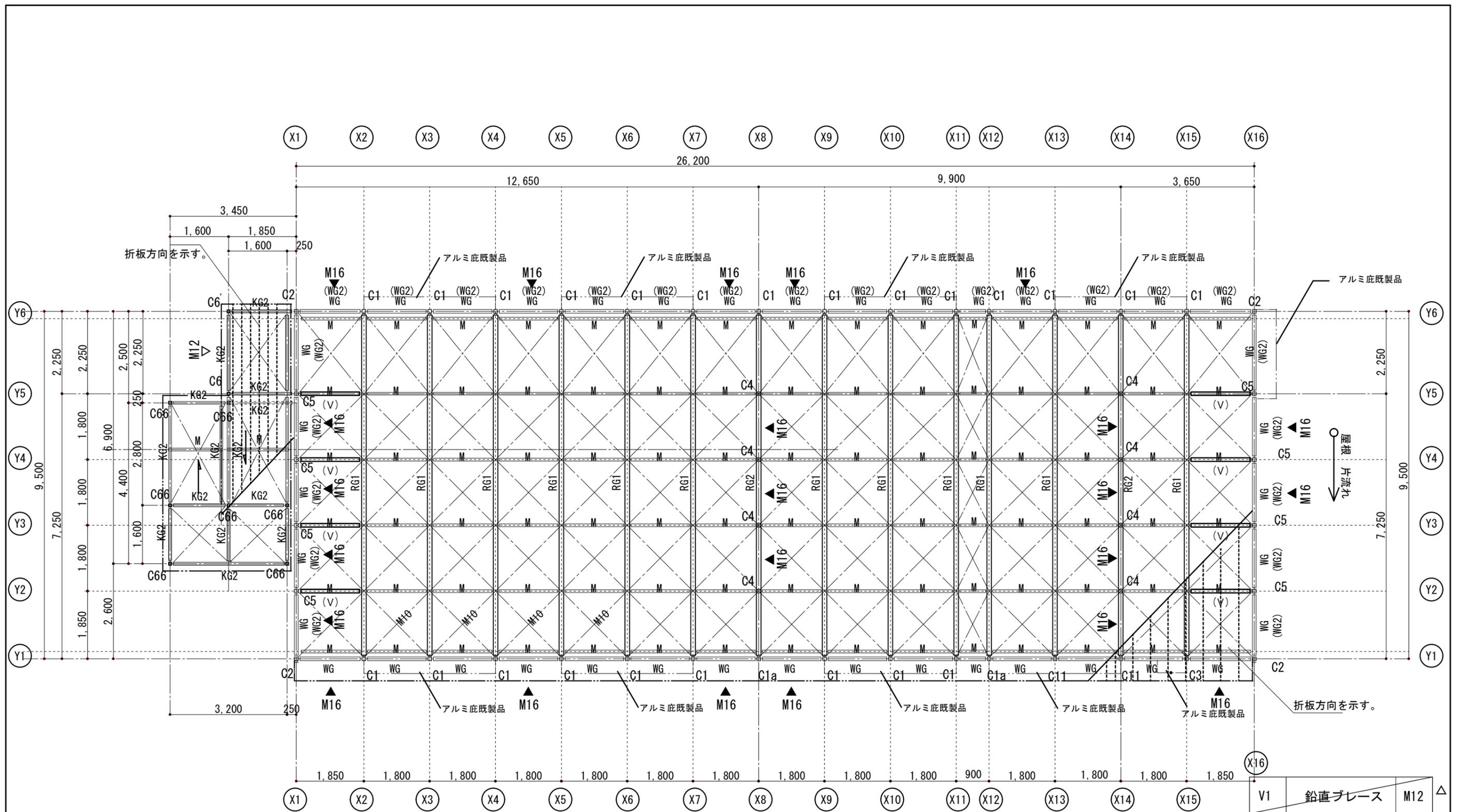


※水平ブレース 1-M12 (ターンバックル締め)

2階床梁伏図 S=1/100

V1	鉛直ブレース	M12	△
V2	鉛直ブレース	M16	▲
V3	鉛直ブレース	M20	●
V4	鉛直ブレース	M22	☆
V5	鉛直ブレース	M24	★

横浜市教育委員会事務局		工 事 名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面名称	2階床梁伏図
設 計 者		図面番号	棟 号	室 番	図面枚数
有限会社宮本建築設計事務所 〒100-0001 東京都千代田区千代田2-10-01 宮本ビル		図面番号			S-10

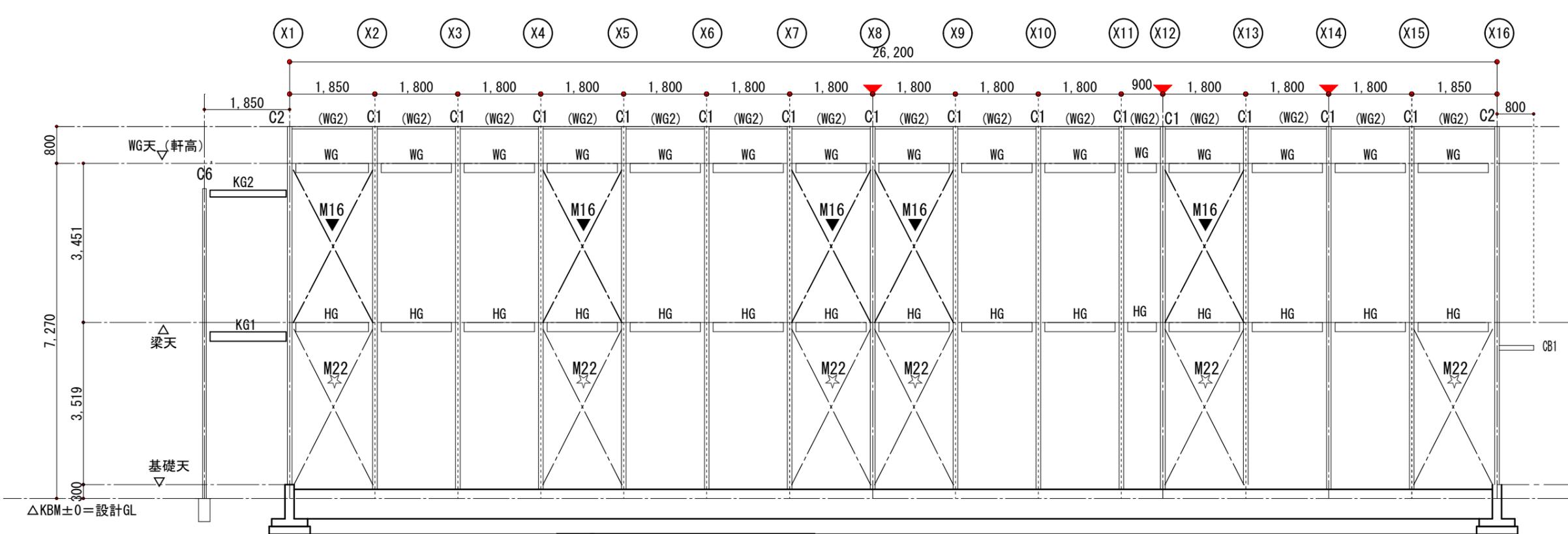


※水平ブレース 1-M10 (ターンバックル締め)

R階床梁伏図 S=1/100

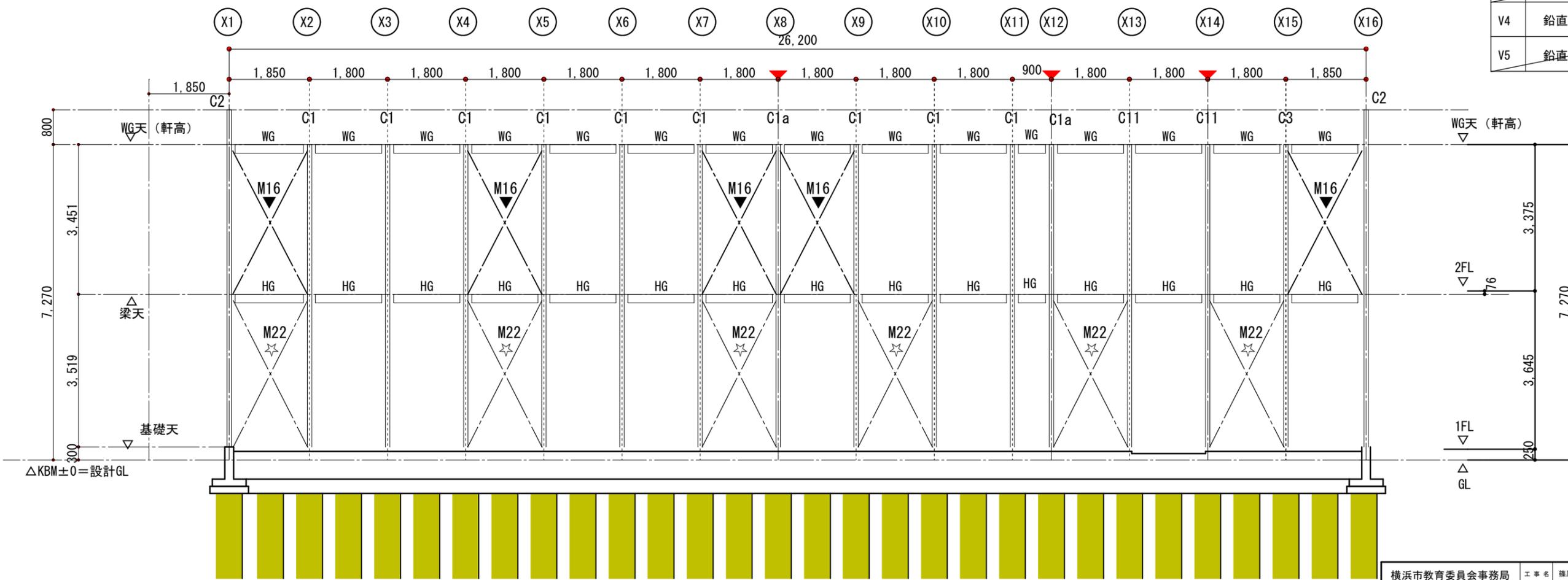
V1	鉛直ブレース	M12	△
V2	鉛直ブレース	M16	▲
V3	鉛直ブレース	M20	●
V4	鉛直ブレース	M22	☆
V5	鉛直ブレース	M24	★

横浜市教育委員会事務局		工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/50	図面名称	R階床梁伏図
設計者	有限会社宮本建築設計事務所	図面番号		図面枚数	
図面番号		図面枚数		図面番号	S-11

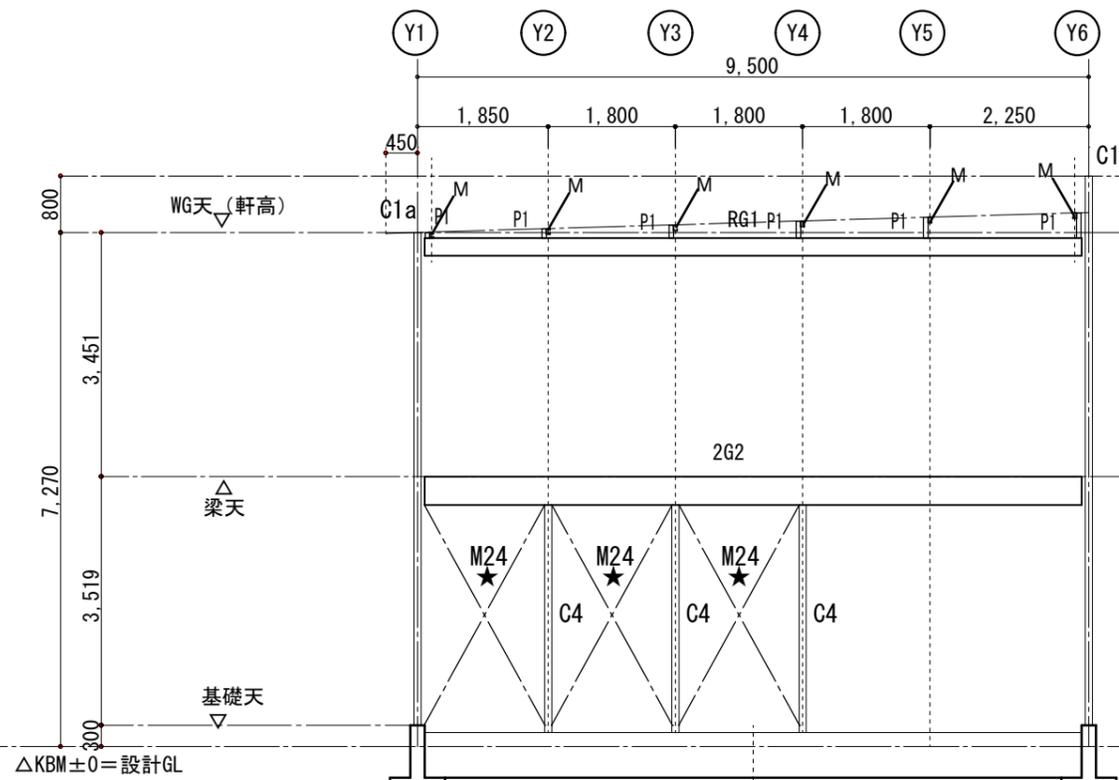


Y6 通軸組図

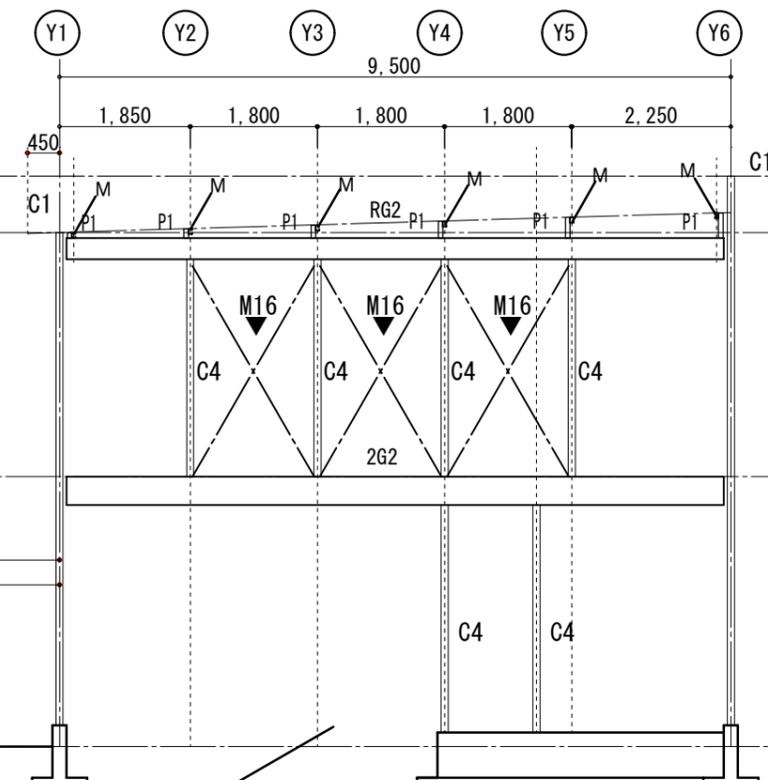
V1	鉛直ブレース	M12	△
V2	鉛直ブレース	M16	▲
V3	鉛直ブレース	M20	●
V4	鉛直ブレース	M22	☆
V5	鉛直ブレース	M24	★



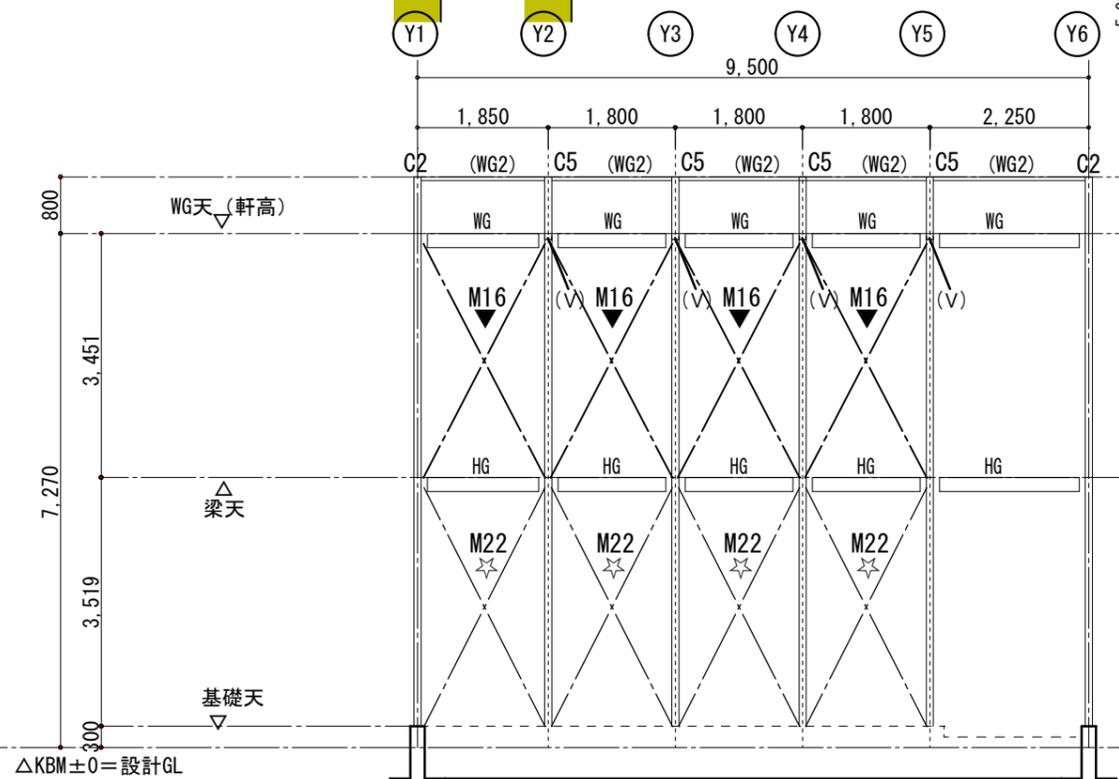
Y1 通軸組図



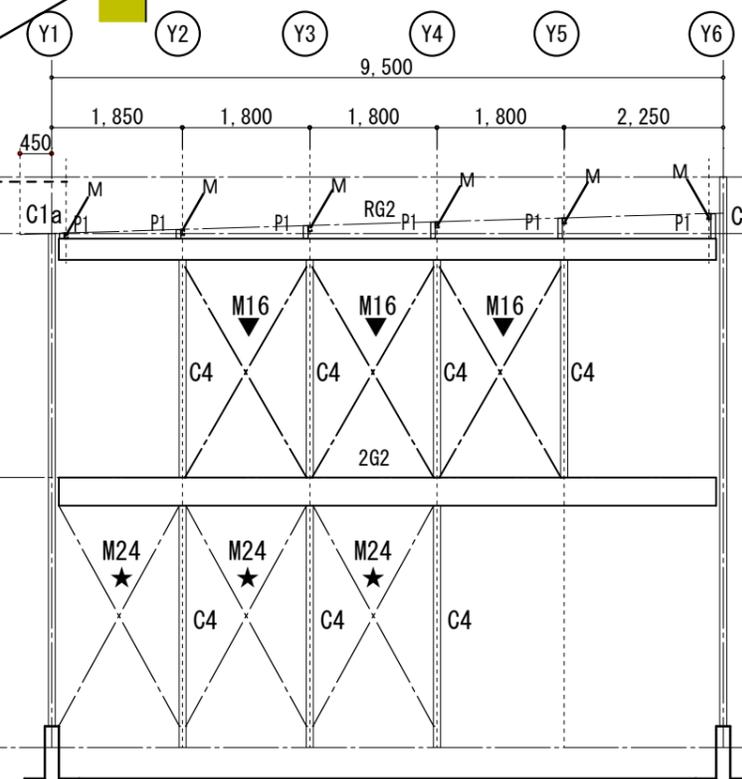
(X12) 通 軸組図



(X14) 通 軸組図



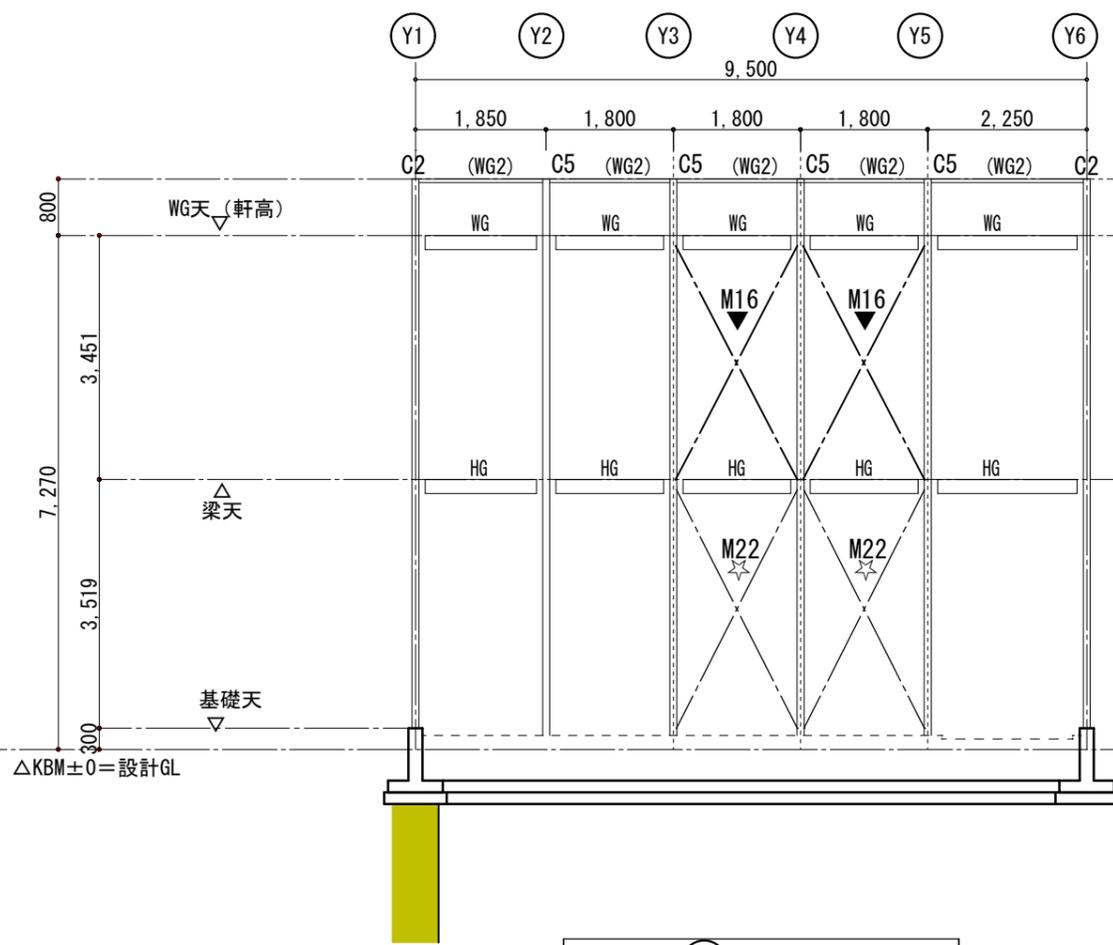
(X1) 通 軸組図



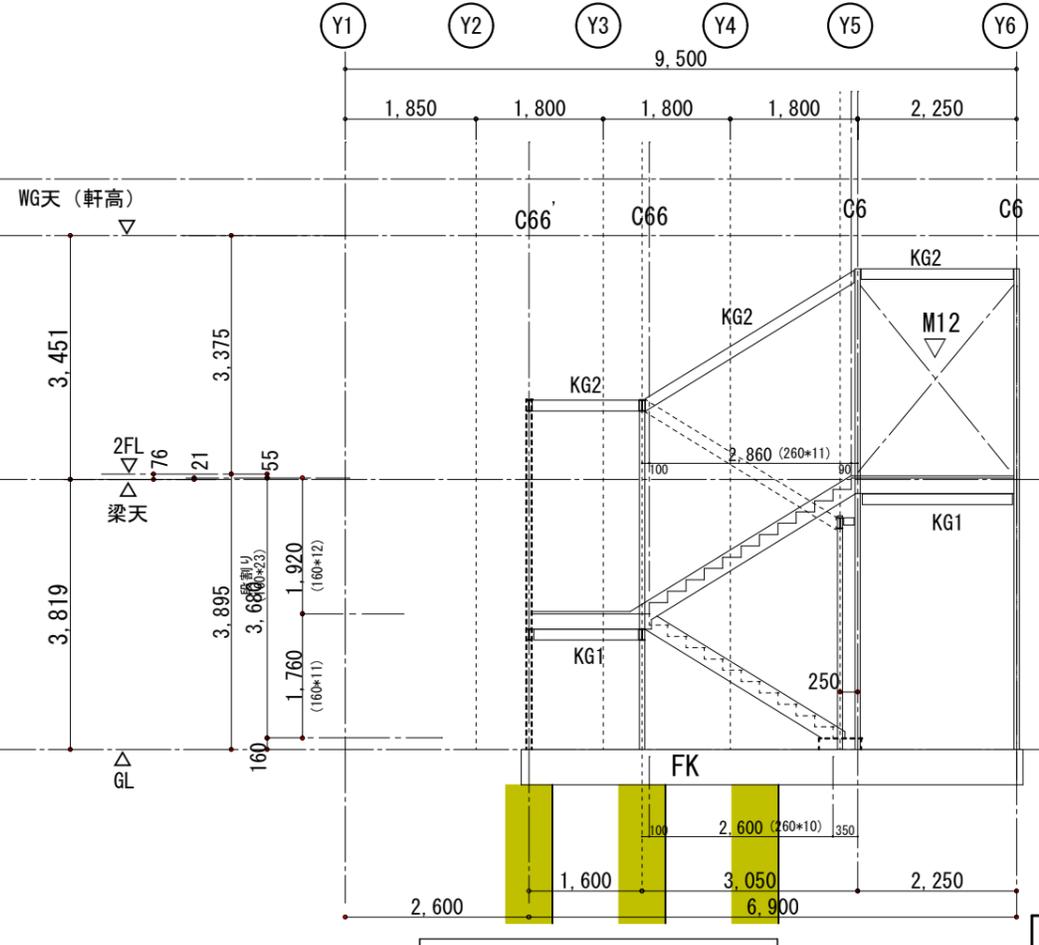
(X8) 通 軸組図

V1	鉛直ブレース	M12	△
V2	鉛直ブレース	M16	▲
V3	鉛直ブレース	M20	●
V4	鉛直ブレース	M22	☆
V5	鉛直ブレース	M24	★

V1	鉛直ブレース	M12	△
V2	鉛直ブレース	M16	▲
V3	鉛直ブレース	M20	●
V4	鉛直ブレース	M22	☆
V5	鉛直ブレース	M24	★



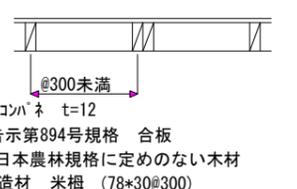
(X16) 通 軸組図

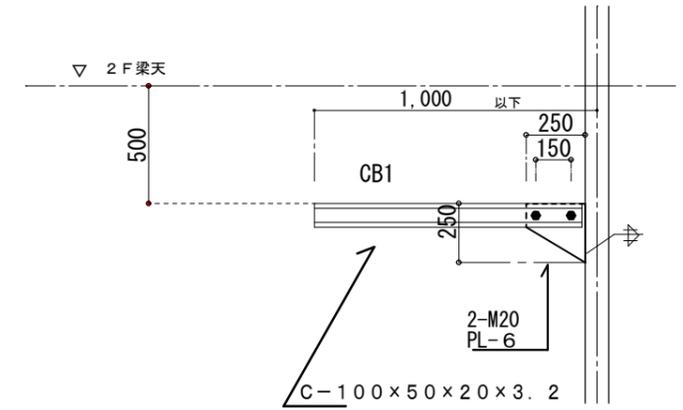
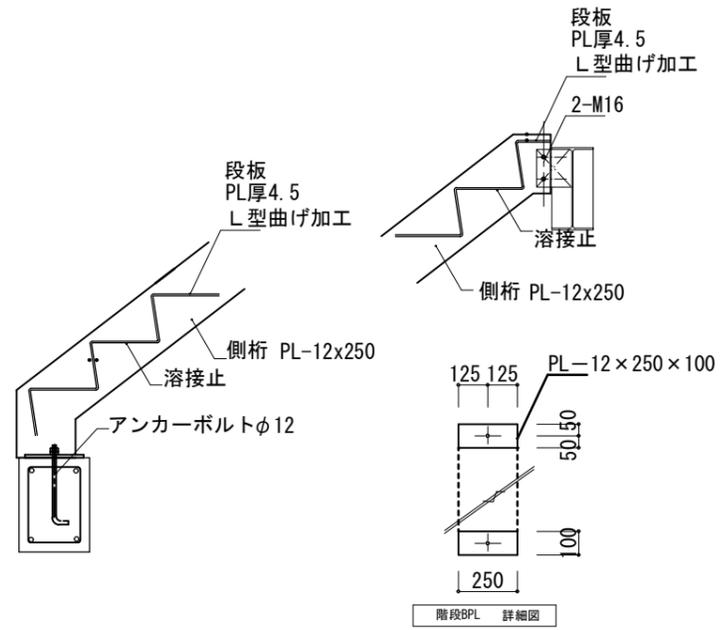
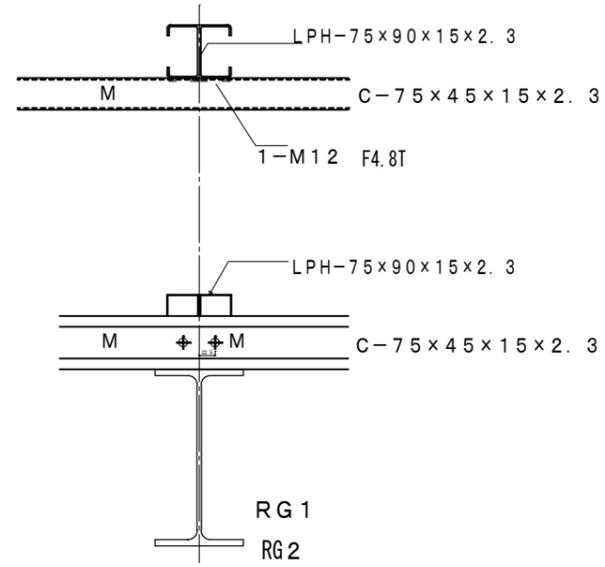


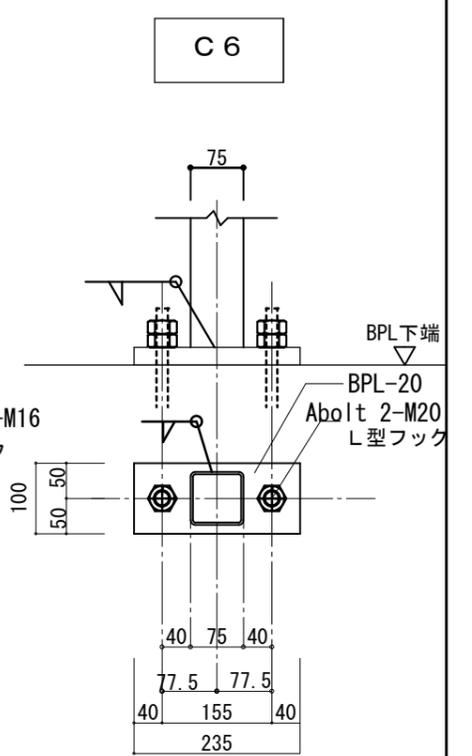
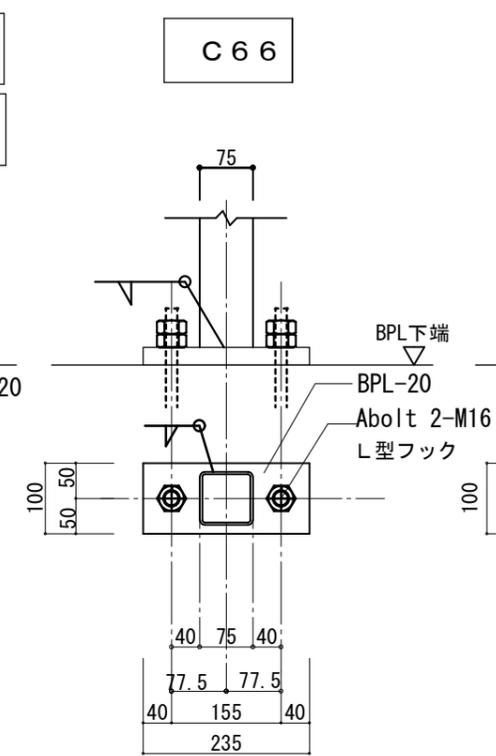
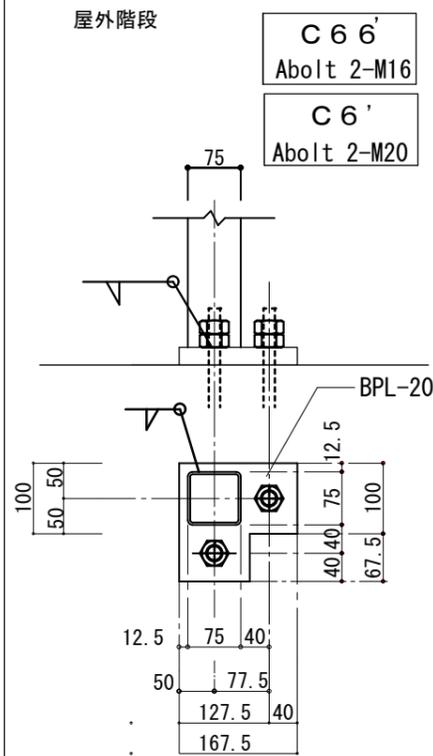
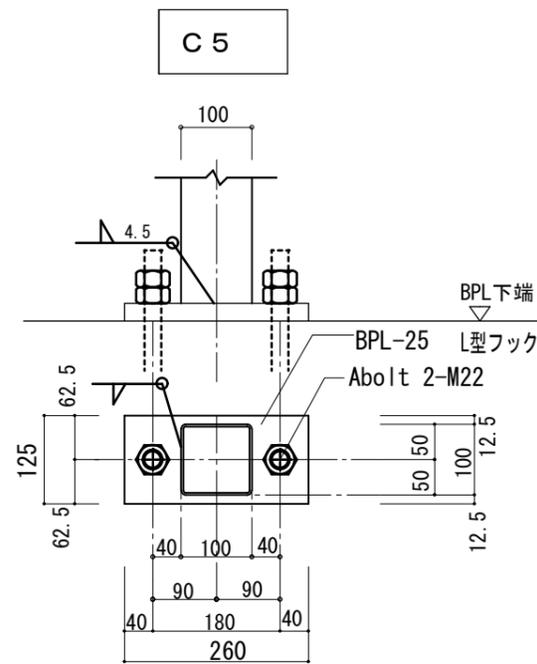
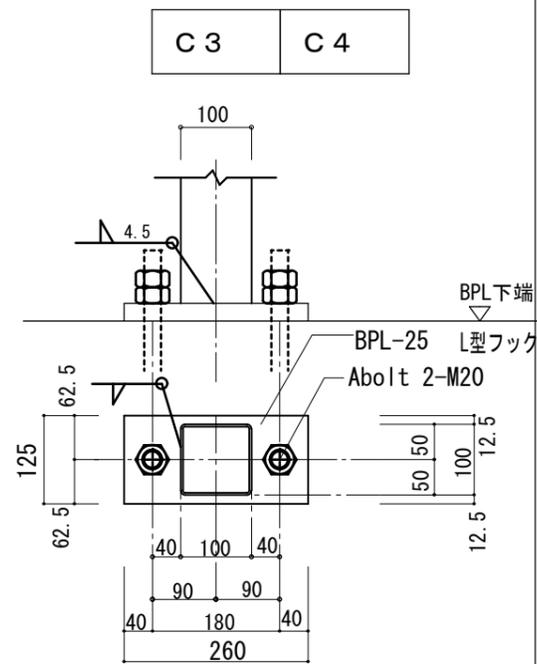
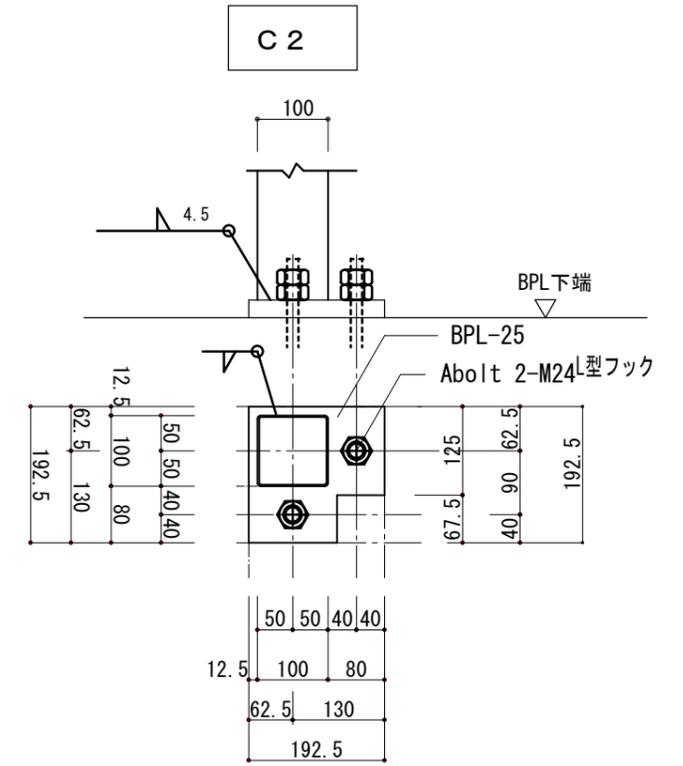
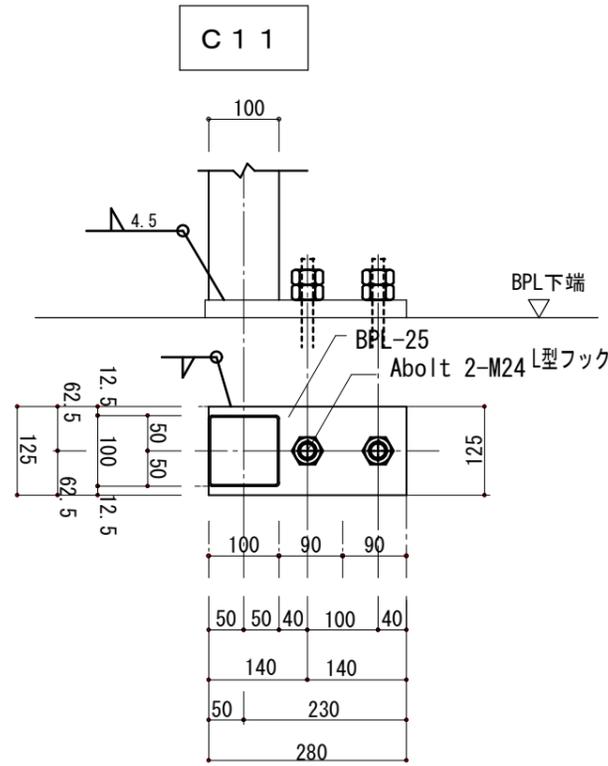
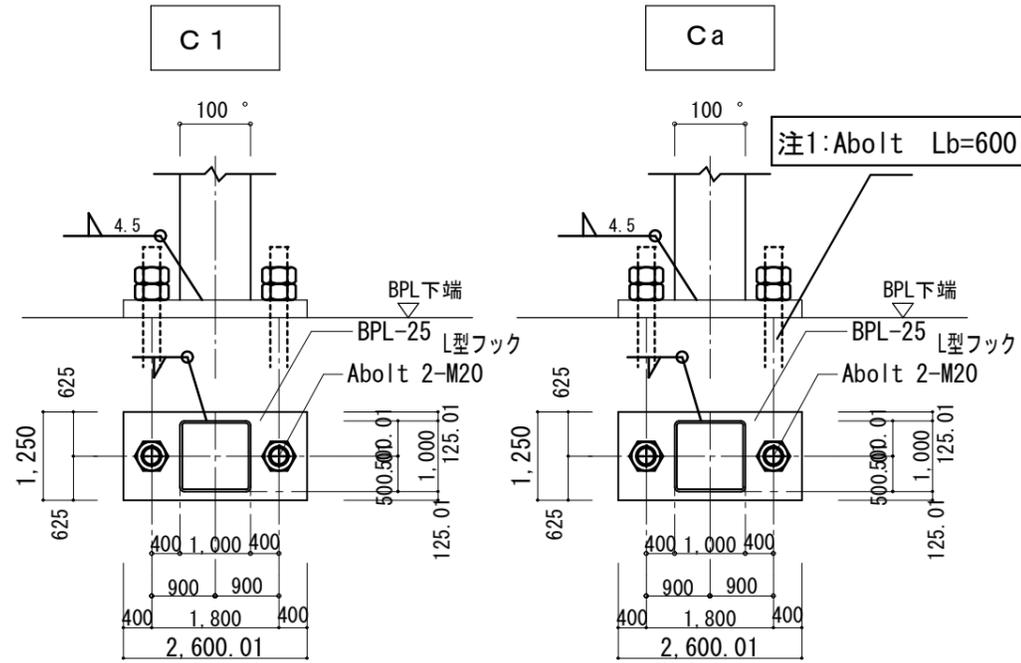
屋外階段 (中通り)

横浜市教育委員会事務局		工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/50	A3:1/100	図面名称
設計者		図面名称	軸組図 3		
有限会社宮本建築設計事務所		図面番号	1	2	3
〒220-0292 横浜市磯子区磯子2-1-1		図面番号	1	2	3
代表取締役 宮本 浩一		図面番号	1	2	3
電話 045-220-1111		図面番号	1	2	3
FAX 045-220-1112		図面番号	1	2	3
Eメール info@miyamoto-architect.com		図面番号	1	2	3
www.miyamoto-architect.com		図面番号	1	2	3
S-14		図面番号	1	2	3

符号	階	柱リスト				梁リスト						
		部材寸法	1:4.5	アンカーボルト	λ	符号	部材寸法	取付部板厚	中ボルト	強度区分	λ	
C1	2階	□-100X100X4.5	STKR400	□	2-M20	λ=68	2G1	H-350×175×7×11	SS400	GR-9	4-M20	F4.8T
	1階	□-100X100X4.5	STKR400	□			2G2	H-400×200×8×13	SS400	GR-9	4-M20	F4.8T
C2	2階	□-100X100X4.5	STKR400	□	2-M24	λ=68	2G3	H-300×150×6.5×9	SS400	GR-9	4-M20	F4.8T
	1階	□-100X100X4.5	STKR400	□			RG1	H-250×125×6×9	SS400	GPL-9	3-M20	F4.8T
C3	2階	□-100X100X6.0	STKR400	□	2-M20	λ=132	RG2	H-300×150×6.5×9	SS400	GPL-9	3-M20	F4.8T
	1階	□-100X100X6.0	STKR400	□			HG	H-200×100×5.5×8	SS400	GR-6 溶接長100mm×2以上	2-M16	F4.8T
C4	2階	□-100X100X6.0	STKR400	□	2-M20	λ=79	WG	H-200×100×5.5×8	SS400	GR-6 溶接長100mm×2以上	2-M16	F4.8T
	1階	□-100X100X6.0	STKR400	□			WG2	C-100X50X20X3.2 (横使い)	SSC400	GR-4.5	1-M12 (6.8T中ボルト)	F4.8T
C5	2階	□-100X100X4.5	STKR400	□	2-M22	λ=74	V (V)	C-100X50X20X3.2 (横使い)	SSC400	GR-4.5	1-M16	F4.8T
	1階	□-100X100X4.5	STKR400	□			M	C-75×45×15×2.3	SSC400	GPL-4.5 溶接長60mm×2以上	1-M12	F4.8T
C11	2階	□-100X100X6.0	STKR400	□	2-M24	λ=70	CB1	C-100×50×20×3.2	SSC400	GR-6	2-M20	F4.8T
	1階	□-100X100X6.0	STKR400	□			pB1	C-75×45×15×2.3	SSC400	GR-4.5	1-M12	F4.8T
C1a	2階	□-100X100X4.5	STKR400	□	2-M20	λ=68	KG1	H-150×75×5×7	SS400	GR-6	2-M16 (4.8T中ボルト)	F4.8T
	1階	□-100X100X4.5	STKR400	□			KG2	H-150×75×5×7	SS400	GR-6	2-M16 (4.8T中ボルト)	F4.8T
C6	外部 階段柱	□-75X75X3.2	STKR400	□	2-M20	λ=68	縦胴縁	C-75×45×15×2.3 @360以下	SSC400	GPL-4.5	1-M12	F4.8T
C66		□-75X75X3.2	STKR400	□	2-M16		UG	C-100×50×20×3.2	SSC400	GPL-4.5	1-M16	F4.8T
特記なきボルトは		中ボルト SS400 (JIS B 1051 F4.8ボルト)				ブレースのボルト						
※戻り止めに関して、令第67条の戻り止め処置によること。戻り止めには【ばね座金】を使用する (JASS6 7.2 c) 但し、アンカーボルトは【二重ナット】を採用する。		JIS B 1186 F2種高力ボルトを示す。(1面剪断仕様-トルク値確認不要。)										

ブレース材料	外壁	床 S=1/30	屋根	階段
サイズM10 ターンバックボルト (SS400) ブレース羽子板 (SS400) ガセットプレート (SS400) ターンバックル胴 (SS400)	窯業系サイディング t=16 (金具留め工法)	2階 デッキPL使用 +合板貼 スーパーEデッキ E250 1.2 合板貼 デッキPL 焼き抜き溶接 焼き抜きせん溶接ピッチ @600	剣先ボルト M8 L=25 タイフレーム 溶接 裏貼材 鉄骨梁 断熱材 溶接 (20mm以上)	内部鋼製階段 上部取付ボルト 2-M16 サラ PL-12x250 踊り場 PL-4.5 踏み板 PL-4.5 踊場受 [-200*80*7.5*11]
サイズM12以上 ターンバックボルト (SNR400B) ブレース羽子板 (SN400B) ガセットプレート (SS400) ターンバックル胴 (SNR400A)		1階  床パネ コンパネ t=12 JAS/S51告示第894号規格 合板 無等級-日本農林規格に定めのない木材 構造用構造材 米桐 (78*30@300)	ガルバリウム鋼板 H=90 二重折板葺(ハゼ式)音鳴り低減仕様 折板 γ0.6mm+γ0.6mm 裏面)ポリエチレンフォーム貼り t=4 (準不燃材以上) タイフレーム 取り付け 剣先ボルト M8 L=25 グラスウール t=100 (16kg品) 敷込 ※金物は全て錆止め処理をする事。	屋外鋼製階段 上部取付ボルト 2-M16 サラ PL-12x250 踊り場 PL-4.5 踏み板 PL-4.5 踊場受 [-200*80*7.5*11]





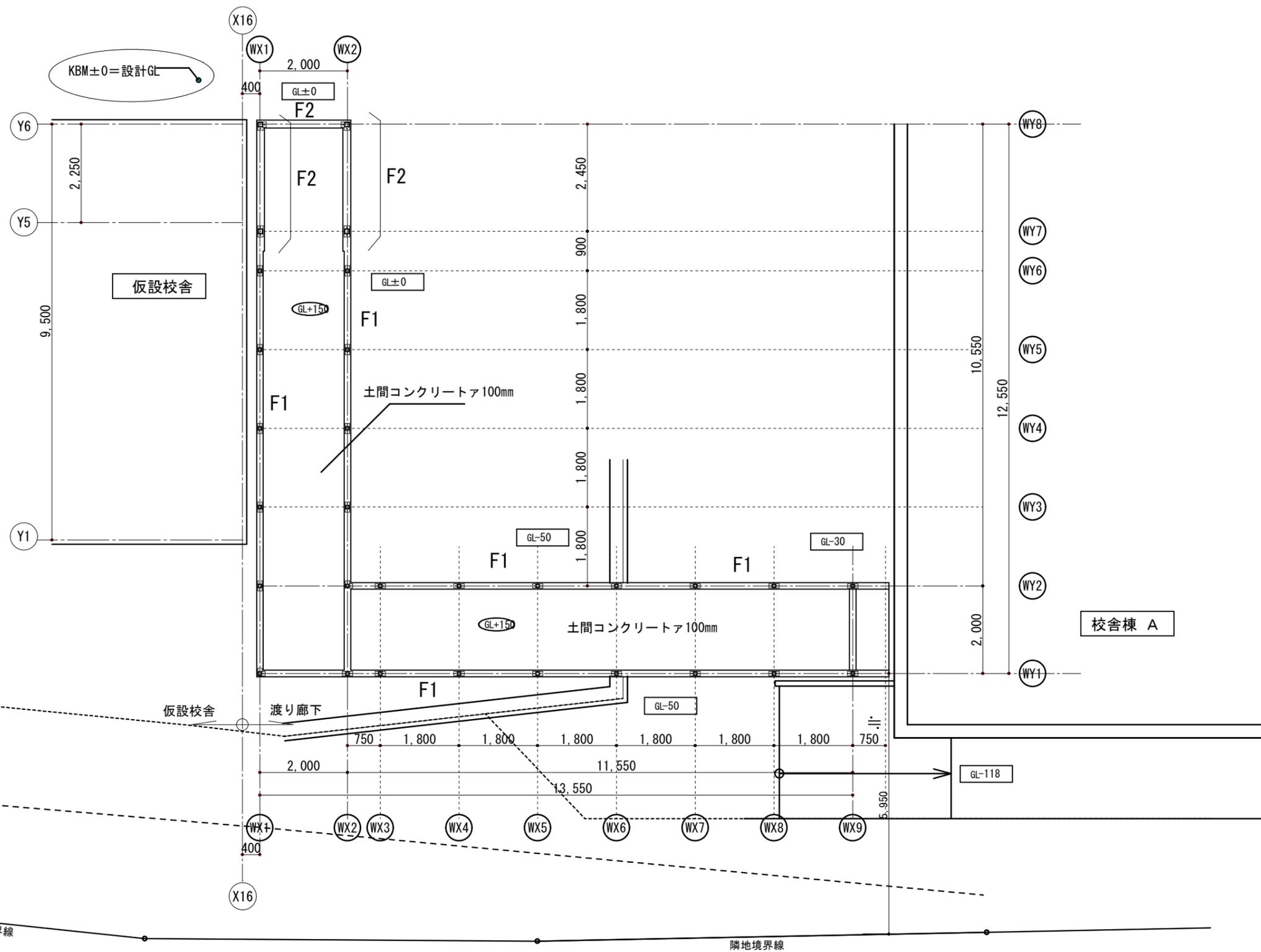
Abolt Lb=長さ 記載なしは、(S-6) 材料リストの表による。

BPL使用材—SS400

Abolt 使用材—SNR490B

柱脚詳細図 1/10

横浜市教育委員会事務局		工 事 名		篠原小学校仮設校舎設置その他工事	
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/5 A3:1/10	図面名称	部分詳細図(2)
設 計 者	有限会社宮本建築設計事務所	図面番号		検査者	
一級建築士 建設大臣登録第21045号 宮本真実		検査者		図面枚数	
				図面番号	S-17



仮設校舎

渡り廊下

校舎棟 A

土間コンクリート100mm

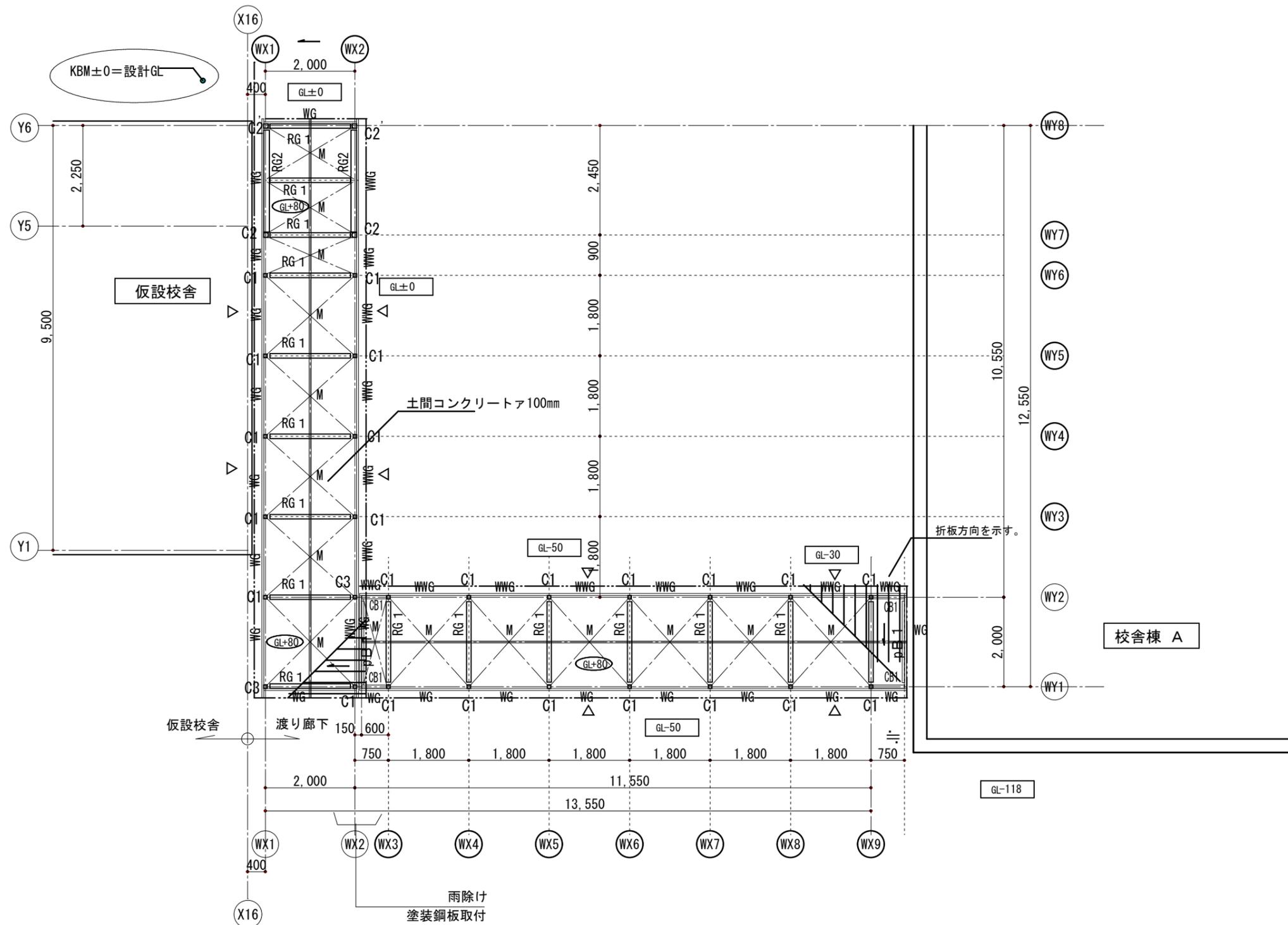
土間コンクリート100mm

基礎伏図 S=1/100

GL±0 現況地盤高さを示す

GL±0 設計GLよりの床仕上がり高さを示す

横浜市教育委員会事務局		工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事			
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面名称	基礎伏図 (渡り廊下)	
設計者	有限会社宮本建築設計事務所		図面番号	S-18		
一級建築士 藤田大樹 登録第21045号	主任建築士	建築士	図面枚数	1/1		



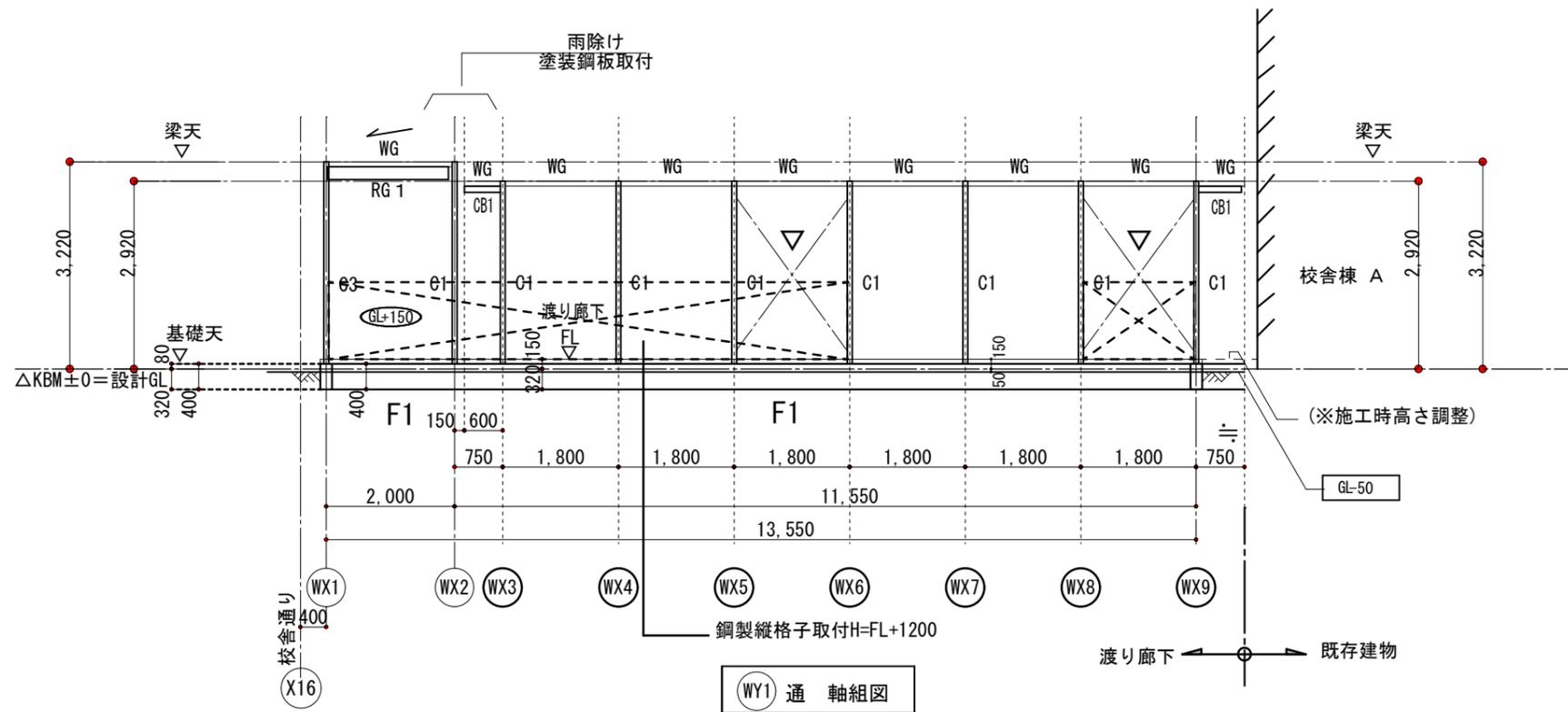
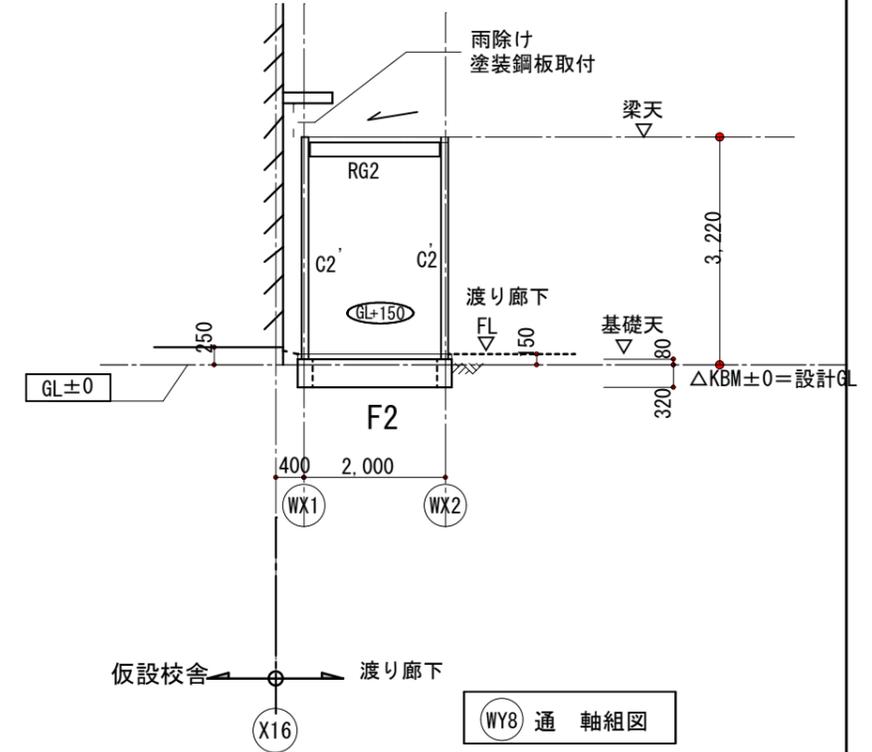
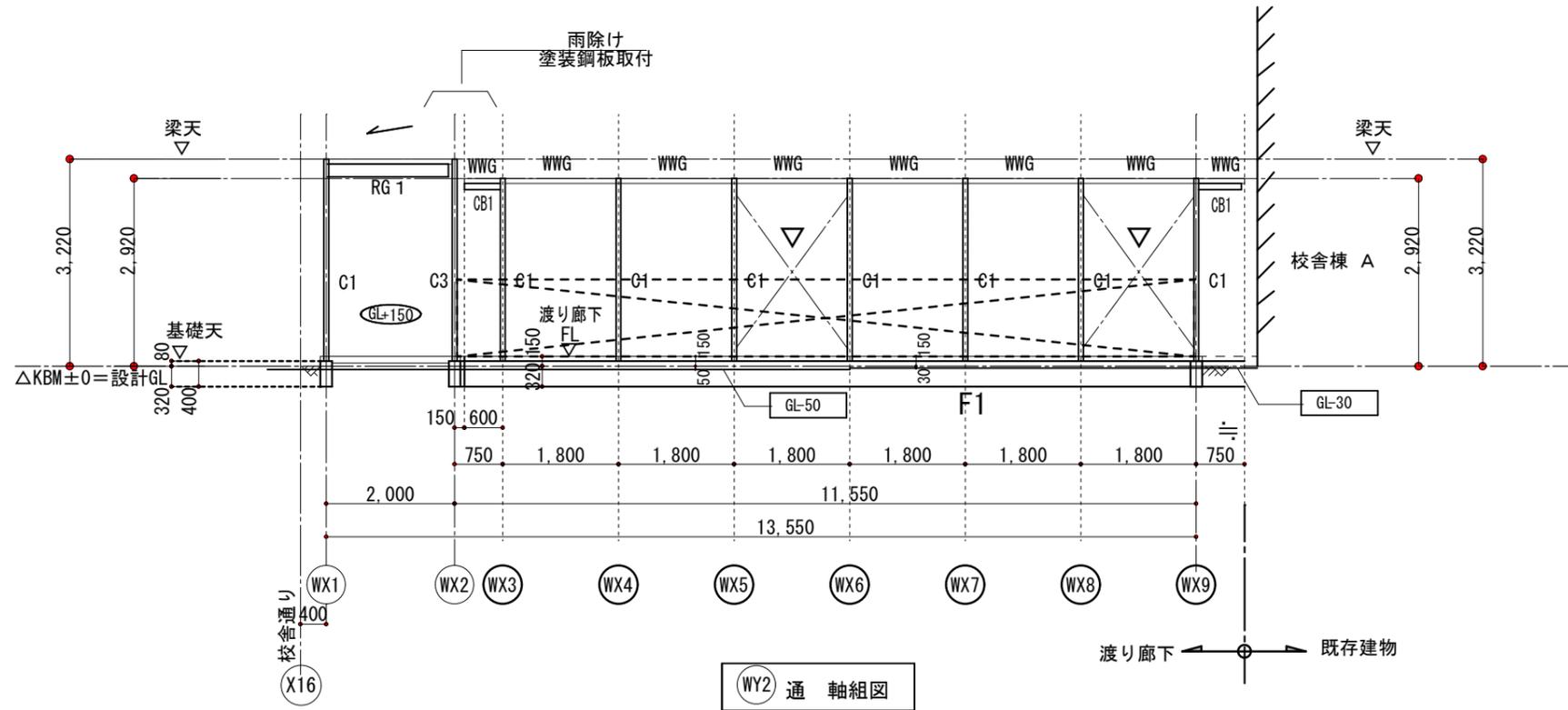
※水平ブレース 1-M10 (ターンバックル締め)

梁伏図 S=1/100

GL±0 現況地盤高さを示す

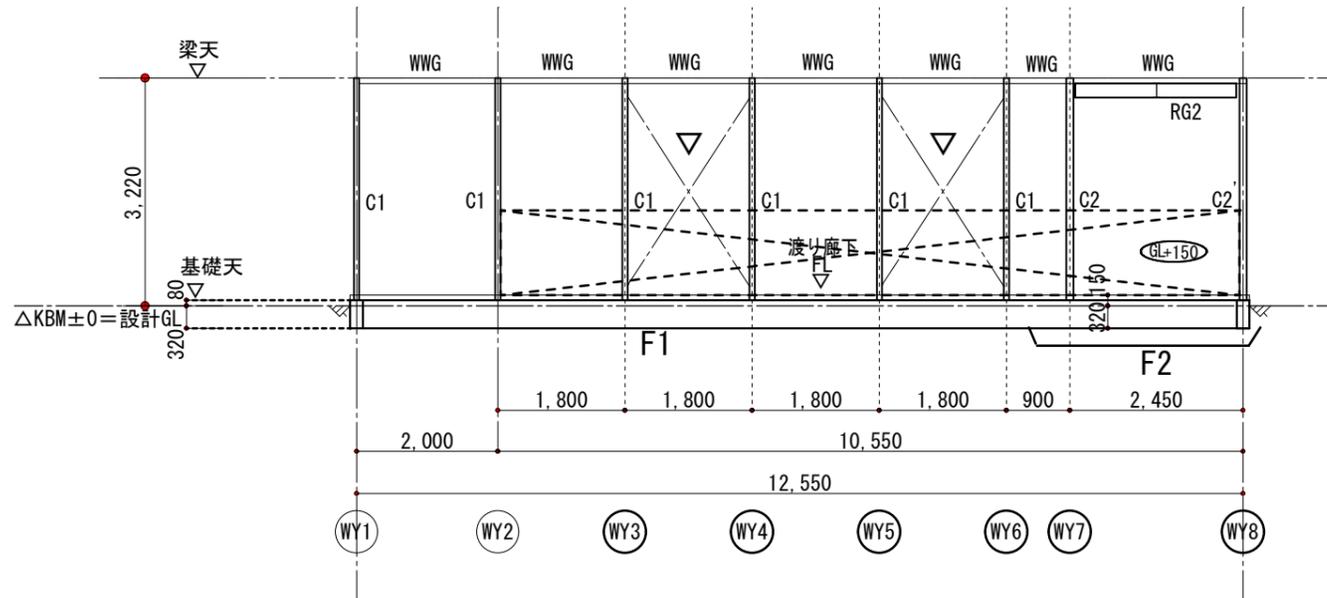
GL±0 設計GLよりの床仕上がり高さを示す

横浜市教育委員会事務局		工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事			
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面名称	梁伏図 (渡り廊下)	
設計者		図面番号	種別	層数	面積	図面枚数
有限会社宮本建築設計事務所 〒105-8501 東京都港区新橋2-10-45 宮本ビル						
						図面番号
						S-19

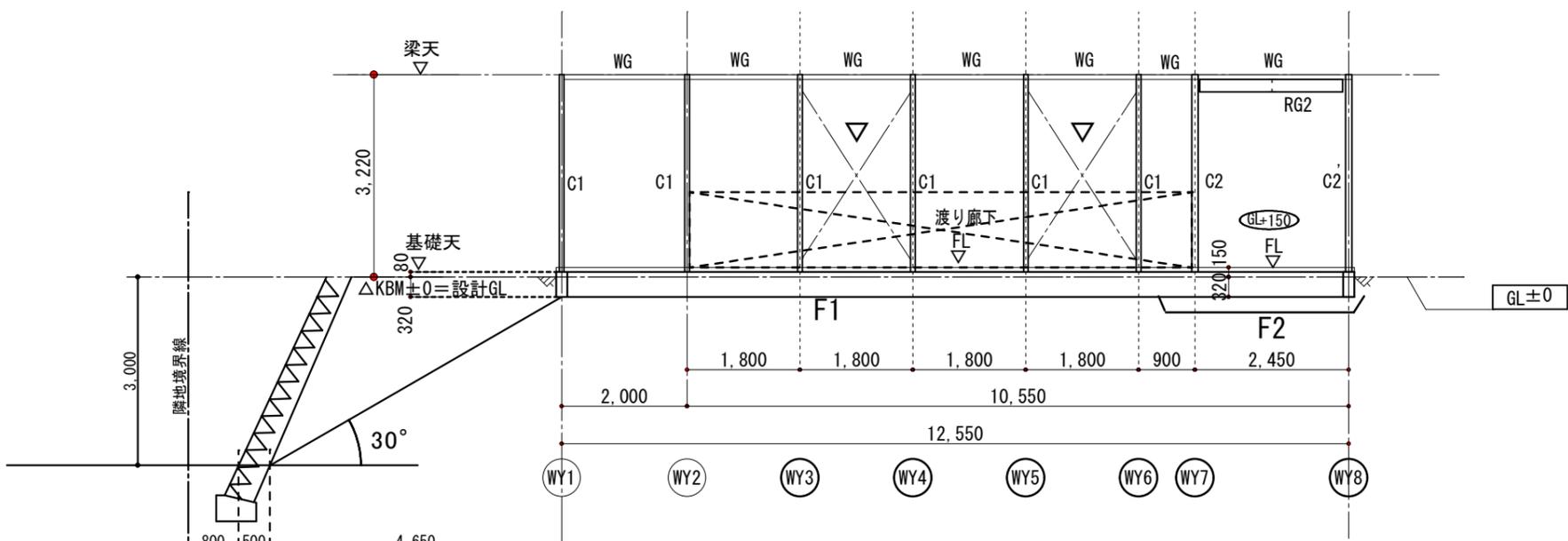


GL±0 現況地盤高さを示す
 GL±0 設計GLよりの床仕上がり高さを示す

横浜市教育委員会事務局		工事名	横浜小学校仮設校舎設置その他工事			
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面名称	軸組図 1 (渡り廊下)	
設計者	有限会社宮本建築設計事務所		図面番号	S-20		
一級建築士 藤田大樹(登録)21045号	主任建築士 宮本真実	図面枚数				



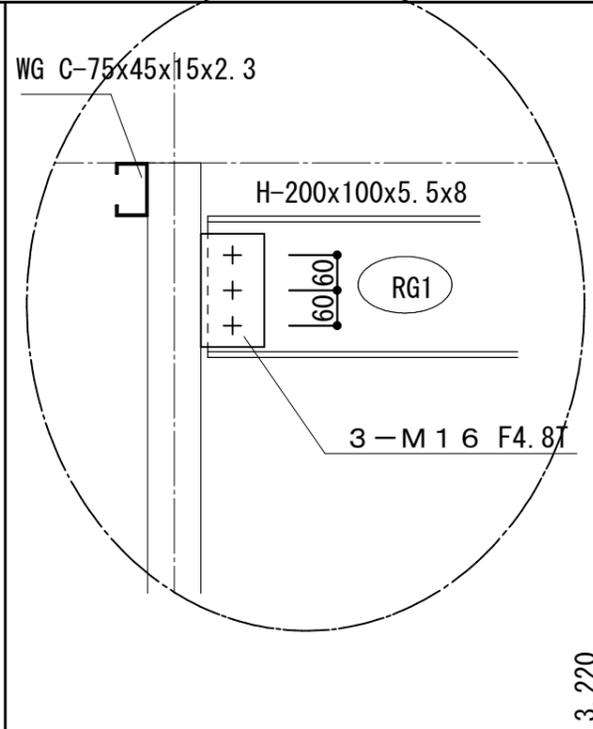
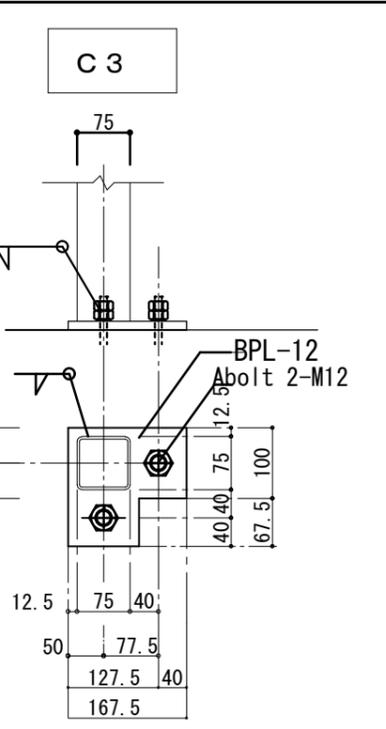
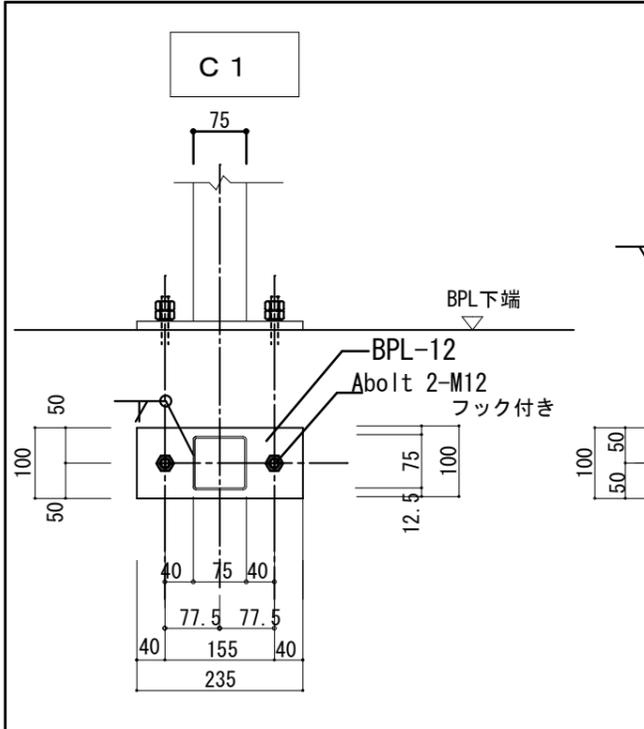
WX2 通 軸組図



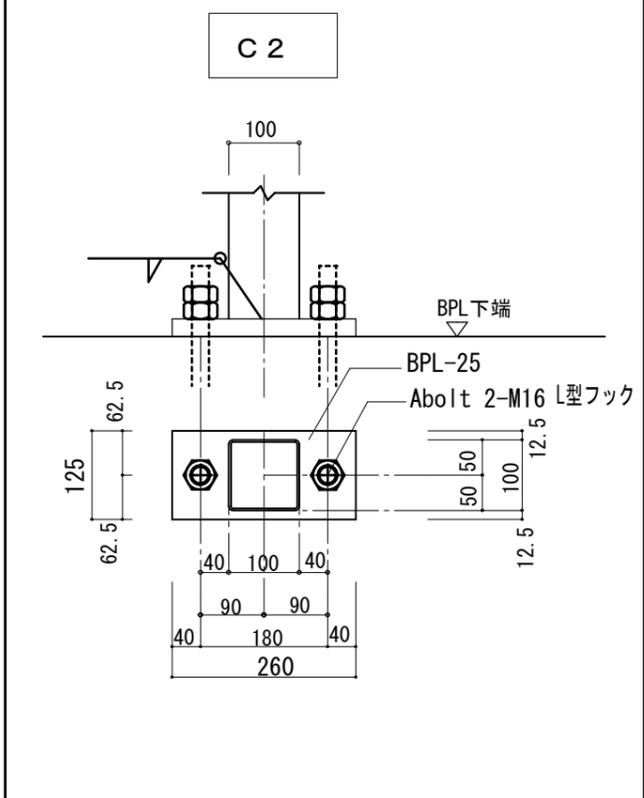
WX1 通 軸組図

GL±0 現況地盤高さを示す
 GL±0 設計GLよりの床仕上がり高さを示す

横浜市教育委員会事務局		工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事			
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面名称	軸組図 2 (渡り廊下)	
設計者		図面番号	層数	層数	図面枚数	図面番号
有限会社宮本建築設計事務所 一級建築士 建設大臣登録第21045号 宮本真実						S-21

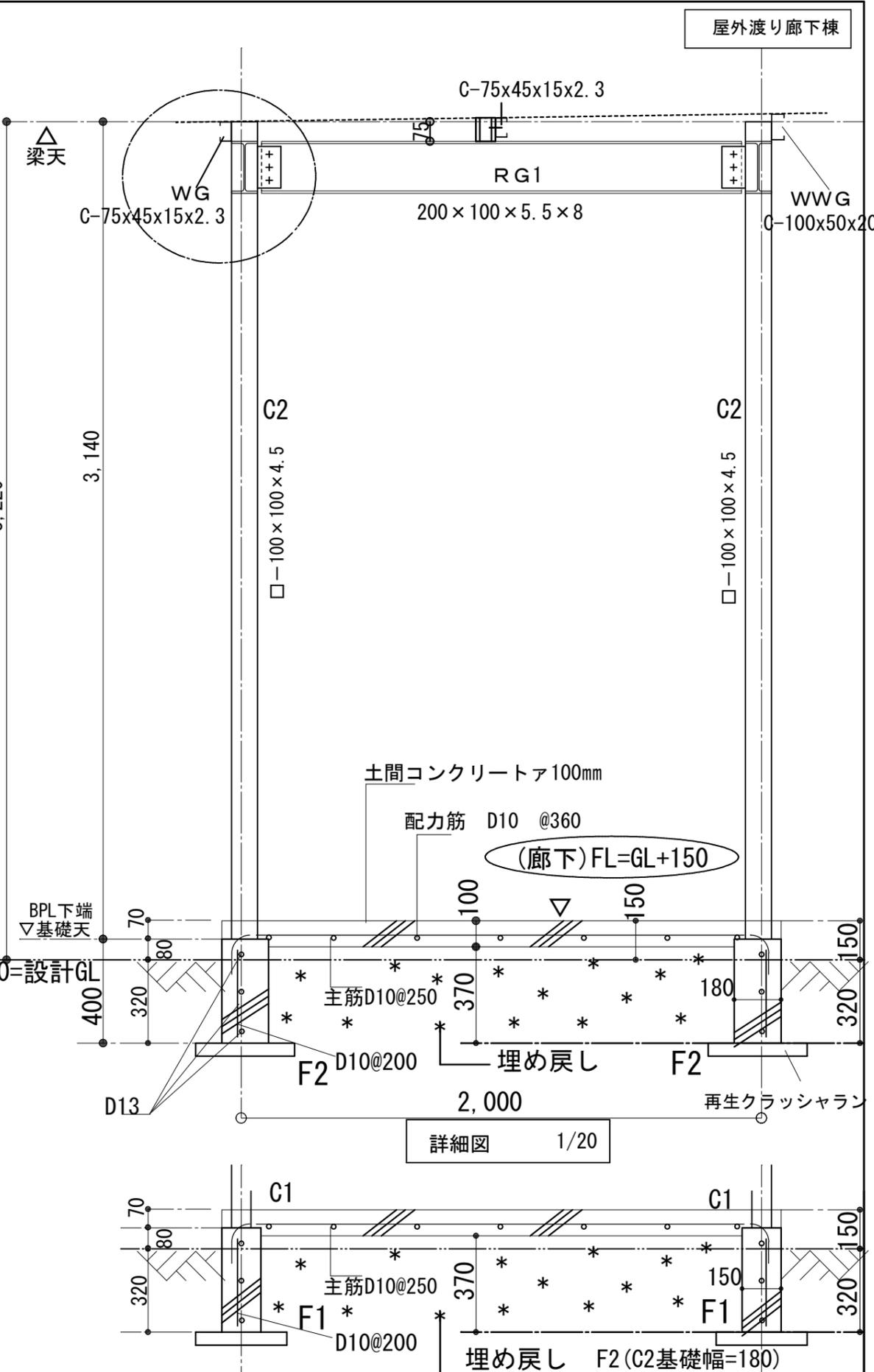


C1 C3	□-75x75x3.2	A-BOLT 2-M12 L=300
C2	□-100x100x4.5	A-BOLT 2-M16 L=400
RG1 RG2	H-200x100x5.5x8	G-PL9 BOLT 3-M16
CB	C-100x50x20x3.2	G-PL6 BOLT 2-M20
pB	C-75x45x15x2.3	G-PL4.5 BOLT -M12
WWG	C-100x50x20x3.2	G-PL4.5 BOLT 1-M12
WG	C-75x45x15x2.3	G-PL4.5 BOLT 1-M12
屋根	スチール折板 70.5mm ※水平ブレース 1-M12 (ターンバックル締め)	
▽	※壁ブレース 1-M12 (ターンバックル締め)	
母屋	C-75x45x15x2.3	G-PL4.5 BOLT 1-M12
	FL=GL+150	FLの高さ



柱脚詳細図 1/10

部材リスト



横浜市教育委員会事務局	工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事
年月日 2025.04.24	縮尺	A1:1/5-10 A3:1/10-20
設計	図面名称	柱脚、リスト、詳細図 (渡り廊下)
有限会社宮本建築設計事務所	図面番号	S-22

凡例

記号	名称	仕様
———	給水管	耐衝撃性硬質塩化ビニール管 H1VP JISK6742
——— ———	給湯管	耐熱性硬質塩化ビニール管 H1VP JISK6742
———	汚水管	硬質塩化ビニール管 JISK6741VP (屋内VP 屋外VU)
-----	通気管	硬質塩化ビニール管 JISK6741VP
○ ●	水栓類	(単水栓)
●	"	(混合水栓)
⊗ ⊘ ⊙	ゲートバルブ	直結部分 JIS-10K 弁籠共
○	汚水樹	小口径樹
⊗	雨水樹	小口径樹

給排水衛生設備 器具表

器具名称	機器仕様	消費電力 (1Φ100V)	1階					2階		外部		合計
			男子 トイレ	女子 トイレ	キッズ ルーム	廊下		廊下	多目的 室			
洋風大便器	GS232B SH232BA TCF6623 YH650	318W	3	4								
小便器	UFS900R	0.5W以下	4									
化粧鏡	YM3545A	350×450	2	2								
流し台	KTD6-85-120DS	コンロ無			1							
吊戸棚	KTD3-60-120				1							
混合水栓	TKS05301J				1							
全槽シンク	SUS製	1200×600×800H(排水トラップ付)				1		1	3			
横水栓	T200SNR13C					4		3	9			
カウンター用洗器	L531	TLE28SS1A	2	2								
同上カウンター	ML60		1	1								
カウンター用手摺			1	1								
掃除流し	SK22A		1									

給排水衛生設備 機器表

記号	名称	設置場所	台数	機器仕様(型式)		電気容量			備考
						相	電圧	容量	
EH-1	電気温水器	1階キッズルーム	1	貯湯式床置型 REKB12A12SW36D	貯湯量 : 12L 耐震用脚、開放式排水ホッツパー他附属品一式	1φ	100V	1.1KW	

ガス湯沸器・電気温水器の固定方法

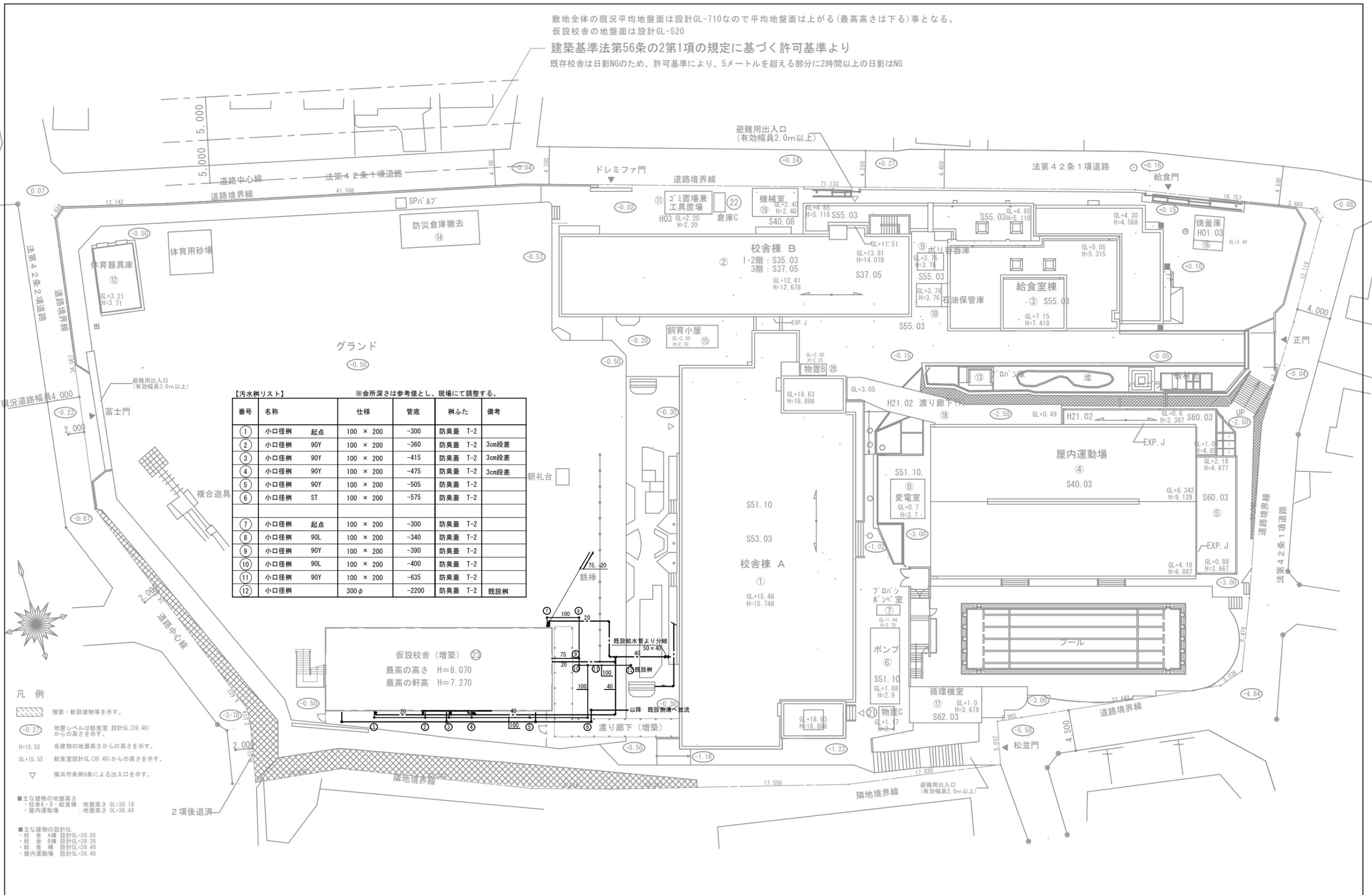
記号	機器名称	参考型番	質量(満水時)	固定場所	固定金具	固定本数	下地	備考
EH-1	電気温水器	REKB12A12SW36D	貯湯量12L 満水質量23kg	床面	木ネジ(JIS) 4.8φ×38mm	4本	木下地15mm以上	本体付属品使用

※国土交通省告示第1447号(平成24年12月12日)を適用

敷地全体の現況平均地盤面は設計GL-710なので平均地盤面は上がる(最高高さは下る)事となる。
 仮設校舎の地盤面は設計GL-520

建築基準法第56条の2第1項の規定に基づく許可基準より

既存校舎は日影NGのため、許可基準により、5メートルを超える部分に2時間以上の日影はNG

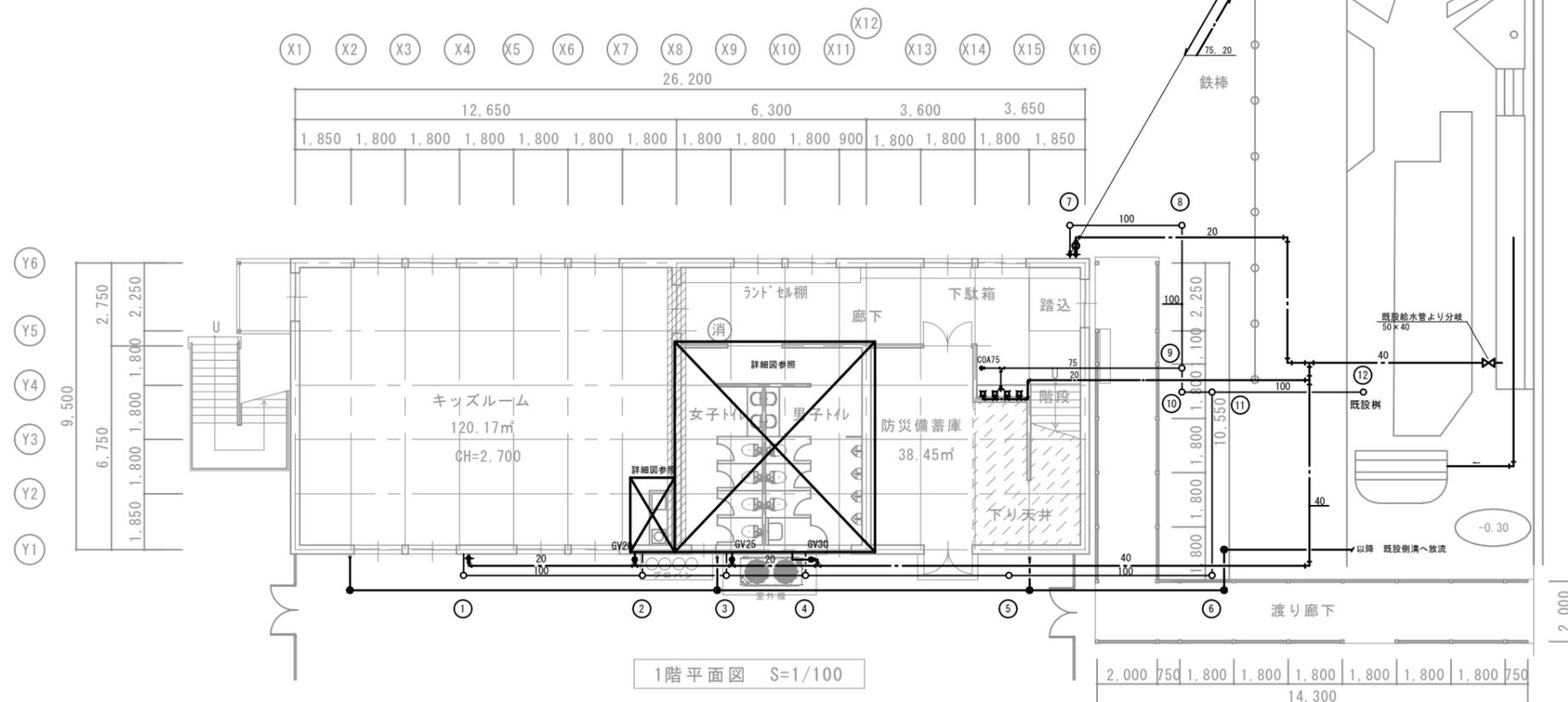
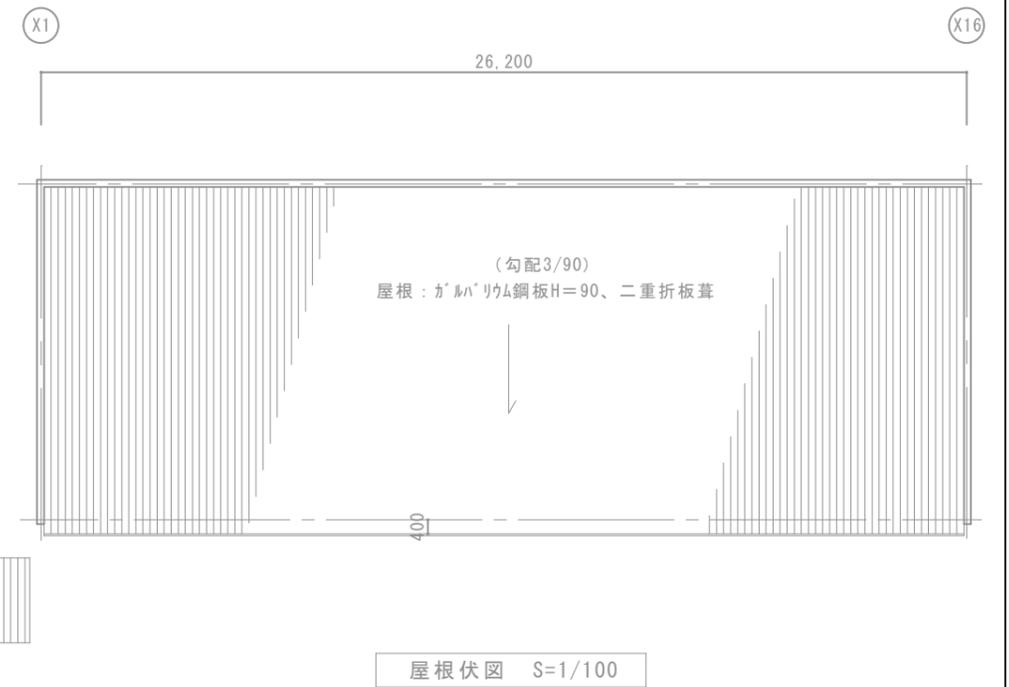
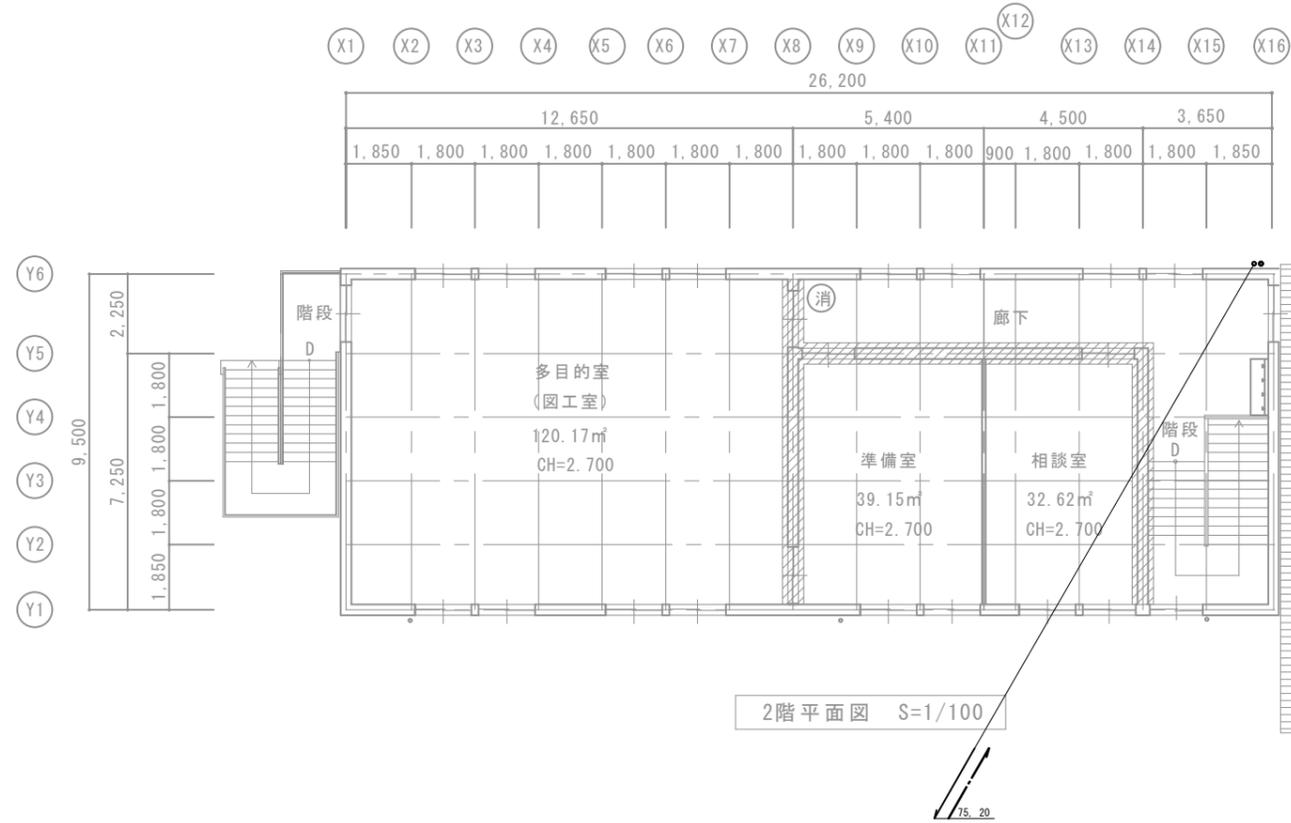


【汚水樹リスト】 ※会所深さは参考値とし、現場にて調整する。

番号	名称	仕様	管底	樹ふた	備考
①	小口径樹	起点	100 × 200	-300	防臭蓋 T-2
②	小口径樹	90Y	100 × 200	-360	防臭蓋 T-2 3cm段差
③	小口径樹	90Y	100 × 200	-415	防臭蓋 T-2 3cm段差
④	小口径樹	90Y	100 × 200	-475	防臭蓋 T-2 3cm段差
⑤	小口径樹	90Y	100 × 200	-505	防臭蓋 T-2
⑥	小口径樹	ST	100 × 200	-575	防臭蓋 T-2
⑦	小口径樹	起点	100 × 200	-300	防臭蓋 T-2
⑧	小口径樹	90L	100 × 200	-340	防臭蓋 T-2
⑨	小口径樹	90Y	100 × 200	-390	防臭蓋 T-2
⑩	小口径樹	90L	100 × 200	-400	防臭蓋 T-2
⑪	小口径樹	90Y	100 × 200	-635	防臭蓋 T-2
⑫	小口径樹		300φ	-2200	防臭蓋 T-2 既設樹

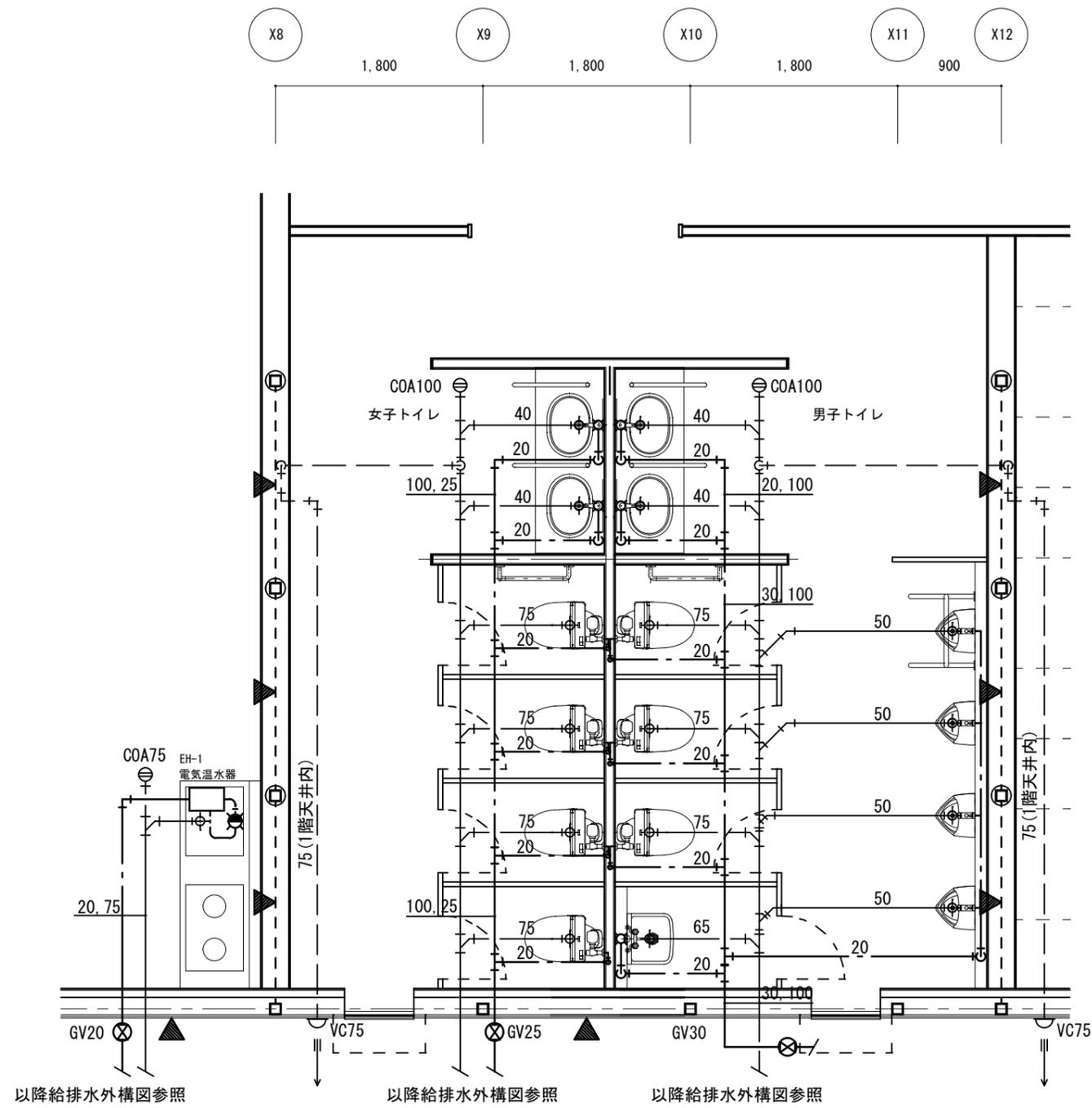
- 凡例
- 増築・新設建物等を示す。
 - 地盤レベルは給食室 設計GL(39.48)からの高さを示す。
 - H=15.55 各建物の地盤高さからの高さを示す。
 - GL+15.55 給食室設計GL(39.48)からの高さを示す。
 - ▽ 横浜市条例6条による出入口を示す。
 - 主な建物の地盤高さ
 - ・校舎A・B・給食棟：地盤高さ GL=39.18
 - ・屋内運動場：地盤高さ GL=36.48
 - 主な建物の設計GL
 - ・校舎A棟 設計GL=39.05
 - ・校舎B棟 設計GL=39.28
 - ・給食棟 設計GL=39.48
 - ・屋内運動場 設計GL=36.48

配置図 1/200



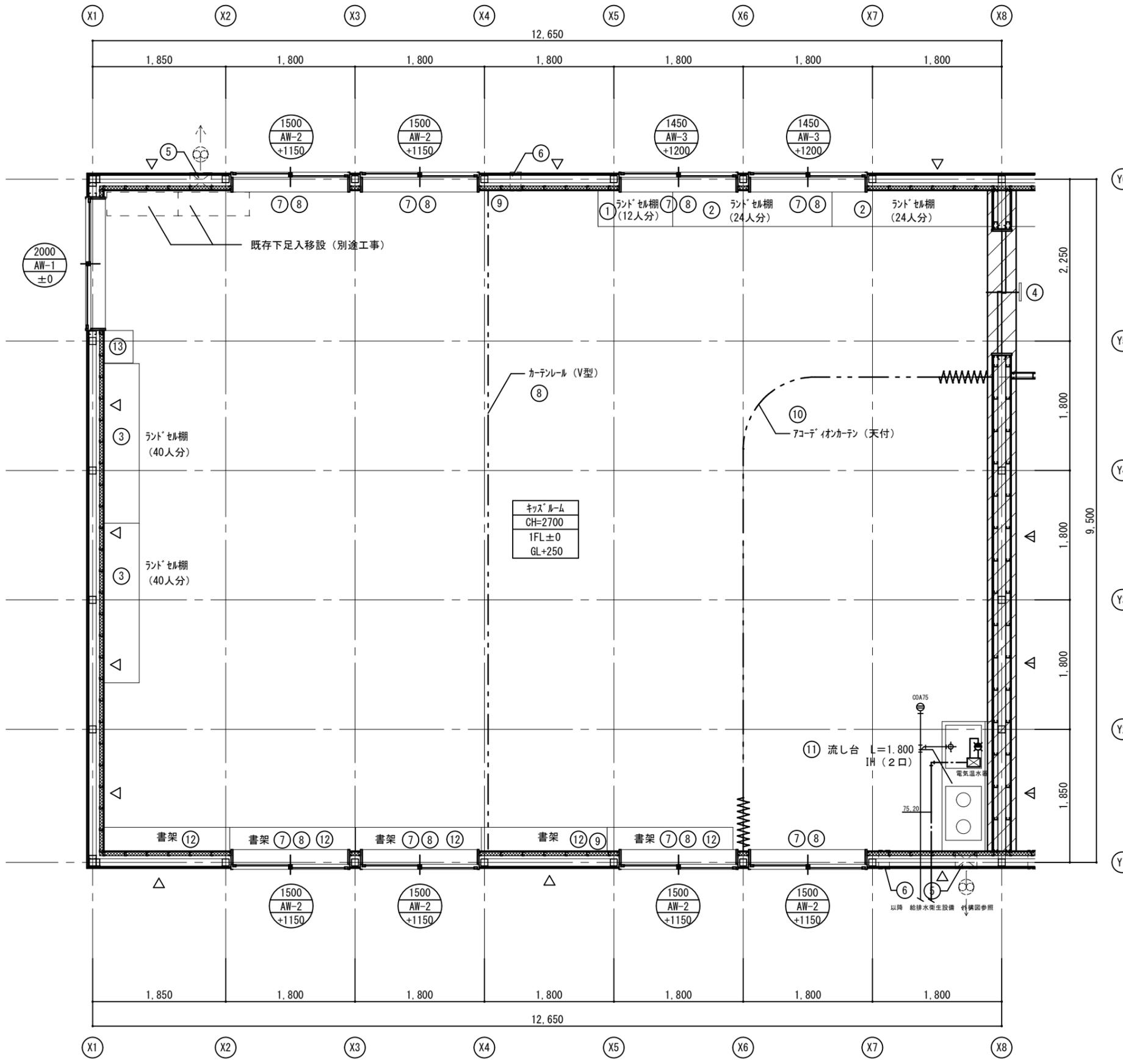
- 凡例
- 防火上主要な間仕切りを示す
 - 消火器
 - 増築建物に延焼線は発生しない

横浜市教育委員会事務局		工事名	藤原小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面名称	給排水衛生設備 1・2階平面図
設計者		図面番号	層数	図面枚数	図面番号
有限会社宮本建築設計事務所 <small>一級建築士 建設大臣登録第21054号 資本金100万円</small>					M-05



トイレ廻り詳細図 S=1/30

横浜市教育委員会事務局		工事名	福原小学校仮設校舎設置その他工事			
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/30	図面名称	給排水衛生設備 平面詳細図-1	
設計者	有限会社宮本建築設計事務所		図面枚数	層数	層数	図面番号
<small>〒220-0292 横浜市磯子区磯子2-10-6 宮本建築設計事務所</small>			図面枚数	層数	層数	図面番号
						M-06

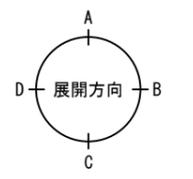


キッズルーム

備品リスト					工事区分			
No	備品	数	W	D	H	備考	工事	教育
①	木製ランドセルロッカー	1	1,040	500	1,162	1列×3段	○	
②	木製ランドセルロッカー	2	2,220	500	1,162	2列×3段	○	
③	木製ランドセルロッカー	2	2,220	500	2,670	2列×7段	○	
④	室名札	1					○	
⑤	換気扇枠	2					○	
⑥	換気口 (VOC用)	2					○	
⑦	カーテンレール		シングル				○	
⑧	カーテン						○	
⑨	扇風機 (壁付)	2					○	
⑩	フューデーションカーテン	1					○	
⑪	調理台	1					○	
⑫	書架	5	1,750	330	1,100	G-352	○	
⑬	掃除用具入	1	600	400	1,700		○	
その他現況備品								

室名	キッズルーム	
床	1FL±0 (GL+250)	長尺塩ビシートt=2.8 下地) 土間コンクリート金コテ
巾木	H=60	ビニル巾木
壁	ビニールクロス貼り+石膏ボードt=12.5 下地) LGS *防火上主要な間仕切壁 ビニールクロス貼り+石膏ボードt=12.5+9.5 下地) LGS	
天井	3000	化粧石膏ボードt=9.5 下地) 鉄骨
廻り縁	塩ビ製	
備考	外壁廻り: グラスウールt=50 備品別表参照	

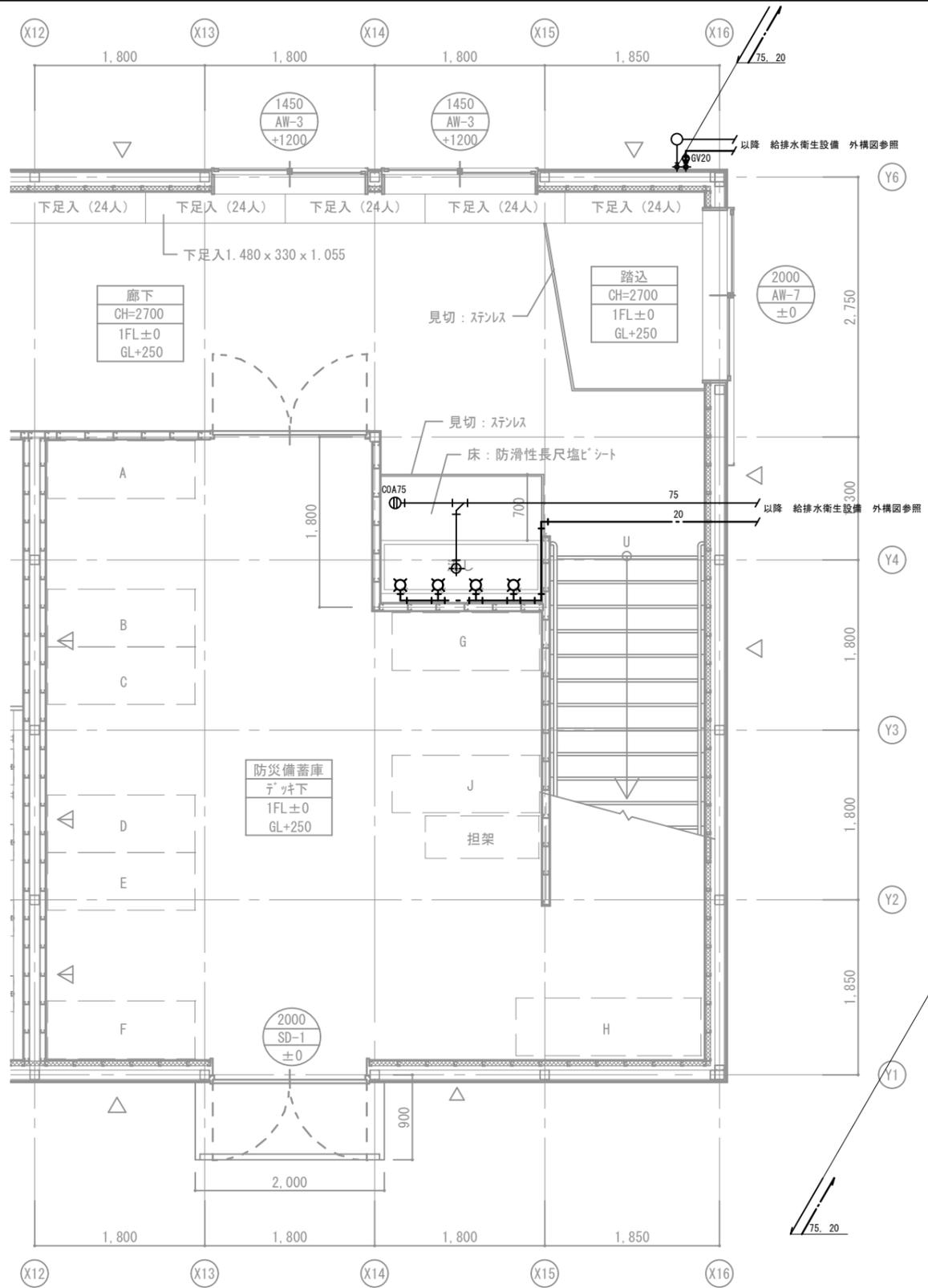
凡例	
イ	開口H寸法
ロ	開口記号
ハ	1FLヨリノ開口下端高サ
▲	: 壁ブレース (M16) を示す
△	: 壁ブレース (M22) を示す
▲	: 壁ブレース (M24) を示す
GW	t=50 16kg/m3
LGS	□ 45x65 @303 (二重貼部分@450) □ 45x50 @303 (二重貼部分@450)



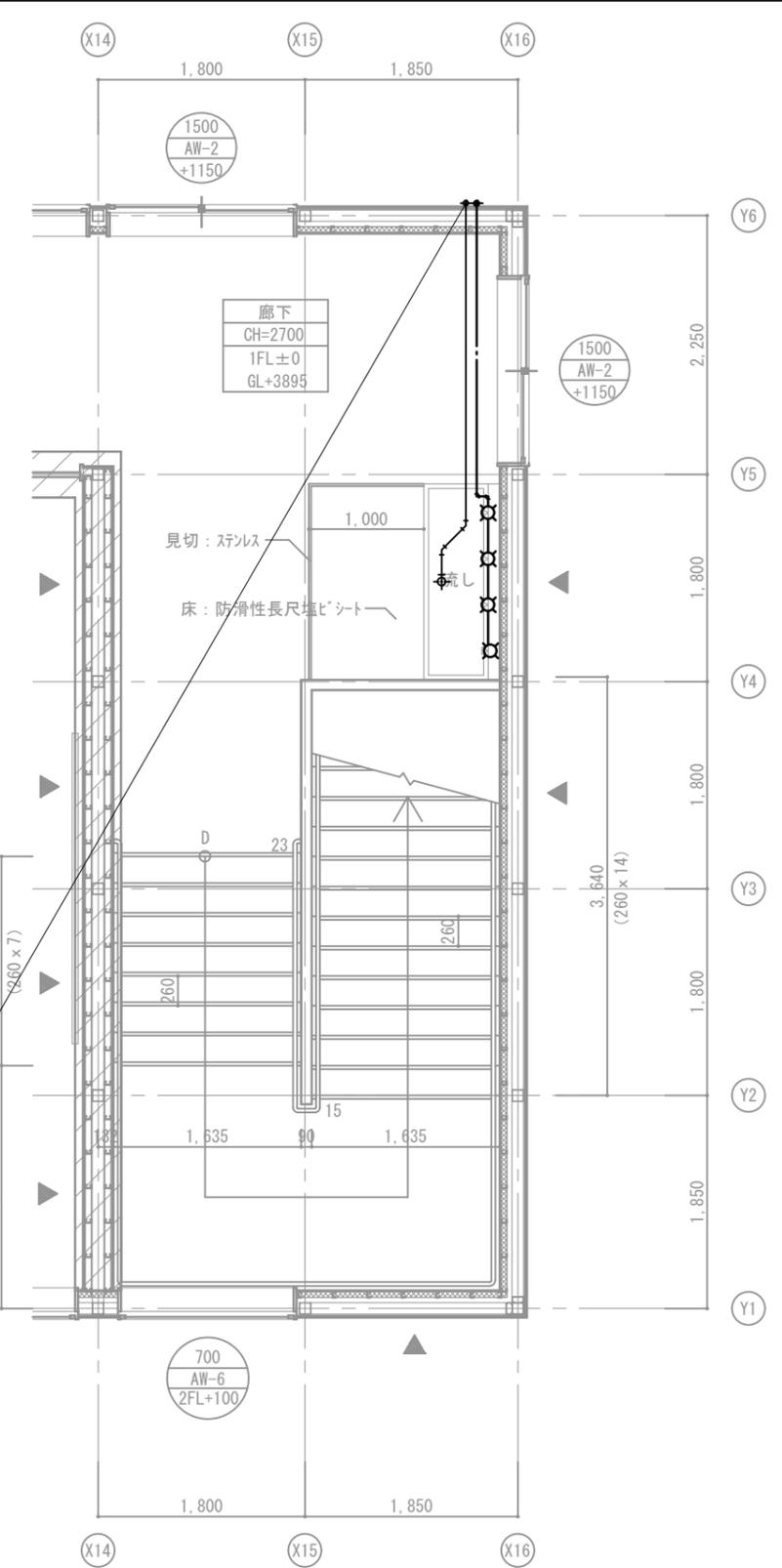
キッズルーム 平面詳細図 S=1/30

- * ▲ は、柱ブレース位置を示す。
- * 1FL = GL + 250
- * 法114条2項による防火上主要な間仕切り壁を示す。

横浜市教育委員会事務局	工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事
年月日 2025.04.24	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	図面名称 給排水衛生設備 平面詳細図-2
設計者 有限会社宮本建築設計事務所	地積番号	図面枚数
一級建築士 建設大臣登録第2104号 宮本清	棟番号	図面番号 M-07



防災備蓄庫・1階階段 平面詳細図 S=1/30



2階階段 平面詳細図 S=1/30

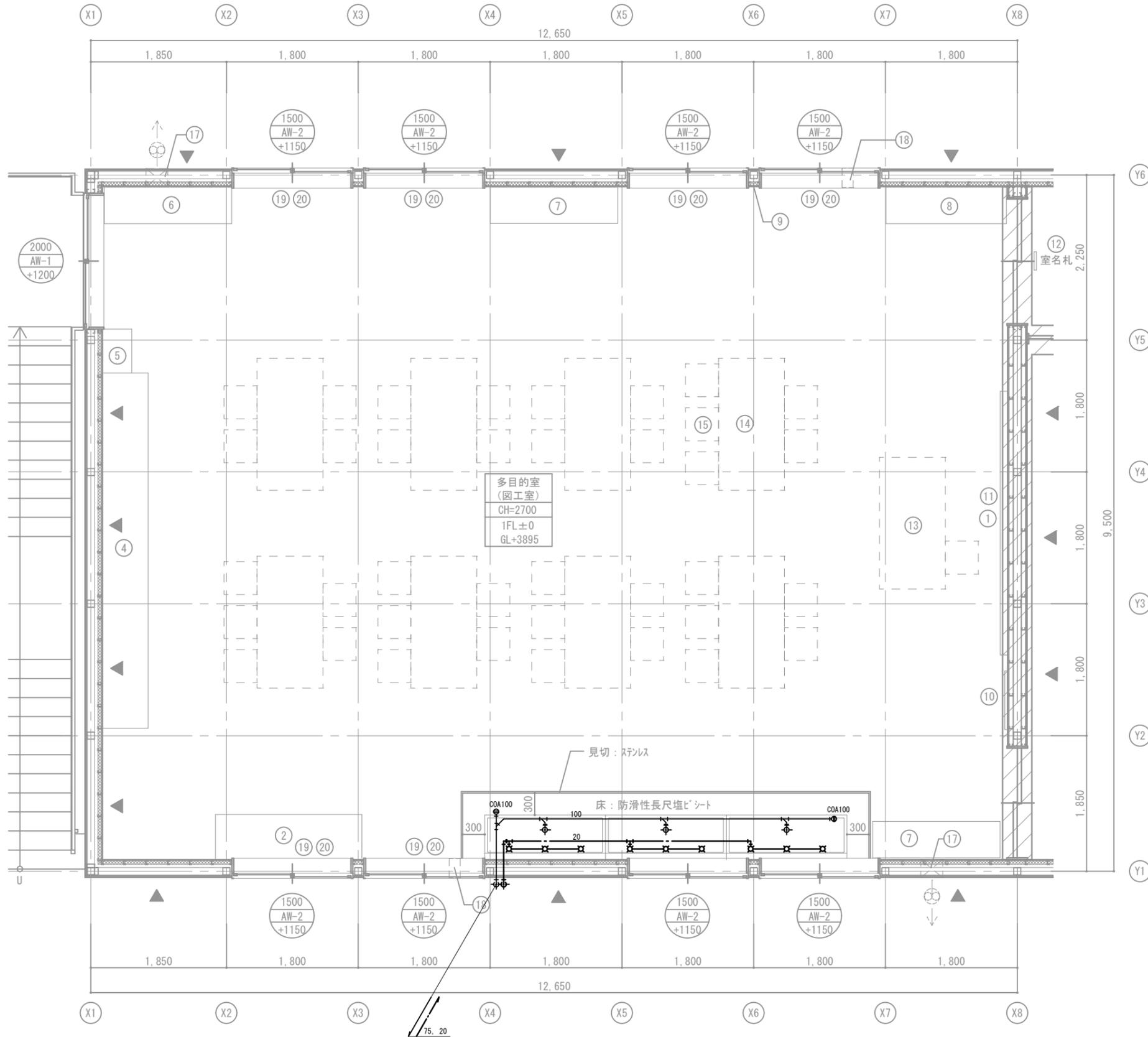
室名	階段 (1, 2F)
床	長尺塩ビシートt=2.0 一部: 防滑性長尺塩ビシート t 2.0 下地) モルタルt=30
巾木	サワ現わし SOP
壁	ビニールクロス貼り+石膏ボードt=12.5 下地) LGS * 防火上主要な間仕切壁 ビニールクロス貼り+石膏ボードt=12.5+9.5 下地) LGS
天井	化粧石膏ボードt=9.5 下地) 鉄骨
廻り縁	塩ビ製
備考	外壁廻り: グラスウールt=50 備品別表参照

室名	防災備蓄庫
床	コンクリート直押工
巾木	
壁	石膏ボードt=12.5 下地) LGS
天井	
廻り縁	
備考	

凡例	
イ	イ 開口H寸法
ロ	ロ 開口記号
ハ	ハ 1FLヨリノ開口下端高サ
▲	: 壁ブレース (M16) を示す
△	: 壁ブレース (M22) を示す
▲	: 壁ブレース (M24) を示す
GW	GW t=50 16kg/m ³
LGS	□ 45x65 @303 (二重貼部分@450) □ 45x50 @303 (二重貼部分@450)

防災備蓄庫

備品リスト					工事区分		備品リスト					工事区分						
No	備品	数	W	D	H	備考	工事	教育	No	備品	数	W	D	H	備考	工事	教育	
A	防災用棚	1	1.560	×	610	×	2.100		F	防災用棚	1	1.560	×	610	×	2.100		○
B	防災用棚	1	1.560	×	610	×	2.100		G	防災用棚	1	1.560	×	610	×	2.100		○
C	防災用棚	1	1.560	×	610	×	2.100		H	防災用棚	1	1.820	×	610	×	2.100		○
D	防災用棚	1	1.560	×	610	×	2.100		J	防災用棚	1	1.560	×	610	×	2.100		○
E	防災用棚	1	1.560	×	610	×	2.100			担架保管庫	1	1.200	×	450	×	1.830		○



多目的室（図工室） 平面詳細図 S=1/30

- * ▲ は、柱ブレース位置を示す。
- * 1FL=GL+250
- * 法114条2項による防火上主要な間仕切り壁を示す。

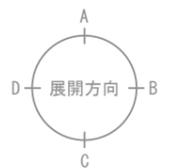
図工室

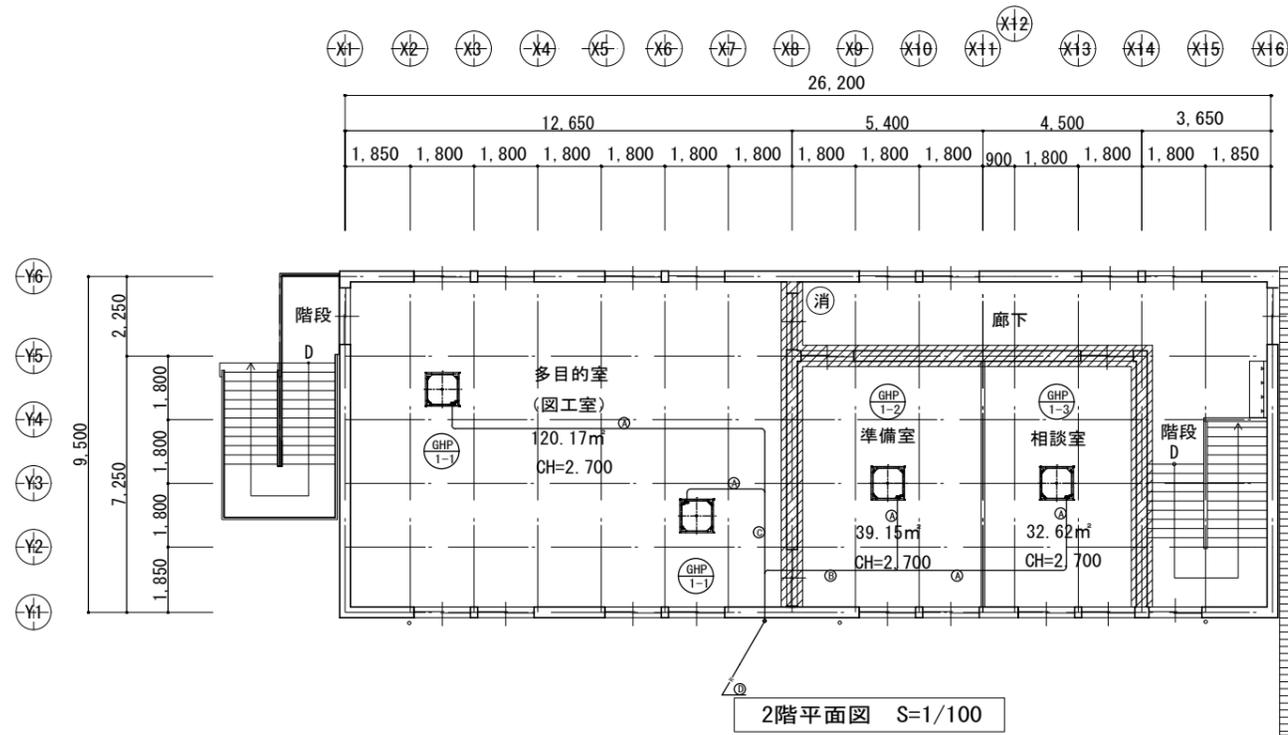
No	備品	数	備品リスト			備考	工事区分	
			W	D	H		工事	教育
①	黒板	1	3,600	×	1,200	G-610	○	
②	窓下作業台	1	2,000	×	625	G-483A	○	
③	一槽流し	3	1,650	×	610	G-132A 水×3	○	
④	作業台	1	4,850	×	625	G-482	○	
⑤	掃除用具入	1	600	×	400	G-280	○	
⑥	シューズ	1	1,740	×	500	G-331	○	
⑦	展示棚	2	1,740	×	500	G-320B	○	
⑧	収納戸棚	1	1,645	×	500	G-315A	○	
⑨	ステンスフック	2	9φ			I-208C	○	
⑩	姿見	1	800	×	1,525	G-830A	○	
⑪	ビクチャール	1				I-209A	○	
⑫	室名札	1					○	
⑬	教師用木工台					別途		
⑭	児童用木工台					別途		
⑮	木製角椅子					別途		
⑯	チリ箱	2	図示表記なし			K-104		○
⑰	換気扇枠	2						○
⑱	換気口 (VOC用)	2						○
⑲	カーテンレール		シングル					○
⑳	カーテン							○

室名		図工室	
床	2FL±0 (GL+3895)	長尺塩ビシートt=2.0 一部: 防滑性長尺塩ビシートt=2.0 下地) 合板 t4	
巾木	H=60	ビニル巾木	
壁		ビニルクロス貼り+石膏ボードt=12.5 下地) LGS * 防火上主要な間仕切り壁 ビニルクロス貼り+石膏ボードt=12.5+9.5 下地) LGS	
天井	3000	化粧石膏ボードt=9.5 下地) 鉄骨	
廻り縁		塩ビ製	
備考		外壁廻り: グラスウールt=50 備品別表参照	

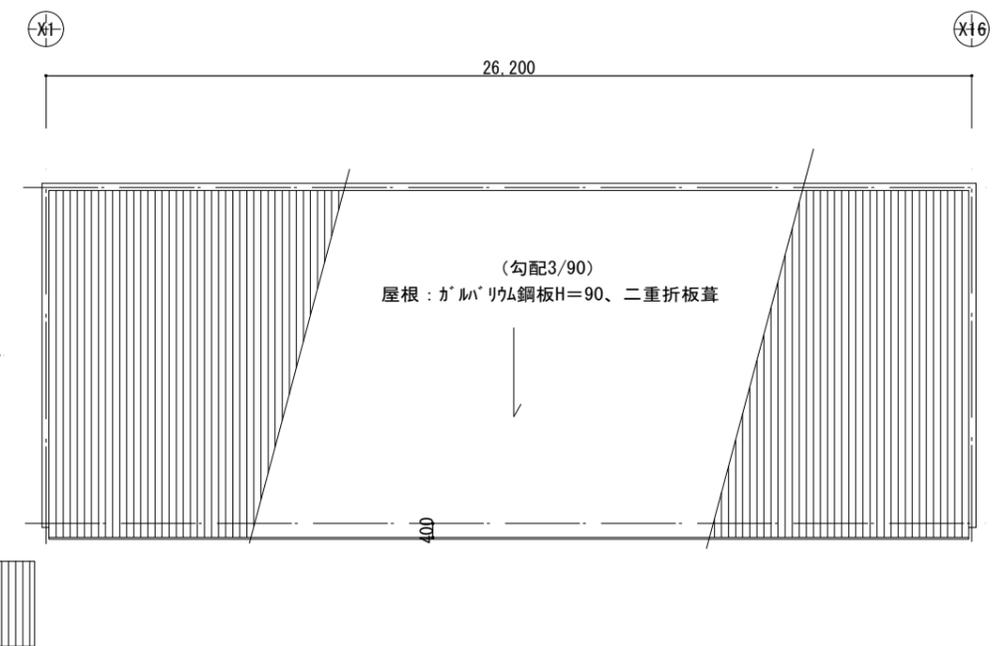
凡例

	イ 開口H寸法 ロ 開口記号 ハ 1FLヨリノ開口下端高サ
▲	: 壁ブレース (M16) を示す
△	: 壁ブレース (M22) を示す
△	: 壁ブレース (M24) を示す
	GW t=50 16kg/m3
LGS	□ 45x65 @303 (二重貼部分@450) □ 45x50 @303 (二重貼部分@450)



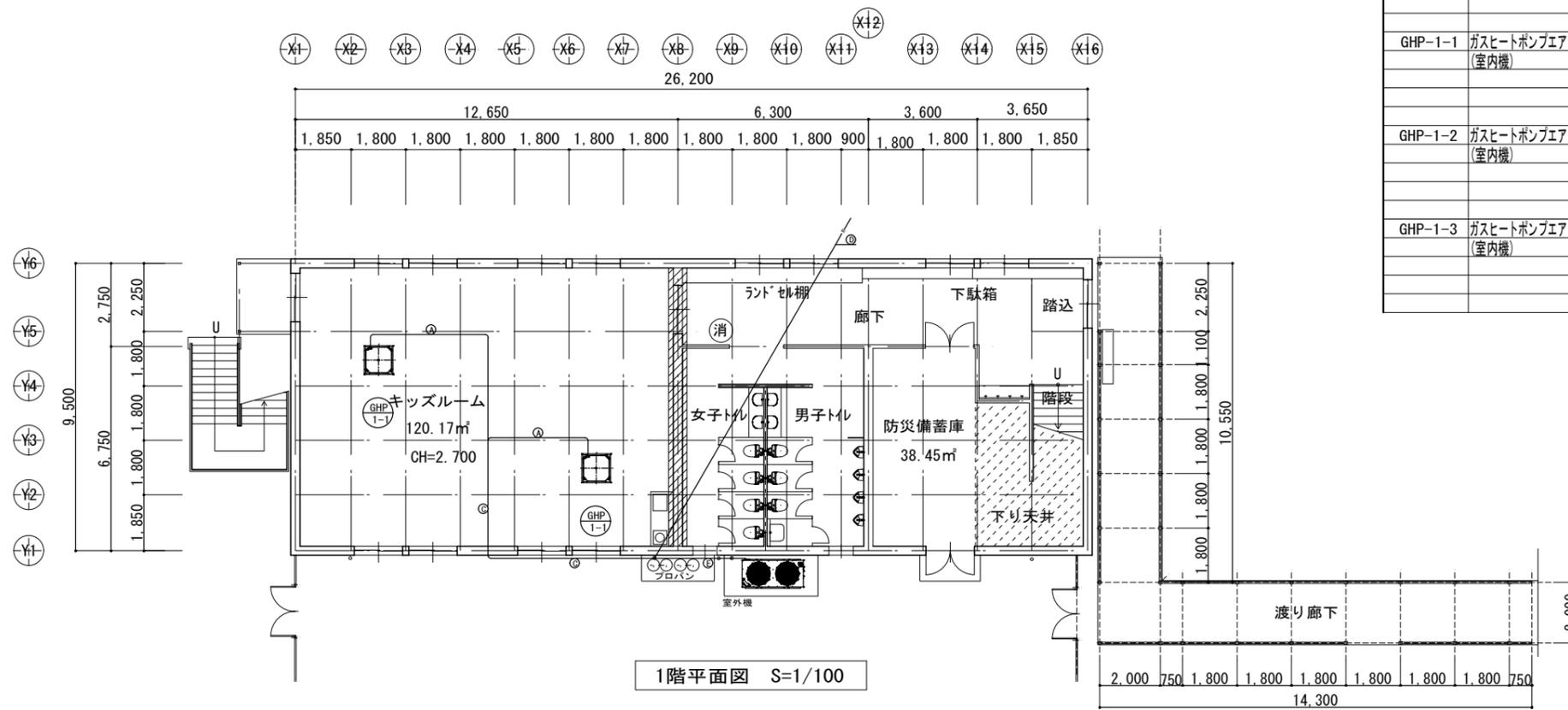


2階平面図 S=1/100



屋根伏図 S=1/100

機器番号	機器名称	台数	仕様	電源		設置場所	備考	
				相φ	V			kW
GHP-1	ガスヒートポンプエアコン (室外機)	1	冷房能力 : 85.0kW 暖房能力 : 95.0kW ガス消費量 : 78.0kW ガス消費量 : 69.2kW 寸法・重量 : 2026W×880D×2228H (810kg) 付属品 : 他付属品共	3	200	1.80	1F 室外機置場	U-GH850U1D 30HP
GHP-1-1	ガスヒートポンプエアコン (室内機)	2	型式 : 4方向天井カセット形 冷房能力 : 16.0kW 暖房能力 : 18.0kW 風量 : 18.0~38.0 m³/min 付属品 : 化粧パネル、ドレンアップ、付属品一式	1	200	0.110	1F キッズルーム 2F 多目的室	S-G160UU1
GHP-1-2	ガスヒートポンプエアコン (室内機)	1	型式 : 4方向天井カセット形 冷房能力 : 11.2kW 暖房能力 : 12.5kW 風量 : 16.5~36.0 m³/min 付属品 : 化粧パネル、ドレンアップ、付属品一式	1	200	0.095	2F 準備室	S-G112UU1
GHP-1-3	ガスヒートポンプエアコン (室内機)	1	型式 : 4方向天井カセット形 冷房能力 : 8.0kW 暖房能力 : 9.0kW 風量 : 13.0~22.5 m³/min 付属品 : 化粧パネル、ドレンアップ、付属品一式	1	200	0.040	2F 相談室	S-G80UU1



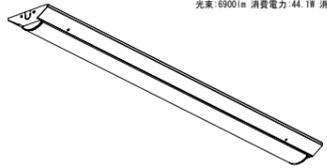
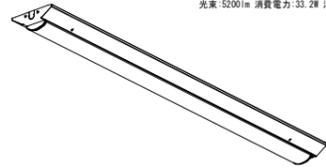
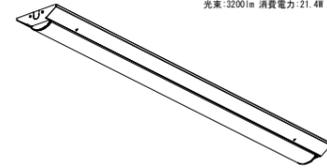
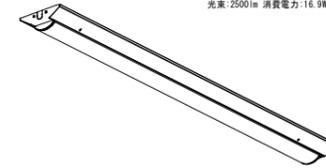
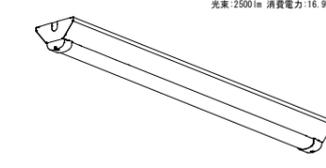
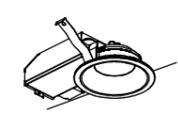
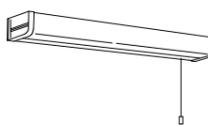
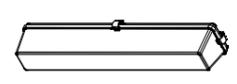
1階平面図 S=1/100

- 凡例
- 防火上主要な間仕切りを示す
 - 消火器
 - 増築建物に延焼線は発生しない

冷媒配管サイズ表

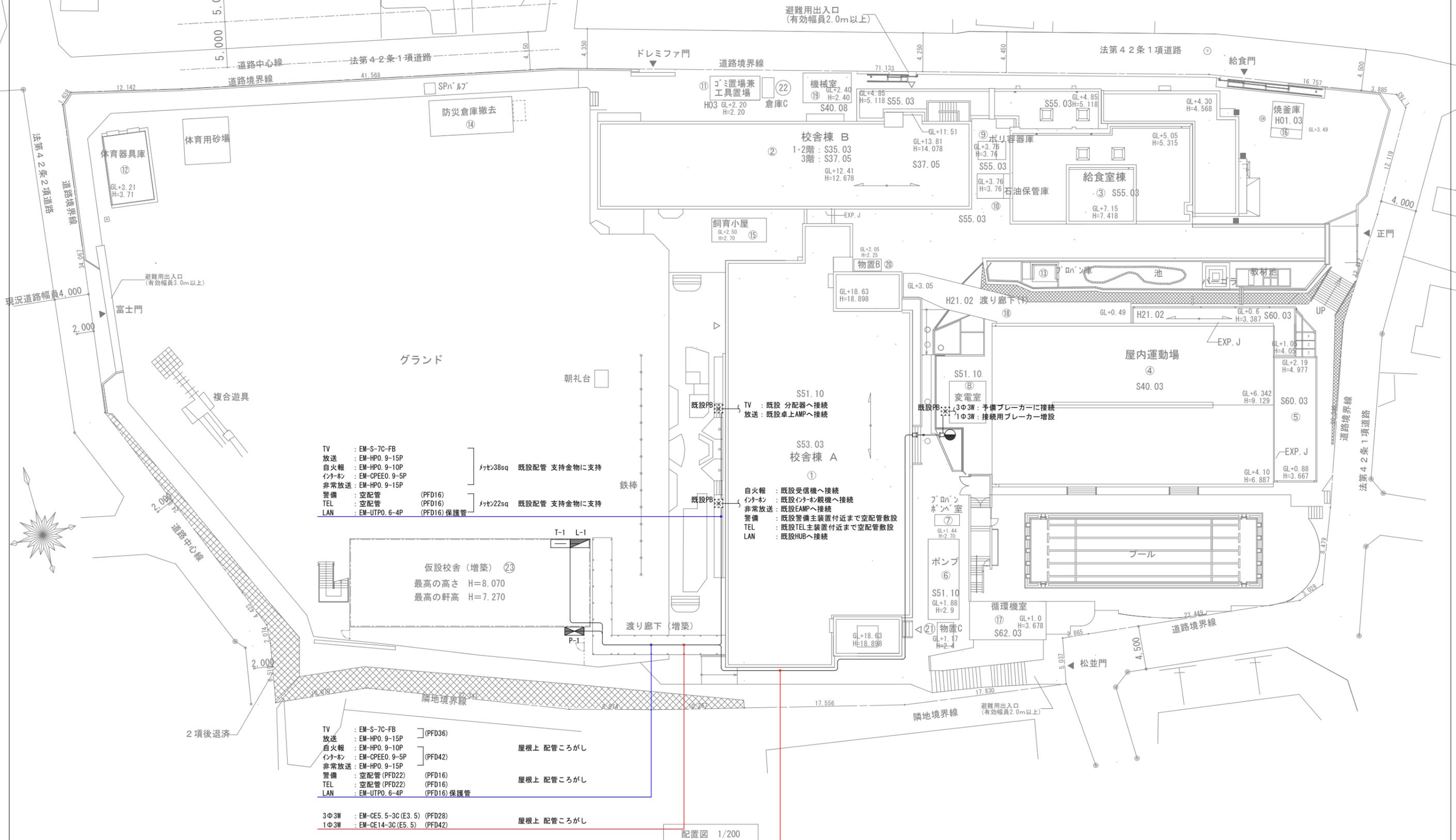
記号	液管	ガス管
(A)	15.9φ	9.5φ
(B)	22.2φ	9.5φ
(C)	25.4φ	12.7φ
(D)	28.6φ	15.9φ
(E)	31.8φ	19.1φ

盤名称	電気方式	操作盤						盤名称	電気方式	回路				負荷容量 (VA)			幹線サイズ (備考)	
		回路番号	制御番号	機器名称	容量 KW	容量 P AF/AT	電線サイズ			備考	盤形式	合計容量	回路 NO	電圧 V	負荷名称	開閉器容量 AF/AT		電灯
P-1 (屋外壁掛型)	3φ3W AC200V	1	A	主幹	1.80	MCB3P 50AF/30AT	EM-CE5. 5 [□] -3C(E3. 5)		L-1 (屋内壁掛型)	1φ3W AC100/200V 計=8.910VA	a	100	誘導灯	MCB2P 30/20	50			
												b	100	非常放送	MCB2P 30/20	200		
												100/200	主幹	ELB3P 100AF/50AT				EM-CE14 [□] -3C(E5. 5)
											101	100	電灯1F	MCB2P 30/20	930		360	
											102	100	電灯2F	MCB2P 30/20	910		90	
											103	100	外灯・渡り廊下電灯	MCB2P 30/20	820			外灯(AS制御)・渡り廊下(SW制御)
											201	100	コンセント(端子盤内)	MCB2P 30/20		100		
											202	100	コンセント(廊下・防災倉庫)	MCB2P 30/20		450		
											203	100	コンセント(キッズルーム)	MCB2P 30/20		600		
											204	100	コンセント(キッズルーム 冷蔵庫)	MCB2P 30/20		600		
											204	100	コンセント(キッズルーム 本棚)	MCB2P 30/20		1200		
											301	100	コンセント(廊下)	MCB2P 30/20		200		
											302	100	コンセント(相談室)	MCB2P 30/20		600		
											303	100	コンセント(準備室)	MCB2P 30/20		600		
											302	100	コンセント(図書室)	MCB2P 30/20		600		
											401	200	空調室内機 電源	MCB2P 30/20		600		
											501	100	予備	MCB2P 30/20				
											502	100	予備	MCB2P 30/20				
											503	100	予備	MCB2P 30/20				

A402a	LED44.1W ベースライト	A402b	LED33.2W ベースライト	A401a	LED21.4W ベースライト	A401b	LED16.9W ベースライト	B401	LED16.9W ベースライト
<p>MyVot-X 昼白色(5000K) Ra85 100W/242V共用タイプ 本体:鋼板・白色仕上(高反射白色塗装) 質量:1.8kg 光源寿命:40,000時間 光束:6900lm 消費電力:44.1W 消費効率:156.4lm/W</p>  <p>三菱 MY-V470330/N AHTN 参考図品番</p>		<p>MyVot-X 昼白色(5000K) Ra85 100W/242V共用タイプ 本体:鋼板・白色仕上(高反射白色塗装) 質量:1.8kg 光源寿命:40,000時間 光束:5200lm 消費電力:33.2W 消費効率:156.6lm/W</p>  <p>三菱 MY-V450330/N AHTN 参考図品番</p>		<p>MyVot-X 昼白色(5000K) Ra85 100W/242V共用タイプ 本体:鋼板・白色仕上(高反射白色塗装) 質量:1.8kg 光源寿命:40,000時間 光束:3200lm 消費電力:21.4W 消費効率:149.7lm/W</p>  <p>三菱 MY-V430330/N AHTN 参考図品番</p>		<p>MyVot-X 昼白色(5000K) Ra85 100W/242V共用タイプ 本体:鋼板・白色仕上(高反射白色塗装) 質量:1.3kg 光源寿命:40,000時間 光束:2500lm 消費電力:16.9W 消費効率:149.7lm/W</p>  <p>三菱 MY-V425330/N AHTN 参考図品番</p>		<p>MyVot-X 昼白色(5000K) Ra83 100W/242V共用タイプ 本体:鋼板・白色仕上(高反射白色塗装) 質量:2.6kg 光源寿命:40,000時間 光束:2500lm 消費電力:16.9W 消費効率:149.7lm/W</p>  <p>三菱 MY-WV425330/N AHTN 参考図品番</p>	
D100	LED6.8W ダウンライト	E201	LED7.2W キッチンライト	F201	LED10W ウォールライト	C1	LED誘導灯 C級 避難口 片面	B4	LED誘導灯 B級 通路 片面
<p>ドカン付 昼白色(5000K) Ra82 本体:76x73 (43x) 反射板:73x73 白色 質量:0.4kg 光源寿命:40,000時間 光束:755lm 消費電力:6.8W 消費効率:1111lm/W 埋込穴:125 SB型</p>  <p>三菱 EL-D0705N 1LN 参考図品番</p>		<p>昼白色(5000K) 直管型LED9977搭載φ76x73 Ra83 本体:樹脂 白色塗装仕上 質量:0.8kg 光源寿命:40,000時間 絶付きタイプ</p>  <p>オーデリック OB255178R 参考図品番</p>		<p>φ76x73 昼白色(5000K) Ra83 φ73x73Ra83(乳白) 直管型LED9977 質量:1.0kg 光源寿命:40,000時間 光束:690lm 消費電力:10.0W 消費効率:69.0lm/W</p>  <p>東芝 LEDB83911 参考図品番</p>		<p>高輝度誘導灯ルクセントLEDφ 壁・天井直付形・吊下兼用形 本体:プラスチック・白色仕上(マンセルNo.N9.0) 誘導灯型式認定番号:1AS111-3558</p>  <p>三菱 KSH10151 1EL 参考図品番 (パネル S1-1091S)</p>		<p>高輝度誘導灯ルクセントLEDφ 壁・天井直付形・吊下兼用形 本体:プラスチック・白色仕上(マンセルNo.N9.0) 誘導灯型式認定番号:1AM111-3560</p>  <p>三菱 KSH20151 1EL 参考図品番 (パネル S2-2091AR)</p>	

記号	名称
◻ P-1	動力分電盤
◻ L-1	電灯分電盤
◻ T-1	弱電端子盤
●	銅管φ=1/2(89φ・5m)
⊠	ﾌﾞﾚｯｷﾝｸﾞ(溶融亜鉛ﾌﾟﾚｯﾄ)
□	引込金具

建築基準法第56条の2第1項の規定に基づく許可基準より
 既存校舎は日影NGのため、許可基準により、5メートルを超える部分に2時間以上の日影はNG



TV : EM-S-7C-FB
 放送 : EM-HPO. 9-15P
 自火報 : EM-HPO. 9-10P
 インターホン : EM-CPEEO. 9-5P
 非常放送 : EM-HPO. 9-15P
 警備 : 空配管 (PFD16)
 TEL : 空配管 (PFD16)
 LAN : EM-UTPO. 6-4P (PFD16)保護管

ﾌﾟﾝﾌﾟ38sq 既設配管 支持金物に支持
 ﾌﾟﾝﾌﾟ22sq 既設配管 支持金物に支持

TV : EM-S-7C-FB (PFD36)
 放送 : EM-HPO. 9-15P (PFD42)
 自火報 : EM-HPO. 9-10P (PFD42)
 インターホン : EM-CPEEO. 9-5P (PFD42)
 非常放送 : EM-HPO. 9-15P (PFD42)
 警備 : 空配管 (PFD22) (PFD16)
 TEL : 空配管 (PFD22) (PFD16)
 LAN : EM-UTPO. 6-4P (PFD16)保護管

屋根上 配管ころがし
 屋根上 配管ころがし

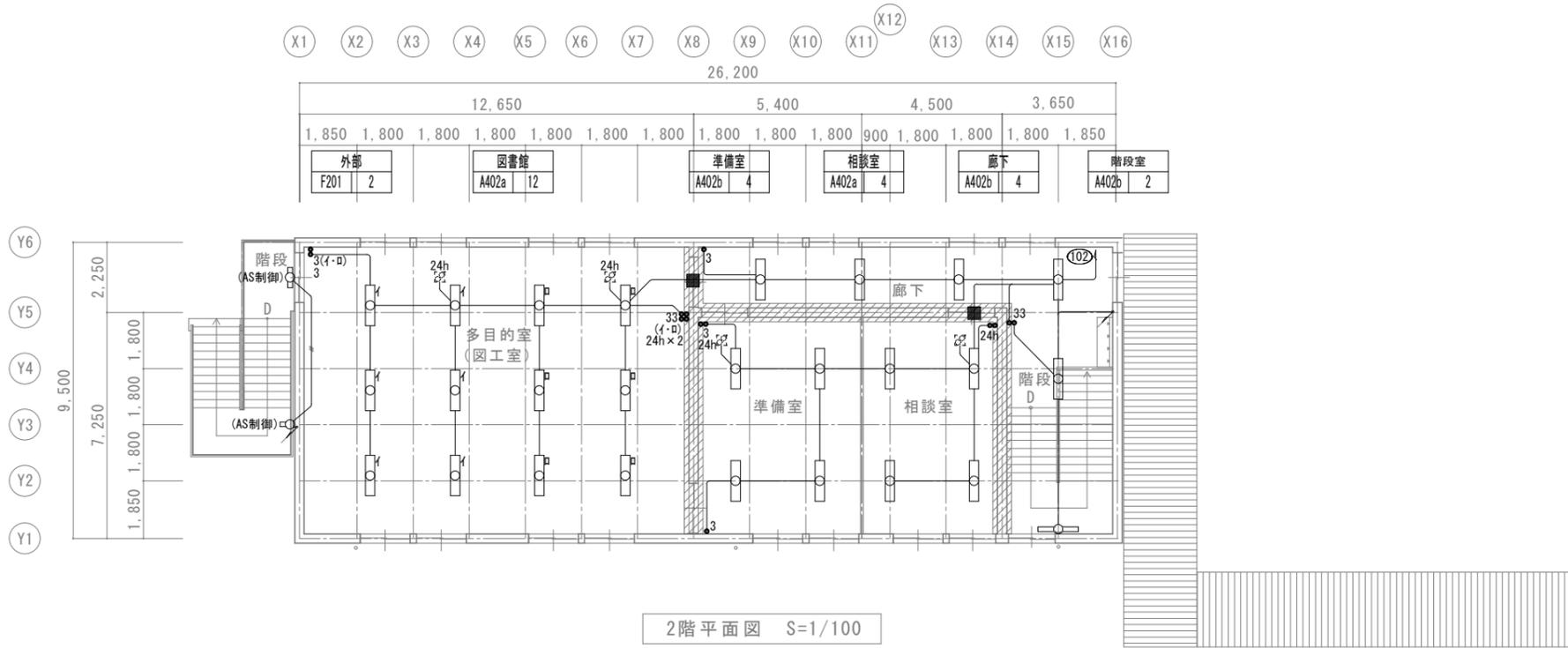
3φ3W : EM-CE5. 5-3C (E3. 5) (PFD28)
 1φ3W : EM-CE14-3C (E5. 5) (PFD42)

屋根上 配管ころがし

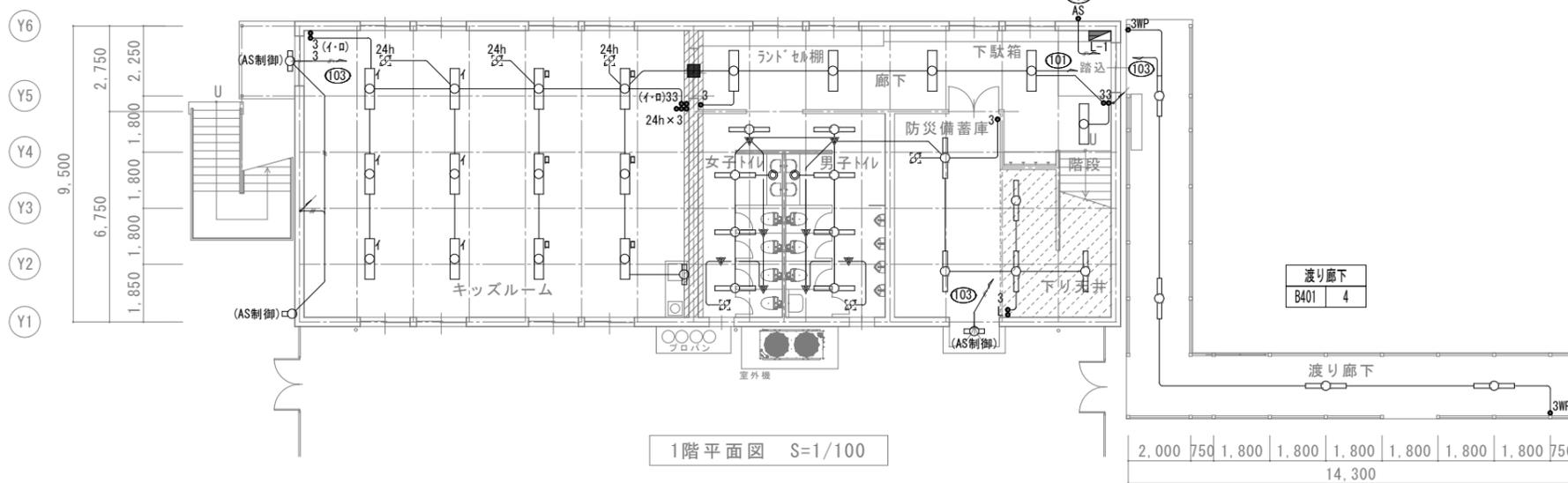
3φ3W : EM-CE5. 5-3C (E3. 5)
 1φ3W : EM-CE14-3C (E5. 5)

ﾌﾟﾝﾌﾟ38sq 既設配管 支持金物に支持

配置図 1/200



X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14 X15 X16															
26,200															
12,650								6,300				3,600		3,650	
1,850	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	900	1,800	1,800	1,800	1,850
外部	キッズルーム							女子トイレ	男子トイレ		廊下	防災倉庫			
F201	A402a							A401b	A401a		A402b	A401a			
2	12							3	2		5	5			
	E201							A401a	D100						
	1							1	1						



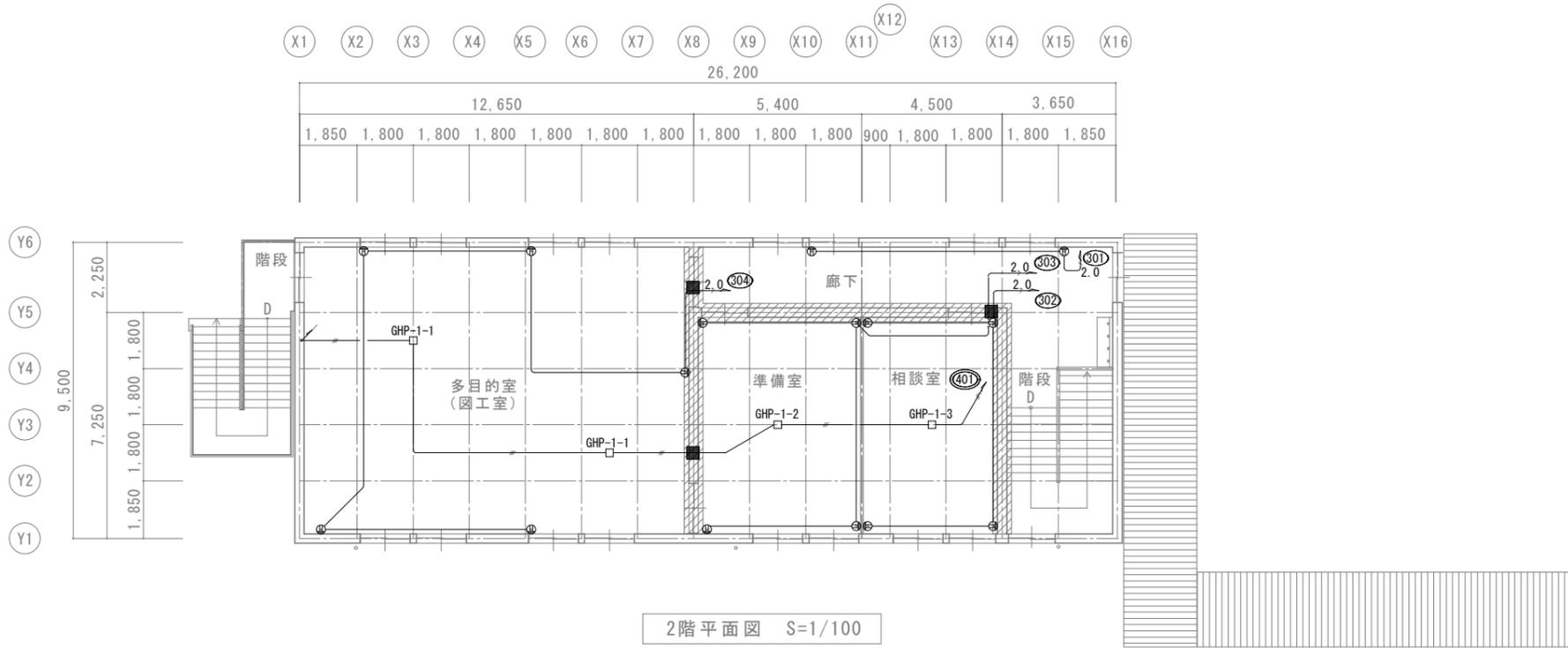
記号	名称
■ L-1	電灯分電盤
○	照明器具
●	スイッチ 1P15A×1
● 3	スイッチ 3W15A×1
● 3WP	スイッチ 3W15A×1WP
● L	スイッチ 1P15A×1PL
● 24h	スイッチ 1P15A×1PL (24時間換気表示)
△	人感センサー 親機
▽	人感センサー 子機
● AS	自動点滅器
☒	天井換気扇 (換気設備工事)
■	防火区画貫通処理材

※ 防火区画貫通処理材は下記認定品による。
認定番号：PS060WL-0297

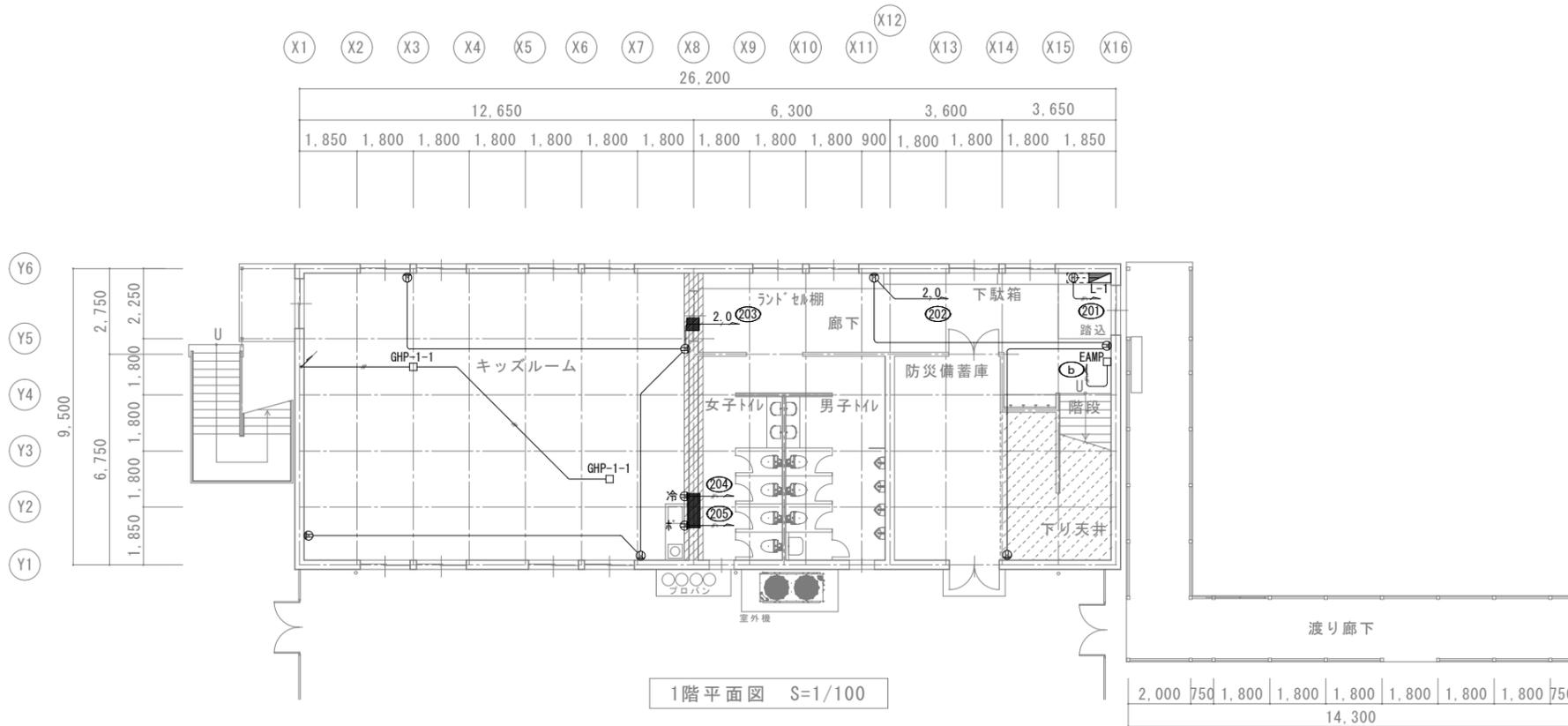
特記)

EM-EEF1.6-2C	天井ケブ 1x30x30
EM-EEF1.6-3C	〃
EM-EEF2.0-2C	〃
EM-EEF2.0-3C	〃

横浜市教育委員会事務局		工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/100	図面名称	
			A3:1/200	電灯設備 1・2階平面図	
設計者		図面番号	備考	変更	訂正
有限会社宮本建築設計事務所					
一級建築士 建築大抵書種第21045号 宮本真樹					図面番号
					E-05



2階平面図 S=1/100



1階平面図 S=1/100

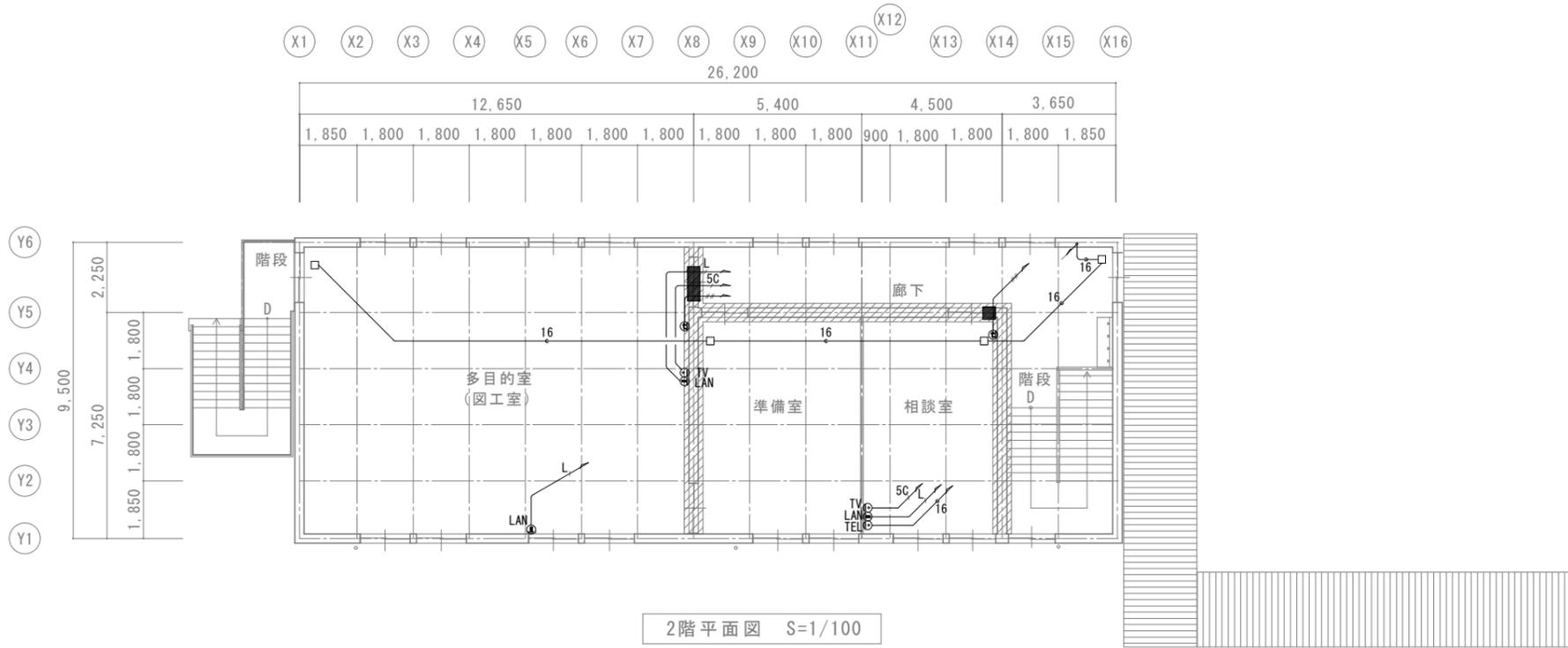
記号	名称
▲ L-1	電灯分電盤
⊕	端子壁内コンセント 2P15A×2ELK
⊕	コンセント 2P15A×2
⊕ 冷	冷蔵庫用コンセント 2P15A×2ET付
⊕ 机	机用コンセント 2P15A×2ET付
□	機器電源
■	防火区画貫通処理材

※ 防火区画貫通処理は下記認定品による。
認定番号：PSO60WL-0297

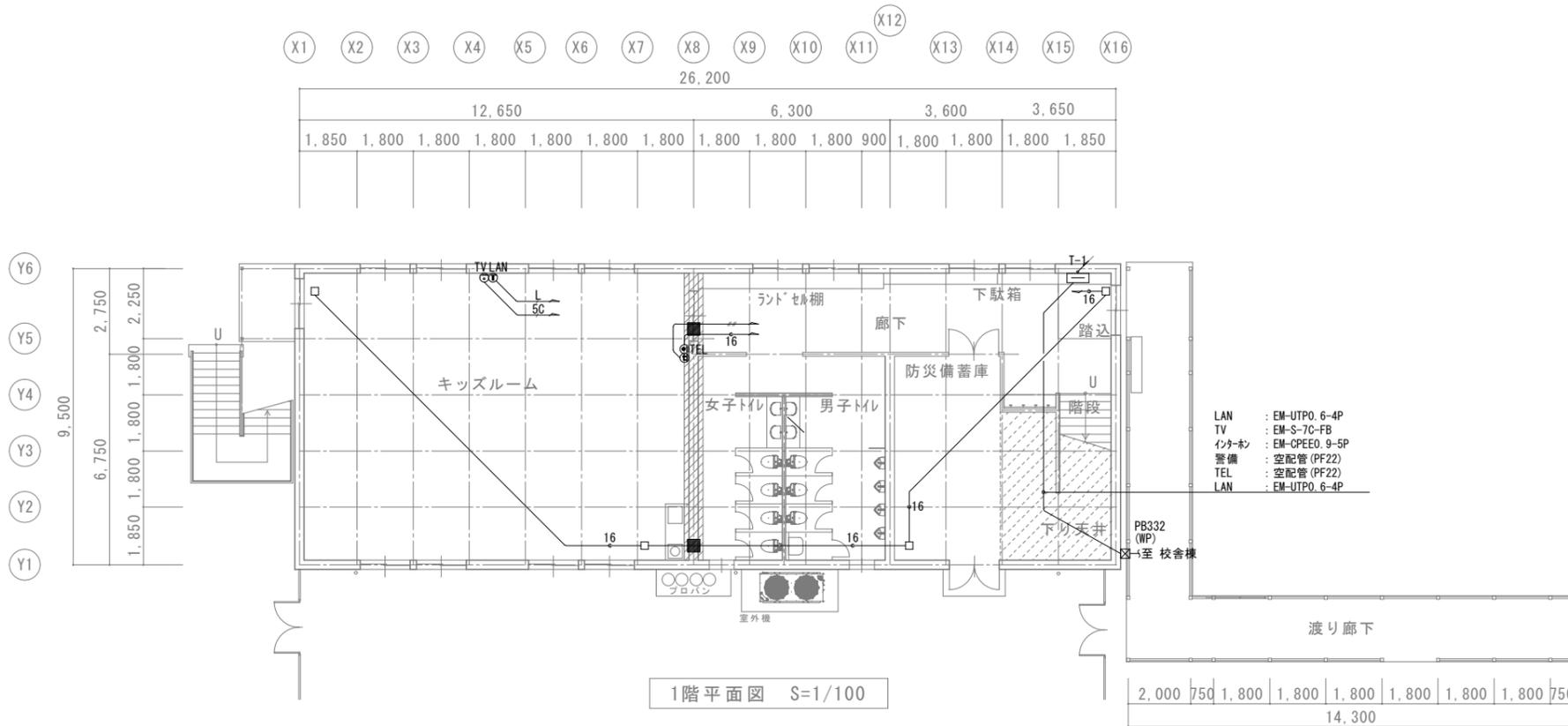
特記)

EM-EEF1.6-2C	天井ヶブ照明
EM-EEF1.6-3C	〃
EM-EEF2.0-2C	〃
EM-EEF2.0-3C	〃

横浜市教育委員会事務局		工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図面名称		コンセント・空調電源設備 1・2階平面図	
設計者		図面番号	E-06
有限会社宮本建築設計事務所 一級建築士 建築大技師 建築士 21045号 宮本真樹		図面枚数	



2階平面図 S=1/100



1階平面図 S=1/100

記号	名称
— T-1	弱端子盤 (TV・対・インター電源装置 収納)
● TEL	壁付/スリット
⊙ TV	テレビ端子
⊕ LAN	LAN用モジュラック
Ⓢ	インター機
□	機械警備用位置ボックス
■	防火区画貫通処理材

※ 防火区画貫通処理は下記認定品による。
認定番号：PS060WL-0297

特記

16	PF16	天井配管コック
5C	EM-S-5C-FB	〃
L	EM-UTPO.6-4P	〃
##	EM-AE0.9-4C	〃

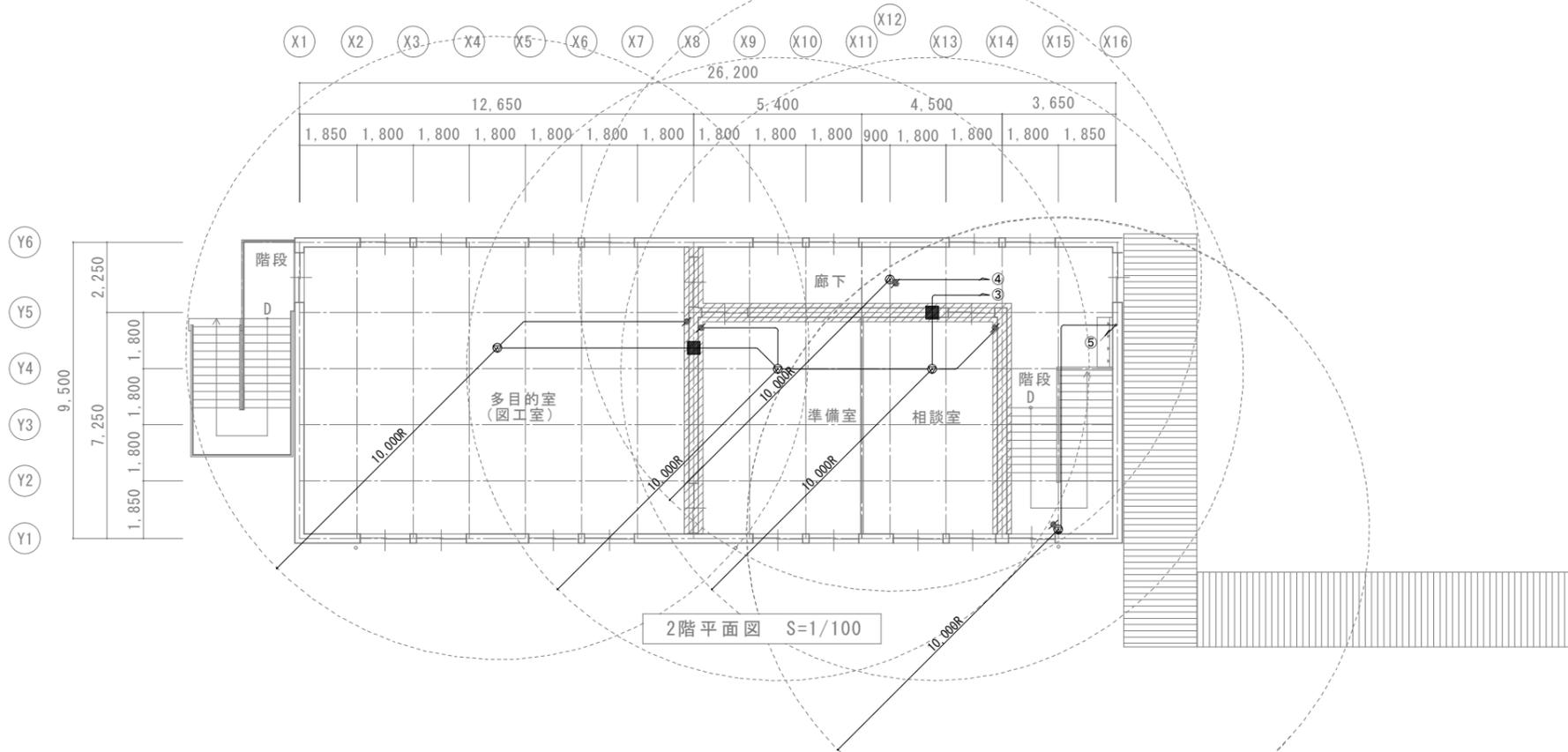
※ 電話設備は、空配管対応とする。

※ 空配管には、呼び線を導入とする。

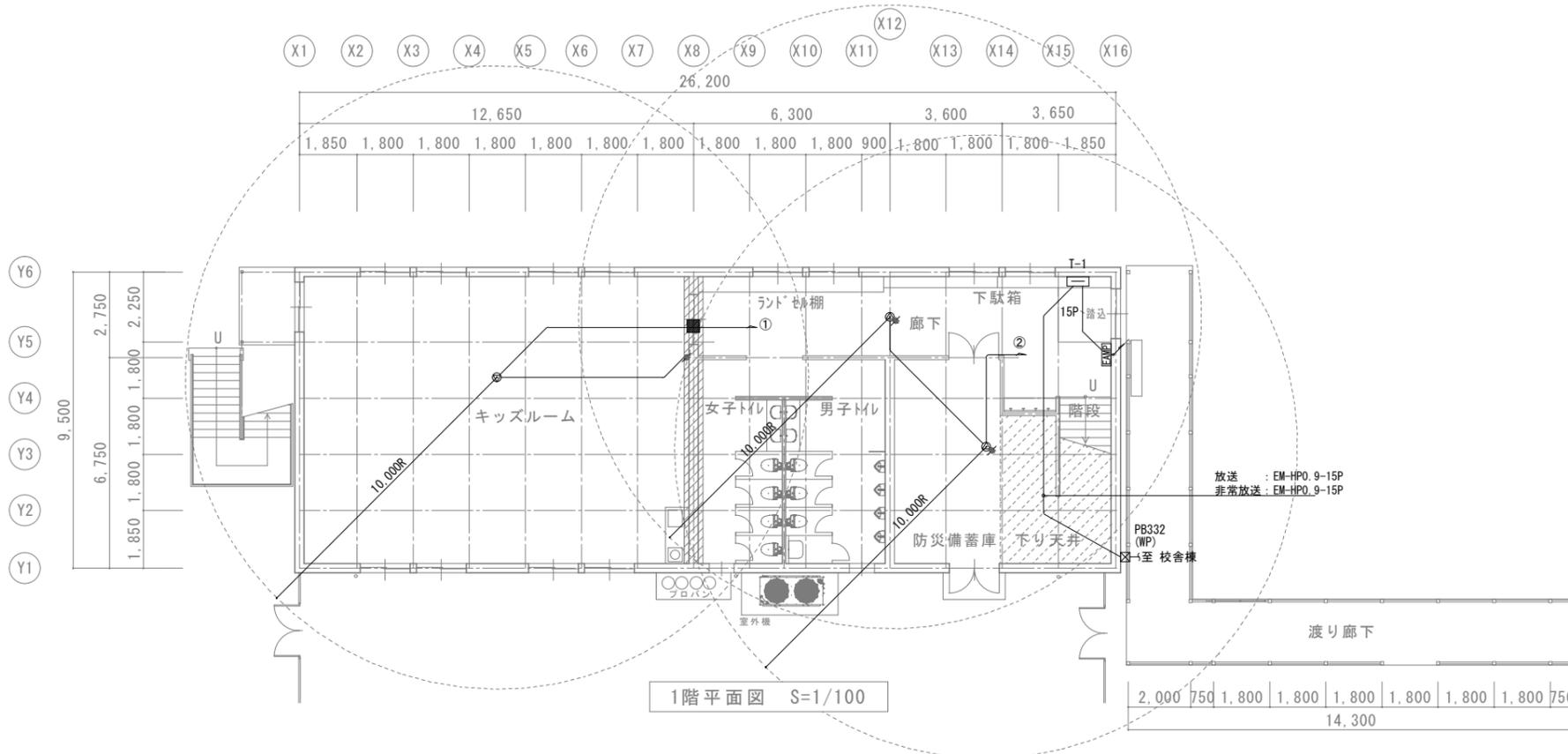
※ LAN設備は、配線・成端・モジュラック取付まで本工事。

※ LAN用HUB設置は、別途 市委託業者の工事とする。

横浜市教育委員会事務局		工事名		横浜小学校仮設校舎設置その他工事	
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面名称	弱電設備 1・2階平面図
設計者		図面番号	種類	作成	確認
有限会社宮本建築設計事務所 一級建築士 建築大抵書種第21045号 宮本真希		図面番号			
					E-07



2階平面図 S=1/100



1階平面図 S=1/100

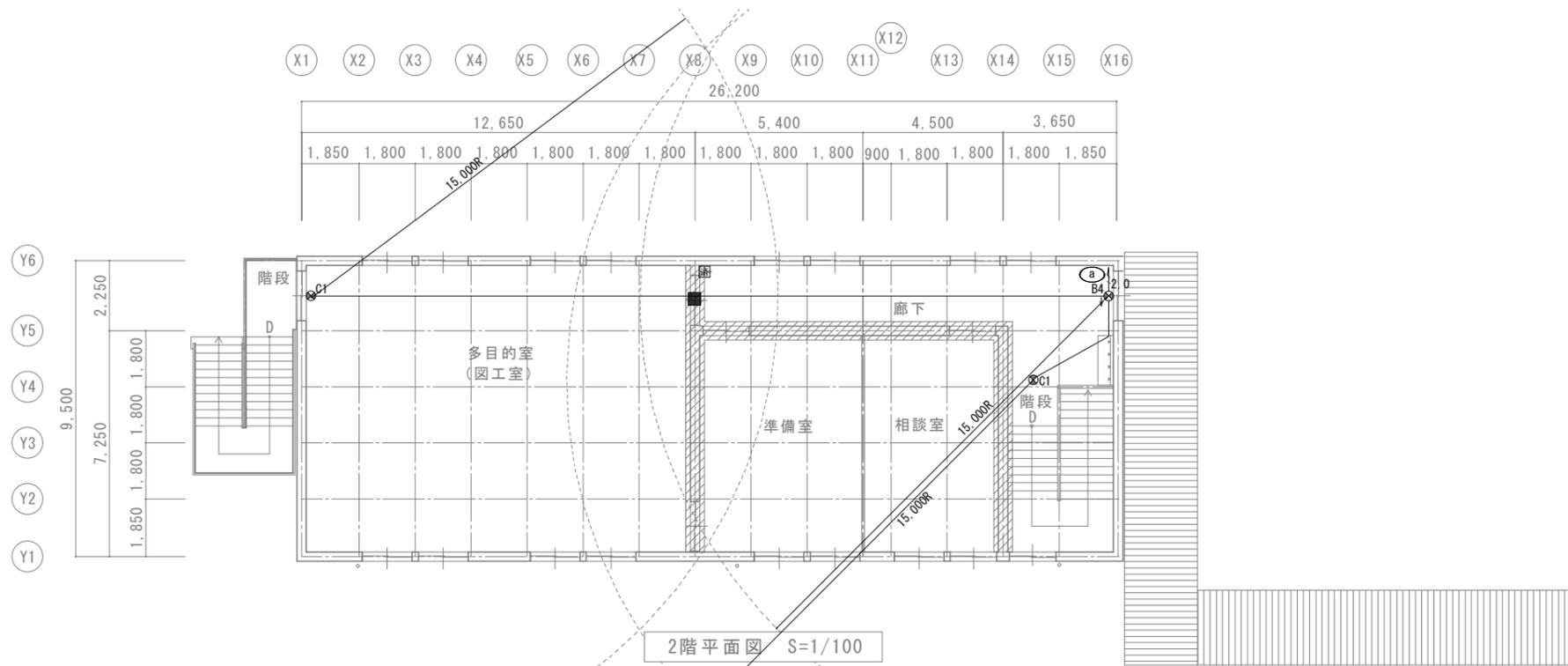
記号	名称
T-1	弱端子盤 (切替器収納)
EAMP	非常放送アンプ
○	壁付スピーカー付
△	天井埋込スピーカー
◇	天井埋込スピーカー付
□	壁付スピーカー
■	防火区画貫通処理材

※ 防火区画貫通処理は下記認定品による。
認定番号：PS060WL-0297

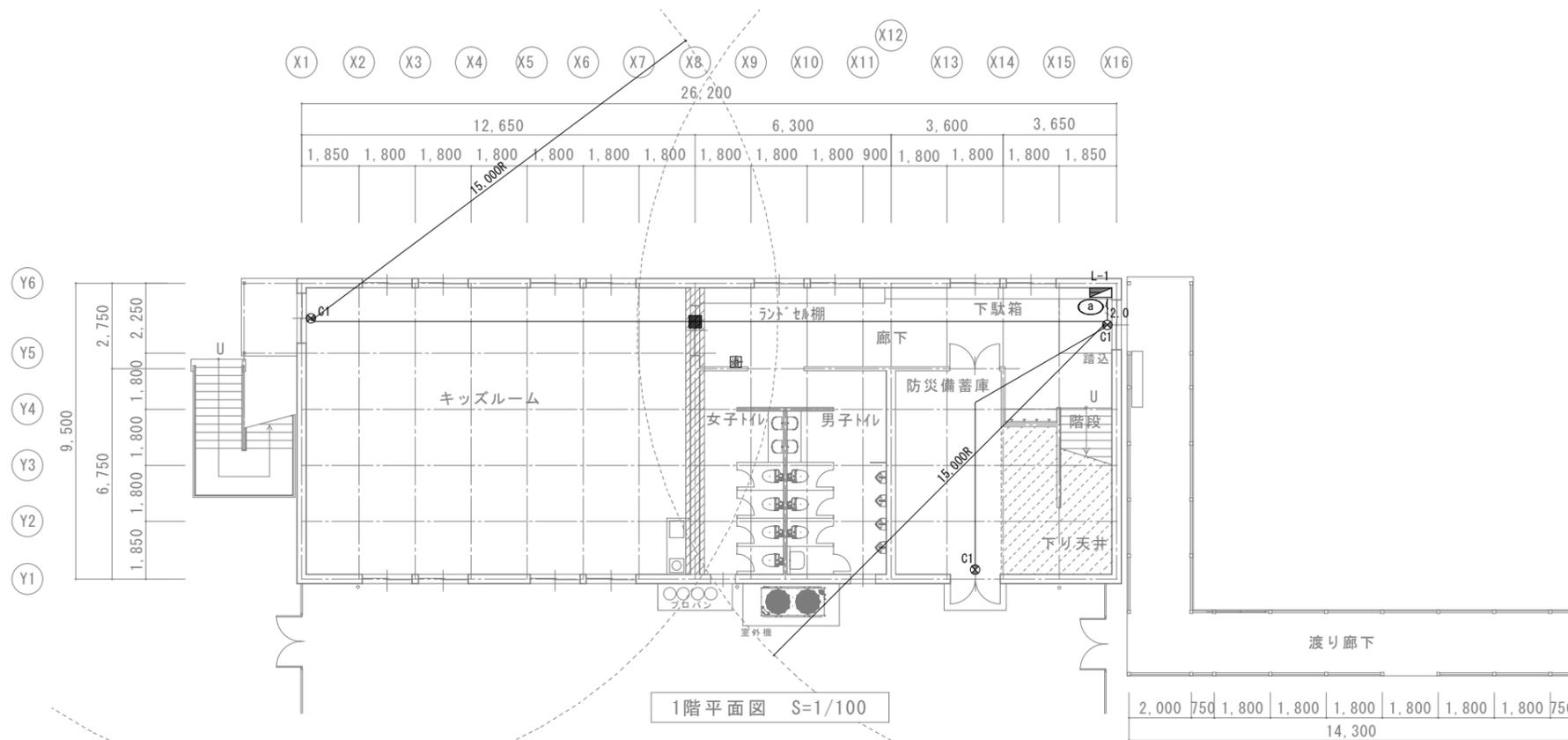
特記)

EM-HP0.9-3C	天井ヶ下	1300
EM-HP0.9-15P		11

横浜市教育委員会事務局		工事名		横浜小学校仮設校舎設置その他工事	
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面名称	放送設備 1・2階平面図
設計者		図面番号	備考	変更履歴	図面枚数
有限会社宮本建築設計事務所 一級建築士 建築大監 登録第27045号 宮本昌隆					
					図面番号
					E-08



2階平面図 S=1/100



1階平面図 S=1/100

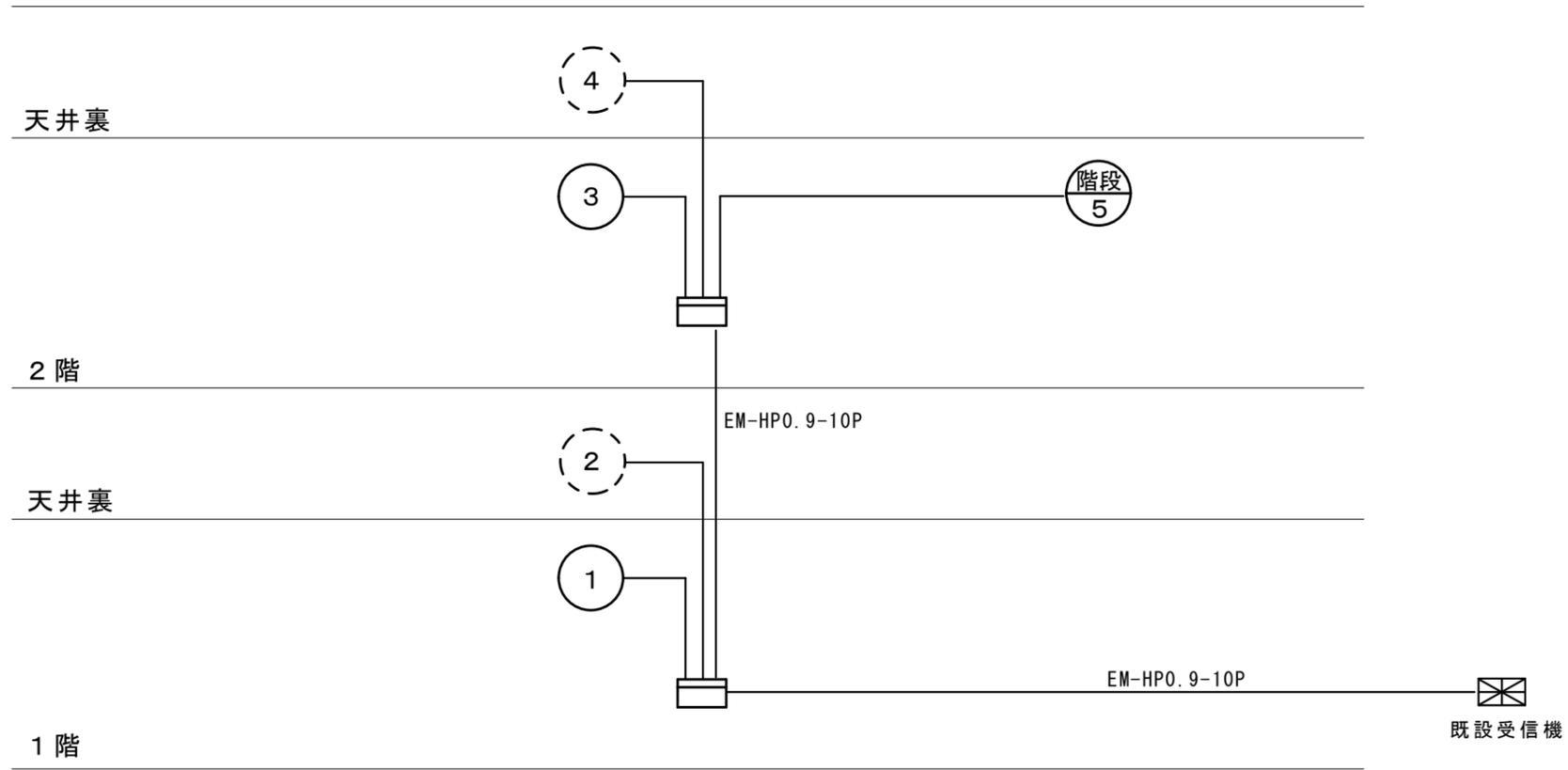
記号	名称
L-1	電灯分電盤
C1	誘導灯 C級 (出口表示)
B4	誘導灯 B級 (通路表示 避難方向指示付)
消	消火器 (粉末ABC10型) 置台設置
■	防火区画貫通処理材

※ 防火区画貫通処理は下記認定品による。
認定番号：PS060WL-0297

特記)

EM-EEF1.6-2C	天井ヶ下	天井ヶ下
EM-EEF2.0-2C	2.0	天井ヶ下

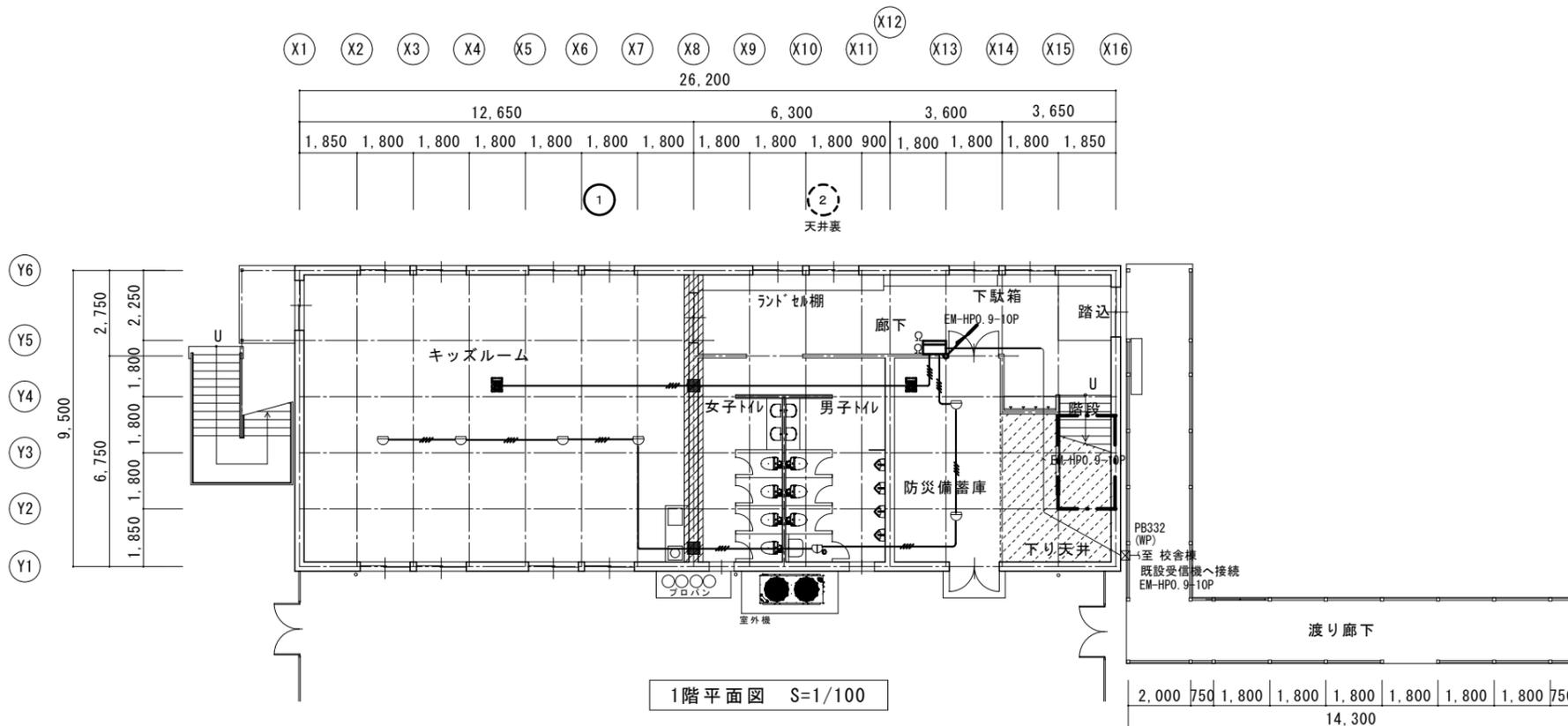
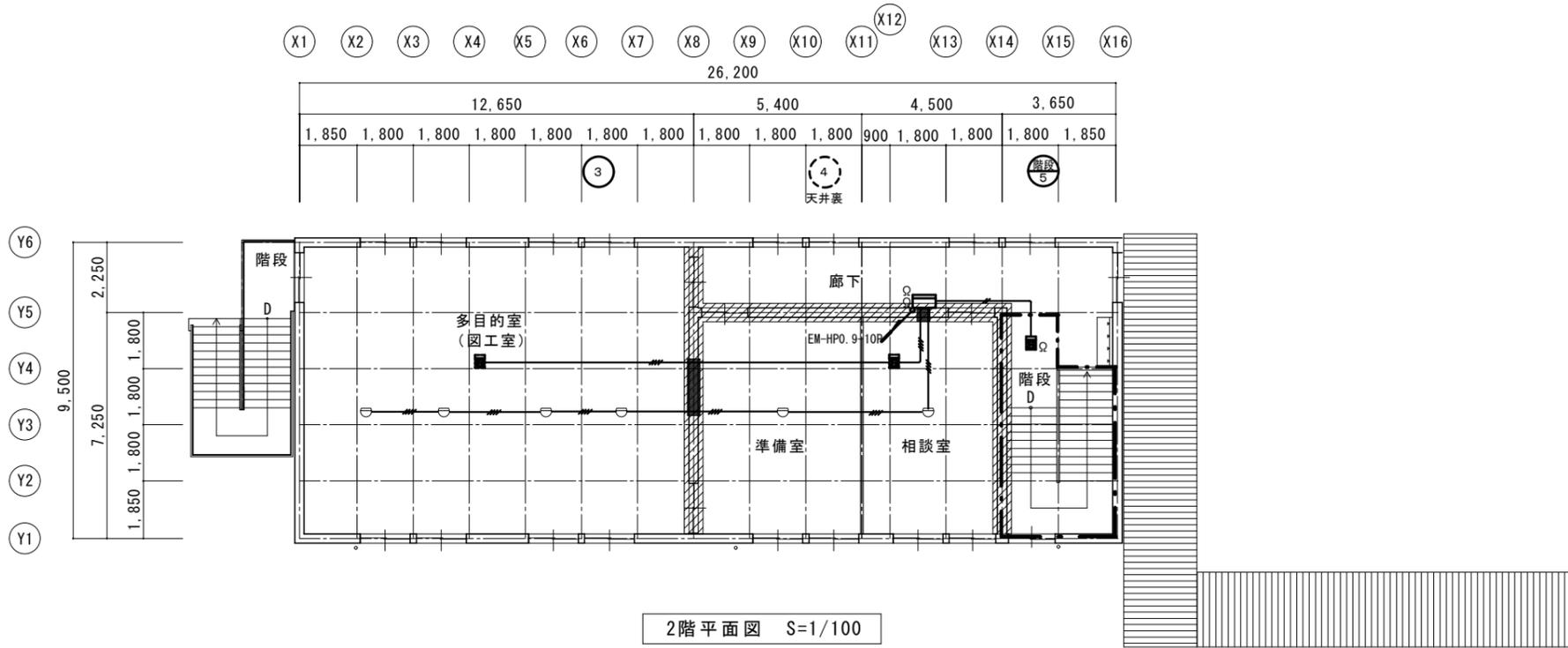
横浜市教育委員会事務局		工事名	篠原小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/100	図面名称	防災設備 1・2階平面図
設計者		図面番号	01	種類	平面図
有限会社宮本建築設計事務所		図面番号	E-09		



凡	例	注	フック項
☒	複合盤	受信機P型1級 回線蓄積型 連動制御盤 回線蓄積型 常時断線監視機能付	
☒	受信機	P型1級 回線	
☒	副受信機	回線 (圧電ブザー内蔵)	
☐	機器収容箱	露出型 (ⓐⓑ 内蔵)	
☐	機器収容箱	埋込型 (ⓐⓑ 内蔵)	○
☐	機器収容箱	消火栓組込型 (ⓐⓑ 内蔵)	
ⓑ	音響装置	DC24V 10mA	
○	表示灯	AC24V LED球	
ⓐ	発信機	P型 級 (埋込、露出)	
∩	差動式スポット型感知器	2種	○
∩。	定温式スポット型感知器	特種 65℃	
∩。	定温式スポット型感知器	特種 65℃ 防水型	○
∩	定温式スポット型感知器	1種 75℃ 防水型	
∩	差動式分布型感知器	2種	
ⓐ	煙感知器	光電式 2種 露出型	○
ⓐ	煙感知器	光電式 2種 埋込型	
ⓐ	煙感知器	光電式 2種 点検口付	
Ω	終端抵抗		○
ⓐ	消火栓始動装置	フリッカー式 A	
☒	連動制御盤	回線	
ⓐ	煙感知器	光電式 3種 露出型	
ⓐ	煙感知器	光電式 3種 埋込型	
ⓐ	自動閉鎖装置	防火戸用 ラッチ式	
ⓐ	自動閉鎖装置	防火シャッター用 (建築工事)	
ⓐ	圧電ブザー	防火シャッター降下警報用	
ⓐ	インターホン	既設受信機連絡用	
—	警戒区域線		
ⓐ	警戒番号	自火報設備	○
ⓐ	警戒番号	防排煙設備	
—	配管配線	AE0.9-2C (天井内コロカシ)	
↗↘	立上げ、素通し、立下げ		○

特記事項
 1 本設備の受信機は下記の通りとする
 * P型 1級 回線
 * 回線内訳
 自火報 5 L 諸表示 L
 防排煙 L 予備 L 合計 5 L

- 2 既設受信機に接続
- 3 予備電源は受信機内蔵とする
- 4 受信機は自動断線機能付とする
- 5 地区音響は一斉鳴動方式とする
- 6 感知器は全て確認灯付とする



記号	名称
☉	機器収容箱 (☉内蔵) 埋込型
◐	差動式スポット型感知器
◑	定温式スポット型感知器 特種 65℃ 防水型
⊞	煙感知器 光電式 2種 露出型
⊞	煙感知器 光電式 2種 露出型 (天井裏)
Ω	終端抵抗
■	防火区画貫通処理材

※ 防火区画貫通処理は下記認定品による。
認定番号：PS060WL-0297

特記)

##	EM-AE0.9-4C	天井ヶ下 30時'シ
10P	EM-HPO.9-10P	〃

横浜市教育委員会事務局		工事名	
年月日	2025.04.24	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図面名称	自動火災報知設備 1・2階平面図		
設計者	有限会社宮本建築設計事務所	図面番号	E-11